

茨城県高等学校 将棋 40年のあゆみ

茨城県高等学校将棋40年のあゆみ



茨城県高等学校文化連盟将棋部会

茨城県高等学校文化連盟将棋部会

九殺
谷塔司
斷行
靜慮



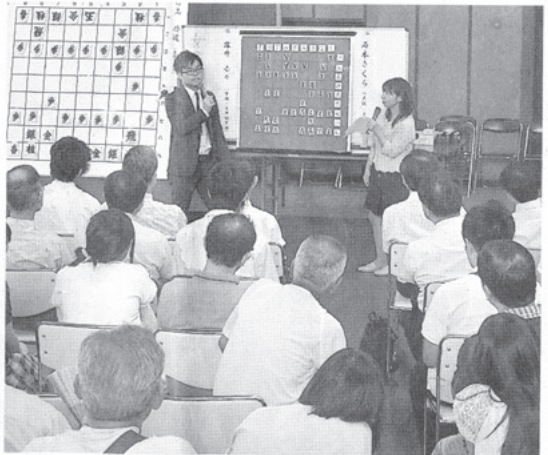


男子個人の準決勝。熱戦に幾重もの人垣ができた

県勢、男女とも健闘
将棋部門 決勝Tに4人

水戸市の県武道館を会場に前日から始まった将棋部門は28日、全日程を終えた。県代表は個人戦で男女とも健闘をみせた。個人には男女とも4人が出場。うち男子3人、女子1人が予選を勝ち抜き、決勝トーナメントに進んだ。将棋部門の佐藤良賢実行委員長（水戸葵陵3年）は「1回戦で県代表同士が当たるなど不運もあったが、この総文祭を目指して頑張った結果、県のレベルは向上したと思う」と話した。

閉会式で先崎学九段は「皆さんの礼節を重んじる戦いぶりに、素直に心の底から感動した2日間でした」と講評した。



プロ棋士による男女個人決勝の大盤解説。一般の将棋ファンも大勢駆けつけ盛況だった＝いずれも水戸市の県武道館

将棋 山崎さん16強 (男子個人)

いばらき総文・将棋部門は27、28日、水戸市の県武道館で開催された。県勢は男女の個人、団体とも、入賞できなかったが、翔洋学園（日立市）の山崎英幸さん＝写真＝がベスト16に入る健闘をみせた。

山崎さんは予選全勝で決勝トーナメントに進出。1回戦では日立一の三村廉さんに勝ち、県勢対決を制したものの、2回戦で敗れた。

高校は通信制で、将棋部はないため、ネット将棋などで鍛えている山崎さん。戦いを終え、「みんな強くて、一局一局、気が抜けなかった」と振り返っていた。



翔洋学園（日立市）の山崎英幸さん＝写真＝がベスト16に入る健闘をみせた。



開会式

将棋部門 盤上で激しく火花



真剣な表情で対局する高校生＝県武道館

将棋部門は水戸市新原2丁目の県武道館で行われ、男女別の団体戦と個人戦の計4種目で、予選リーグと決勝トーナメントの一部が行われた。全国から集まった高校生棋士たちは、制限時間の中で「最高の一手」を振り当てる。本県からは男子団体に江戸川学園取手、女子団体に鹿島、個人戦には男女各4人が出場した。

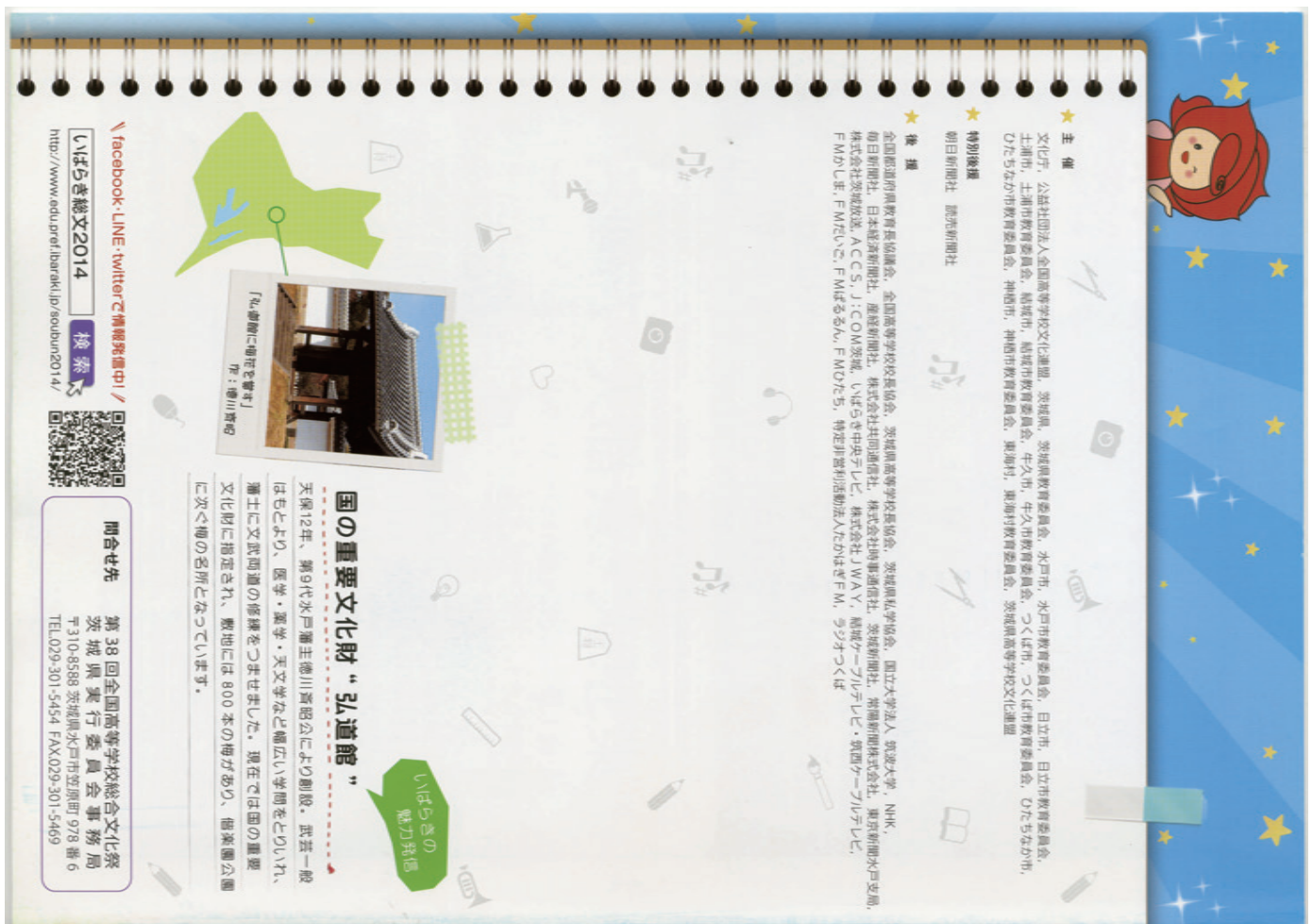
静岡県の藤枝明誠高の荒波双葉さん（18）は「会場が広く、ゆったりとした気持ちで指せた」と振り返り、試合の合間には他の試合を熱心に見詰めた。

交流会ではプロ棋士による指導対局なども実施された。

28日は、各種目の準決勝と決勝が行われる。



選手宣誓





将棋

◆ 7月27日（日）～28日（月）
◆ 茨城県武道館



開催内容

将棋部門は水戸光園公や偕楽園で名高い水戸市で開催しました。各都道府県予選を勝ち抜いた代表選手が、男女別の個人戦、団体戦（3人）に分かれて盤上没我の攻防を展開しました。1日目はスイス式トーナメント4回戦と決勝トーナメント準々決勝までを、2日目には準決勝と決勝を行いました。先崎学九段・戸辺誠六段、本田小百合女流三段等、日本将棋連盟のプロ棋士による指導対局や大盤解説なども行われました。緊張の中での読みの正確さ、勝負度胸など、限界に挑む選手たちの真剣な戦いは、素晴らしいものでした。

お礼のことば

茨城県 水戸葵陵高等学校 3年 佐藤 良賢
(将棋部門生徒実行委員会委員長)

いばらき総文2014の将棋部門生徒実行委員会に関わったきっかけは、顧問の先生からの呼びかけでした。全国高総文祭に自分自身が出場したことはもちろん、見たこともありませんでしたが、全国大会というものに憧れだけは持っていました。委員長がどんなことをするのかの想像もつかないまま、興味が先行して立候補してしまい、私が委員長に決まったときには、本当に自分で大丈夫なのだろうかと不安に思うこともありました。

実際の委員長としての仕事は、ラジオの出演やパンフレットの原稿、新聞の取材、式典での挨拶など将棋部門に関して生徒代表を務めることが主でした。人前で話すことも、文章を書くことも得意とは言えない私が役職を全うできたのは、顧問や係の先生がたくさんアドバイスをしてくださったおかげだと思っています。舞台上でのあいさつは短い時間であってもとても緊張しました。肝心の運営に関しては、副委員長と委員、そして先生方に頼りっぱなしでした。何より、運営に関わる大勢の方が協力してくださったからこそ、あれだけ大きな規模の運営でもスムーズにできたのだと思いました。

大会運営では初日が悪天候に見舞われるだけでなく、電気システムのトラブルもあり、戸惑う場面もありましたが、先生方のおかげで大きな支障をきたすことなく進行できました。それは良かったのですが、このような場面こそ実行委員会委員長として何かできたこともあったのではないかと反省もありました。

大会が無事成功に終わり、どんなことにおいても至らなかつた私がここまでできたのも、ひとえに顧問の先生をはじめ、部門の先生方、生徒の皆さん、参加して下さった選手など運営に携わったすべての人の支えがあったからだと思ひました。このような貴重な体験をさせていただき、私自身を大きく成長させてくれた高総文祭は、かけがえのない思い出となりました。本当にありがとうございました。

出場校一覧

都道府県	男子団体戦	女子団体戦	男子個人戦	女子個人戦
	学校名	学校名	学校名	学校名
北海道	札幌光星高等学校	北海道函館中部高等学校	北海道高等学校 北海道網走南ヶ丘高等学校	市立札幌大通高等学校
青森県	青森県立青森東高等学校	青森県立青森東高等学校	青森県立青森高等学校 青森県立八戸高等学校	青森県立青森南高等学校 青森県立青森高等学校
岩手県	岩手高等学校 岩手県立一関第一高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校	岩手県立金石高等学校 岩手高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校 岩手県立盛岡工業高等学校
宮城県	宮城県白石高等学校	宮城県仙台第一高等学校	宮城県仙台第一高等学校 宮城県仙台第二高等学校	宮城県仙台第一高等学校 宮城県仙台第二高等学校
秋田県	秋田県立秋田高等学校	-	秋田県立大館鳳鳴高等学校 秋田工業高等専門学校	秋田県立大曲工業高等学校 秋田県立秋田高等学校
山形県	山形県立山形東高等学校	-	山形県立鶴岡南高等学校 山形県立山形東高等学校	山形県立鶴岡高等学校 山形県立山形東高等学校
福島県	福島県立福島高等学校	-	いわき秀英高等学校 福島県立磐城高等学校	-
茨城県	江戸川学園取手高等学校	茨城県立鹿島高等学校	茨城県立太田第一高等学校 茨城県立日立第一高等学校 翔洋学園高等学校 茨城県立牛久保高等学校	茨城県立土浦第一高等学校 水戸葵陵高等学校 茨城県立大洗高等学校
栃木県	文星芸術大学附属高等学校	-	栃木県立宇都宮北高等学校 國學院大學栃木高等学校	-
群馬県	群馬県立前橋高等学校	群馬県立富岡東高等学校	群馬県立富岡高等学校 群馬県立沼田高等学校	群馬県立渋川女子高等学校 群馬県立伊勢崎高等学校
埼玉県	埼玉県立浦和高等学校	西武学園文理高等学校	埼玉県立春日部高等学校	埼玉県立和光高等学校 埼玉県立上尾東の台高等学校
千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県立八千代東高等学校 東京学館浦安高等学校	千葉県立千葉高等学校 渋谷教育学園強国高等学校
東京都	開成高等学校	-	武蔵高等学校 麻布高等学校	実践学園高等学校 日本女子体育大学附属二階堂高等学校
神奈川県	浅野高等学校	東海大学付属相模高等学校	横浜創英中学・高等学校 法政大学第二中・高等学校	横浜創英高等学校 横浜創英中学・高等学校
山梨県	山梨学院大学附属高校	山梨県立上野原高校	山梨県立都留高等学校 山梨県立甲府西高等学校	-
新潟県	新潟県立高等学校	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	新潟県立新潟商業高等学校 敬和学園高等学校	新潟県立荻高等学校 新潟県立高田南高等学校
富山県	富山県立富山中部高等学校	-	国立富山高等専門学校 (本郷キャンパス)	富山県立高岡西高等学校 富山県立富山中部高等学校
石川県	石川県立小松高等学校	石川県立小松高等学校	石川県立金沢東高等学校 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	星稜高等学校 日本航空高等学校石川
福井県	福井工業高等専門学校	-	北陸高等学校 福井県立大野高等学校	福井県立津高等学校
長野県	長野県伊那北高等学校	長野県伊那北高等学校	長野県松本深志高等学校 長野県豊科高等学校	長野県伊那北高等学校
岐阜県	岐阜県立可児高等学校	富田高等学校	岐阜聖徳学園高等学校 岐阜県立加茂高等学校	岐阜県立斐太高等学校 岐阜県立大垣東高等学校
静岡県	日本大学三島高等学校	藤枝明誠高等学校	静岡学園高等学校 藤枝明誠高等学校	日本大学三島高等学校 富士見高等学校
愛知県	愛知県立瑞陵高等学校	愛知工業大学名電高等学校 南山高等学校女子部	愛知県立明和高等学校 南山高等学校男子部	愛知県立丹羽高等学校 愛知県立一宮南高等学校
三重県	高田高等学校	高田高等学校	三重高等学校 三重県立上野高等学校	三重県立松阪高等学校 高田高等学校
滋賀県	光泉高等学校	滋賀県立湖南農業高等学校	立命館守山高等学校 滋賀県立八幡工業高等学校	滋賀県立虎姫高等学校
京都府	京都府立嵯峨野高等学校	京都府立西舞鶴高等学校	京都教育大学附属高等学校	立命館宇治高等学校 京都府立嵯峨野高等学校
大阪府	高槻高等学校	近畿大学附属高等学校	大阪学芸高等学校 長尾谷高等学校	大阪学芸高等学校 大阪府立河南高等学校
兵庫県	灘高等学校	兵庫県立御影高等学校	甲南高等学校 兵庫県立加古川東高等学校	尼崎市立尼崎双星高等学校 兵庫県立尼崎高等学校
奈良県	西大和学園高等学校	奈良学園高等学校	智辯学園高等学校 東大寺学園高等学校	奈良女子大学附属中等教育学校 奈良学園高等学校
和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	-	和歌山県立桐蔭高等学校	和歌山県立耐久高等学校 和歌山県立海南高等学校
鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	鳥取県立境港総合技術高等学校	米子松蔭高等学校 鳥取県立米子工業高等学校	鳥取県立倉吉東高等学校 鳥取県立米子工業高等学校
島根県	島根県立松江北高等学校	-	島根県立松江南高等学校 松江工業高等専門学校	つくば開成高等学校出雲学習センター 島根県立益田高等学校
岡山県	岡山県立倉敷南高等学校	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県立倉敷南高等学校	岡山県立岡山秀泉高等学校 岡山龍谷高等学校
広島県	修道高等学校	広島県立神辺旭高等学校	広島県立福山誠之館高等学校 広島大学附属高等学校	広島県立三次高等学校 広島なぎさ高等学校
山口県	山口県立防府高等学校	山口県立徳山高等学校	宇部浦城高等学校 山口県立下関西高等学校	山口県立下松高等学校
徳島県	徳島市立高等学校	-	徳島県立城南高等学校 徳島県立小松島高等学校	徳島県立小松島高等学校 徳島県立川島高等学校
香川県	香川県立丸亀高等学校	香川県立香川中央高等学校	香川県立高松西高等学校 香川県立農業経営高等学校	-
愛媛県	新田高等学校	愛媛県立新居浜西高等学校	愛媛県立松山中央高等学校 愛媛県立松山西中等教育学校	済美平成中等教育学校 済美高等学校
高知県	土佐塾高等学校	高知県立須崎高等学校	高知県立中村高等学校 高知県立高知工業高等学校	高知県立高知の内高等学校 高知県立高知追手前高等学校
福岡県	久留米大学附設高等学校	福岡県立青森高等学校	福岡県立福岡中央高等学校 福岡県立東筑高等学校	福岡県立東筑高等学校
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校	-	佐賀県立佐賀西高等学校 東明館高等学校	-
長崎県	青雲高等学校	-	長崎県立佐世保工業高等学校 長崎県立長崎西高等学校	-
熊本県	熊本県立玉名工業高等学校	熊本県立熊本高等学校	熊本県立熊本高等学校 真和高等学校	尚綱高等学校
大分県	大分県立大分豊府高等学校	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分上野丘高等学校 大分工業高等専門学校	大分県立大分南高等学校 大分県立大分雄城台高等学校
宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	宮崎第一高等学校	宮崎県立都城ヶ丘高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校 宮崎県立日南徳高等学校
鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	鹿児島県立財部高等学校	ラ・サール高等学校 鹿児島市立鹿児島商業高等学校	鹿児島情報高等学校
沖縄県	興南高等学校	-	沖縄県立浦添工業高等学校 沖縄県立普天間高等学校	沖縄県立糸満高等学校 沖縄県立普里高等学校

開催部門等の記録

各種活動の記録

大会記録等

名簿

新聞記事ほか

「いばらき総文 2014」に参加して

茨城県立太田第一高等学校 1年 上村 友大

いばらき総文 2014 では、苦い経験をしました。茨城県での予選は、男子個人 4 人代表の中で、1 位通過をすることができました。しかし、全国大会では、4 人の中で私だけが 1 日目の予選ブロックを通過することができませんでした。とても悔しかったですし、何よりも、「たかが茨城県の代表なだけだろう」と思われたいませんでした。

私が負ける最大の理由は、休憩が下手なところからです。勝負中に糖分が足りなくなったり、トイレにいきたくなったり、緊張して吐き気がしたり、……。よく考えてみたら、集中できない状況を自ら作っていました。課題が見えたことがこの大会の収穫でした。

このことを生かして、1 カ月後に行われた高校竜王戦の全国大会に出場しました。この大会では、グミを持って、勝負前にトイレにいて、いざというときのためにエチケット袋を持って挑みました。それが功を奏したのか、3 位に入賞することができました。

高校で初めて出場した全国大会の高総文祭で、多くのことを学ぶことができました。



開会式での生徒実行委員会委員長あいさつ



会場の様子



対局の様子 I (茨城県立太田第一高等学校 上村友大さん)



対局の様子 II (茨城県立土浦第一高等学校 岩堀佳菜さん)

最高の舞台で

茨城県立土浦第一高等学校 2年 岩堀 佳菜

小学校 2 年生の夏、学校で配られた「夏休み子ども将棋教室のお知らせ」。それが私と将棋との出会いでした。駒の名前や動かし方から覚え、最初のうちは負けてばかりいました。たまたま風邪を引いて休んでいるときに将棋の本を読み、勝てるようになりました。そのときのうれしさをとても懐かしく思います。いろいろな大会に出るようになり負けて悔しい思いもたくさんしました。そして今回全国の高校生の皆さんと共に高総文祭の将棋大会に参加することができました。

大会では選手宣誓をさせていただきました。このような貴重な体験は忘れられない思い出となりました。地元での開催という機会に自分が選手として参加できたことを幸せに思います。本番では県代表の自覚を持って対局に臨むことができました。

私は、子どものころからたくさんの方々を支えられ、助けられてきました。そのような方がいなければ本戦トーナメントに進むことはできなかったかもしれません。私に将棋を教えてくださいました先生方、応援していただいた方々には本当に感謝しております。これからも日々精進していきたいと思っています。また機会があれば来年の高総文祭も精一杯頑張りたいです。そして応援して下さる皆様に良い内容の将棋を指すことで恩返しをしたいと思っています。

貴重な経験

茨城県立日立第一高等学校 1年 三村 廉

私は将棋部門、茨城県代表として今回の高総文祭に参加させていただきました。今年の開催県の代表という重圧もありましたが、それ以上に全国にいる強豪たちと将棋を指せることがとても楽しみでした。

将棋は、負けたときに「負けました」と自ら敗北を認めなければいけない礼儀を重んじる競技です。そんな潔いところに惹かれて私は将棋を始めました。始めたばかりの頃は「負けました」と言うことがとても嫌でした。しかし、勝てるよう努力するたび「負けました」と言う回数が減っていき、気付いたら将棋に夢中になっていました。そして今回が高校生になってから初の全国大会でした。

私は今回、選手であるとともにスタッフとしても参加しました。私に任された仕事は、団体戦の決勝戦の棋譜を採るというものでした。上位陣の将棋を間近に見ることができ、とても参考になりました。また、プロ棋士の指導対局を受けることもできました。プロの方は、私の悪かったところをわかりやすく、丁寧に教えてくださいました。今後に活かしていけるとても良い経験になりました。

今大会は、各県の強豪たちと触れ合うことができるとても貴重な経験でした。それによって将棋の良さをさらによく知ることができました。そんな大会を支えてくださった関係者の皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



対局の様子Ⅲ (茨城県立日立第一高等学校 三村廉さん)



対局の様子Ⅳ (茨城県翔洋学園高等学校 山崎英幸さん)

「いばらき総文2014」を経験して

茨城県 翔洋学園高等学校 2年 山崎 英幸

全国高総文祭が地元茨城県で開催されました。47年に一度という緊張感と、貴重な経験ができるという期待とで、開催前から落ち着かない日々を過ごしていました。私は、現在の高校に入学する前に一度他の高校に入学して、事情があって退学してしまい、約1年間のブランクの後、現在通っている通信制高校に編入学しました。将棋は幼い頃からずっと好きで続けてきましたが、退学した後は、再び高校の将棋の大会に参加できるとは思っていませんでした。だからこそ、こうして全国大会で、しかも地元茨城県で開催される貴重な機会に参加することができたことを本当にうれしく、光栄に思います。茨城県代表として恥じぬよう、絶対負けられない、そして良い結果を残したいという気持ちが高まったので、いつも以上に練習対局を重ね、戦術などもたくさん勉強し、やれるだけの事はやって試合に臨みました。なんとか予選は突破できましたが、決勝トーナメントでは2回戦で敗退してしまいました。大きな結果は残せませんでした。全国の将棋仲間ともたくさん交流でき、好きな将棋で真剣勝負ができ、大会2日間を通して、とても楽しく良い思い出になりました。そのように思えるのも、運営スタッフや、顧問の先生、プロ棋士の方々など、この大会の運営にたくさんの方々が携わり、企画や準備に時間をかけ、無事大会が進行するよう一生懸命支えてくれたからだと思います。本当にありがとうございました。



プロ棋士の方々



プロ棋士による指導対局



対局の様子V(茨城県立鹿島高等学校 左から保立祐希さん・笠井玲奈さん・笠野里緒さん)



決勝戦の様子



女子個人戦優勝(京都府 立命館宇治高等学校 藤井奈々さん)



プロ棋士による大盤解説(聞き手は水戸市出身の本田女流)

最高の思い出

茨城県立鹿島高等学校 2年 笠井 玲奈

私は将棋部門の女子団体戦茨城県代表としていばらき総文2014に参加しました。この大会への出場が決まった時にはうれしさはありませんでした。しかし、時間が経つにつれて、「私にこんな大役が務まるのだろうか」という思いがふくれあがっていきました。「他の2人の足をひっぱりたくない」などとなんでもネガティブに考えてしまい、高総文祭に出場することが怖くなりました。そのようなときに、先生や将棋の仲間たちは、「自分ひとりで抱え込まなくてもいい。全力を出し切って戦ってくればいい」と声をかけてくれたのです。その言葉が、私の不安を取り除き、心を軽くしてくれました。その言葉がなかったら、本番直前に逃げ出していたかもしれません。大会を無事終えた今、ご指導してくださった先生方やたくさん対局してくれた将棋の仲間たち、本番前に「がんばれ!」と連絡をくれた友達、出発前に「応援してる」と声を掛けてくれた同級生たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。そして様々な県の強い選手と出会わせてくれ、私を成長させてくれたこの高総文祭に出場できたことは私の生涯の誇りであり、最高の思い出です。

「いばらき総文2014」での貴重な経験

京都府 立命館宇治高等学校 2年 藤井 奈々

今年の夏は私にとって忘れられない夏になりました。いばらき総文2014で優勝することができたからです。

この大会に参加するまで、私は一度も茨城県には行ったことがありませんでした。大会の前日、朝早く京都から神戸空港へ行き、茨城空港からバスで水戸に入りました。

水戸に着いてすぐに郷土料理のお店に入りました。そこで、有名な納豆やあん肝やしじみ汁などを食べました。どれもすごく美味しくて、水戸に来たんだなぁという実感が湧いてきました。その後バスで大会会場の県武道館へ向かいました。

会場に着くと、たくさんの方が会場準備をされていました。受付の担当の方や、モニターを見ながらパソコンの調整をする人や、舞台上司会の練習をする人等が一生懸命に取り組んでおられました。私はその様子を見て、ありがたいなぁと思いました。

大会1日目は、初めて予選を4連勝で勝ち抜くことができました。この大会には女流プロになれる資格を持っている人も何人かいたので、優勝したいという思いより、それぞれの対局を精一杯指すことだけを考えて指しました。

初日を指し終えた時、夜の8時近くになっていましたが、私の中ではあっという間の1日でした。2日目の決勝戦では、最後に逆転のチャンスを得て、運良く優勝することができました。とてもうれしかったです。

全国高等学校将棋選手権大会の第50回という節目の大会で、しかも茨城県で優勝できた事は私にとって生涯忘れられない貴重な経験です。この大会のために準備してくださった関係者の皆さんにとっても感謝しています。ありがとうございました。

審判の務め

日本将棋連盟茨城支部連合会 美馬 和夫

いばらき総文2014の将棋部門におきまして審判長を務めさせていただきました。審判の務めは対局において判定の必要が生じた場合に公平かつ適正な判断を行うこと。そして速やかな大会進行にも配慮し、またそれよりなにより選手の皆さんが持てる力を存分に発揮できる、そんな環境を提供することを念頭に置き、他の審判員と共に2日間真摯に取り組みさせていただきました。

大会には全国から数百人もの選手が集います。選手は級位者から一般の全国大会の代表にも名を連ねる強豪選手まで。県武道館の大道場に並び、一斉に指し始める光景はまさに壮観でありました。高校生諸君の対局態度は素晴らしく、目に留まる対局は皆熱戦。特に男子個人戦準決勝の甲南高の長森君と金沢泉丘高の田中君の死闘とも言える激戦は、深く心に響くものがありました。参加選手の皆さんはそれぞれ目標を持ってこの大会に臨んでいたことだと思います。喜びを持って終えた生徒から人知れず嗚咽した生徒まで。結果は様々だったと思いますが、私は好局の数々を見て「審判としての責任を果たせた」との思いを持つことができました。

毎年のように高総文祭に視察に来られている旧知の将棋棋士勝又清和六段から預かった、私も同じ想いの次の言葉をお伝えし、審判の務めの最後と致しましょう。「関係者の皆様、選手の皆様。素晴らしい大会をありがとうございました」

「いばらき総文2014」将棋部門を終えて

茨城県立高萩清松高等学校長 生田目 正直
(将棋部門委員長)

第38回全国高等学校総合文化祭いばらき総文2014における将棋部門は、7月27日(日)、28日(月)の2日間にわたり、県都水戸市にある茨城県武道館において、全国より集い来る俊秀たちによってその熱戦が展開されました。昨年夏、長崎県時津町を訪れて、第37回大会を参観させていただいた時から、この日に備えての準備が始まりました。

環境としての会場は水戸市の文教地区といえる地域にあるので、雰囲気的にも落ち着いていますし、空間としての大きさも手頃です。他県の引率者からは、会場は広くて対局はやりやすく、バスも多くて便利で良いと評価していただけたようです。ただJRの駅からは遠かったので、ご不便をかけたかもしれません。特に2日目の閉会式の時は、こちらの不手際もあり時間が延びてしまい、遠方より来られた方には迷惑をかけてしまいました。また大会関係者のご帰宅なさるとき靴が見つからないということが起きました。係としても十分に気を付けたつもりですが、ご迷惑をかけてしまいました。この点についてはこの紙面でお詫びしたいと思います。

ただ、総体的には、選手諸君やスタッフの係の生徒たちの表情を見てもまずまずの出来ではなかったかと考えます。日本将棋連盟の方々や、茨城県支部連合会からの審判諸氏、高文連各県将棋専門部の先生方など、さまざまな関係者の方に改めて感謝の念を表したいと思います。ありがとうございました。



ふれあちゃんを誘導するスタッフ



水戸発祥のオセロで交流する様子



受付の様子



滋賀県のみなさん



第50回全国高等学校将棋選手権大会
予選3回戦

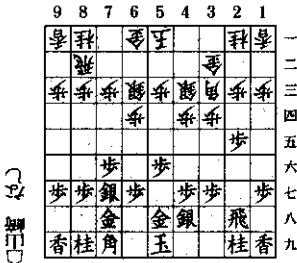
第1譜

長森 優作
(兵庫・甲南高3年)
山崎 英幸
(茨城・翔洋学園高2年)



(先手)長森 なし

(後手)山崎



(先手)長森 なし

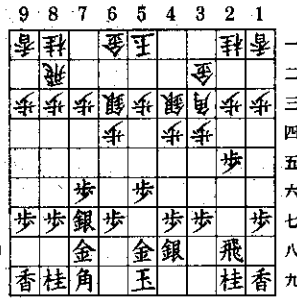
(後手)山崎



第50回全国高等学校将棋選手権大会
予選3回戦

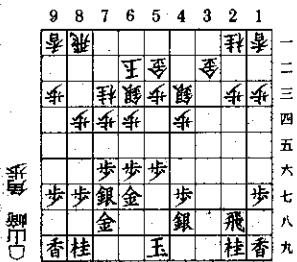
第2譜

長森 優作
(兵庫・甲南高3年)
山崎 英幸
(茨城・翔洋学園高2年)



(先手)長森 なし

(後手)山崎



(先手)長森 角歩2

(後手)山崎



第50回全国高等学校将棋選手権大会
予選3回戦

第3譜

長森 優作
(兵庫・甲南高3年)
山崎 英幸
(茨城・翔洋学園高2年)



(先手)長森 角歩2

(後手)山崎



(先手)長森 角歩

(後手)山崎

中では棋部部長は第50回全国
高等学校将棋選手権大会も
兼ね、27、28日の両日に水
戸市にある真武道場へ実施
されました。当日の対局の
中から好局を、大会の模様
なども交えながら紹介させ
ていただきます。

個人戦の持ち時間は15
分。秒読みの有無は本欄
一々4回戦から紹介しなが
ら予選通過。その成績順位
が付箋、自動的に決勝トー
ナメントの組み合わせが決
まります。本局は両者勝利
同士の対戦でした。

山崎君は得意な止
みで先手の甲南高の長森君
と上りつきました。難戦相手
は元奨励会員。そして全国
高校選手権大会を2連覇
入りました。

(美馬和夫)

審判長という大役を任せられ
るようになりました。私は
胸を締めつける思いがな
りました。これは彼得意の石玉
の陣取り、茨城高校将棋界
をにぎわすの要諦です。対
峙した山崎君は、全体的に
会にもその気配で行って
みました。また自身の審判
大会出場経験、そして審判
としての力量を証明した
のだと思います。審判が、
判定する際の準備は、一
昨日の山崎君の目的
な見、また山崎君の審判
須教諭が備えていたのだ
と、二、三年の審判大会
のノウハウを習得して、今
大会の対戦相手作成など
を行いました。

さて、前譜で山崎君は角
や歩で、そして私は大卒
進歩のため、居飛車か振り飛
車か、かかります。

(美馬和夫)

この穴熊は決して固いとは
なして参加したものであり
ました。そして、開会式で
の特筆すべきは選手宣誓。
太田一高の上村友大君と王
浦高の塩田佳孝さんの2
人が行った宣誓は、元気が
あふれていた。また、
37歳の先鋒は、手堅い心
手。代えても8人、
加藤手数は40人、その
全員が武道館の大通りに並
び、先鋒九段の受替で、
に指し始める様子は、まさに
壮観の一言ではありませ
ない。

長森君は図から6九玉
と右銀を前線に送る順で応え
ます。そして5五歩と戦
い、局面は中盤戦に
突入しました。

(美馬和夫)



第4譜

長森 優作 (兵庫・甲南高3年)
山崎 英幸 (茨城・翔洋学園高2年)

第50回全国高等学校将棋選手権大会
予選3回戦



前譜指し図(5五歩まで)

本日指し図(7四銀打まで)

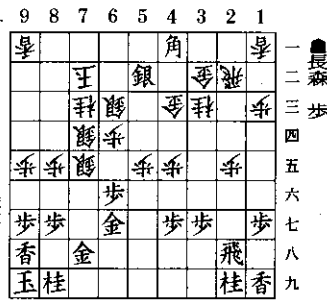
計画から約5年のいばいたでしよう。2三歩は...
(美馬和夫)



第5譜

長森 優作 (兵庫・甲南高3年)
山崎 英幸 (茨城・翔洋学園高2年)

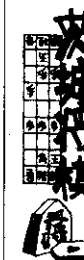
第50回全国高等学校将棋選手権大会
予選3回戦



前譜指し図(7四銀打まで)

本日指し図(7六歩まで)

自分が行っても邪魔になるだけかも。そう思いながら...
(美馬和夫)



第6譜

長森 優作 (兵庫・甲南高3年)
山崎 英幸 (茨城・翔洋学園高2年)

第50回全国高等学校将棋選手権大会
予選3回戦



前譜指し図(7六歩まで)

本日指し図(8六歩まで)

人は土浦一高・岩瀬佳哉さん...
(美馬和夫)

茨城県選手（全国総文祭・全国竜王戦・関東大会・全国新人大会・県大会 等）



H17 富山新人大会・美馬香織



H19 島根総文祭・女子個人・美馬志織



H21 秋季大会男子 A 決勝・豊嶋春樹



H22 宮崎総文祭・男子個人・岡野夏希



H22 宮崎総文祭・女子個人・中井川祥子



H22 秋季大会指導対局・本田女流二段



H23 福島総文祭・男子団体・日立一



H23 福島総文祭・男子個人・鈴木伸二



H23 福島総文祭・女子個人・野口恵里



H23 京都新人大会・梶山美希



H24 富山総文祭・女子団体・日立商



H24 富山総文祭・男子個人・川村晃平



H24 富山総文祭・女子個人・黒澤瞳



H24 東京関東大会決勝戦・三村駿 準優勝



H24 東京関東大会・田代雄太朗



H24 東京関東大会・高安純



H24 東京関東大会・若奈都美



H25 長崎総文祭・男子団体・竜ヶ崎一



H25 長崎総文祭・女子団体・水戸葵陵



H25 長崎総文祭・男子個人・中谷祥也 5位



H25 茨城関東大会決勝戦・中谷祥也 優勝



H25 茨城関東大会・辻聡智



H25 茨城関東大会・藤巻智之



H25 茨城関東大会指導対局・先崎八段



H25 北海道新人大会・中谷祥也 準優勝



H25 北海道新人大会・足立美桜



H25 梅まつり将棋フェスタ (上田女流 vs 山崎・岩堀)



H26 春季大会男子団体・江戸川学園取手 vs 水城

上村さん3位「次はVを」



太田一高・1年



福岡市中央区の竜王戦。共創館で24、25日に行われた第2回全国高等学校将棋竜王戦(日本将棋連盟、読売新聞主催)は上村さんが攻めたが、相

準決勝では、霧山県代表の霧山中部高1年、亮木健太郎さん(15)と対戦、序盤は上村さんが攻めたが、相手を崩せなかった。古き手は「たった一手のミスで勝負が変わる」とを知った。来年はもっと経験を積んで優勝を目指したい。25日は、審判長を務める森内俊之主将にも決勝戦の大勝利会も行われた。

準決勝で対局する上村さん

高校竜王戦全国3位の読売新聞記事 2014.08.26



H26 全国高校竜王戦・上村友大 3位



いばらき総文 2014 選手強化会 H26年7月



H26 茨城総文祭・男子個人・三村廉



H26 茨城総文祭・女子個人・崔恵仁



H26 埼玉関東大会・笠野里緒



H26 埼玉関東大会・笠井玲奈



H26 新潟新人大会・山崎英幸 3位



H26 新潟新人大会・岩堀佳菜 5位



H26 新潟新人大会・大東純



H26 新潟新人大会・保立祐希

目 次

あいさつ・祝辞	
生田目正直	前 茨城県高等学校文化連盟将棋部会長 ……………1
平野 厚	前 茨城県高等学校文化連盟会長 ……………2
谷川 浩司	公益社団法人 日本将棋連盟会長 ……………3
市野塚耕三	日本将棋連盟茨城県支部連合会 会長 ……………4
宇野 穰	元 茨城県高等学校文化連盟将棋部会長 ……………5
佐藤 昌弘	元 茨城県高等学校文化連盟将棋部会長 ……………6
栄光の記録	……………7
茨城県代表選手と主要な成績一覧表	……………9
平成 17 年から 26 年の栄光の選手（編年体の記録）／ 27 年度を一部含む	……………16
この 10 年の栄光の選手（卒業後に高校将棋を振り返って）	……………68
熊倉紫野・田地規朗・幡宮慎太郎・三村駿・中谷祥也	
栄光の選手（卒業後に高校将棋を振り返って）	……………72
黒岩康・阿久津（飯村）さちよ・石川一茂	
第 38 回全国高等学校総合文化祭〔いばらき総文 2014〕将棋部門	……………75
（第 50 回全国高等学校将棋選手権大会）	
第 38 回全国高等学校総合文化祭 将棋部門諸準備の記録	……………77
第 38 回全国高等学校総合文化祭 将棋部門の記録（分掌・日程・式次第等）	……………79
特別寄稿 日本将棋連盟棋士六段 勝又清和	……………85
大会結果記録（決勝トーナメント・予選・予選順位表）	……………88
精選棋譜 平成 17 年度から平成 26 年度	……………103
創刊以来の将棋年鑑に掲載された全ての茨城県高校生選手	
茨城県高等学校将棋連盟・茨城県高等学校文化連盟将棋部会 40 年の歩み（年表）・歴代会長	……………127
規約・会則	……………135
茨城県高等学校文化連盟将棋部会規約	……………137
茨城県高等学校文化連盟将棋部会大会規定	……………138
関東地区高等学校文化連盟将棋専門部会会則	……………140
関東地区高等学校文化連盟将棋専門部対局規定	……………142
公益社団法人全国高等学校文化連盟全国将棋専門部会則	……………144
高等学校文化連盟全国将棋専門部 内規（抄）	……………147
全国高等学校総合文化祭将棋部門（全国高等学校将棋選手権大会）規約	……………148
高等学校文化連盟全国将棋専門部 対局規定	……………149
付記事項：切れ負け将棋における千日手と持将棋の扱いについて	
日本将棋連盟奨励会・女流育成会関係者の出場規定	
参考記録 栄光の記録－めざせこの頂 全国と関東－	……………153
編集後記	……………161

「40年のあゆみ」に寄せて



前 茨城県高等学校文化連盟将棋部会長 生田目 正 直
(前 茨城県立高萩清松高等学校長)

平成 25 年度から 2 年間、会長を務めさせて頂きました。偶然なことからの就任であり、門外漢である私には最後まで手探りでの活動でした。事務局の先生方を始めとして、日本将棋連盟や全国専門部の諸先生方のお力添えで何とか職務を全うできました。深く感謝しております。

取り分け県内の関係の方にとって、この 2 年間は茨城で 26 年 7 月に開催される全国総文祭のための日々であったと思います。個人的にもそうであり、一番の思い出は、25 年 7 月に下見として長崎県時津町を訪れた時のことです。事務局を支える二人の方、石岡一高の矢須雅進先生、大洗高校の藤崎正輝先生との 3 人で長崎大会の 3 日間を見て回り、来年度の開催県としての挨拶を含めての体験でした。将棋部会に関することも、この時両先生から教えられることが多く、緊張感とともに来年度に対する闘志のようなものが湧いてきました。

26 年 7 月に県武道館で行われた全国総文祭将棋部門は成功裡に終わることができました。この時は県内各校の顧問の先生方や同じく生徒諸君の本当に素晴らしい奮闘があったればこそその成功であると、現在でも感謝しております。全くの余談ながら、この時お会いした広島県の先生に私の名刺を渡すと、「生田目という名字の生徒を今、学校で教えています。ここでもこの名前にお目にかかれるとはびっくりしました。」とおっしゃったので、こちらも非常に驚いたことなど、楽しい思い出です。

将棋の大会は静まりかえった中に緊張感が漲っているという、言わば「静かな真剣勝負」という趣があり、私にはそれがとても新鮮で魅力的に映りました。何のお役にも立てなかった私ですが、そのことを経験できただけでも意義のある 2 年間であったと思います。これからも茨城県高文連将棋部会の益々のご発展をお祈りいたします。

将棋部会 40 周年を祝して



前 茨城県高等学校文化連盟会長

平野 厚

(前茨城県立勝田高等学校長)

将棋部会設立 40 周年おめでとうございます。

将棋部会は、昭和 62 年 6 月の茨城県高等学校文化連盟の発足当初から加盟していただいている、強固な組織力と旺盛な実行力を誇る茨高文連自慢の部会です。

茨城県高等学校将棋連盟は、昭和 48 年に設立された必修クラブがきっかけとなり、各校に同好会や部が設立されたのを機に、昭和 50 年 11 月に発足したと伺っています。以後、全国高等学校将棋選手権大会へ代表を派遣する茨城県代表決定戦の運営に当たられ、また、各種の代表決定戦や生徒研修会を企画運営するなど、本県高等学校将棋界のまとめ役として、活発に活動してきました。ここに、設立 40 周年の節目に当たり、こうして「茨城県高等学校将棋部会 40 年のあゆみ」を編まれることは、これまでの部会の活動を振り返り、今後の活動を見通すうえで、誠に意義深いことであると思います。

さて、ここ数年の将棋部会の活躍には目を見張るものがあります。平成 24 年度の第 23 回関東高文連将棋専門部選手権大会では、男子個人戦の 2 位と 5 位を獲得しました。さらに、翌年の第 24 回同大会においては、中谷祥也さん（牛久栄進高・当時）が県勢初となる男子個人戦優勝の栄に輝きました。中谷さんは平成 25 年度の第 37 回全国高等学校総合文化祭将棋部門で全国 5 位、第 22 回全国高校文化連盟将棋新人大会で全国 2 位にもなっています。平成 26 年度は第 27 回全国高等学校将棋竜王戦で上村友大さんが全国 3 位になりました。これらのすばらしい活躍は、将棋部会の皆さまがこれまで取り組んでこられた粘り強い取り組みが、見事に花開いたものであると思います。

平成 26 年 7 月には第 38 回全国高等学校総合文化祭茨城大会が開催されました。将棋部会では 7 月 27、28 の両日、茨城県武道館で同大会の将棋部門を運営していただきました。同部門では、県内の将棋部に所属する高校生たちが、部門実行委員として活躍してくれました。生徒たちの元気なあいさつや温かいおもてなし、そして円滑な大会運営など、非常に多くの点で、県外からの参加者や引率の先生方から高い評価をいただきました。

このような将棋部会のすばらしい活躍は、県内各校の将棋部で活動する生徒の皆さんの真摯な取り組みはもちろん、将棋部会の役員の先生方、そして平素より顧問として生徒をご指導いただいている先生方のご尽力の賜物であると思います。ここに改めて各先生方に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

最後になりましたが、将棋部会のますますのご発展をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

将棋部会設立 40 周年に寄せて



公益社団法人 日本将棋連盟会長 谷川 浩 司

関係各位のご尽力のもと茨城県高等学校文化連盟将棋部会が設立 40 周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。40 年もの永きにわたり、将棋を通じた高校生の健全育成に寄与され、確固たる成果を残されてきたその足跡に改めて敬意を表する次第です。近年高校将棋のレベルアップは、男女共に目覚ましいものがあり、日頃の練習と研究の成果を窺い知ることができます。高校生の皆さんには、勝ち負けだけではなく「棋道」の精神から学んだ多くのことを、今後の人生においても活かして頂きたいと願っております。

「将棋」と接することで人生や日々の生活に活かせることは数多くあります。一つ目は、将棋に限らず文化と接することで、人間としての教養と資質を磨くことができ、人間形成に極めて有益であるということです。高い教養と文化意識の向上は、心が豊かになると共に、世界に誇れる人材育成につながると考えております。二つ目は、将棋は厳しい局面でも我慢する心、悔しくても負けを認める心、即ち「忍耐力」を身に付けることができるという点です。社会に出れば、我慢を強いられること、自制心を求められる場面が否応なくあります。その時、将棋によって身に付けた忍耐力が役に立ち、やがて敗戦をも人生の糧にできていることに気が付くことでしょう。三つ目は、礼儀作法が身に付けられるという点です。礼儀や挨拶は、将棋を学ぶ中で自然と身に付けることができ、しかも決して忘れることはありません。将棋で身に付いた礼儀作法が役に立ったという声を聞いた時は何よりも嬉しいものです。

これら以外にも、「集中力がつく」「自ら考え実践する力が身に付く」「相手を思いやる気持ちが芽生える」といった多くのことが将棋を通じて身に付けることができます。「学ぶ」という意識を越え、自然と「身に付く」という点が伝統文化の優れている点と考えます。関係各位には今後共将棋を通じて伝統文化の素晴らしさを伝えて頂き、県内の文化振興につなげて頂ければ何よりです。

最後になりますが、茨城県高等学校文化連盟将棋部会の益々のご発展を心より祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

将棋部会設立 40 周年を祝して



日本将棋連盟茨城県支部連合会 会長 市野塚 耕 三

茨城県高等学校文化連盟将棋部会設立 40 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。貴将棋部会は、昭和 50 年の設立以来、40 年の長きにわたり、教育の一環として、知育・人格の育成を目指し、将棋の普及活動にご尽力なされてこられました。これもひとえに、歴代の部会長並びに役員・生徒の皆様のたゆまぬご努力の賜物であり、深く敬意を表します。

将棋部会では、高校生の各種タイトル戦を開催なさってきました。これらの大会で活躍された熊倉紫野さんが憧れのプロの女流棋士になっておられます。茨城県出身の女流棋士誕生は茨城県の将棋ファンにとって大いに期待されているところでもあります。

また、将棋の対局を通じて「礼に始まり、礼に終わる」礼儀作法が注目されており、改めて将棋の効能が見直されるきっかけになっています。これらの活動による学生たちの成長は、茨城県にとって大きな財産となることを確信しております。

平成 26 年・第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門が、7 月に茨城県で開催されました。我々支部連合会は将棋の普及・発展という目的を持っておりますが、同じ目的を持ち、全国総文祭で将棋の普及・発展のために活動なさった将棋部会役員の方々の姿は我々の励みとなりました。そこで日本将棋連盟茨城県支部連合会も審判員として協力できるところは協力させていただきました。そこで見た全国の学生が対戦している姿には、実行力と決断力、レベルの高い読み、正確さがあり、学生たちの棋力向上には目覚ましいものを感じます。

学生達の活躍は連合会も期待しているところで、これは将棋の文化的な地位を向上させることにつながります。これによって地域社会に寄与して参りたいと思います。

最後になりましたが、これからも茨城県高等学校文化連盟将棋部会の益々のご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

高文連将棋部会の思い出



元 茨城県高等学校文化連盟将棋部会会長 宇野 穰

茨城県高等学校文化連盟将棋部会 40 周年を迎えられ、その「記念誌」を刊行されますことは誠にめでたく、心からお喜び申し上げます。

私が東海高校に移ったとき、前任者の舟橋校長から受け継ぎ、2 年間携わることができました。その間、茨城県水戸市で行われた関東大会、プロ棋士を講師とした研修会、県大会地区大会等幾多の競技大会に恙なくかかわることができましたことは、ひとえに現事務局長の矢須先生や事務局の先生方、また各校の顧問の先生方のご協力の賜物で誠にありがたく感謝申し上げます。

将棋は平安時代には存在していたといえます。江戸時代には将棋の家元が生まれ、庶民にも広まっていました。さらに明治大正昭和と将棋人口は増え、そしていつごろか将棋に纏わる慣用句が生まれました。「王手」、「高飛車」、「待ったなし」、「捨て駒」、「成金」などです。そもそも慣用句は人と人がかかわりをもつて生きていく中でしばしば同じような場面に出会ったときに用いられるものです。

高校生棋士同士の対戦は内に秘められた闘志とは裏腹に、静かで時計を止める音だけが聞こえる戦いでした。勝負がつくと一礼して盤を振り返る様はまさに将棋道でした。「相手が悪手を指すと不機嫌になる。」「相手でも自分でも、どちらかが悪い手を指すと、もっとすごいものを作り出せそうなチャンスがなくなってしまう。」と云ったプロ棋士の思いや「自分のどの駒で相手のどの駒をとるかなど」と考える若い棋士の様は人との対局から生まれる言葉で、観戦する私たちの棋士への魅力となり、それが将棋への関心となっていると思います。

気忙しい世の中になり将棋のゲームソフトが出回り、表に見えないところで一人でできるゲームが増えていると思われれます。しかし人間同士が 1 対 1 で対戦する将棋は観戦者にもこの上ない醍醐味をもたらしてくれます。私が観戦した高校生棋士の静かな対局は本当に見応えがありました。これからもさらに将棋部会が発展されますことを願って筆を止めます。

高文連将棋部の思い出



元 茨城県高等学校文化連盟将棋部会長 佐藤 昌弘

茨城県高等学校文化連盟将棋部設立 40 周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

私は平成 23・24 年度の 2 年間会長を務めさせていただきました。その間、事務局の先生方の献身的な協力により、滞りなく大会運営ができましたことに深く感謝申し上げます。特に、2 年後に第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門が茨城県水戸市で行われるということで、日程調整や会場の準備そして講師の先生方への依頼など大変お世話になりました。

顧みますと、対局場での高校生棋士たちの表情、息遣い、見え隠れする微妙な心理など、近いところで同じ空気を吸いつつ観戦したことが今でも心に残っています。将棋は、右脳と左脳を同時に駆使しながら、戦略的かつ創造的に頭を使うスポーツだと言われます。教えられたことをただ覚えるのではなく、初めて遭遇する問題に対して自力で自分なりの答えを出すという能力が養われます。ある一流棋士が、「将棋には、人生と同じように正解がない」という意味のことを述べていましたが、まさにその通りです。高校生棋士たちもいずれは、自分で考え判断して生きていかなければなりません。正解が決まっていない将棋の実戦で鍛えた脳は、必ずや社会に出てからその真価を発揮するものだと思います。高校生棋士たちの更なる精進を期待します。

最後になりましたが、茨城県高文連将棋部 40 周年を節目に益々の充実・発展を祈念するとともに、大会運営等でお世話になりました関係者の皆様に感謝申し上げ、お祝いの言葉といたします。

栄光の記録

茨城県代表選手と
主要な成績一覧表

平成 17 年から 26 年
10 年間の栄光の選手
平成 27 年度前半

全国高等学校将棋選手権大会茨城県代表記録（春季大会） 男子

回	年度 会場	団体戦		個人戦						備考・結果
		優勝	準優勝	A級優勝者	出身高校	学年	A級準優勝者	出身高校	学年	
12	51 長野	水戸一①	日立一	小川明久	土浦一	1	寒河江和男	大子一	1	
13	52 長野	土浦一①	水戸一	鈴木裕行	古河三	2	小林誠	下館一	1	
14	53 東京	土浦一②	古河三	藤崎正輝	茨城	1	深谷哲郎	緑岡	2	
15	54 東京	日立商①	竜ヶ崎一	田上和久	土浦一	2	小林誠	下館一	3	
16	55 東京	竜ヶ崎一①	日立商	鬼沢昌一	水城	3	西野和志	日立商	3	
17	56 東京	竜ヶ崎一②	日立一	石川歩	江戸川取手	3	久米主税	日立一	3	
18	57 東京	緑岡①	土浦一	石塚努	竜ヶ崎一	3	岡野夏樹	土浦一	3	
19	58 東京	竜ヶ崎一③	日立一	田口拓也	水戸桜ノ牧	1	石川一茂	土浦一	1	
20	59 東京	土浦一③	緑岡	田口拓也	水戸桜ノ牧	2	栗林聡	竜ヶ崎一	3	団体土浦一 全国3位
21	60 兵庫	緑岡②	土浦一	田口拓也	水戸桜ノ牧	3	福島論	古河三	3	団体土浦一全国2位 【石川一茂(3)、 大久保博行(2)、 勝田聡(2)】
22	61 東京	土浦日大①	竜ヶ崎一	中根一男	常総学院	3	石塚晃彦	土浦日大	3	
23	62 東京	土浦日大②	水戸一	勝山良平	水戸一	1	小島雅司	古河三	3	
24	63 岡山	水戸一②	水戸桜ノ牧	小関靖治	境	3	大凶稔	水戸桜ノ牧	2	
25	元 神奈川	水戸一③	水城	菅原伸也	緑岡	1	小机弘泰	竜ヶ崎一	2	
26	2 山形	土浦日大③	水城	篠田哲也	土浦一	3	井上耕史	古河三	3	
27	3 静岡	水戸一①	土浦日大	江面祐一	水海道一	3	和知久仁彦	緑岡	2	
28	4 広島	太田一①	霞ヶ浦	清水俊宏	茨城	2	五反田洋	多賀	1	
29	5 東京	太田一②	水戸一	清水俊宏	茨城	3	五反田洋	多賀	2	
30	6 徳島	太田一③	茨城	五反田洋	多賀	3	磯貝真一	茨城	1	五反田洋全国5位
31	7 新潟	太田一④	水戸一	磯貝真一	茨城	2	丸山裕人	日立一	3	H7より将棋は 全国総文祭に参加
32	8 北海道	太田一⑤	水戸一	前嶋祐介	友部東	2	久保木正人	大洗	3	
33	9 奈良	土浦一④	太田一	前嶋祐介	友部東	3	河野圭	日立一	3	
34	10 鳥取	太田一⑥	水戸一A	佐々木浩	守谷	1	野澤和人	水戸農	2	
35	11 山形	日立一①	水戸一	佐々木浩	守谷	2	今泉英巳	茨城	3	
36	12 静岡	土浦一⑤	日立一	佐々木浩	守谷	3	加藤崇	土浦一	3	
37	13 福岡	水戸一A②	水戸一B	小野瀬走	緑岡	2	橋本峻一	霞ヶ浦	3	
38	14 神奈川	茨城①	土浦一	小野瀬走	緑岡	3	金子和弘	水戸農	3	
39	15 福井	江戸川取手①	土浦一	清水知道	茨城	2	伏見誠一郎	茨城	2	
40	16 徳島	江戸川取手②	茨城	田地規朗	水城	1	大内雅史	土浦一	2	
41	17 青森	江戸川取手③	茨城	田地規朗	水城	2	勝又優	茨城	3	
42	18 京都	土浦一⑥	江戸川取手	田地規朗	水城	3	黒澤一成	佐和	2	
43	19 島根	江戸川取手A④	江戸川取手B	池島純	水戸一	3	黒澤一成	佐和	3	
44	20 群馬	江戸川取手⑤	清真	豊嶋春樹	水戸葵陵	1	幡宮慎太郎	茨城キリスト	2	
45	21 三重	水戸葵陵①	水戸一	幡宮慎太郎	茨城キリスト	3	樫村暢通	茨城	3	
46	22 宮崎	水戸葵陵②	竜ヶ崎一	岡野夏希	下妻一	3	大澤一大	水戸一	3	
47	23 福島	日立一②	竜ヶ崎一	鈴木伸二	茗溪	2	柳沼大輝	竜ヶ崎一	1	この年まで出場 者枠男1女3
48	24 富山	日立一③	水城	鈴木伸二	茗溪	3	川村晃平	古河三	2	男子個人出場枠2 名に変更
49	25 長崎	竜ヶ崎一④	古河三	三村駿	日立一	3	中谷祥也	牛久栄進	2	中谷祥也全国5位
50	26 茨城	江戸川取手⑥	水城	上村友大	太田一	1	三村廉	日立一	1	開催地枠4名出場
				山崎英幸(3位)	翔洋	2	中谷祥也(4位)	牛久栄進	3	
51	27 滋賀	江戸川取手⑦	水戸一	三村廉	日立一	2	上村友大	太田一	2	

※県優勝回数 江戸川取手7回、太田一・土浦一6回、水戸一5回、竜ヶ崎一4回、日立一・土浦日大3回、水戸葵陵・緑岡2回、茨城・日立商1回
丸数字は通算回数

全国高等学校将棋選手権大会茨城県代表記録（春季大会） 女子

回	年度 会場	団体戦		個人戦						備考・結果
		優勝	準優勝	A級優勝者	出身高校	学年	A級準優勝者	出身高校	学年	
12	51 長野	結城二		黒川 美智子	結城二	1	阿部田 好子	結城二	1	結城二全国3位
				飯村 さちよ	結城二	2	須藤 美津枝	結城二	1	
				北嶋 綾子	結城二	1				
13	52 長野	結城二		北嶋 綾子	結城二	2	石島 由子	結城二	2	団体結城二全国優勝【飯村さちよ(3)、北嶋綾子(2)、須藤美津枝(2)】、個人戦で北嶋綾子全国3位、石島由子と須藤美津枝全国5位
				飯村 さちよ	結城二	3	須藤 美津枝	結城二	2	
15	54 東京			高島 可奈子	土浦一	2				高橋可奈子全国4位
17	56 東京			中沢 美智江	古河二	2				
22	61 東京			竹下 めぐみ	土浦日大	1				竹下めぐみ全国3位
23	62 東京	下妻一		古橋 真由美	下妻一	2	鈴木 あゆみ	下妻一	2	下妻一全国3位
				増田 友美	下妻一	2				
24	63 岡山			竹下 めぐみ	土浦日大	3	鈴木 美佐子	水戸三	3	竹下めぐみ全国優勝
26	2 山形			伊藤 朋子	土浦日大					
28	4 広島	竜ヶ崎一		和田 洋子	竜ヶ崎一	2	岡田 真紀子	竜ヶ崎一	2	女子は団体個人両方に出場可能
				信坂 さと子	竜ヶ崎一	2				
31	7 新潟	太田一	石岡一	木村 優子	石岡一	2	小野 晃世	竜ヶ崎一	2	1位木村、2位小野、他の順位は不明、女子は団体個人両方に出場可能
				大里 めぐみ	石岡一	2	小松 崎恵	石岡一	2	
				茂又 亜紀子	太田一	2	諸藤 沙矢加	太田一	3	
				中山 康子	太田一	2				
33	9 奈良			森嶋 純子	水戸一	2				
35	11 山形			栗原 真由子	水戸一	3				
36	12 静岡			泉 對直子	土浦一	1				
37	13 福岡			泉 對直子	土浦一	2				泉對直子全国2位
38	14 神奈川			泉 對直子	土浦一	3				
39	15 福井	水戸一		泉 對貴子	江戸川取手	1	荒張 博子	鉾田一	3	泉對貴子全国5位
40	16 徳島			泉 對貴子	江戸川取手	2	美馬 香織	土浦日大	1	泉對貴子全国5位
41	17 青森			泉 對貴子	江戸川取手	3	美馬 香織	土浦日大	2	泉對貴子全国5位
42	18 京都			美馬 香織	土浦日大	3				
43	19 島根			井上 真奈美	海洋	3	美馬 志織	牛久栄進	1	
44	20 群馬			美馬 志織	牛久栄進	2	中田 彩香	土浦日大	2	
45	21 三重			佐藤 有紗	清真	2	美馬 志織	牛久栄進	3	
				中井川祥子 (3位)	水城	1				
46	22 宮崎			中井川 祥子	水城	2	菊地 馨	竜ヶ崎一	2	
47	23 福島			野口 恵里	古河三	2	鈴木 沙央莉	日立商	2	この年まで出場者枠男1女3
48	24 富山	日立商		黒澤 瞳	土浦一	2				女子個人出場枠2名に変更
49	25 長崎	水戸葵陵	鹿島	岩堀 佳菜	土浦一	1	黒澤 瞳	土浦一	3	開催地枠4名出場
50	26 茨城	鹿島	水戸葵陵	岩堀 佳菜	土浦一	2	足立 美桜	水戸葵陵	3	
				崔 恵仁 (3位)	水戸葵陵	3	佐々木春香 (4位)	大洗	1	
51	27 滋賀	鹿島	水戸葵陵	佐々木 春香	大洗	2	菅谷 莉奈	水戸葵陵	3	3位の小林美咲(葵陵3年)が菅谷に代わり出場

※県優勝回数 結城二・鹿島2回、下妻一・竜ヶ崎一・太田一・水戸一・日立商・水戸葵陵1回

全国高等学校将棋選手権大会茨城県出場記録（茨城県高等学校将棋部会成立以前）

回	年度	会場	団体戦		個人戦				備考・結果			
1	40	東京	土浦一						団体戦は5名 土浦一高は天貝茂樹教諭 私費引率 有志出場			
2	41	東京	土浦一	高萩								
			古河一	境								
			竜ヶ崎一	茨城								
3	42	東京	水戸一	土浦一								
4	43	東京	水戸一	土浦一								
5	44	東京	下館一						ここまで主催は 昭和薬科大学			
6	45	東京			針ヶ谷 輝 夫	竜ヶ崎一	2	南 雲 章	土浦一	2	日本将棋連盟主催 ／関東予選を行う	
7	46	長野									会場が長野県茅野市に移る	
8	47	長野									都道府県予選開始、日 将連県南支部が開催	
9	48	長野			滝 幸 正	日立一	2				滝幸正全国3位	
10	49	長野	日立一	結城二（女）	塚 田 良 夫	下妻一	2					結城二全国4位
					深 松 祐喜子	結城二（女）	3	生 野 恵智子	結城二（女）	2		
					松 本 一六子	結城二（女）	3	藤 井 久 子	結城二（女）	2		
					若 林 美枝子	結城二（女）	3	山 中 京 子	結城二（女）	2		
					根 本 桂 二	下妻一	3					
11	50	長野	日立一	結城二（女）	広 瀬 せ っ	結城二（女）	3				結城二全国3位	

※（女）とあるのは女子出場者、何も書かれていないのは男子。

※平石晴一氏（長期、茨城県南支部長・支部連合会長を務めた）によれば、「第8～11回も県大会は毎年実行できた。上位大会（全国大会・関東予選）に選手を送れなかった年はない」

歴代茨城県高校竜王（夏季大会）

回	年度	A級優勝者	出身高校	学年	A級準優勝者	出身高校	学年	備考・結果
1	S63	勝 山 良 平	水戸一	2	菊 川 崇 一	水戸一	1	
2	元	菊 川 崇 一	水戸一	2	松 本 亮 太	常総学院	2	
3	2	井 上 耕 司	古河三	3	篠 田 哲 也	土浦一	3	
4	3	徳 永 吉 宏	水戸一	1	和 知 久仁彦	緑 岡	2	徳永吉宏全国5位
5	4	徳 永 吉 宏	水戸一	2	清 水 俊 宏	茨 城	2	徳永吉宏全国2位
6	5	清 水 俊 宏	茨 城	3	五反田 洋	多 賀	2	
7	6	五反田 洋	多 賀	3	原 田 慎 一	太田一	2	
8	7	中 島 啓	境	2	磯 貝 真 一	茨 城	2	
9	8	前 嶋 祐 介	友部東	2	久保木 正 人	大 洗	3	
10	9	前 嶋 祐 介	友部東	3	野 澤 和 人	水戸農	1	
11	10	佐々木 浩	守 谷	1	土 屋 元 計	土浦一	2	佐々木浩全国5位
12	11	佐々木 浩	守 谷	2	野 澤 和 人	水戸農	3	
13	12	渡 辺 茂 樹	土浦一	3	今 野 将 生	土浦一	3	
14	13	小野瀬 走	緑 岡	2	高 柳 功	鉦田一	2	泉對直子（土浦一2年）総文祭女子 の部全国2位により推薦
15	14	小野瀬 走	緑 岡	3	泉 對 直 子	土浦一	3	泉對直子（土浦一3年）これまでの 実績により推薦
16	15	佐 藤 信 彦	竜ヶ崎一	3	泉 對 貴 子	江戸川取手	1	
17	16	勝 又 優	茨 城	2	田 地 規 朗	水 城	1	
18	17	田 地 規 朗	水 城	2	勝 又 優	茨 城	3	
19	18	田 地 規 朗	水 城	3	熊 倉 紫 野	古河三	3	
20	19	黒 澤 一 成	佐 和	3	原 昇 平	江戸川取手	1	
21	20	豊 嶋 春 樹	水戸葵陵	1	檜 村 暢 通	茨 城	2	
22	21	豊 嶋 春 樹	水戸葵陵	2	幡 宮 慎太郎	茨城キリスト	3	
23	22	豊 嶋 春 樹	水戸葵陵	3	坂 田 俊 樹	水戸葵陵	3	
24	23	三 村 駿	日立一	1	山 崎 英 幸	明秀日立	1	
25	24	川 村 晃 平	古河三	2	中 谷 祥 也	牛久栄進	1	
26	25	山 崎 英 幸	翔洋	1	川 村 晃 平	古河三	3	
27	26	上 村 友 大	太田一	1	三 村 廉	日立一	1	上村友大全国3位
28	27	上 村 友 大	太田一	2	三 村 廉	日立一	2	上村友大全国2位

秋季大会記録 平成3年度より県秋季大会の開催 全国新人大会出場者 (男子)

年度	全国大会	順位	氏名	出身高校	学年	順位	氏名	出身高校	学年	備考・全国大会結果
2										
3										
4	1回	1	清水俊宏	茨城	2					清水俊宏全国4位
	滋賀県									
5	2回	1	五反田洋	多賀	2	2	丸山裕人	日立一	1	五反田洋全国3位
	埼玉県									
6	3回	1	磯貝真一	茨城	1	2	澤谷悠至	土浦日大	1	この年まで「全国高等学校文化連盟将棋大会」
	神奈川県									
7	4回	1	澤谷悠至	土浦日大	2	2	磯貝真一	茨城	2	この年から「全国高等学校文化連盟将棋新人大会」と改称
	高知県									
8	5回	1	前嶋祐介	友部東	2	2	梅原嘉郎	水戸一	2	
	長野県									
9	6回					2	土屋元計	土浦一	1	
	岩手県	3	野澤和人	水戸農	1					
10	7回	1	土屋元計	土浦一	2	2	今泉英巳	茨城	2	
	愛媛県									
11	8回	1	佐々木浩	守谷	2	2	渡辺茂樹	土浦一	2	
	愛知県									
12	9回					2	小林達朗	水戸一	2	
	大分県	3	小野瀬走	緑岡	1					
13	10回	1	小野瀬走	緑岡	2	2	金子和弘	水戸農	2	小野瀬走全国5位
	大阪府									
14	11回	1	北村守	水戸一	1	2	前島崇宏	水戸一	2	
	千葉県									
15	12回	1	勝又優	茨城	1	2	清水知道	茨城	2	
	広島県									
16	13回					2	佐藤大輔	江戸取	2	
	宮城県	3	藤原直也	江戸取	2					
17	14回	1	田地規朗	水城	2	2	池島純	水戸一	1	
	富山県									
18	15回	1	池島純	水戸一	2	2	稲田裕允	土浦一	2	
	香川県									
19	16回	1	幡宮慎太郎	茨城キリスト	1	2	神藤浩彬	江戸取	1	
	秋田県									
20	17回	1	樫村暢通	茨城	2	2	幡宮慎太郎	茨城キリスト	2	
	岐阜県									
21	18回	1	豊嶋春樹	水戸葵陵	2	2	坂田俊樹	水戸葵陵	2	
	山口県									
22	19回	1	鈴木伸二	茗溪	1	2	任和	土浦一	2	
	栃木県									
23	20回	1	三村駿	日立一	1	2	鈴木伸二	茗溪	2	
	京都府									
24	21回	1	三村駿	日立一	2	2	中谷祥也	牛久栄進	1	
	福岡県									
25	22回	1	中谷祥也	牛久栄進	2	2	山崎英幸	翔洋	1	中谷祥也全国2位
	北海道									
26	23回	1	山崎英幸	翔洋	2	2	大東純	水戸一	1	山崎英幸全国3位
	新潟県	3								

秋季大会記録 平成3年度より県秋季大会の開催 関東大会出場者（男子）

年度	全国大会	順位	氏名	出身高校	学年	順位	氏名	出身高校	学年	備考・全国大会結果
2	1回	1	高村 美臣	土浦日大	2	2	桜田 進介	水戸一	1	桜田進介関東4位
	埼玉県	3	原 健一	水戸一	2	3	門長 英一	古河三	2	
3	2回	1	菊池 達也	太田一	1	2	菊池 貴光	太田一	2	菊池貴光関東3位
	埼玉県	3	和知 久仁彦	緑岡	2	3	石川 暁	土浦日大	2	県別対抗戦優勝
4	3回	1	清水 俊宏	茨城	2	2	佐藤 丈晴	霞ヶ浦	2	佐藤丈晴関東2位
	茨城県	3	徳永 吉宏	水戸一	2	4	益子 亘	水戸一	2	県別対抗戦優勝
5	4回	1	五反田 洋	多賀	2	2	丸山 裕人	日立一	1	
	栃木県	3	原田 慎一	太田一	1	4	出原 洋平	日立一	2	
6	5回	1	磯貝 真一	茨城	1	2	澤谷 悠至	土浦日大	1	
	神奈川県	3	原田 慎一	太田一	2	4	中嶋 啓	境	1	
7	6回	1	澤谷 悠至	土浦日大	2	2	磯貝 真一	茨城	2	
	千葉県	3	河野 圭	日立一	1	4	中嶋 啓	境	2	
8	7回	1	前嶋 祐介	友部東	2	2	梅原 嘉郎	水戸一	2	
	東京都	3	河野 圭	日立一	2	4	久保木 正人	大洗	3	
9	8回	1	飯島 敬康	茨城	3	2	土屋 元計	土浦一	1	
	埼玉県	3	野澤 和人	水戸農	1	4	桑田 健二	太田一	2	
10	9回	1	土屋 元計	土浦一	2	2	今泉 英巳	茨城	2	
	茨城県	3	渡辺 茂樹	土浦一	1	4	市川 和則	霞ヶ浦	3	
11	10回	1	佐々木 浩	守谷	2	2	渡辺 茂樹	土浦一	2	
	群馬県	3	加藤 崇	土浦一	2	4	今野 将生	土浦一	2	
12	11回	1	佐々木 浩	守谷	3	2	小林 達朗	水戸一	2	
	栃木県	3	小野瀬 走	緑岡	1	3	坂内 英彰	土浦一	2	
13	12回	1	小野瀬 走	緑岡	2	2	金子 和弘	水戸農	2	小野瀬走関東5位
	神奈川県	3	佐藤 信彦	竜ヶ崎一	1	4	高嶋 泰夫	土浦一	2	
14	13回	1	北村 守	水戸一	1	2	前島 崇宏	水戸一	2	
	山梨県	3	島田 尚輝	水戸一	2	4	古田土 英明	茨城	1	
15	14回	1	勝又 優	茨城	1	2	清水 知道	茨城	2	
	千葉県	3	斉藤 大貴	竜ヶ崎一	2	4	高濱 慎平	茨城	1	
16	15回	1	田地 規朗	水城	1	2	佐藤 大輔	江戸取	2	
	東京都	3	藤原 直也	江戸取	2	4	柴田 裕紀	太田一	3	
17	16回	1	田地 規朗	水城	2	2	池島 純	水戸一	1	
	埼玉県	3	稲田 裕允	土浦一	1	4	石川 龍太郎	土浦一	2	
18	17回	1	池島 純	水戸一	2	2	稲田 裕允	土浦一	2	
	茨城県	3	戸田 智弘	土浦一	2	4	黒澤 一成	佐和	2	
19	18回	1	幡宮 慎太郎	茨城キリスト	1	2	神藤 浩彬	江戸取	1	幡宮慎太郎関東4位
	群馬県	3	原 昇平	江戸取	1	4	岡野 匠	清真	2	神藤浩彬関東5位
20	19回	1	檜村 暢通	茨城	2	2	幡宮 慎太郎	茨城キリスト	2	
	神奈川県	3	豊嶋 春樹	水戸葵陵	1	4	原 昇平	江戸取	2	
21	20回	1	豊嶋 春樹	水戸葵陵	2	2	坂田 俊樹	水戸葵陵	2	
	栃木県	3	高橋 和樹	土浦一	2	4	岡野 夏希	下妻一	2	
22	21回	1	鈴木 伸二	茗溪	1	2	任 和	土浦一	2	
	山梨県	3	鈴木 春彦	日立一	1	4	一毛 康平	茨城	1	
23	22回	1	三村 駿	日立一	1	2	鈴木 伸二	茗溪	2	三村駿関東5位
	千葉県	3	川村 晃平	古河三	1	4	高安 純	鹿島	1	
24	23回	1	三村 駿	日立一	2	2	中谷 祥也	牛久栄進	1	三村駿関東2位
	東京都	3	田代 雄太郎	江戸取	2	4	高安 純	鹿島	2	中谷祥也関東5位
25	24回	1	中谷 祥也	牛久栄進	2	2	山崎 英幸	翔洋	1	中谷祥也関東優勝
	茨城県	3	辻 聡智	竜ヶ崎一	1	4	藤巻 智行	江戸取	1	
26	25回	1	山崎 英幸	翔洋	2	2	大東 純	水戸一	1	上村友大関東5位
	埼玉県	3	上村 友大	太田一	1	4	三村 廉	日立一	1	

秋季大会記録 平成3年度より県秋季大会の開催 全国新人大会出場者（女子）

年度	全国大会	順位	氏名	出身高校	学年	順位	氏名	出身高校	学年	備考・全国大会結果
6	3回	1	諸 藤 沙矢加	太田一	2	2	大 森 明 子	日立商	1	この年まで「全国高等学校文化連盟将棋大会」
	神奈川県	3	中 山 康 子	太田一	1	4	砂 道 香 織	竜ヶ崎一	1	
7	4回	1	高 橋 まりも	古河三	1					この年から「全国高等学校文化連盟将棋新人大会」と改称
	高知県					4	安 喰 聖 恵	古河三	1	
12	9回	1	泉 對 直 子	土浦一	1					泉對直子全国2位
	大分県									スイス式7回戦
13	10回	1	泉 對 直 子	土浦一	2					泉對直子全国3位
	大阪府									
14	11回	1	萩野谷 早 紀	水戸一	1	2	萩 谷 友 美	水戸一	1	
	千葉県	3	秋 山 沙 織	水戸一	1					
15	12回	1	泉 對 貴 子	江戸川取手	1					泉對貴子全国5位
	広島県									
16	13回	1	泉 對 貴 子	江戸川取手	2	2	美 馬 香 織	土浦日大	1	
	宮城県									
17	14回	1	美 馬 香 織	土浦日大	2	2				
	富山県									
20	17回	1	美 馬 志 織	牛久栄進	3	2	佐 藤 有 紗	清真	1	
	岐阜県	3	小 菅 理 奈	水戸葵陵	1					
21	18回	1	佐 藤 有 紗	清真	2	2	中井川 祥 子	水城	1	
	山口県	3	菊 地 馨	竜ヶ崎一	1	4	藤 澤 玲 奈	清真	2	
22	19回	1	中井川 祥 子	水城	2	2	鈴 木 彩 花	古河三	2	
	栃木県	3	菊 地 馨	竜ヶ崎一	2	4	松 井 優 美	竜ヶ崎一	2	
23	20回	1	黒 澤 瞳	土浦一	1	2	野 口 恵 里	古河三	2	
	京都府	3	梶 山 美 希	日立商	1	4	鈴 木 沙央莉	日立商	2	
24	21回	1	黒 澤 瞳	土浦一	2	2	崔 恵 仁	水戸葵陵	1	
	福岡県	3	足 立 美 桜	水戸葵陵	1	4	若 奈 都 美	水戸葵陵	1	
25	22回	1	岩 堀 佳 菜	土浦一	1	2	足 立 美 桜	水戸葵陵	2	
	北海道	3	崔 恵 仁	水戸葵陵	2	4	笠 野 里 緒	鹿島	1	
26	23回	1	岩 堀 佳 菜	土浦一	2	2	笠 野 里 緒	鹿島	2	岩堀佳菜全国5位
	新潟県	3	笠 井 玲 奈	鹿島	2	4	保 立 祐 希	鹿島	2	

秋季大会記録 平成3年度より県秋季大会の開催 関東大会出場者（女子）

年度	全国大会	順位	氏名	出身高校	学年	順位	氏名	出身高校	学年	備考・全国大会結果
6	5回	1	諸 藤 沙矢加	太田一	2	2	大 森 明 子	日立商	1	
	神奈川県	3	中 山 康 子	太田一	1	4	砂 道 香 織	竜ヶ崎一	1	
7	6回	1	高 橋 まりも	古河三	1	2	中 山 康 子	太田一	2	関東大会参加辞退
	千葉県	3	大 里 めぐみ	石岡一	2	4	安 喰 聖 恵	古河三	1	
8	7回	1	森 嶋 純 子	水戸一	1	2	高 橋 まりも	古河三	2	関東大会参加辞退
	東京都	3	茂 田 朋 子	古河三	2	4	野 内 真理子	水戸一	1	
9	8回	1	森 嶋 純 子	水戸一	2	2	中 村 美由紀	水戸一	2	関東大会参加辞退
	埼玉県	3	野 内 真理子	水戸一	2	4	杉 川 由香利	水戸一	2	
11	10回	1	佐 川 由 起	土浦一	1					
	群馬県									
12	11回	1	泉 對 直 子	土浦一	1	2	松 嶋 美 恵	中 央	2	泉對直子関東2位
	栃木県	3	川 澄 尚 美	中 央	2					
13	12回	1	泉 對 直 子	土浦一	2					泉對直子関東6位
	神奈川県									
14	13回	1	萩野谷 早 紀	水戸一	1	2	萩 谷 友 美	水戸一	1	
	山梨県									
15	14回	1	泉 對 貴 子	江戸川取手	1					泉對貴子関東優勝
	千葉県									
16	15回	1	泉 對 貴 子	江戸川取手	2	2	美 馬 香 織	土浦日大	1	泉對貴子関東優勝
	東京都									
17	16回	1	美 馬 香 織	土浦日大	2	2				美馬香織関東5位
	埼玉県									
18	17回	1	中 田 彩 香	土浦日大	1	2				
	茨城県									
19	18回	1	井 上 真奈美	海洋	3	2	美 馬 志 織	牛久栄進	1	井上真奈美関東5位
	群馬県	3	中 田 彩 香	土浦日大	2					
20	19回	1	美 馬 志 織	牛久栄進	2	2	佐 藤 有 紗	清真	1	
	神奈川県	3	小 菅 理 奈	水戸葵陵	1					
21	20回	1	佐 藤 有 紗	清真	2	2	中井川 祥 子	水城	1	
	栃木県	3	菊 地 馨	竜ヶ崎一	1	4	藤 澤 玲 奈	清真	2	
22	21回	1	中井川 祥 子	水城	2	2	鈴 木 彩 花	古河三	2	
	山梨県	3	菊 地 馨	竜ヶ崎一	2	4	松 井 優 美	竜ヶ崎一	2	
23	22回	1	黒 澤 瞳	土浦一	1	2	野 口 恵 里	古河三	2	黒澤瞳関東5位
	千葉県	3	梶 山 美 希	日立商	1	4	鈴 木 沙央莉	日立商	2	
24	23回	1	黒 澤 瞳	土浦一	2	2	崔 惠 仁	水戸葵陵	1	
	東京都	3	足 立 美 桜	水戸葵陵	1	4	若 奈 都 美	水戸葵陵	1	
25	24回	1	岩 堀 佳 菜	土浦一	1	2	足 立 美 桜	水戸葵陵	2	
	茨城県	3	崔 惠 仁	水戸葵陵	2	4	笠 野 里 緒	鹿島	1	
26	25回	1	岩 堀 佳 菜	土浦一	2	2	笠 野 里 緒	鹿島	2	岩堀佳菜関東5位
	埼玉県	3	笠 井 玲 奈	鹿島	2	4	保 立 祐 希	鹿島	2	

平成 17 (2005) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 17 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	舟橋 正隆 (日立一)	書記	鷺見 芳樹 (江戸取)
副会長	植田 泰史 (水戸一)	会計	横山 昭彦 (日立工)
同	藤崎 正輝 (水戸農)	監査	笹島 三郎 (茨城)
事務局	青木 睦人 (日立一)	同	江幡 収一 (霞ヶ浦)
同 (春季)	青木 睦人 (日立一)		
同 (竜王)	藤崎 正輝 (水戸農)		
同 (秋季)	矢須 雅進 (竜崎一)		

○平成 17 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校 (20 校)

日立一	日立工	日立商	太田一	水戸一	緑岡	水戸農	海洋
土浦一	竜崎一	取手二	下館一	古河三	境	茨城	水城
霞ヶ浦	土浦日大	東洋大牛久		江戸川学園取手			

○春季大会

平成 17 年 5 月 8 日 (日) ~ 9 日 (月) に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 9 校 11 チーム、B 級 7 校 10 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 26 名、男子個人戦 B 参加申込者は 63 名、女子個人戦参加申込者は 2 名、総勢 18 校 92 名 (91 名に熊倉紫野を加える) であった。男子団体戦は江戸川学園取手高校 (佐藤大輔 3 年・谷本尚登 3 年・藤原直也 3 年)、男子個人戦 A 級は田地規朗 (水城 2 年)、女子個人戦は泉對貴子 (江戸取 3 年・優勝)・美馬香織 (土日大 2 年・2 位) が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級 (県代表決定戦・トーナメント)

優勝 江戸川学園取手 A

2 位 茨城

3 位 水城

3 位 太田一

・団体戦 B 級 (トーナメント)

①江戸取 A ②江戸取 B ③土浦一 B ④竜崎一

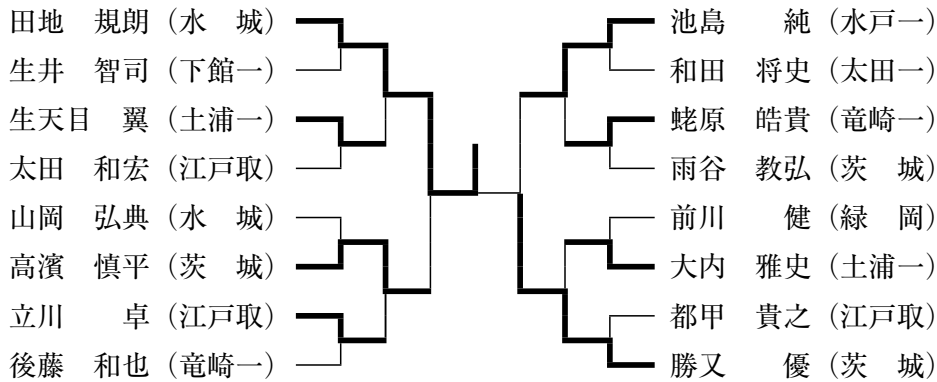
・団体戦 C 級 (男子団体 A 敗者戦)

①土浦一 A ②江戸取

・団体戦 D 級 (男子団体 B 敗者戦)

①土浦一 ②太田一

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦

優勝 泉對 貴子（江戸取）、2位 美馬 香織（土日大）

・個人戦B級1組（トーナメント）

優勝 植木 俊一（竜崎一）、2位 坂上 大希（緑 岡）、
3位 星出 裕之（竜崎一）、荒瀬 貴裕（土浦一）

・個人戦B級2組（トーナメント）

優勝 稲田 裕允、2位 中村 信吾（土浦一）、
3位 石川龍太郎（土浦一）、桜井 大樹（竜崎一）

・個人戦C級（男子A級敗者に女子の部出場者2名と熊倉紫野を加える）

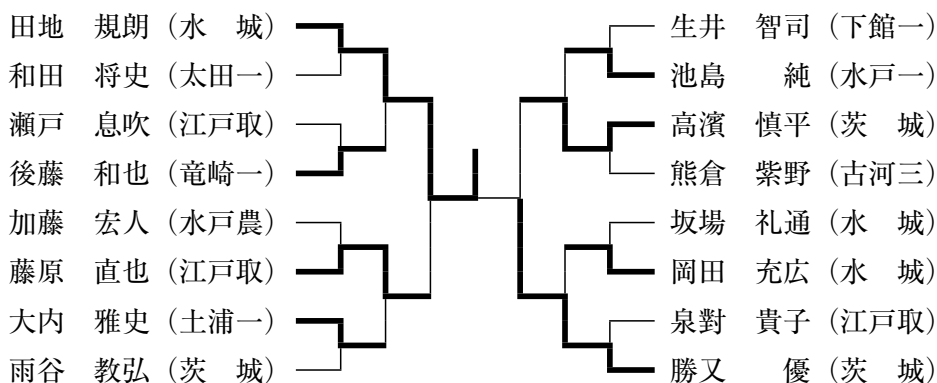
優勝 熊倉 紫野（古河三）、2位 坂場 礼通（水城）

○夏季大会（第18回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成17年6月7日（火）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加者は103名で、女子参加者は2名、総勢18校105名であった。級別ではA級24名、B級54名、C級27名である。A級は田地規朗（水城2年）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

・A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



・B級1組（トーナメント、男女混合、）

優勝 岩井 道信（江戸取）、2位 新井 諒（太田一）、
3位 太田 和宏（江戸取）、稲田 裕允（土浦一）

・B級2組（トーナメント、男女混合、）

優勝 黒澤 一成（佐 和）、2位 岡部 和宏（取手二）、

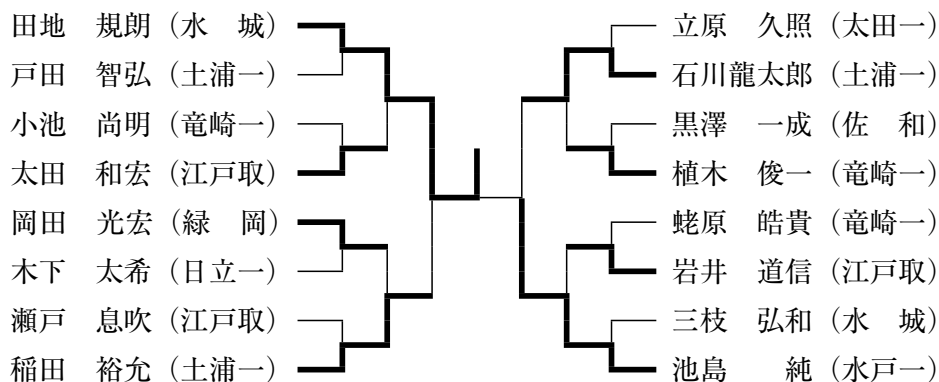
- 3位 笠原 知人（江戸取）、坏 和貴（取手二）
- ・ C級（初心者戦、トーナメント、男女混合、）
 - 優勝 佐久間和哉（土日大）、2位 染野 翔太（古河三）、
 - 3位 大関 泰広（土日大）、松田 翔風（土日大）
- ・ D級（A級敗者戦）
 - 優勝 熊倉 紫野（古河三）、2位 生天目 翼（土浦一）
- ・ E級1組（B級1組敗者戦）
 - 優勝 寺田 篤史（竜崎一）、2位 荒瀬 貴裕（土浦一）
- ・ E級2組（B級2組敗者戦）
 - 優勝 都甲 貴之（江戸取）、2位 立原 久照（太田一）
- ・ F級（C級敗者戦）
 - 優勝 長島 洋介（東洋牛）、2位 稲田 大輝（土日大）

○秋季大会

平成17年11月15日（火）に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は64名、女子参加申込者は1名、総勢15校65名であった。男子の級別ではA級17名、B級47名である。男子A級上位4名【田地規朗（水城2年・優勝）・池島純（水戸一1年・2位）・稲田裕允（土浦一1年・3位）・石川龍太郎（土浦一2年・4位）】と女子1名【美馬香織（土日大2年）】は関東大会への出場権を得、男子上位2名（田地と池島）と女子1名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。しかし、田地は所属校の校内規定により全国新人大会は出場辞退したため、池島と稲田が全国新人大会に出場した。

○秋季大会試合結果

- ・男子A級のトーナメント表（秋季大会ベスト16より）



- ・女子
 - 優勝 美馬香織
- ・ B級1組（トーナメント、23名参加）
 - 優勝 田島 晴記（江戸取）、2位 佐藤 祐輔（太田一）、
 - 3位 笠原 知人（江戸取）、松田 翔風（土日大）
- ・ B級2組（トーナメント、24名参加）
 - 優勝 都甲 貴之（江戸取）、2位 大和田賢良（土日大）、
 - 3位 横田 和幸（東洋牛）、尾崎 健太（境）
- ・ C級（A級敗者戦）

- 優勝 瀬戸 息吹（江戸取）、2位 黒澤 一成（佐 和）
 ・D級（B級1組敗者戦）
 優勝 中村 信吾（土浦一）、2位 山口 創司（江戸取）
 ・D級（B級2組敗者戦）
 優勝 豊田 聡志（水 城）、2位 明嵐 和俊（土浦一）

◎第29回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第41回全国高等学校将棋選手権大会）

平成17年7月28日（木）～29日（金）に青森県三沢市の古牧温泉で行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子団体	江戸川学園取手高校	予選敗退
男子個人	田地 規朗（水城2年）	予選敗退
女子個人	泉對 貴子（江戸取3年）	5位
同	美馬 香織（土日大2年）	ベスト16

◎第18回全国高等学校将棋竜王戦

平成17年8月18日（木）～19日（金）に福岡県太宰府市の第一経済大学で行われた。本県代表の田地規朗（水城2年）は予選で敗退した。

◎第16回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成17年12月18日（日）に埼玉県さいたま市の大宮ソニック・市民ホールで行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子	田地 規朗（水城2年）	2回戦敗退
同	池島 純（水戸一1年）	2回戦敗退
同	稲田 裕允（土浦一1年）	敗退
同	石川龍太郎（土浦一2年）	敗退
女子	美馬 香織（土日大2年）	5位

◎第14回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成17年1月26日（木）～28日（土）に富山県富山市の名鉄富山ホテルで行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子	池島 純（水戸一1年）	予選敗退
同	稲田 裕允（土浦一1年）	予選敗退
同	石川龍太郎（土浦一2年）	予選敗退
女子	美馬 香織（土日大2年）	本戦トーナメント進出

平成 18 (2006) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 18 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	宇野 穰 (東海)	会計	横山 昭彦 (日立工)
副会長	青木 睦人 (日立一)	書記	鷺見 芳樹 (江戸取)
同	藤崎 正輝 (水戸農)	監査	会沢 力 (水戸一)
事務局	矢須 雅進 (竜崎一)	同	飯島 良夫 (土浦一)
同 (春季)	矢須 雅進 (竜崎一)		
同 (竜王)	藤崎 正輝 (水戸農)		
同 (県総)	矢須 雅進 (竜崎一)		
同 (秋季)	青木 睦人 (日立一)		

○平成 18 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校 (21 校)

日立一	日立工	太田一	水戸一	緑岡	水戸農	海洋	佐和
銚田一	土浦一	竜崎一	下館一	古河三	下妻一	境	茨城
水城	霞ヶ浦	土浦日大	東洋大牛久		江戸川学園取手		

○春季大会

平成 18 年 5 月 7 日 (日) ~ 8 日 (月) に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 6 校 7 チーム、B 級 7 校 10 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 16 名、男子個人戦 B 参加申込者は 67 名、女子個人戦参加申込者は 1 名、総勢 17 校 87 名であった。男子団体戦は土浦第一高校 (稲田裕允 2 年・石川龍太郎 3 年・戸田智弘 2 年)、男子個人戦 A 級は田地規朗 (水城 3 年)、女子個人戦は美馬香織 (土浦日大 3 年) が優勝し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級 (県代表決定戦・A と B 2 つのリーグ戦をして 1 位どうして決勝戦を行う)

優勝 土浦第一高校

2 位 江戸川学園取手高校 B

3 位 江戸川学園取手高校 A・茨城 (A B 2 つのリーグ戦でのそれぞれの 2 位)

・団体戦 B 級 (トーナメント)

①土浦一 A ②江戸取 ③土日大 A ④土日大 B

・団体戦 C 級 (男子団体 B 敗者戦)

①太田一 ②土日大 C

- ・ B級1組（トーナメント、男女混合、16名参加）
優勝 伊勢 二郎（東洋牛）、2位 松田 翔風（土日大）、
3位 横田 和幸（東洋牛）、立原 龍太郎（太田一）
- ・ B級2組（トーナメント、男女混合、18名参加）
優勝 中村 信吾（土浦一）、2位 本橋 拓也（緑 岡）、
3位 植木 俊一（竜崎一）、高橋 優人（土日大）
- ・ C級（初心者戦、トーナメント）
優勝 石井 健知（水戸一）、2位 上田 智大（水戸一）、
3位 代々木大栄（水戸一）、橋田 知明（水戸一）
- ・ D級（A級敗者戦）
優勝 大和田賢良（土日大）、2位 石川龍太郎（土浦一）
- ・ E級1組（B級敗者戦）
優勝 佐藤 友規（日立一）、2位 松原 央樹（土日大）
- ・ E級2組（B級敗者戦）
優勝 大橋 政文（鹿島灘）、2位 長島 洋介（東洋牛）
- ・ F級（C級敗者戦）
優勝 西崎 正成（水戸一）、2位 飛田 知央（竜崎一）

○まなびピアいばらき 2006（高校生文化の祭典 - 第1回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会 -）

平成18年10月6日（金）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加者は33名、女子参加者は0名、総勢11校33名であった。対局と一部並行して窪田義行五段の指導対局を行い、終了後に講演を行った。対局は有段者のA級リーグと級位者のB級リーグに分かれて、スイス式トーナメント方式で実施した。茨城県の高校生の試合に導入したのはこの大会が初めてである。スイス式トーナメント方式（Swiss style tournament）とは、近いレベルの競技者どうしの対戦が増えるような組み合わせ方式によって、総当たり戦に比べて少ない試合数においてもある程度の順位の正当性を持たせたり、実力に差がある場合に生じやすい一方的な試合を減らすことが期待できる方式である。反面、前の回戦の全ての試合が終了するまで次の対戦相手が分からず、また判定・組合せ決定に手間がかかり、対局者のポイント（勝数等）によって順位が変動するため、上位大会への出場権がかかるときの対局者決定には細心の注意を要するという問題点がある。しかし、今年度の第30回全国高等学校総合文化祭将棋部門以降はこの方式の採用が決まっており、今後、茨城県の選手が初めてこの方式を見て不利にならないように慣れる必要があるという判断の下、この方式を導入した。

○まなびピアいばらき 2006（第1回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会）試合結果

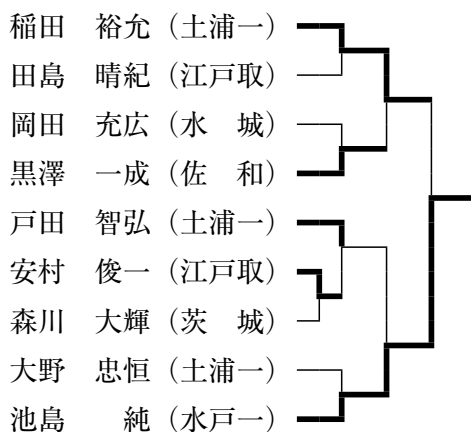
- ・ A級（スイス式トーナメント方式3回戦、8名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 稲田 裕允（土浦一）、2位 松田 翔風（土日大）、3位 黒澤 一成（佐 和）
4位 池島 純（水戸一）
- ・ B級（スイス式トーナメント方式5回戦、25名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 中村 信吾（土浦一）、2位 横田 和幸（東洋牛）、3位 大野 忠恒（土浦一）
4位 根本 輝男（海 洋）、5位 高橋 昌之（土日大）

○秋季大会

平成18年11月14日(火)に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は53名、女子参加申込者は1名、総勢17校54名であった。男子の級別ではA級11名、B級42名である。男子A級上位4名【池島純(水戸一2年・優勝)・稲田裕允(土浦一2年・2位)・戸田智弘(土浦一2年・3位)・黒澤一成(佐和2年・4位)】と女子1名【中田彩香(土日大1年)】は関東大会への出場権を得、男子上位2名(池島と稲田)と女子は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。しかし、女子は私事都合により全国新人大会出場を辞退した。

○秋季大会試合結果

・男子A級のトーナメント表



・女子

優勝 中田彩香(土日大)

・B級1組(スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで)

優勝 伊勢 二郎(東洋牛)、2位 高橋 雄大(江戸取)、3位 園部 宗俊(茨 城)

・B級2組(スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで)

優勝 中村 信吾(土浦一)、2位 上妻 和弘(日立一)、3位 中村 裕也(土浦一)
4位 上田 智大(水戸一)

・C級(A級敗者戦)

優勝 森川 大輝(茨 城)、8位 田島 晴紀(江戸取)

◎第30回全国高等学校総合文化祭将棋部門(第42回全国高等学校将棋選手権大会)

平成18年8月2日(水)～3日(木)に京都府京都市の京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館)で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子団体	土浦第一高校	予選敗退
男子個人	田地 規朗(水城3年)	予選敗退
女子個人	美馬 香織(土浦日大3年)	予選敗退

◎第19回全国高等学校将棋竜王戦

平成18年8月22日(火)～23日(水)に福岡県太宰府市の第一経済大学で行われた。本県代表の田地規朗(水城3年)は本戦トーナメントに進出した。

◎第 17 回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成 18 年 12 月 17 日（日）に茨城県水戸市の水戸市民会館で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。前日 16 日には会場作成を行った。この大会では当時、古河三高 3 年生の熊倉紫野が指導対局を行った。熊倉は平成 19 年 4 月 1 日付けで女流棋士 2 級になった。また、後にいばらき総文 2014 で審判をつとめる美馬和夫氏、浜真之氏も指導対局を行った。

男子	池島 純（水戸一 2 年）	敗退
同	稲田 裕允（土浦一 2 年）	敗退
同	戸田 智弘（土浦一 2 年）	敗退
同	黒澤 一成（佐和 2 年）	敗退
女子	中田 彩香（土日大 1 年）	敗退

◎第 15 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成 19 年 2 月 1 日（木）～ 3 日（土）に香川県仲多度郡琴平町の琴参閣で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子	池島 純（水戸一 2 年）	予選敗退
同	稲田 裕允（土浦一 2 年）	予選敗退
女子	不参加	

平成 19 (2007) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 19 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	宇野 穰（東海）	会計	横山 昭彦（日立工）
副会長	青木 睦人（日立一）	書記	鷺見 芳樹（江戸取）
同	藤崎 正輝（水戸農）	監査	会沢 力（水戸一）
事務局	矢須 雅進（竜崎一）	同	飯島 良夫（土浦一）
同（春季）	矢須 雅進（竜崎一）		
同（竜王）	藤崎 正輝（水戸農）		
同（県総）	矢須 雅進（竜崎一）		
同（秋季）	青木 睦人（日立一）		

○平成 19 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校（24 校）

日立一	日立工	太田一	水戸一	緑岡	水戸農	海洋	佐和
銚田一	土浦一	竜崎一	牛久栄進	下館一	古河三	下妻一	境
鹿島灘	茨城キリスト教	茨城	水城	清真	土浦日大		
東洋大牛久		江戸川学園取手					

○春季大会

平成 19 年 5 月 11 日（金）～ 12 日（土）に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 6 校 7 チーム、B 級 9 校 19 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 18 名、男子個人戦 B 参加申込者は 76 名、女子個人戦参加申込者は 2 名、総勢 19 校 96 名であった。男子団体戦は江戸川学園取手高校（田島晴紀 3 年・原昇平 1 年・安村俊一 3 年）、男子個人戦 A 級は池島純（水戸一 3 年）、女子個人戦は井上真奈美（海洋 3 年・優勝）・美馬志織（牛久栄進 1 年・2 位）が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級（県代表決定戦・A と B 2 つのリーグ戦をして 1 位どうしで決勝戦を行う）

優勝 江戸川学園取手 A

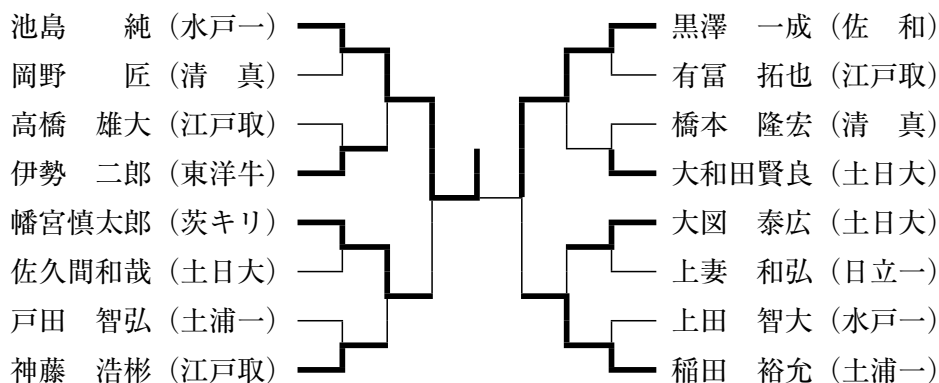
2 位 江戸川学園取手 B

3 位 水戸一・土浦一（A B 2 つのリーグ戦でのそれぞれの 2 位）

・団体戦 B 級（スイス式トーナメント方式 5 回戦、男女混合、入賞者 = 1 敗者まで）

①東洋牛 A ②土浦一 A ③土浦一 B ④土日大 C

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦（県代表決定戦）

優勝 井上真奈美 (海洋)、2位 美馬 志織 (牛栄進)

・個人戦B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、入賞者=1敗者まで）

優勝 中川 裕也 (土浦一)、2位 菊池 将広 (水城)、3位 高橋 優人 (土日大)
4位 竹林 司 (江戸取)、5位 城下 愛門 (土浦一)、6位 長島 洋介 (東洋牛)

・個人戦B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、入賞者=1敗者まで）

優勝 藤田 直哉 (水戸一)、2位 大川賢志郎 (竜崎一)、3位 中村 恭 (土浦一)
4位 横田 和幸 (東洋牛)、5位 山脇 和馬 (土浦一)

・個人戦C級（男子A級敗者戦）

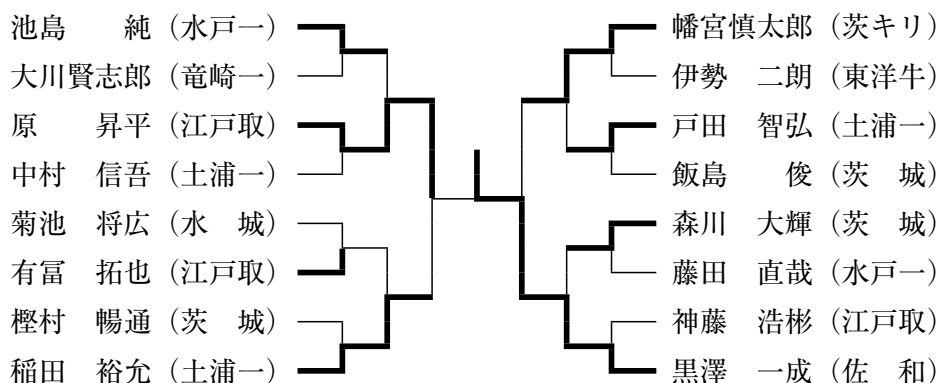
優勝 有富 拓也 (江戸取)、2位 橋本 隆宏 (清真)

○夏季大会（第20回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成19年6月5日（火）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加者は95名で、女子参加者は1名、総勢20校96名であった。級別ではA級16名、B級46名、C級34名である。A級は黒澤一成（佐和3年）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

・A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



・B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 中村 恭 (土浦一)、2位 岡野 匠 (清真)、3位 松田 翔風 (土日大)
4位 竹林 司 (江戸取)

・B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 大野 忠恒 (土浦一)、2位 中村 裕也 (土浦一)、3位 園部 宗俊 (茨城)

- 3位 市毛 裕之 (茨城)、5位 橋本 隆宏 (清真)
- ・C級1組 (初心者戦、スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで)
優勝 大部 翔 (日立工)、2位 内野 健太 (清真)、3位 住谷 弘樹 (水城)
- ・C級2組 (初心者戦、スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで)
優勝 額賀 俊成 (土日大)、2位 邊田 拓人 (鹿島灘)、3位 横田 篤典 (竜崎一)

○第2回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会

平成19年9月19日(水)に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加者は56名、女子参加者は2名、総勢15校58名であった。

○茨城県高等学校総合文化祭将棋大会試合結果

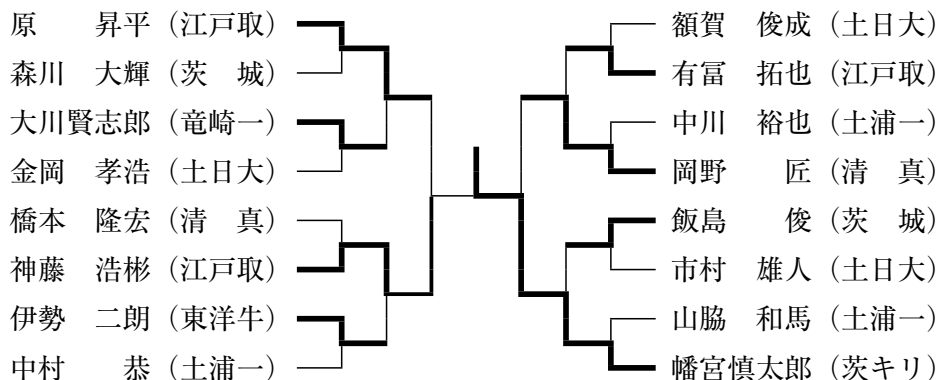
- ・A級 (スイス式トーナメント方式5回戦、8名参加申込、入賞者)
優勝 伊勢 二郎 (東洋牛)、2位 中村 恭 (土浦一)、3位 岡野 匠 (清真)
- ・B級1組 (スイス式トーナメント方式5回戦、24名参加、入賞者=1敗者まで)
優勝 金岡 孝浩 (土日大)、2位 菊池 将大 (水城)、3位 額賀 俊成 (土日大)
4位 照山 敦史 (日立一)、5位 富田 崇之 (水城)
- ・B級2組 (スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加、入賞者=1敗者まで)
優勝 市村 雄人 (土日大)、2位 岡島 亮 (水城)、3位 代々木大栄 (水戸一)
4位 粉川 豊 (水城)、5位 磯崎 充宏 (水城)

○秋季大会

平成19年11月13日(火)に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は71名、女子参加申込者は3名、総勢15校74名であった。男子の級別ではA級16名、B級55名である。男子A級上位4名【幡宮慎太郎(茨キリ1年・優勝)・神藤浩彬(江戸取1年・2位)・原昇平(江戸取1年・3位)・岡野匠(清真2年)・4位】と女子3名【井上真奈美(海洋3年・優勝)・美馬志織(牛栄進)1年・2位)・中田彩香(土日大)2年・3位】は関東大会への出場権を得、男子上位2名(幡宮と神藤)と女子2名(美馬と中田)は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。しかし、全国新人大会は女子が全員不参加となった。また、高等学校文化連盟全国将棋専門部と日本将棋連盟との協定に基づく高等学校文化連盟棋士派遣事業により、岡崎洋六段が派遣され、高校生たちはその指導を受けた。

○秋季大会試合結果

- ・男子A級のトーナメント表 (秋季大会ベスト16より)



- ・女子（総当たり）
優勝 井上真奈美（海 洋）、2位 美馬 志織（牛栄進）、3位 中田 彩香（土日大）
- ・B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 小沼 拓央（茨 城）、2位 竹林 司（江戸取）、3位 菊池 将大（水 城）
4位 内野 健太（清 真）、5位 小野 太一（水戸一）
- ・B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、24名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 檜村 暢通（茨 城）、2位 川又 一平（水戸一）、3位 唐澤 啓（江戸取）
4位 岡島 亮（水 城）
- ・C級（A級敗者戦）
優勝 中川 裕也（土浦一）、2位 中村 恭（土浦一）

◎第31回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第43回全国高等学校将棋選手権大会）

平成19年7月29日（日）～30日（月）に鳥根県出雲市のウェルシティ鳥根（鳥根厚生年金会館）で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子団体	江戸川学園取手高校	予選敗退
男子個人	池島 純（水戸一3年）	予選敗退
女子個人	井上真奈美（海洋3年）	予選敗退
同	美馬 志織（牛栄進1年）	予選敗退

◎第20回全国高等学校将棋竜王戦

平成19年8月21日（火）～22日（水）に福岡県太宰府市の第一経済大学（都築貞枝記念体育館）で行われた。本県代表の黒澤一成（佐和3年）は予選で敗退した。

◎第18回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成19年12月23日（日）に群馬県前橋市の群馬県生涯学習センターで行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。男子都県別対抗戦では2位であった。

男子	幡宮慎太郎（茨キリ1年）	4位
同	神藤 浩彬（江戸取1年）	5位
同	原 昇平（江戸取1年）	敗退
同	岡野 匠（清真2年）	敗退
女子	井上真奈美（海洋3年）	5位
同	美馬 志織（牛栄進1年）	敗退
同	中田 彩香（土浦日2年）	敗退

◎第16回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成20年1月24日（木）～26日（土）に秋田県仙北市のプラザホテル山麓荘で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子	幡宮慎太郎（茨キリ1年）	予選敗退
	神藤 浩彬（江戸取1年）	予選敗退
女子	不参加	

平成 20 (2008) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 20 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	桐原 幸一（東海）	書記	矢須 雅進（竜崎一）
副会長	宮田 公人（太田二）	会計	横山 昭彦（日立工）
同	青木 睦人（日立一）	監査	会沢 力（水戸一）
事務局	藤崎 正輝（水戸農）	同	飯島 良夫（土浦一）
同	矢須 雅進（竜崎一）		
同（春季）	青木 睦人（日立一）		
同（竜王）	藤崎 正輝（水戸農）		
同（県総）	藤崎 正輝（水戸農）		
同（秋季）	矢須 雅進（竜崎一）		

○平成 20 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校（23 校）

日立一 日立工 太田一 水戸一 緑岡 水戸農 海洋 銚田一
土浦一 竜崎一 牛久栄進 竹園 古河三 下妻一 境 茨城キリスト教
茨城 水城 水戸葵陵 清真 土浦日大 東洋大牛久
江戸川学園取手

○春季大会

平成 20 年 5 月 9 日（金）～ 10 日（土）に水戸一高知会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 6 校 8 チーム、B 級 9 校 16 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 19 名、男子個人戦 B 参加申込者は 62 名、女子個人戦参加申込者は 3 名、総勢 16 校 84 名であった。男子団体戦は江戸川学園取手高校（原昇平 2 年・有富拓也 2 年・神藤浩彬 2 年）、男子個人戦 A 級は豊嶋春樹（水葵陵 1 年）、女子個人戦は美馬志織（牛久栄進 2 年・優勝）・中田彩香（土浦日 3 年・2 位）・関恵理子（日立一 1 年・3 位）が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。しかし、女子 3 位は出場辞退した。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級（県代表決定戦・A と B 2 つのリーグ戦をして 1 位どうしで決勝戦を行う）

優勝 江戸川学園取手 A

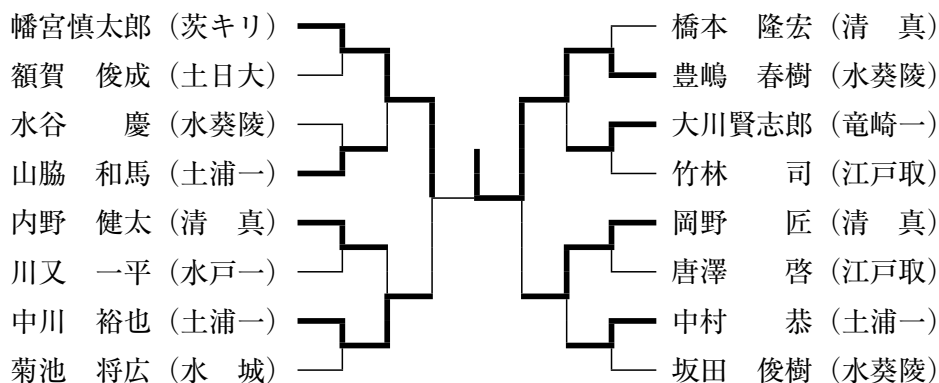
2 位 清真学園

3 位 水戸葵陵・茨城（A B 2 つのリーグ戦でのそれぞれの 2 位）

・団体戦 B 級（スイス式トーナメント方式 5 回戦、入賞者 = 1 敗者まで）

①土日大 ②水戸一 A

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦（総当たり）

優勝 美馬 志織（牛栄進）、2位 中田 彩香（土浦日）、3位 関 恵理子（日立一）

・個人戦B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、入賞者=1敗者まで）

優勝 西崎 正成（水戸一）、2位 鈴木 文晴（水戸一）、3位 磯崎 光宏（水 城）
4位 岡島 亮（水 城）、4位 粉川 豊（水 城）、6位 前田 康太（土浦一）

・個人戦B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、入賞者=1敗者まで）

優勝 小野 太一（水戸一）、2位 安藤 正人（水 城）、3位 佐藤 伸幸（ 境 ）
4位 伊勢 二郎（東洋牛）、5位 住谷 弘樹（水 城）、6位 富田 崇之（水 城）

・個人戦C級（男子A級敗者戦）

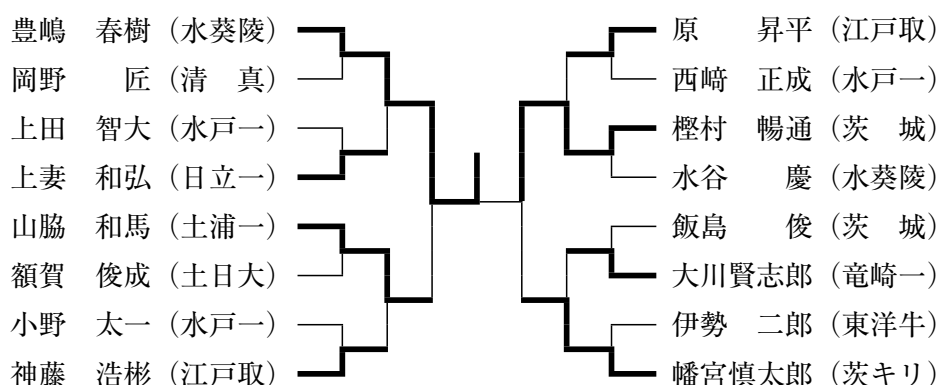
優勝 草加 健太（江戸取）、2位 橋本 隆宏（清 真）

○夏季大会（第21回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成20年6月3日（火）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加申込者は77名で、女子参加申込者は2名、総勢17校99名であった。級別ではA級26名、B級41名、C級34名である。A級は豊嶋春樹（水葵陵1年）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

・A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



・B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 坂田 俊樹（水葵陵）、2位 竹林 司（江戸取）、3位 山中 達也（清 真）
4位 富田 崇文（水 城）

・B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 菊池 将広（水 城）、2位 前田 康太（土浦一）、3位 粉川 豊（水 城）
4位 鈴木 文晴（水戸一）

- ・ C級1組（初心者戦、スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 竹田 智弘（竜崎一）、2位 川上 浩明（竜崎一）、3位 西岡 拓哉（東洋牛）
4位 金田 涼（水戸農）、4位 関 友裕（境）、6位 成島 勇氣（竜崎一）
7位 瀬尾 直人（土浦一）
- ・ D級（A級敗者戦）
優勝 森川 大輝（茨城）、2位 中村 恭（土浦一）

○第3回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会

平成20年10月21日（火）に茨城県民文化センターで行われた。男子参加者は58名、女子参加者は3名、総勢15校61名であった。

○茨城県高等学校総合文化祭将棋大会試合結果

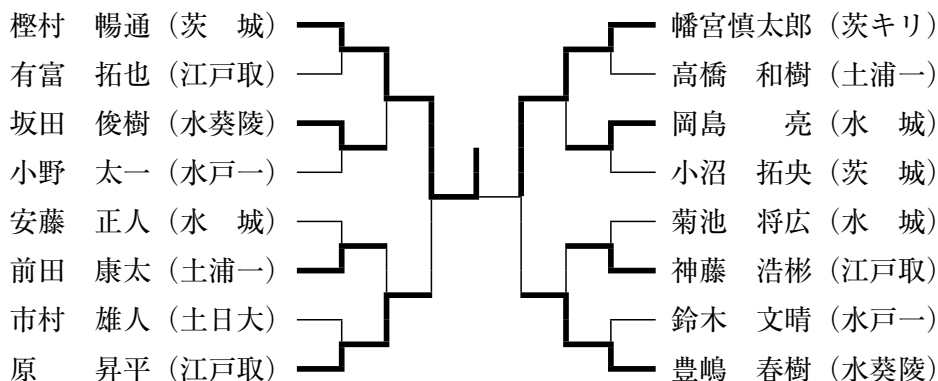
- ・ A級（スイス式トーナメント方式5回戦、14名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 檜村 暢通（茨城）、2位 豊嶋 春樹（水葵陵）、3位 坂田 俊樹（水葵陵）
- ・ B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、24名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 安藤 正人（水城）、2位 粉川 豊（水城）、3位 吉田 翼（水戸一）
4位 内野 健太（清真）、5位 小沼 拓央（茨城）
- ・ B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、24名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 岡島 亮（水城）、2位 板橋 裕介（竜崎一）、3位 富田 崇文（水城）
4位 小貫 賢太（霞ヶ浦）

○秋季大会

平成20年11月13日（木）に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は78名、女子参加申込者は3名、総勢17校81名であった。男子の級別ではA級16名、B級62名である。男子A級上位4名【檜村暢通（茨城2年・優勝）・幡宮慎太郎（茨キリ2年・2位）・豊嶋春樹（水葵陵1年・3位）・原昇平（江戸取2年・4位）】と女子3名【美馬志織（牛栄進2年・優勝）・佐藤有紗（清真1年・2位）・小菅理奈（水葵陵1年・3位）】は関東大会への出場権を得、男子上位2名（檜村と幡宮）と女子3名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。また、高等学校文化連盟全国将棋専門部と日本将棋連盟との協定に基づく高等学校文化連盟棋士派遣事業により、岡崎洋六段が派遣され、高校生たちはその指導を受けた。

○秋季大会試合結果

- ・ 男子A級のトーナメント表（秋季大会ベスト16より）



- ・ 女子（総当たり）
優勝 美馬 志織（牛栄進）、2位 佐藤 有紗（清真）、3位 小菅 理奈（水葵陵）

- ・ B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、28名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 竹林 司（江戸取）、2位 草加 健太（江戸取）、3位 石原 森生（土浦一）
4位 小貫 賢太（霞ヶ浦）、5位 中山 宏希（竜崎一）、5位 粉川 豊（水城）
- ・ B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、28名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 水谷 慶（水葵陵）、2位 吉田 翼（水戸一）、3位 富田 崇文（水城）
4位 唐澤 啓（江戸取）、5位 大澤 一大（水戸一）
- ・ C級（A級敗者戦）
優勝 鈴木 文晴（水戸一）、2位 有富 拓也（江戸取）

◎第32回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第44回全国高等学校将棋選手権大会）

平成20年8月6日（水）～7日（木）に群馬県前橋市の群馬県生涯学習センターで行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子団体	江戸川学園取手高校	予選敗退
男子個人	豊嶋 春樹（水葵陵1年）	予選敗退
女子個人	美馬 志織（牛栄進2年）	予選敗退
同	中田 彩香（土浦日3年）	予選敗退

◎第21回全国高等学校将棋竜王戦

平成20年8月26日（火）～27日（水）に福岡県福岡市のよみうりプラザで行われた。本県代表の豊嶋春樹（水葵陵1年）は予選で敗退した。

◎第19回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成20年12月21日（日）に神奈川県横浜市の横浜市開港記念会館で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。男子都県別対抗戦では4位であった。

男子	檜村 暢通（茨城2年）	敗退
同	幡宮 慎太郎（茨キリ2年）	敗退
同	豊嶋 春樹（水葵陵1年）	敗退
同	原 昇平（江戸取2年）	敗退
女子	美馬 志織（牛栄進2年）	敗退
同	佐藤 有紗（清真1年）	敗退
同	小菅 理奈（水葵陵1年）	敗退

◎第17回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成21年1月29日（木）～31日（土）に岐阜県岐阜市の岐阜都ホテルで行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子	檜村 暢通（茨城2年）	本戦トーナメント進出
同	幡宮 慎太郎（茨キリ2年）	予選敗退
女子	美馬 志織（牛栄進2年）	予選敗退
同	佐藤 有紗（清真1年）	予選敗退
同	小菅 理奈（水葵陵1年）	予選敗退

平成 21 (2009) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

この年度は事務局長経験者がほぼ転勤し、今後どのように事務局を運営するかの検討が始まった。また平成 26 年度に全国高等学校総合文化祭を茨城県で開催することが決定された（平成 22 年 1 月 16 日に新聞発表）。

○平成 21 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	宮田 公人 (太田二)	書記	横山 昭彦 (日立工)
副会長	桐原 幸一 (東海)	会計	横山 昭彦 (日立工)
事務局	藤崎 正輝 (大洗)	監査	大山 正道 (水戸一)
同	矢須 雅進 (石岡一)	同	幕内 研司 (土浦一)
同 (春季)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (竜王)	藤崎 正輝 (大洗)		
同 (県総)	藤崎 正輝 (大洗)		
同 (秋季)	横山 昭彦 (日立工)		

○平成 21 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校 (28 校)

茨高専	日立一	日立工	日立商	水戸一	海洋	銚田一	大洗
鹿島	波崎	土浦一	石岡一	竜崎一	牛久栄進	竹園	下妻一
古河三	境	並木	茨城キリスト	茨城	水城	水戸葵陵	
清真	霞ヶ浦	土浦日大	東洋大牛久	江戸川学園取手			

○春季大会

平成 21 年 5 月 8 日 (金) ~ 9 日 (土) に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 7 校 9 チーム、B 級 12 校 16 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 21 名、男子個人戦 B 参加申込者は 65 名、女子個人戦参加申込者は 5 名、総勢 21 校 91 名であった。男子団体戦は水戸葵陵高校 (豊嶋春樹 2 年・坂田俊樹 2 年・水谷慶 3 年)、男子個人戦 A 級は幡宮慎太郎 (茨キリ 3 年)、女子個人戦は佐藤有紗 (清真 2 年・優勝)・美馬志織 (牛栄進 3 年・2 位)・中井川祥子 (水城 1 年・3 位) が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級 (県代表決定戦・ABC 3 つのリーグ戦をして 1 位どうしで決勝戦を行う)

優勝 水戸葵陵高校

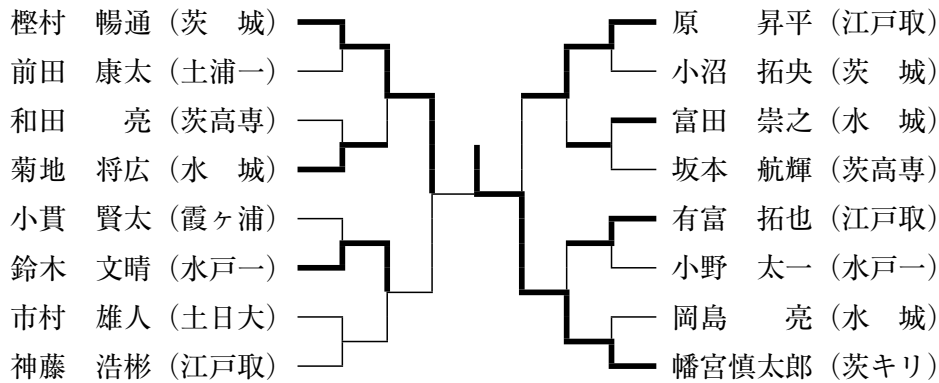
2 位 水戸一高

3 位 水城高校

・団体戦 B 級 (スイス式トーナメント方式 5 回戦、男女混合、入賞者 = 1 敗者まで)

①江戸取 ②水戸一 A

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦（総当たり）

優勝 佐藤 有紗 (清 真)、2位 美馬 志織 (牛栄進)、3位 中井川祥子 (水城)
 4位 藤澤 玲菜 (清 真)、5位 菊池 馨 (竜崎一)

・個人戦B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、30名参加、入賞者=1敗者まで）

優勝 平松 嗣武 (水戸一)、2位 藤井 奏風 (水戸一)、2位 吉田 翼 (水戸一)
 4位 中山 宏希 (竜崎一)、5位 内野 健太 (清 真)、6位 成島 勇気 (竜崎一)

・個人戦B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、28名参加、入賞者=1敗者まで）

優勝 岡野 夏希 (下妻一)、2位 板橋 裕介 (竜崎一)、2位 粉川 豊 (水城)
 4位 安藤 正人 (水城)、5位 大澤 一大 (水戸一)

・個人戦C級（男子A級敗者戦）

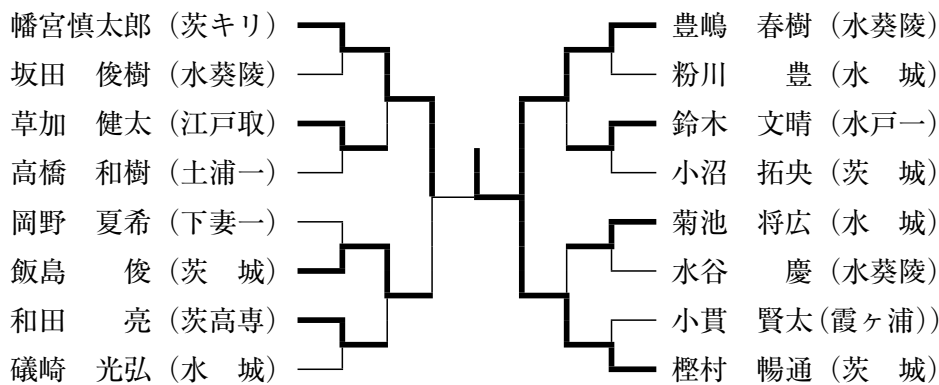
優勝 川又 一平 (水戸一)、2位 和田 亮 (茨高専)

○夏季大会（第22回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成21年6月9日（火）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加者申込は120名で、女子参加申込者は4名、総勢20校123名であった。級別ではA級20名、B級52名、C級51名である。A級は豊嶋春樹（水葵陵2年）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

・A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



・B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 富田 崇之 (水城)、2位 小野 太一 (水戸一)、3位 板橋 祐介 (竜崎一)
 4位 熊野 知輝 (土浦一)、5位 原 昇平 (江戸取)、6位 平松 嗣武 (水戸一)

・B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 藤井 奏風 (水戸一)、2位 有富 拓也 (江戸取)、3位 吉田 翼 (水戸一)
4位 安藤 正人 (水 城)、5位 大澤 一大 (水戸一)

・ C級1組 (スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで)

優勝 風見 明宏 (境)、2位 海老原 充 (竜崎一)、3位 西野宮良太 (日立一)
4位 今橋 将也 (日立工)、5位 三原 望 (東洋牛)

・ C級2組 (スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで)

優勝 菅原 翔太 (日立工)、2位 川口 翔太 (境)、3位 高安 智之 (日立商)
4位 高橋 裕治 (日立工)、5位 大塚健太郎 (並 木)

・ D級 (A級敗者戦)

優勝 前田 康太 (土浦一)、2位 神藤 浩彬 (江戸取)

○第4回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会

平成21年10月23日(金)に県民文化センターで行われた。男子参加者は57名、女子参加者は2名、総勢21校59名であった。

○茨城県高等学校総合文化祭将棋大会試合結果

・ A級 (スイス式トーナメント方式5回戦、11名参加、入賞者=1敗者まで)

優勝 豊嶋 春樹 (水葵陵)、2位 岡野 夏希 (下妻一)

・ B級1組 (スイス式トーナメント方式5回戦、23名参加、入賞者=1敗者まで)

優勝 高藤 啓光 (水戸一)、2位 大野 将季 (竜崎一)、3位 豊田 雄 (日立工)

・ B級2組 (スイス式トーナメント方式5回戦、24名参加、入賞者=1敗者まで)

優勝 坂本 航輝 (茨高専)、2位 成島 勇気 (竜崎一)、3位 小山 晶大 (境)
4位 田谷 聡志 (清 真)

○秋季大会

平成21年11月13日(金)に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は86名、女子参加申込者は4名、総勢17校90名であった。男子の級別ではA級15名、B級71名である。男子A級上位4名【豊嶋春樹(水葵陵2年・優勝)・坂田俊樹(水葵陵2年・2位)・高橋和樹(土浦一2年)・3位)・岡野夏希(下妻一2年)・4位)】と女子4名【佐藤有紗(清真2年・優勝)・中井川祥子(水城1年・2位)・菊地馨(竜崎一1年・3位)・藤澤玲菜(清真2年・4位)】は関東大会への出場権を得、男子上位2名(豊嶋と坂田)と女子4名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。高等学校文化連盟全国将棋専門部と日本将棋連盟との協定に基づく高等学校文化連盟棋士派遣事業により、遠山雄亮四段が派遣され、高校生たちはその指導を受けた。

同	高橋 和樹 (土浦一二年)	敗退
同	岡野 夏希 (下妻一二年)	敗退
女子	佐藤 有紗 (清真二年)	敗退
同	中井川祥子 (水城一年)	敗退
同	菊地 馨 (竜崎一一年)	敗退
同	藤澤 玲菜 (清真二年)	敗退

◎第 18 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成 22 年 1 月 28 日 (木) ~ 30 日 (土) に山口県山口市のホテルニュータナカで行われた。本県代表選手は下記の成績となった。このときの全国将棋専門部理事会で棋力認定証について検討された。茨城県での棋力認定は平成 22 年度以降の茨城県高等学校総合文化祭の大会で実施される。

男子	豊嶋 春樹 (水葵陵二年)	予選敗退・敗者戦で敢闘賞受賞
同	坂田 俊樹 (水葵陵二年)	予選敗退
女子	佐藤 有紗 (清真二年)	予選敗退
同	中井川祥子 (水城一年)	予選敗退
同	菊地 馨 (竜崎一一年)	予選敗退
同	藤澤 玲菜 (清真二年)	予選敗退

平成 22 (2010) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 22 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	宮田 公人 (太田二)	書記	矢須 雅進 (石岡一)
副会長	桐原 幸一 (東海)	会計	関根理恵子 (日立工)
同	藤崎 正輝 (大洗)	監査	大山 正道 (水戸一)
事務局	矢須 雅進 (石岡一)	同	幕内 研司 (土浦一)
同 (春季)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (竜王)	藤崎 正輝 (大洗)		
同 (県総)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (秋季)	今橋 伸一 (日立工)		

○平成 22 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校 (19 校)

茨高専	日立一	日立工	日立商	水戸一	大洗	土浦一	石岡一
竜崎一	竹園	下妻一	古河三	境	並木	茨城	水城
水戸葵陵	清真	東洋大牛久		江戸川学園取手			

○春季大会

平成 22 年 5 月 7 日 (金) ~ 8 日 (土) に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 9 校 11 チーム、B 級 10 校 14 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 19 名、男子個人戦 B 参加申込者は 78 名、女子個人戦参加申込者は 3 名、総勢 19 校 112 名 (個人戦不参加校を含む) であった。男子団体戦は水戸葵陵高校 (豊嶋春樹 3 年・坂田俊樹 3 年・岡航平 2 年)、男子個人戦 A 級は岡野夏希 (下妻一 3 年)、女子個人戦は中井川祥子 (水城 2 年・優勝)・菊地馨 (竜崎一 2 年・2 位) が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。女子 3 位は出場辞退した。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級 (県代表決定戦・A B C D 4 つのリーグ戦 1 位どうしでトーナメントを行う)

優勝 水戸葵陵高校

2 位 竜ヶ崎一高

3 位 茨城高校

3 位 水戸一高

・団体戦 B 級 (スイス式トーナメント方式 5 回戦、男女混合、入賞者 = 1 敗者まで)

①水戸一 A ②水葵陵 ③水戸一 B ④茨城 A

- ・ B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 平松 嗣武（水戸一）、2位 坂井 宏維（土浦一）、3位 四垂 将志（土浦一）
4位 熊野 知輝（土浦一）、5位 松田 悠輔（土浦一）、6位 芳賀 崇博（水葵陵）
- ・ C級（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 豊田 雄（日立工）、2位 井上 洋（日立工）、3位 石 寛明（日立工）
4位 原 俊博（江戸取）、5位 塩野 経介（並 木）、6位 高安 智之（日立商）
7位 鷺元 裕樹（日立商）
- ・ D級（A級敗者戦）
優勝 高藤 啓光（水戸一）、2位 草加 健太（江戸取）

○第5回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会（第1回段級位認定大会）

平成22年10月20日（水）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加者は58名、女子参加者は4名、総勢14校62名であった。昨年度の全国高等学校将棋専門部理事会の決定に基づき、大会の試合結果に応じて日本将棋連盟の定める基準に則り棋力認定を行い、棋力認定証を交付するようになった。茨城県では茨城県高等学校総合文化祭将棋大会をこの段級位認定の大会とすることになった。ただし、棋力認定は行うが、生徒個人が所有することになる正式な免状は発行されない。免状の発行を希望する際は、この棋力認定に基づき、受益者が個人が有料で申請することになる。この大会はあくまでも茨城県高文連主催の大会で、試合結果によって棋力認定も行うものとする。

○茨城県高等学校総合文化祭将棋大会（段級位認定大会）試合結果

- ・ A級（スイス式トーナメント方式4回戦、6名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 鈴木 伸二（茗 溪）、2位 一毛 康平（茨 城）
- ・ B級（スイス式トーナメント方式4回戦、22名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 荒木 雄登（水戸一）、2位 宇留野雅仁（水 城）、3位 大森 翔平（水葵陵）
4位 桑原 立樹（水 城）、5位 保田 敦司（水 城）、6位 廣原 恵太（水戸一）
6位 志賀野泰岳（水戸一）、6位 鈴木 陸（並 木）
- ・ C級（スイス式トーナメント方式4回戦、18名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 豊田 雄（日立工）、2位 井上 洋（日立工）、3位 佐藤 翔太（並 木）
4位 沼田 和也（日立商）、5位 菊地 馨（竜崎一）
- ・ D級（スイス式トーナメント方式4回戦、14名参加、入賞者=1敗者まで）
優勝 藤 和輝（日立商）、2位 今松 佑太（水葵陵）、3位 井川 舜（水葵陵）
4位 渡邊 聡仁（水葵陵）

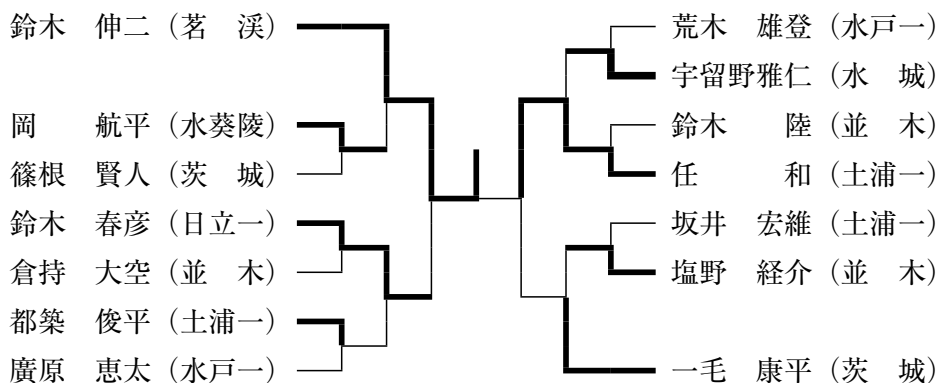
○秋季大会

平成22年11月12日（金）に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は77名、女子参加申込者は6名、総勢14校83名であった。男子の級別ではA級14名、B級63名である。男子A級上位4名【鈴木伸二（茗溪1年・優勝）・任和（土浦一2年・2位）・鈴木春彦（日立一1年・3位）・一毛康平（茨城1年・4位）】と女子4名【中井川祥子（水城2年・優勝）・鈴木彩花（古河三2年・2位）・菊地馨（竜崎一2年・3位）・松井優実（竜崎一2年・4位）】は関東大会への出場権を得、男子上位2名（鈴木と市毛）と女子4名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。また、高等学校文化連盟全国将棋専門部と公益社団法人

日本将棋連盟との協定に基づく高等学校文化連盟棋士派遣事業により、本田小百合女流二段と早水千紗女流二段が派遣され、高校生たちはその指導を受けた。

○秋季大会試合結果

- ・男子A級のトーナメント表（秋季大会ベスト16より）



- ・女子（変形総当たり）

優勝 中井川祥子（水 城）、2位 鈴木 彩花（古河三）、3位 菊地 馨（竜崎一）
4位 松井 優実（竜崎一）、5位 鈴木沙央莉（日立商）、6位 野口 恵里（古河三）

- ・B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、32名参加、入賞者=1敗者まで）

優勝 前田 侑哉（水戸一）、2位 桑原 立樹（水 城）、3位 大森 翔平（水葵陵）
3位 鷲元 裕樹（日立商）、5位 熊野 知輝（土浦一）、5位 大塚健太郎（並 木）

- ・B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、31名参加、入賞者=1敗者まで）

優勝 中山 香介（土浦一）、2位 狩野 寛之（土浦一）、3位 松田 悠輔（土浦一）
4位 青島 蓮（並 木）、5位 藤 和輝（日立商）、6位 村上 正浩（水 城）

- ・C級（A級敗者戦）

優勝 荒木 雄登（水戸一）、2位 倉持 大空（並 木）

◎第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第46回全国高等学校将棋選手権大会）

平成22年8月2日（月）～3日（火）に宮崎県日南市のホテルシーズン日南で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子団体	水戸葵陵高校	予選敗退
男子個人	岡野 夏希（下妻一3年）	予選敗退
女子個人	中井川祥子（水城2年）	予選敗退
同	菊地 馨（竜崎一2年）	予選敗退

◎第23回全国高等学校将棋竜王戦

平成22年8月24日（火）～25日（水）に福岡県福岡市の福岡大学ヘリオスプラザで行われた。本県代表の豊嶋春樹（水葵陵3年）は本戦トーナメントに進出した。

◎第21回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成22年12月19日（日）に山梨県甲府市の駿台甲府高校で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子	鈴木 伸二（茗溪1年）	5位
同	任 和（土浦一2年）	敗退
同	鈴木 春彦（日立一1年）	敗退
同	一毛 康平（茨城1年）	敗退
女子	中井川祥子（水城2年）	敗退
同	鈴木 彩花（古河三2年）	敗退
同	菊地 馨（竜崎一2年）	敗退・会長賞受賞（敗者戦）
同	松井 優実（竜崎一2年）	敗退

◎第19回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成23年1月27日（木）～29日（土）に栃木県日光市の鬼怒川温泉あさやホテルで行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子	鈴木 伸二（茗溪1年）	予選敗退
同	任 和（土浦一2年）	予選敗退
女子	中井川祥子（水城2年）	本戦トーナメント進出・初戦敗退
同	鈴木 彩花（古河三2年）	本戦トーナメント進出・初戦敗退
同	菊地 馨（竜崎一2年）	本戦トーナメント進出・初戦敗退
同	松井 優実（竜崎一2年）	予選敗退

平成 23 (2011) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 23 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	佐藤 昌弘 (佐 竹)	書記	矢須 雅進 (石岡一)
副会長	藤崎 正輝 (大 洗)	会計	関根理恵子 (日立工)
事務局	矢須 雅進 (石岡一)	監査	大山 雅道 (水戸一)
同	藤崎 正輝 (大 洗)	同	幕内 研司 (土浦一)
同 (春季)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (竜王)	藤崎 正輝 (大 洗)		
同 (県総)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (秋季)	今橋 伸一 (日立工)		

○平成 23 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校 (20 校)

茨高専	日立一	日立工	日立商	水戸一	大 洗	土浦一	石岡一
竜崎一	竹 園	古河三	並 木	明秀日立	茨 城	水 城	水戸葵陵
清 真	東洋大牛久		江戸川学園取手	茗溪			

○春季大会

平成 23 年 5 月 6 日 (金) ~ 7 日 (土) に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 6 校 8 チーム、B 級 9 校 18 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 20 名、男子個人戦 B 参加申込者は 83 名、女子個人戦参加申込者は 7 名、総勢 19 校 110 名であった。男子団体戦は日立第一高校 (三村駿 1 年・鈴木春彦 2 年・石川諒太 3 年)、男子個人戦 A 級は鈴木伸二 (茗溪 2 年)、女子個人戦は菊池馨 (竜崎一 3 年・優勝)・中井川祥子 (水城 3 年・2 位)・松井優美 (竜崎一 3 年・3 位) が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。しかし、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響を受け、ふくしま総文祭は日程や場所等の変更が余儀なくされ、出場辞退者が多数出た。将棋部会事務局はふくしま総文祭出場の意志を上位から確認していき、女子個人戦は野口恵里 (古河三 2 年)、鈴木沙央莉 (日立商 2 年) が茨城県代表として出場した。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級 (県代表決定戦・トーナメント)

優勝 日立第一高校

2 位 竜ヶ崎第一高校

3 位 水城高校

3 位 水戸第一高校

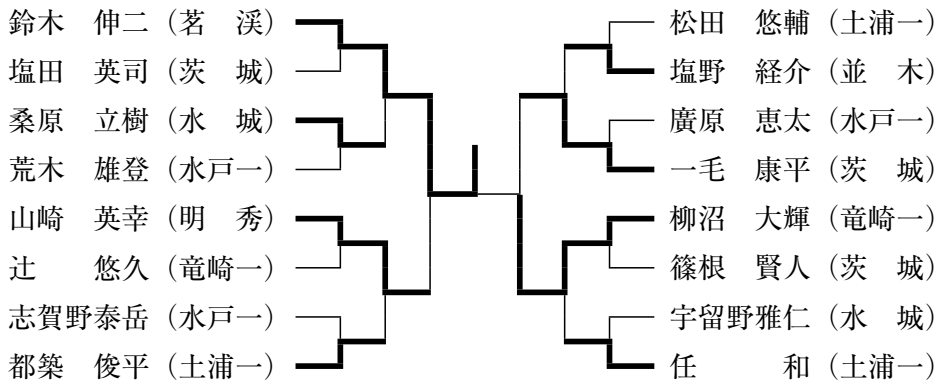
・団体戦 B 級 (スイス式トーナメント方式 5 回戦、入賞者 = 1 敗者まで)

①古河三 A 水城 A ③土浦一 B

・団体戦 C 級 (男子団体 A 敗者戦・総当たり)

①水戸一 A ②並 木 ③土浦一 B ④土浦一 A

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦（総当たり・3位同順位の3者は再試合をして順位を決定した）

優勝 菊地 馨 (竜崎一)、2位 中井川祥子 (水 城)、3位 松井 優美 (竜崎一)
 4位 鈴木 彩花 (古河三)、5位 野口 恵里 (古河三)、6位 鈴木沙央莉 (日立商)
 7位 柿崎 花恋 (水 城)

・個人戦B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、入賞者=1敗者まで）

優勝 飯田 太郎 (水戸一)、2位 狩野 寛之 (土浦一)、3位 野口 智史 (茨高専)
 4位 西川 和成 (古河三)、5位 豊田 雄 (日立工)

・個人戦B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、入賞者=1敗者まで）

優勝 川村 晃平 (古河三)、2位 竹中 信人 (古河三)、3位 田代雄太郎 (江戸取)
 4位 保田 敦司 (水 城)、5位 曾根田康平 (水 城)

・個人戦B級3組（スイス式トーナメント方式5回戦、入賞者=1敗者まで）

優勝 中山 香介 (土浦一)、2位 吉川 将司 (水 城)、3位 中山 弘貴 (清 真)
 4位 浅野 佑樹 (土浦一)、5位 前田 侑哉 (水戸一)、6位 已鼻 佑作 (水 城)

・個人戦C級（男子A級敗者戦）

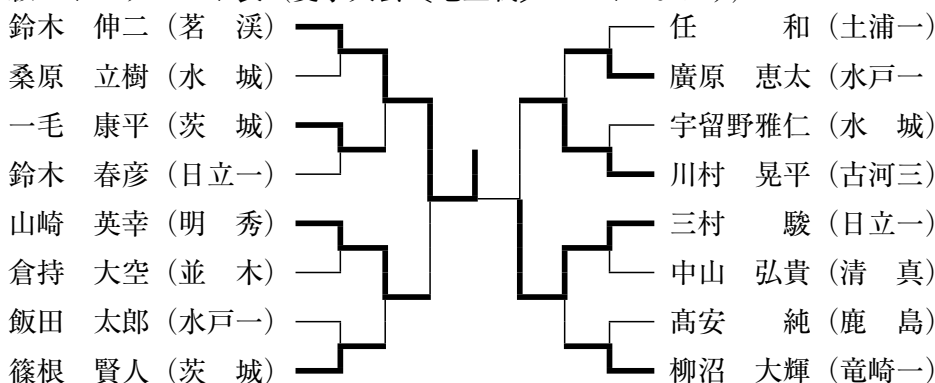
優勝 辻 悠久 (竜崎一)、2位 鈴木 陸 (並 木)

○夏季大会（第24回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成23年6月7日(火)に水戸一高知道会館で行われた。男子参加者は118名で、女子参加者は7名、総勢19校125名であった。級別ではA級24名、B級68名、C級33名である。A級は三村駿(日立一1年)が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

・A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



- ・ B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 保田 敦司（水 城）、2位 野口 智史（茨高専）、3位 松田 悠輔（土浦一）
4位 狩野 寛之（土浦一）、5位 荒木 雄登（水戸一）、6位 星加友太郎（土浦一）
- ・ B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 望月 耀太（古河三）、2位 上田 明長（日立一）、3位 岩本 陽（日立一）
4位 志賀野泰岳（水戸一）、5位 鈴木 彩花（古河三）、6位 砺波 鴻（土浦一）
- ・ C級（初心者戦、スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 今元 裕太（茨高専）、2位 小松崎 悟（鹿 島）、3位 関本 圭佑（鹿 島）
4位 大澤 嘉能（水葵陵）、4位 高野滯央揮（土浦一）、4位 井川 舜（水葵陵）
- ・ D級（A級敗者戦）
優勝 竹中 信人（古河三）、2位 高安 純（鹿 島）

○第6回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会（第2回段級位認定大会）

平成23年10月14日（金）に東海村中央公民館で行われた。男子参加者は52名、女子参加者は3名、総勢10校55名であった。

○茨城県高等学校総合文化祭将棋大会（段級位認定大会）試合結果

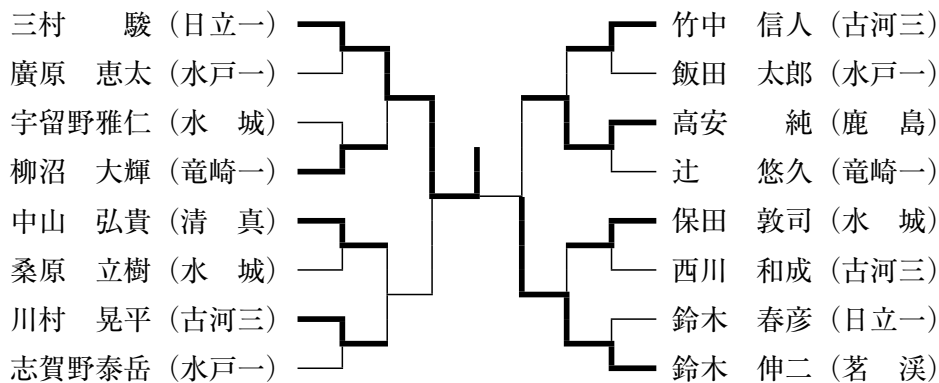
- ・ A級（スイス式トーナメント方式4回戦、17名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 三村 駿（日立一）、2位 川村 晃平（古河三）、3位 辻 悠久（竜崎一）
4位 柳沼 大輝（竜崎一）、5位 廣原 恵太（水戸一）、6位 宇留野雅仁（水 城）
- ・ B級（スイス式トーナメント方式4回戦、16名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 鈴木 陸（並 木）、2位 吉川 将司（水 城）、3位 清水 俊希（古河三）
4位 曾根田康平（水 城）、5位 野口 智史（茨高専）
- ・ C級（スイス式トーナメント方式4回戦、11名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 今松 佑太（水葵陵）、2位 須永 大志（古河三）、3位 井川 瞬（水葵陵）
4位 大澤 嘉能（水葵陵）
- ・ D級（スイス式トーナメント方式4回戦、11名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 松本 貴嗣（水葵陵）、2位 高井龍太郎（竜崎一）、3位 岩沢 隆宏（竜崎一）
4位 中根 千博（竜崎一）

○秋季大会

平成23年11月11日（金）に石岡一高山王会館で行われた。男子参加申込者は105名、女子参加申込者は10名、総勢20校115名であった。男子の級別ではA級24名、B級81名である。男子A級上位4名【三村駿（日立一1年・優勝）・鈴木伸二（茗溪2年・2位）・川村晃平（古河三1年・3位）・高安純（鹿島1年・4位）】と女子4名【黒澤瞳（土浦一1年・優勝）・野口恵里（古河三2年・2位）・梶山美希（日立商1年・3位）・鈴木沙央莉（日立商2年・4位）】は関東大会への出場権を得、男子上位2名（三村と鈴木）と女子4名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。また、高等学校文化連盟全国将棋専門部と日本将棋連盟との協定に基づく高等学校文化連盟棋士派遣事業により、上野裕和五段が派遣され、高校生たちはその指導を受けた。

○秋季大会試合結果

- ・男子A級のトーナメント表（秋季大会ベスト16より）



- ・女子（スイス式トーナメント方式5回戦）

優勝 黒澤 瞳（土浦一）、2位 野口 恵里（古河三）、3位 梶山 美希（日立商）
4位 鈴木沙央莉（日立商）、5位 大藤さつき（日立商）、6位 伊藤あかね（土浦一）
7位 海田友梨絵（土浦一）、8位 大内 芽依（水葵陵）、9位 本多 栄子（日立商）

- ・B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加、入賞者＝1敗者まで）

優勝 今元 裕太（茨高専）、2位 吉川 将司（水城）、3位 今松 佑太（水葵陵）
4位 村上 正浩（水城）、5位 加瀬 成道（土浦一）

- ・B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、24名参加、入賞者＝1敗者まで）

優勝 正木 聡一（茨城）、2位 清水 俊希（古河三）、3位 嶋崎 亮太（日立一）
4位 高野滯央揮（土浦一）

- ・B級3組（スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加、入賞者＝1敗者まで）

優勝 正木 聡一（茨城）、2位 前田 侑哉（水戸一）、3位 清水 俊希（古河三）
4位 荒木 雄登（水戸一）、5位 大澤 嘉能（水葵陵）、6位 嶋崎 亮太（日立一）
7位 須永 大志（古河三）、8位 高野滯央揮（土浦一）、9位 常石 和治（緑岡）

- ・C級（A級敗者戦）

優勝 一毛 康平（茨城）、2位 桑原 立樹（水城）

◎第35回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第47回全国高等学校将棋選手権大会）

平成23年8月4日（木）～5日（金）に福島県郡山市の南東北総合卸センターで行われた。本県代表選手は下記の成績となった。また、このふくしま総文祭・高校全国将棋専門部会議において、平成26年度に茨城県で行われる全国高等学校総合文化祭将棋部門の概略を口頭で発表した。

男子団体	日立第一高校	予選敗退
男子個人	鈴木 伸二（茗溪2年）	予選敗退
女子個人	野口 恵里（古河三2年）	予選敗退
同	鈴木沙央莉（日立商2年）	予選敗退

◎第24回全国高等学校将棋竜王戦

平成23年8月23日（火）～24日（水）に福岡県福岡市の福岡大学ヘリオスホールで行われた。本県代表の三村駿（日立一1年）は本戦トーナメント出場という成績を収めた。

◎第 22 回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成 23 年 12 月 23 日（金）に千葉県千葉市の千葉県教育委員会本館で行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子	三村 駿（日立一 1 年）	5 位
同	鈴木 伸二（茗溪 2 年）	予選敗退
同	川村 晃平（古河三 1 年）	予選敗退
同	高安 純（鹿島 1 年）	予選敗退
女子	黒澤 瞳（土浦一 1 年）	5 位
同	野口 恵里（古河三 2 年）	予選敗退
同	梶山 美希（日立商 1 年）	予選敗退
同	鈴木沙央莉（日立商 2 年）	予選敗退

◎第 20 回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成 24 年 1 月 27 日（金）～ 29 日（日）に京都府京都市のホテル平安の森京都で行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。また、京都新人大会・高校将棋全国専門部会議において、平成 26 年度に茨城県で行われる全国高等学校総合文化祭将棋部門の実施要項を提示（第一次）した。これ以降、毎年 2 回の高校全国将棋専門部会議において、手直しした実施要項（要領）を提示し続けていった。高校全国将棋専門部会議は総文祭の大会初日、新人大会の試合前日に行われる。

男子	三村 駿（日立一 1 年）	本戦トーナメント出場（初戦敗退）
同	鈴木 伸二（茗溪 2 年）	予選敗退
女子	黒澤 瞳（土浦一 1 年）	予選敗退
同	野口 恵里（古河三 2 年）	予選敗退
同	梶山 美希（日立商 1 年）	予選敗退
同	鈴木沙央莉（日立商 2 年）	予選敗退

平成 24 (2012) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 24 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	佐藤 昌弘 (佐 竹)	書記	鈴木 康司 (茨高専)
副会長	生田目正直 (高 萩)	会計	関根理恵子 (日立工)
同	藤崎 正輝 (大 洗)	監査	大山 雅道 (水戸一)
事務局	矢須 雅進 (石岡一)	同	幕内 研司 (土浦一)
同	藤崎 正輝 (大 洗)		
同 (春季)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (竜王)	藤崎 正輝 (大 洗)		
同 (県総)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (秋季)	前川 匡史 (鹿 島)		

○平成 24 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校 (25 校)

茨高専	日立一	日立工	日立商	水戸一	緑 岡	海 洋	大 洗
鹿 島	波 崎	土浦一	石岡一	竜崎一	牛久栄進	竹 園	古河一
古河三	並 木	茨 城	水 城	水戸葵陵	清 真	東洋大牛久	
江戸川学園取手	茗 溪						

○春季大会

平成 24 年 5 月 11 日 (金) ～ 12 日 (土) に石岡一高山王会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 8 校 10 チーム、B 級 13 校 20 チーム、女子団体戦参加申込校は 1 校 1 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 30 名、男子個人戦 B 参加申込者は 81 名、女子個人戦参加申込者は 10 名、総勢 21 校 121 名であった。全国将棋専門部会議の決定を受け、今大会から個人戦の県代表として全国大会出場できる人数は、男子 1 名・女子 3 名から男女とも 2 名に変更になった。男子団体戦は日立第一高校 (三村駿 2 年・岩本陽 2 年・鈴木春彦 3 年)、女子団体戦は日立商業高校 (鈴木沙央莉 3 年・大藤さつき 3 年・森島宏恵 2 年)、男子個人戦 A 級は鈴木伸二 (茗溪 3 年・優勝)・川村晃平 (古河三 2 年・2 位)、女子個人戦は黒澤瞳 (土浦一 2 年・優勝)・野口恵里 (古河三 3 年・2 位) が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。しかし、女子 2 位は私事都合により上位大会出場を辞退し、また女子 3 位も体調不良のため出場を辞退したため、茨城県からの女子個人出場は 1 名のみとなった。

○春季大会試合結果

団体戦

・団体戦男子 A 級 (県代表決定戦・トーナメント)	団体戦女子 (県代表決定戦)
優勝 日立第一高等学校	日立商業高等学校
2 位 水城高等学校	
3 位 竜ヶ崎第一高等学校	
3 位 鹿島高等学校	

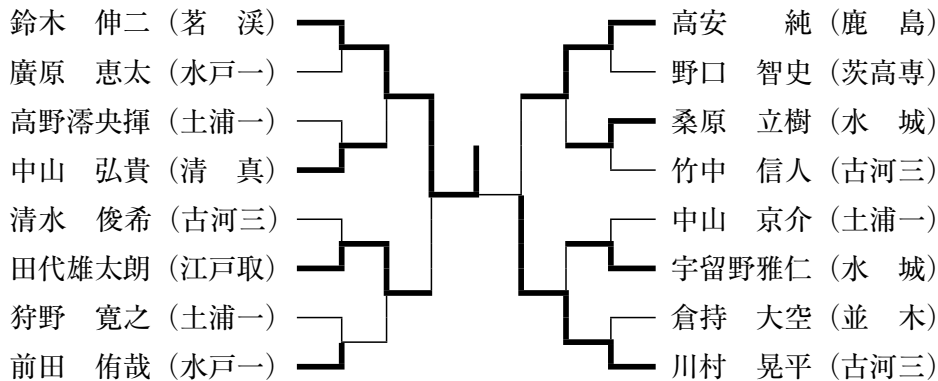
- ・団体戦B級（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合2名出場可、入賞者=1敗者まで）

①並木 ②水葵陵A ③水戸一A ④日立一

- ・団体戦C級（男子団体A敗者戦）

①土浦一A ②水戸一B

- ・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



- ・女子個人戦（総当たり）

優勝 黒澤 瞳（土浦一）、2位 野口 恵里（古河三）、3位 木植 里緒（竜崎一）
4位 大内 芽依（水葵陵）、5位 松本 香織（日立商）

- ・個人戦B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 田口 俊（水戸一）、2位 田中 剛志（茨高専）、2位 飯田 太郎（水戸一）
4位 村上 正浩（水 城）、5位 村井 優太（鹿 島）、6位 須永 大志（古河三）

- ・個人戦B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 大澤 嘉能（水葵陵）、2位 前田 優人（水戸一）、3位 熊倉 大輝（水戸一）
4位 庵原慎太郎（古河三）、5位 大曲 和幸（古河三）、6位 肥田 侑大（水葵陵）

- ・個人戦B級3組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 鈴木 康平（古河一）、2位 嶋崎 亮太（日立一）、3位 志賀野泰岳（水戸一）
4位 已鼻 佑作（水 城）、5位 井川 舜（水葵陵）

- ・個人戦C級（男子A級敗者戦）

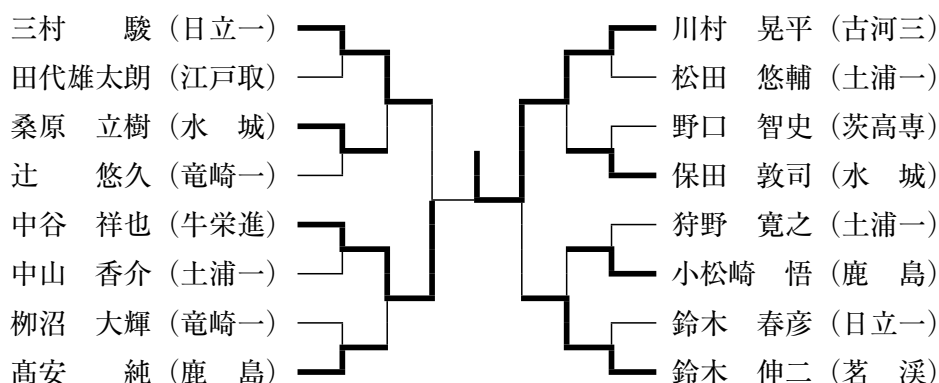
優勝 柳沼 大輝（竜崎一）、2位 辻 悠久（竜崎一）

○夏季大会（第25回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成24年6月7日（木）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加者は26名で、女子参加者は11名、総勢20校152名であった。級別ではA級26名、B級69名、C級57名である。A級は川村晃平（古河三2年）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

- ・ A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



- ・ B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 海野 壘（水戸一）、2位 田口 俊（水戸一）、3位 庵原慎太郎（古河三）
4位 佐藤 翔平（水戸一）、5位 村井 優太（鹿 島）、6位 吉川 将司（水 城）
7位 肥田 侑大（水葵陵）
- ・ B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 飯田 雄仁（水 城）、2位 廣原 恵太（水戸一）、3位 大澤 嘉能（水葵陵）
4位 浅野 快誓（土浦一）、5位 須永 大志（古河三）、6位 清水 俊希（古河三）
7位 岩本 陽（日立一）
- ・ C級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 堀口 航（緑 岡）、2位 齊藤 祥（波 崎）、3位 青沼 京介（土浦一）
3位 田口 裕貴（古河三）、5位 正田 真悟（土浦一）、6位 野口 雄飛（波 崎）
- ・ C級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 木村 仁（土浦一）、2位 小野 基（波 崎）、3位 堀江 貴秀（土浦一）
4位 長山 高明（古河三）、5位 高木 孝輔（緑 岡）
- ・ D級（A級敗者戦）
優勝 宇留野雅仁（水 城）、2位 西川 和成（古河三）

○第7回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会（第3回段級位認定大会）

平成24年10月23日（火）に茨城県民文化センター分館で行われた。男子参加申込者は91名、女子参加申込者は11名、総勢18校102名であった。

○茨城県高等学校総合文化祭将棋大会（段級位認定大会）試合結果

- ・ A級（スイス式トーナメント方式4回戦、男女混合、15名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 三村 駿（日立一）、2位 中谷 祥也（牛栄進）、3位 野口 智史（茨高専）
4位 川村 晃平（古河三）、5位 辻 悠久（竜崎一）
- ・ B級（スイス式トーナメント方式4回戦、男女混合、26名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 庵原慎太郎（古河三）、2位 寺門仙太郎（水 城）、3位 海野 壘（水戸一）
3位 佐藤 翔平（水戸一）、5位 岩本 陽（日立一）、6位 藁谷 太一（水 城）
7位 大平 怜史（水戸一）、8位 元木 葵（清 真）、9位 中山 弘貴（清 真）
- ・ C級（スイス式トーナメント方式4回戦、男女混合、24名参加申込、入賞者=1敗者まで）

優勝 堀口 航 (緑 岡)、2位 松本 貴嗣 (水葵陵)、3位 小沼健一郎 (水戸一)
 4位 大曲 和幸 (古河三)、5位 長山 高明 (古河三)、5位 菅野 颯人 (水戸一)
 5位 鈴木沙央莉 (日立商)、8位 田口 裕貴 (古河三)

・D級 (スイス式トーナメント方式4回戦、男女混合、37名参加申込、入賞者=1敗者まで)

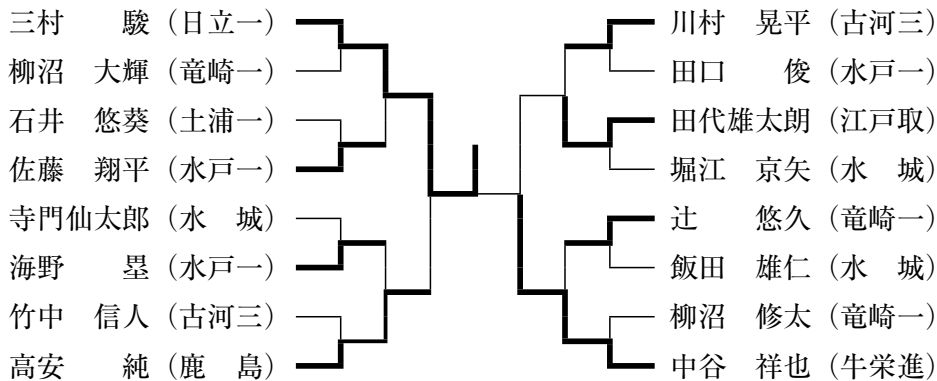
優勝 高木 孝輔 (緑 岡)、2位 大久保凌佑 (緑 岡)、3位 西條 佑介 (波 崎)
 4位 小古瀬太一 (茨高専)、4位 足立 美桜 (水葵陵)、4位 中根 千博 (竜崎一)
 7位 足立 明彦 (緑 岡)、8位 染谷 健太 (古河三)、9位 高井龍太郎 (竜崎一)
 10位 諸岡 大樹 (竜崎一)、11位 郡司 直弥 (石岡一)、12位 高石 健 (波 崎)

○秋季大会

平成24年11月13日(火)に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は98名、女子参加申込者は13名、総勢20校111名であった。男子の級別ではA級18名、B級80名である。男子A級上位4名【三村駿(日立一2年・優勝)・中谷祥也(牛栄進1年・2位)・田代雄太郎(江戸取2年・3位)・高安純(鹿島2年・4位)】と女子4名【黒澤瞳(土浦一2年・優勝)・崔恵仁(水葵陵1年・2位)・足立美桜(水葵陵1年・3位)・若奈都美(水葵陵1年・4位)】は関東大会への出場権を得、男子上位2名(三村と中谷)と女子4名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。

○秋季大会試合結果

・男子A級のトーナメント表(秋季大会ベスト16より)



・女子 (スイス式トーナメント方式4回戦)

優勝 黒澤 瞳 (土浦一)、2位 崔 恵仁 (水葵陵)、3位 足立 美桜 (水葵陵)
 4位 若 奈都美 (水葵陵)、5位 木植 里緒 (竜崎一)、6位 及川芽衣子 (鹿 島)
 7位 大内 芽依 (水葵陵)、8位 谷津 汐美 (水葵陵)、9位 森島 宏恵 (日立商)
 10位 海田友梨絵 (土浦一)、11位 松本 香織 (日立商)、12位 山崎 麻未 (鹿 島)

・B級1組 (スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加、入賞者=1敗者まで)

優勝 肥田 侑大 (水葵陵)、2位 村井 優太 (鹿 島)、3位 藁屋 太一 (水 城)
 4位 岩本 陽 (日立一)、5位 浅野 快誓 (土浦一)、5位 瀬戸 敬央 (土浦一)

・B級2組 (スイス式トーナメント方式5回戦、24名参加、入賞者=1敗者まで)

優勝 中山 弘貴 (清 真)、2位 栗山 智行 (竜崎一)、3位 菅野 颯人 (水戸一)
 4位 秋葉 駿介 (土浦一)、5位 清水 俊希 (古河三)

・B級3組 (スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加、入賞者=1敗者まで)

優勝 須永 大志 (古河三)、2位 鈴木 優広 (土浦一)、3位 田口 裕貴 (古河三)

- 4位 桐原 康輔（水戸一）、5位 元木 葵（清 真）
 ・ C級（A級敗者戦）
 優勝 飯田 雄仁（水 城）、2位 庵原慎太郎（古河三）

◎第36回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第48回全国高等学校将棋選手権大会）

平成24年8月8日（水）～8月9日（木）に富山県小矢部市のクロスランド小矢部で行われた。本県代表選手は下記の成績となった。

男子団体	日立第一高校	予選敗退
女子団体	日立商業高校	予選敗退
男子個人	鈴木 伸二（茗溪3年）	予選敗退
同	川村 晃平（古河三2年）	予選敗退
女子個人	黒澤 瞳（土浦一2年）	予選敗退

◎第25回全国高等学校将棋竜王戦

平成24年8月21日（火）～22日（水）に福岡県福岡市の福岡大学ヘリオスホールで行われた。本県代表の川村晃平（古河三2年）は予選敗退し、福岡大学学長杯（敗者戦）ベスト4という成績となった。

◎第23回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成24年12月16日（日）に東京都新宿区の都立戸山高校で行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。男子都県別対抗戦では4位であった。

男子	三村 駿（日立一2年）	2位
同	中谷 祥也（牛栄進1年）	5位
同	田代雄太郎（江戸取2年）	敗退
同	高安 純（鹿 島2年）	敗退
女子	黒澤 瞳（土浦一2年）	敗退
同	崔 惠仁（水葵陵1年）	敗退
同	足立 美桜（水葵陵1年）	敗退
同	若 奈都美（水葵陵1年）	敗退

◎第21回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成25年1月31日（木）～2月2日（土）に福岡県北九州市の北九州八幡ロイヤルホテルで行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子	三村 駿（日立一2年）	予選敗退
同	中谷 祥也（牛栄進1年）	本戦トーナメント出場
女子	黒澤 瞳（土浦一2年）	本戦トーナメント出場
同	崔 惠仁（水葵陵1年）	予選敗退
同	足立 美桜（水葵陵1年）	予選敗退
同	若 奈都美（水葵陵1年）	予選敗退

平成 25 (2013) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 25 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	生田目正直（高萩清松）	書記	矢須 雅進（石岡一）
副会長	鈴木 康司（茨高専）	会計	関根理恵子（日立工）
事務局	矢須 雅進（石岡一）	監査	今井 健二（水戸葵陵）
同	藤崎 正輝（大 洗）	同	小賀 柳一（水 城）
同（春季）	大山 正道（水戸一）		
同（竜王）	藤崎 正輝（大 洗）		
同（段級）	矢須 雅進（石岡一）		
同（秋季）	幕内 研司（土浦一）		

○平成 25 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校（26 校）

茨高専	日立一	日立工	日立商	水戸一	緑 岡	海 洋	大 洗
鹿 島	波 崎	土浦一	石岡一	竜崎一	牛久栄進	竹 園	古河三
並木中等教育	翔 洋	茨 城	水 城	水戸葵陵	清 真	土浦日大	
土浦日大中等教育	東洋大牛久		江戸川学園取手				

○春季大会

平成 25 年 5 月 10 日（金）～ 11 日（土）に石岡一高山王会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 10 校 15 チーム、B 級 14 校 34 チーム、女子団体戦参加申込校は 3 校 3 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 29 名、男子個人戦 B 参加申込者は 125 名、女子個人戦参加申込者は 16 名、総勢 25 校 170 名であった。男子団体戦は竜ヶ崎第一高校（辻聡智 1 年・柳沼大輝 3 年・辻悠久 3 年）、女子団体戦は水戸葵陵高校（大内芽依 2 年・足立美桜 2 年・崔恵仁 2 年）、男子個人戦 A 級は三村駿（日立一 3 年・優勝）・中谷祥也（牛栄進 2 年・2 位）、女子個人戦は岩堀佳菜（土浦一 1 年・優勝）・黒澤瞳（土浦一 3 年・2 位）が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。

○春季大会試合結果

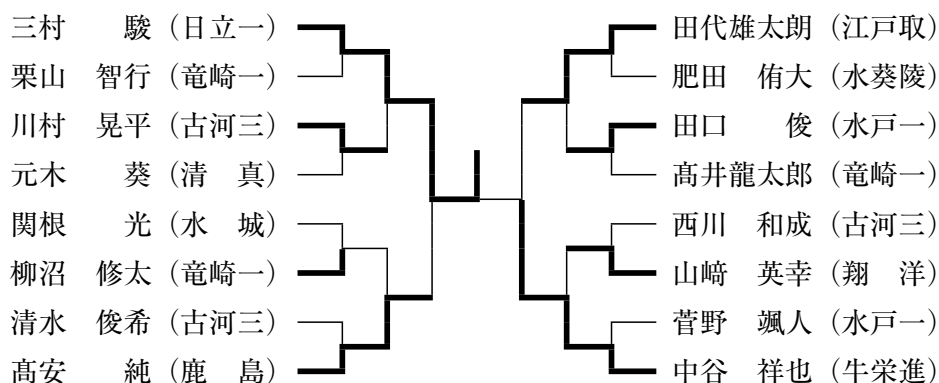
団体戦

団体戦男子 A 級（県代表決定戦・トーナメント）	団体戦女子（総当たり・県代表決定戦）
優勝 竜ヶ崎第一高等学校 A	水戸葵陵高等学校
2 位 古河第三高等学校 B	鹿島高校
3 位 江戸川学園取手高校	日立商業高校
3 位 竜ヶ崎第一高等学校 B	

- ・団体戦 B 級（スイス式トーナメント方式 5 回戦、男女混合 2 名出場可、入賞者 = 1 敗者まで）
①土浦一 A ②水葵陵 A ③水戸一 B ④水城 A ⑤水戸一 C ⑥並木中等 A ⑦水戸一 A
- ・団体戦 C 級（男子団体 A 敗者戦）

※平成 25 年度より、生徒に多く対局の機会を与えるという趣旨のもと、スイス式トーナメントの形式で順次敗者を繰り入れた手合いをつけ、順位をつけないことになった。

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦（トーナメント）

優勝 岩堀 佳菜（土浦一）、2位 黒澤 瞳（土浦一）、3位 助川 茉優（日立商）
 4位 笠野 里緒（鹿 島）、5位 山崎 麻未（鹿 島）、6位 松本 香織（日立商）
 7位 笠井 玲奈（鹿 島）、8位 保立 祐希（鹿 島）

・個人戦B級（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 藁谷 太一（水城）、2位 田中 剛志（茨高専）、2位 桐原康輔（水戸一）
 4位 寺門 仙太郎（水城）、5位 前田 優人（水戸一）、6位 人見 浩亮（清 真）
 6位 鈴木 優広（土浦一）、6位 大曲 和幸（古河三）、9位 高沼 昂史（水戸一）
 9位 羽成 豪（並木中等）、9位 松本 大輝（茨高専）、12位 庵原 慎太郎（古河三）
 13位 青沼 京介（土浦一）、14位 松本 貴嗣（水葵陵）、14位 須永 大志（古河三）
 14位 足立 美桜（水葵陵）、17位 廣田 天遥（水 城）、18位 浅野 快誓（土浦一）
 18位 竹中 信人（古河三）、18位 野口 真司（土日大）、21位 石井 悠葵（土浦一）
 22位 嶋崎 晴也（水戸一）、22位 王 聞良（土浦一）

※全国総文祭のスイス式トーナメント運営に慣れるため、通常と異なり、B級内での組分けをせず1リーグで行った。

・個人戦C級（男子A級敗者戦）

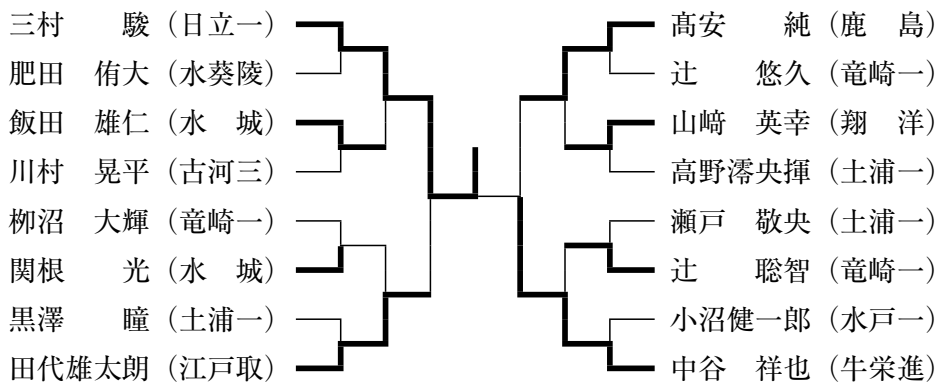
優勝 藤卷 智行（江戸取）、2位 館野 龍平（江戸取）

○夏季大会（第26回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成25年6月5日（水）に茨城県民文化センターで行われた。男子参加者は185名で、女子参加者は14名、総勢24校199名であった。級別ではA級28名、B級112名、C級59名である。A級は山崎英幸（翔洋1年）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

- ・ A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



- ・ B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 柳沼 修太 (竜崎一)、2位 清水 俊希 (古河三)、3位 鈴木 優広 (土浦一)
4位 浅野 快誓 (土浦一)、5位 岩本 陽 (日立一)、6位 藁谷 太一 (水 城)
7位 皆川 哲彦 (水戸一)
- ・ B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 細谷 航平 (土浦一)、2位 木村 仁 (土浦一)、2位 栗山 智行 (竜崎一)
4位 石井 悠葵 (土浦一)、5位 田口 裕貴 (古河三)、6位 前田 優人 (水戸一)
7位 中山 弘貴 (清 真)
- ・ B級3組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 庵原慎太郎 (古河三)、2位 海野 累 (水戸一)、3位 羽成 豪 (並木中等)
4位 寺門仙太郎 (水 城)、4位 松本 大輝 (茨高専)、6位 福田 翔 (水戸一)
7位 桐原 康輔 (水戸一)
- ・ C級1組
優勝 齊藤 慈岳 (茨 城)、2位 染谷 歩 (茨高専)、3位 中原 健吾 (茨 城)
4位 石川 武 (古河三)、5位 柿沼 健吾 (古河三)、6位 角川 舜一 (茨 城)
- ・ C級2組
優勝 山崎 隆平 (茨 城)、2位 松尾 祐樹 (土浦一)、3位 軍司 龍哉 (海 洋)
4位 松田 慎也 (土日大)、5位 阿左美龍介 (土日大)

○第4回段級位認定大会（第8回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会）

平成25年10月5日（土）に水戸一高知道会館で行われた。男子参加者は108名、女子参加者は6名、総勢18校114名であった。今年度は茨城県高等学校総合文化祭という名称は正式には使用しないことになった。

○段級位認定大会（茨城県高等学校総合文化祭将棋大会）試合結果

- ・ A級（スイス式トーナメント方式5回戦、13名参加申込、入賞者=1敗者まで）
優勝 山崎 英幸 (翔 洋)、2位 辻 聡智 (竜崎一)、3位 桐原 康輔 (水戸一)
4位 関根 光 (水 城)、5位 今元 裕太 (茨高専)、6位 肥田 侑大 (水葵陵)
7位 飯田 雄二 (水 城)
- ・ B級（スイス式トーナメント方式5回戦、32名参加申込、入賞者=1敗者まで）

- 優勝 柳沼 修太 (竜崎一)、2位 栗山 智行 (竜崎一)、3位 寺門仙太郎 (水 城)
 4位 長谷川博紀 (水戸一)、5位 嶋崎 晴也 (水戸一)、5位 佐藤 良賢 (水葵陵)
- ・ C級 (スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加申込、入賞者=1敗者まで)
 優勝 阿左美龍介 (土日大)、2位 野口 真司 (土日大)、3位 小菅 規夫 (竜崎一)
 4位 佐倉 拓歩 (竜崎一)、4位 野中 大暉 (茨高専)
 - ・ D級 (スイス式トーナメント方式5回戦、43名参加申込、入賞者=1敗者まで)
 優勝 志村 友基 (水葵陵)、2位 八重樫邦彦 (水葵陵)、3位 松本 裕大 (古河三)
 4位 滑川 佳樹 (日立商)、5位 富澤 玲 (日立商)、5位 加藤 大樹 (水葵陵)
 7位 崔 惠仁 (水葵陵)、8位 網敷 一步 (清 真)

○いばらき総文 2014 プレ大会総合開会式

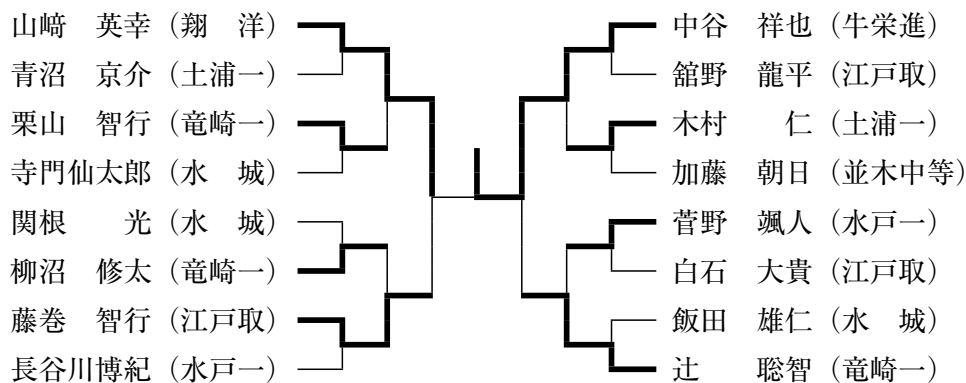
平成 25 年 10 月 12 日 (土) につくばカピオで行われた。茨城県高等学校文化連盟に加入する全ての部会から代表者が1名参加し、将棋部会では郡司直弥 (石岡一) が代表参加した。

○秋季大会 (いばらき総文 2014 プレ大会)

平成 25 年 11 月 13 日 (水) に茨城県武道館大道場で行われた。大道場の半面を将棋部会、半面を囲碁部会が使用し、県代表者選出とともに、いばらき総文 2014 将棋部門の成功を目指して問題の洗い出しに務めた。男子参加申込者は 113 名、女子参加申込者は 11 名、総勢 21 校 124 名であった。男子の級別では A 級 21 名、B 級 92 名である。男子 A 級上位 4 名【中谷祥也 (牛栄進 2 年・優勝)・山崎英幸 (翔洋 1 年・2 位)・辻聡智 (竜崎一 1 年・3 位)・藤巻智行 (江戸取 1 年・4 位)】と女子 4 名【岩堀佳菜 (土浦一 1 年・優勝)・足立美桜 (水葵陵 2 年・2 位)・崔惠仁 (水葵陵 2 年・3 位)・笠野里緒 (鹿島 1 年・5 位)】は関東大会への出場権を得、男子上位 2 名 (中谷と山崎) と女子 4 名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。女子 4 位は私事都合により上位大会出場を辞退したため、女子 5 位が上位大会に出場した。女子は試合参加者が奇数で、岩堀佳菜 (土浦一) が全国大会で活躍していることにより、岩堀を除く 10 名の総当たりを行い、その 1 位と岩堀とで決勝戦を行うことにした。

○秋季大会試合結果

- ・男子 A 級のトーナメント表 (秋季大会ベスト 16 より)



- ・女子 (変形総当たり)

- 優勝 岩堀 佳菜 (土浦一)、2位 足立 美桜 (水葵陵)、3位 崔 惠仁 (水葵陵)
 4位 大内 芽依 (水葵陵)、5位 笠野 里緒 (鹿 島)、6位 笠井 玲奈 (鹿 島)
 7位 谷津 汐美 (水葵陵)、8位 保立 祐希 (鹿 島)、9位 菅谷 莉奈 (水葵陵)

- 10位 藤崎 詩織（水葵陵）、11位 小林 美咲（水葵陵）
- ・ B級（スイス式トーナメント方式4回戦、82名参加、入賞者＝全勝者）
 - 優勝 藁谷 太一（水 城）、優勝 松尾 祐樹（土浦一）、優勝 山崎 隆平（茨 城）
 - 4位 福田 翔（水戸一）、5位 石川 貴大（日立一）、6位 嶋崎 晴也（水戸一）
 - ・ C級（A級敗者戦）
 - 優勝 肥田 侑大（水葵陵）、2位 羽成 豪（並木中等）

○水戸の梅まつり将棋フェスタ

平成26年2月22日（土）に水戸市の偕楽園（仙奕台・見晴広場）で行われた。水戸梅まつり（水戸観光協会主催）の中での、いばらき総文2014大会PRイベントとして、女流棋士4名【本田小百合女流三段（水戸市出身・いばらき総文2014の指導者の一人・将棋フェスタ解説者）、上田初美女流三段（将棋フェスタ対局者）、安食総子女流初段、伊藤明日香女流初段】と茨城県高校将棋部会代表生徒の席上対局が行われた。運営については日本将棋連盟茨城県支部連合会の全面的な支援を受けた。

高校生対局者としては、全国大会で好成績を挙げた中谷祥也・山崎英幸・岩堀佳菜の3名、補助役員（棋譜記録・読み上げ等）としては、いばらき総文2014部門別生徒実行委員会委員【将棋】の佐藤良賢・遠藤貴大・皆川哲彦が業務別実行委員と共に活躍し、いばらき総文2014の開催についてのPRも行った。

◎第37回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第49回全国高等学校将棋選手権大会）

平成25年7月31日（水）～8月1日（木）に長崎県西彼杵郡時津町の時津町コスモス館で行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子団体	竜ヶ崎第一高校	予選敗退
女子団体	水戸葵陵高校	予選敗退
男子個人	三村 駿（日立一3年）	本戦トーナメント進出・ベスト16
同	中谷 祥也（牛栄進2年）	全国5位
女子個人	岩堀 佳菜（土浦一1年）	本戦トーナメント進出・ベスト16
同	黒澤 瞳（土浦一3年）	予選敗退

◎第26回全国高等学校将棋竜王戦

平成25年8月22日（木）～23日（金）に福岡県福岡市の電気ビル共創館で行われた。本県代表の山崎英幸（翔洋1年）は予選で敗退し、竜王杯（敗者戦）優勝・敢闘賞という成績となった。

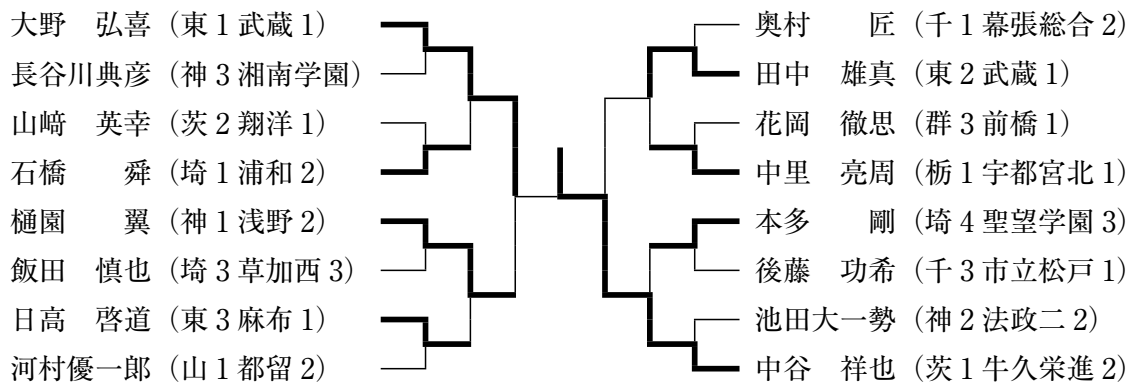
◎第24回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成25年12月22日（日）に茨城県水戸市の茨城県民文化センター分館で行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。男子都県別対抗戦では2位であった。12月21日（土）には同会場にて準備を行った。また、高等学校文化連盟全国将棋専門部と公益社団法人日本将棋連盟との協定に基づく高等学校文化連盟棋士派遣事業により、先崎学八段が派遣され、高校生たちは大盤解説を含めてその指導を受けた。またいばらき総文2014将棋部門で審判長を務める美馬和夫氏が大盤解説の聞き手を務めた。

男子	中谷 祥也（牛栄進2年）	優勝（茨城県勢男子初の関東優勝）
同	山崎 英幸（翔洋1年）	トーナメント2回戦敗退
同	辻 聡智（竜崎一1年）	トーナメント1回戦敗退

同	藤巻 智行 (江戸取1年)	トーナメント1回戦敗退
女子	岩堀 佳菜 (土浦一1年)	ベスト16
同	足立 美桜 (水葵陵2年)	トーナメント2回戦敗退
同	崔 恵仁 (水葵陵2年)	トーナメント2回戦敗退 (1回戦シード)
同	笠野 里緒 (鹿島1年)	トーナメント1回戦敗退

・関東大会男子のトーナメント表 (ベスト16より) 氏名・県名・順位・所属校・学年を表記



◎第22回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成26年1月30日(木)～2月1日(土)に北海道函館市の花びしホテルで行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子	中谷 祥也 (牛栄進2年)	全国2位 (茨城県勢初の全国新人大会2位)
同	山崎 英幸 (翔洋1年)	予選敗退
女子	岩堀 佳菜 (土浦一1年)	全国ベスト16
同	足立 美桜 (水葵陵2年)	予選敗退
同	崔 恵仁 (水葵陵2年)	予選敗退
同	笠野 里緒 (鹿島1年)	予選敗退

平成 26 (2014) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 26 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	生田目正直（高萩清松）	書記	矢須 雅進（石岡一）
副会長	鈴木 康司（茨高専）	会計	関根理恵子（日立工）
事務局	矢須 雅進（石岡一）	監査	今井 健二（水戸葵陵）
同	藤崎 正輝（大 洗）	同	小賀 柳一（水 城）
同（春季）	大山 正道（水戸一）		
同（竜王）	藤崎 正輝（大 洗）		
同（段級）	吉田 真弘（竜崎一）		
同（秋季）	矢須 雅進（石岡一）		

※ここ数年、38 回全国高等学校総合文化祭（いばらき総文 2014）将棋部門への準備のため、事務局長・事務局次長は担当者が継続担当していたが、現在の事務局制は今年度までとし、平成 27 年度からは輪番制にすることになった。

○平成 26 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校（28 校）

茨高専	日立一	日立工	日立商	太田一	水戸一	緑 岡	海 洋
大 洗	鹿 島	波 崎	土浦一	石岡一	竜崎一	牛久栄進	竹 園
古河三	並木中等教育		翔 洋	茨 城	水 城	水戸葵陵	清 真
霞ヶ浦	土浦日大	土浦日大中等教育		東洋大牛久		江戸川学園取手	

○茨城県高等学校文化連盟賞受賞者

中谷祥也（牛栄進 3 年）・岩堀佳菜（土浦一 2 年）・水戸葵陵高校将棋部

※全国高等学校総合文化祭本県開催をきっかけに今年度から創設された。各部会の推薦により、茨城県高等学校文化連盟加盟校から 3 名（団体）まで選出されることになった。

○茨城県高等学校文化連盟将棋部会サイト（ホームページ）

平成 26 年 12 月 5 日（金）に、茨城県高等学校文化連盟将棋部会（茨城県高等学校文化連盟将棋専門部）サイトを創設した。これによって全国高等学校総合文化祭将棋部門（いばらき総文 2014）の記録を行い、また、茨城県高等学校文化連盟将棋部会発刊記念誌や大会運営に必要なデジタルデータを、アクセスしやすいように保存することを目的とする。

開始時のアドレスは下記①の通りだが、茨城県教育情報ネットワークの更新により、平成 27 年度 9 月以降下記アドレス②に変更になる。

① <http://www.gr.ibk.ed.jp/koubunren-shogi/> → ② <http://www.shogi.koubun.ibk.ed.jp/>

○春季大会

平成 26 年 5 月 9 日（金）～ 10 日（土）に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 9 校 12 チーム、B 級 18 校 32 チーム、女子団体戦参加申込校は 2 校 3 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 28 名、男子個人戦 B 参加申込者は 115 名、女子個人戦参加申込者は 11 名、総勢 25 校 154 名であつ

た。男子団体戦は江戸川学園取手高校（藤巻智行2年・鎌田涼雅1年・館野龍平2年）、女子団体戦は鹿島高校（笠野里緒2年・笠井玲奈2年・保立祐希2年）、男子個人戦A級は上村友大（太田一1年・優勝）・三村廉（日立一1年・2位）・山崎英幸（翔洋2年・3位）・中谷祥也（牛栄校3年・4位）、女子個人戦は岩堀佳菜（土浦一2年・優勝）・足立美桜（水戸葵陵3年・2位）・崔恵仁（水戸葵陵3年・3位）・佐々木春香（大洗1年・4位）が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。全国総文祭が本県で開催されることにより、本県選手個人戦出場枠が拡大されている。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子A級（県代表決定戦・トーナメント） 団体戦女子（総当たり・県代表決定戦）

優勝 江戸川学園取手	鹿島
2位 水城A	水戸葵陵A
3位 竜ヶ崎一A	水戸葵陵B
3位 水戸一A	

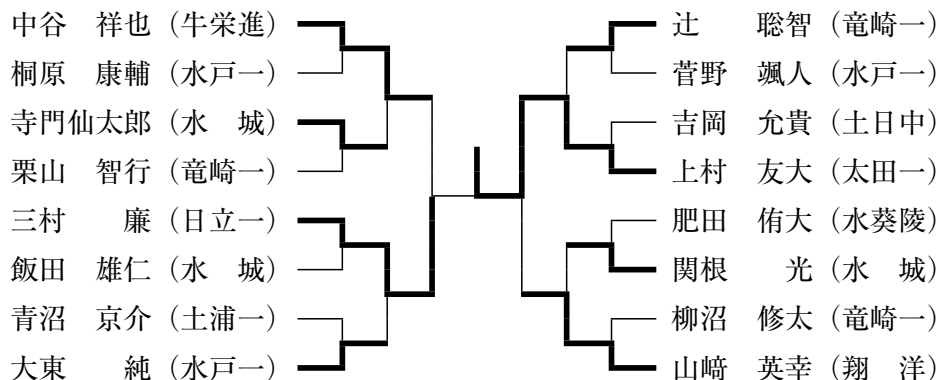
・団体戦B級（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合2名出場可、入賞者=1敗者まで）

①水戸葵陵A ②水戸一A ③竹園 ④古河三A ⑤日立一A ⑥水城 ⑦太田一

・団体戦C級（男子団体A敗者戦）

※平成25年度より、生徒に多く対局の機会を与えるという趣旨のもと、スイス式トーナメントの形式で順次敗者を繰り入れた手合いをつけ、順位をつけないことになった。

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦（総当たり）

優勝 岩堀 佳菜（土浦一）、2位 足立 美桜（水葵陵）、3位 崔 恵仁（水葵陵）
4位 佐々木春香（大洗）、5位 谷津 汐美（水葵陵）、6位 小林 美咲（水葵陵）
7位 菅谷 莉奈（水葵陵）、8位 藤崎 詩織（水葵陵）

・個人戦B級（スイス式トーナメント方式4回戦、男女混合、入賞者=全勝者）

優勝 管藤 剛（日立一）、2位 長谷川博紀（水戸一）、2位 藁谷 太一（水城）
4位 海野 壘（水戸一）、4位 栗田 海里（茨高専）、4位 佐藤 祐弥（水城）、
4位 嶋崎 晴也（水戸一）

※全国総文祭のスイス式トーナメント4回戦の運営に慣れるため、通常と異なり、B級内での組分けをせず1リーグで行った。

・個人戦C級（男子A級敗者戦）

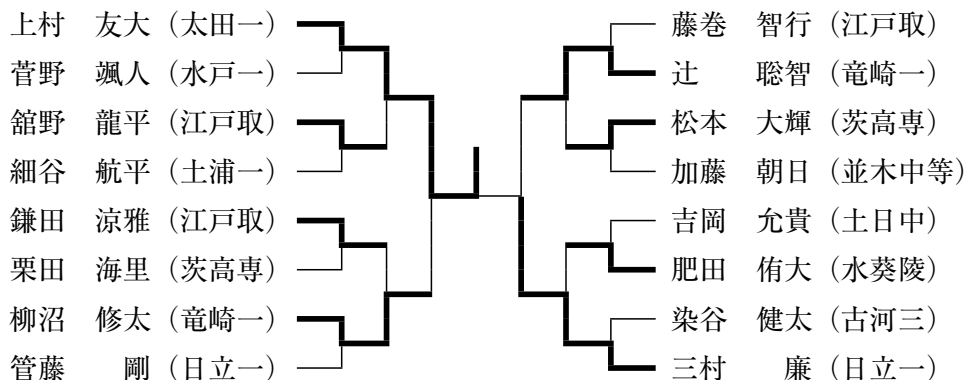
優勝 松本 大輝（茨高専）、2位 寺園 結基（竹園）

○夏季大会（第27回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成26年6月14日（土）に茨城県民文化センターで行われた。男子参加者は149名で、女子参加者は10名、総勢22校159名であった。級別ではA級29名、B級130名である。A級は上村友大（太田一）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

- ・A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



- ・B級（スイス式トーナメント方式4回戦、男女混合、入賞者=全勝者）

優勝 佐倉 拓歩（竜崎一）、2位 笠野 里緒（鹿島）、2位 照沼 峻（日立商）、
4位 嶋崎 晴也（水戸一）、5位 根本 拓実（日立一）、5位 富澤 玲（日立商）、
7位 海野 累（水戸一）、8位 松本 裕大（古河三）

- ・C級（A級敗者戦）

優勝 寺園 結基（竹園）、2位 藤巻 智行（江戸取）

※全国総文祭のスイス式トーナメント4回戦の運営に慣れるため、通常と異なり、B級内での組分けをせず1リーグで行った。また初心者戦としてのC級を設置しなかった。

○第5回段級位認定大会（第9回茨城県高等学校総合文化祭将棋大会）

平成26年10月4日（土）に石岡市民会館で行われた。男子参加者は96名、女子参加者は5名、総勢19校101名であった。今年度、将棋部顧問の数名に指導の一環として大会参加を要請した。下記試合結果は教員を除いたものである。また、名称が柔剣道等の昇段試験と紛らわしいことにより、茨城県高等学校文化連盟会長の了解を得て、来年度以降は正式名称を茨城県高等学校総合文化祭将棋大会とし、段級位認定大会の名称を使用しないことになった。

○段級位認定大会（茨城県高等学校総合文化祭将棋大会）試合結果

- ・A級（スイス式トーナメント方式5回戦、15名参加申込、入賞者=1敗者まで）

優勝 大東 純（水戸一）、2位 三村 廉（日立一）、3位 上村 友大（太田一）
4位 鎌田 涼雅（江戸取）、5位 長谷川博紀（水戸一）

- ・B級（スイス式トーナメント方式5回戦、34名参加申込、入賞者=1敗者まで）

優勝 細谷 佳正（水戸一）、2位 寺園 結基（竹園）、3位 会沢 直樹（茨城）
4位 嶋崎 晴也（水戸一）、5位 秋本 裕太（江戸取）、6位 八重樫邦彦（水葵陵）

- ・C級（スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加申込、入賞者=1敗者まで）

優勝 富澤 玲（日立商）、2位 興澤 優司（太田一）、3位 加藤 大樹（水葵陵）

4位 川田 青星（竜崎一）

・D級（スイス式トーナメント方式5回戦、26名参加申込、入賞者＝1敗者まで）

優勝 滑川 佳樹（日立商）、2位 黒澤 恭平（日立商）、3位 中野 裕聖（日立商）

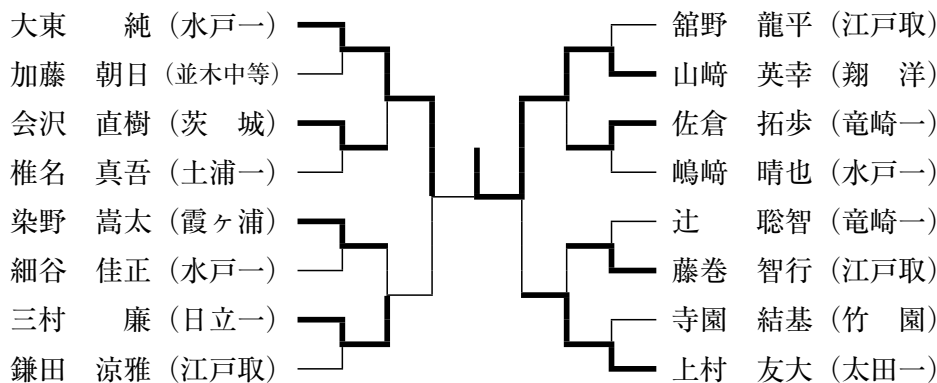
4位 菅原 康平（日立商）

○秋季大会

平成26年11月13日（木）に石岡市民会館で行われた。男子参加申込者は117名、女子参加申込者は10名、総勢22校127名であった。男子の級別ではA級23名、B級94名である。男子A級上位4名【山崎英幸（翔洋2年）・大東純（水戸一1年）・上村友大（太田一1年）三村廉（日立一1年）】と女子4名【岩堀佳菜（土浦一2年）・笠野里緒（鹿島2年）・笠井玲奈（鹿島2年）保立祐希（鹿島2年）】は関東大会への出場権を得、男子上位2名（山崎と大東）と女子4名は全国新人大会への出場権も同時に獲得した。女子は試合参加者が奇数で、岩堀佳菜（土浦一）が全国大会で活躍していることにより、岩堀を除く8名の総当たりを行い、その1位と岩堀とで決勝戦を行うことにした。また、高等学校文化連盟全国将棋専門部と公益社団法人日本将棋連盟との協定に基づく高等学校文化連盟棋士派遣事業により、横山泰明六段が派遣され、高校生たちはその指導を受けた。

○秋季大会試合結果

・男子A級のトーナメント表（秋季大会ベスト16より）



・女子（変形総当たり）

優勝 岩堀 佳菜（土浦一）、2位 笠野 里緒（鹿島）、3位 笠井 玲奈（鹿島）

4位 保立 祐希（鹿島）、5位 佐々木春香（大洗）、6位 菅谷 莉奈（水葵陵）

6位 山田 京果（水葵陵）、8位 藤崎 詩織（水葵陵）、8位 小林 美咲（水葵陵）

・B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、28名参加、入賞者＝1敗者まで）

優勝 長谷川博紀（水戸一）、2位 小菅 規央（竜崎一）、3位 富澤 玲（日立商）

4位 八重樫邦彦（水葵陵）、5位 秋本 裕太（江戸取）

・B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、30名参加、入賞者＝1敗者まで）

優勝 野口 真司（土日大）、2位 沼田 賢一（竜崎一）、3位 小林 京平（緑岡）

4位 加藤 大樹（水葵陵）、4位 松田樹生也（水戸一）、6位 福田 翔（水戸一）

・B級3組（スイス式トーナメント方式5回戦、30名参加、入賞者＝1敗者まで）

優勝 川田 青星（竜崎一）、2位 滑川 佳樹（日立商）、3位 須能 大輔（水城）

4位 木下 天暁（水戸一）、5位 山口 雄大（水戸一）、5位 山本 克治（竜崎一）

・C級（A級敗者戦）

優勝 管藤 剛（日立一）、2位 吉岡 允貴（土日中）

◎第38回全国高等学校総合文化祭〔いばらき総文2014〕将棋部門

(第50回全国高等学校将棋選手権大会)

平成26年7月27日(日)～7月28日(月)に本県水戸市の茨城県武道館で行われた。本県代表選手は下記の成績を取めた。総合開会式には椎名真吾(土浦一)が代表参加した。

男子団体	江戸川学園取手高校	予選敗退
女子団体	鹿島高校	予選敗退
男子個人	上村 友大(太田一1年)	予選敗退
同	三村 廉(日立一1年)	本戦トーナメント進出
同	山崎 英幸(翔洋2年)	本戦トーナメント進出・ベスト16
同	中谷 祥也(牛栄進3年)	本戦トーナメント進出
女子個人	岩堀 佳菜(土浦一2年)	本戦トーナメント進出・ベスト16
同	足立 美桜(水葵陵3年)	予選敗退
同	崔 恵仁(水葵陵3年)	予選敗退
同	佐々木春香(大洗1年)	予選敗退

◎第27回全国高等学校将棋竜王戦

平成26年8月24日(日)～25日(月)に福岡県福岡市の電気ビル共創館で行われた。本県代表の上村友大(太田一1年)は全国3位という成績を取めた。

◎第25回関東地区高等学校文化連盟将棋大会

平成26年12月20日(土)～21日(日)に埼玉県さいたま市のWith You さいたま(埼玉県男女共同社会参画センター)で行われた。本県代表選手は下記の成績を取めた。男子都県別対抗戦では3位であった。

男子	山崎 英幸(翔洋2年)	会長杯(敗者戦)男子2位
同	大東 純(水戸一1年)	会長杯(敗者戦)敗退
同	上村 友大(太田一1年)	5位
同	三村 廉(日立一1年)	会長杯(敗者戦)敗退
女子	岩堀 佳菜(土浦一2年)	5位
同	笠野 里緒(鹿島2年)	会長杯(敗者戦)女子優勝
同	笠井 玲奈(鹿島2年)	会長杯(敗者戦)敗退
同	保立 祐希(鹿島2年)	会長杯(敗者戦)敗退

◎第23回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

平成27年1月29日(木)～31日(土)に新潟県新潟市のホテルオークラ新潟で行われた。本県代表選手は下記の成績を取めた。

男子	山崎 英幸(翔洋2年)	全国3位
同	大東 純(水戸一1年)	予選敗退
女子	岩堀 佳菜(土浦一2年)	全国5位
同	笠野 里緒(鹿島2年)	予選敗退
同	笠井 玲奈(鹿島2年)	予選敗退
同	保立 祐希(鹿島2年)	予選敗退

平成 27 (2015) 年度

見出しの○は県内関係、◎は上位大会（全国大会・関東大会）関係である。

○平成 27 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

会長	福島 克郎 (古河三)	書記	斧田 並枝 (緑 岡)
副会長	坂入 勝雄 (竹 園)	会計	佐藤 康 (並木中等)
事務局	増渕 禎志 (古河三)	監査	鈴木 純子 (日立一)
同	中郡 久夫 (太田一)	同	中村 秀子 (日立商)
同 (春季)	矢須 雅進 (石岡一)		
同 (竜王)	桑原 昭之 (江戸取)		
同 (総文)	鹿島 卓郎 (海 洋)		
同 (秋季)	斧田 並枝 (緑 岡)		

※昨年度の顧問会議（理事会）の判断に基づき、事務局は今年度から輪番制を導入した。

○平成 27 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会加盟校 (26 校)

茨高専	日立一	日立商	太田一	水戸一	緑 岡	海 洋	大 洗
鹿 島	土浦一	石岡一	竜崎一	竹 園	下妻一	古河三	並木中等教育
茨 城	水 城	水戸葵陵	清 真	霞ヶ浦	土浦日大	土浦日大中等教育	
東洋大牛久	江戸川学園取手	土浦特別支援					

○春季大会

平成 27 年 5 月 8 日 (金) ~ 9 日 (土) に水戸一高知道会館で行われた。男子団体戦参加申込校は A 級 11 校 13 チーム、B 級 19 校 38 チーム、女子団体戦参加申込校は 2 校 2 チーム、男子個人戦 A 参加申込者は 28 名、男子個人戦 B 参加申込者は 134 名、女子個人戦参加申込者は 8 名、総勢 25 校 170 名であった。男子団体戦は江戸川学園取手高校 (藤巻智行 3 年・館野龍平 3 年・秋本裕太 2 年)、女子団体戦は鹿島高校 (笠野里緒 3 年・笠井玲奈 3 年・保立祐希 3 年)、男子個人戦 A 級は三村廉 (日立一 2 年・優勝)・上村友大 (太田一 2 年・2 位)、女子個人戦は佐々木春香 (大洗 2 年・優勝)・菅谷莉奈 (水戸葵陵 3 年・2 位) が上位入賞し、今年度の全国高等学校総合文化祭将棋部門への出場権を手にした。菅谷は私事都合で出場辞退し、女子 3 位が出場することになった。

○春季大会試合結果

団体戦

団体戦男子 A 級 (県代表決定戦・トーナメント)	団体戦女子 (総当たり・県代表決定戦)
優勝 江戸川学園取手	鹿島
2 位 水戸一 A	水戸葵陵
3 位 竜ヶ崎一 A	
3 位 茨城高専	

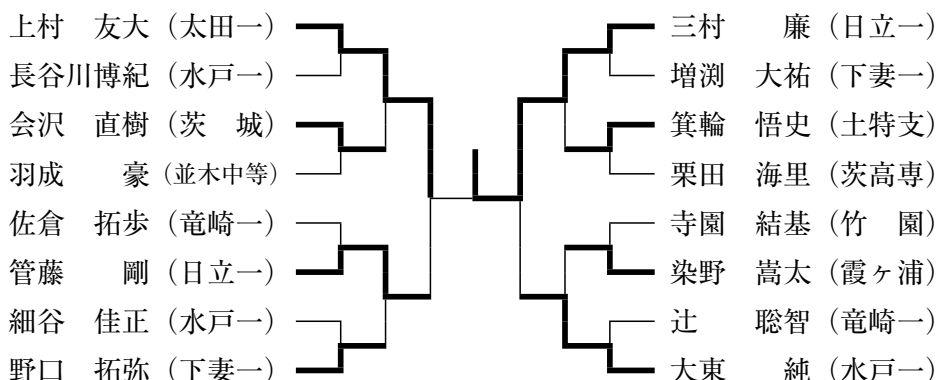
・団体戦 B 級 (スイス式トーナメント方式 5 回戦、男女混合 2 名出場可、入賞者 = 1 敗者まで)

①水葵陵 A ②水戸一 A ③土浦一 ④水葵陵 C ⑤土浦日大 A ⑥日立商 A ⑦水葵陵 B

・団体戦C級（男子団体A敗者戦）

※平成25年度より、生徒に多く対局の機会を与えるという趣旨のもと、スイス式トーナメントの形式で順次敗者を繰り入れた手合いをつけ、順位をつけなくなった。

・男子個人戦A級のトーナメント表（春季大会ベスト16より）



・女子個人戦（総当たり）

優勝 佐々木春香（大洗）、2位 菅谷 莉奈（水葵陵）、3位 小林 美咲（水葵陵）
4位 山田 京果（水葵陵）、4位 藤崎 詩織（水葵陵）

・個人戦B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 富山虎之介（茨高専）、2位 酒井 大樹（土浦一）、3位 山本 克治（竜崎一）
4位 皆川 哲彦（水戸一）、5位 高沼 昂史（水戸一）、6位 八重樫邦彦（水葵陵）

・個人戦B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 福田 翔（水戸一）、2位 山口 雄大（水戸一）、3位 富澤 玲（日立商）
4位 山崎 陽志（土浦一）、5位 笠野 里緒（鹿島）、6位 小泉 喜裕（茨城）

・個人戦B級3組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 照沼 峻（日立商）、2位 野口 真司（土日大）、3位 片岡 秀斗（水城）
4位 大津 一颯（茨高専）、5位 沼田 賢一（竜崎一）、6位 水戸部幸輝（茨高専）

・個人戦B級4組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）

優勝 島崎 晴也（水戸一）、2位 滑川 佳樹（日立商）、3位 嶋田 宇宙（水葵陵）
3位 中村 厚大（土日大）、5位 小菅 規央（竜崎一）、6位 大塚 迅（並木中等）

※個人戦B級への出場者が多く、4組に分けることになったのはスイス式採用後初めて。

・個人戦C級（男子A級敗者戦）

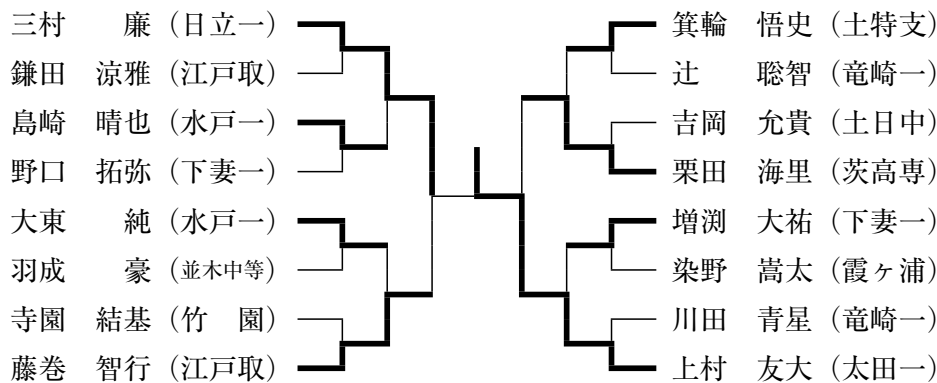
優勝 栗田 海里（茨高専）、2位 川田 青星（竜崎一）

○夏季大会（第27回全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦）

平成27年6月13日（土）に水戸一高知道会館で行われた。男子参加申込者は141名で、女子参加申込者は7名、総勢24校148名であった。級別ではA級32名、B級77名、C級39名である。A級は上村友大（太田一2年）が制し、全国高校竜王戦への出場権を手にした。

○夏季大会（竜王戦）試合結果

- ・ A級のトーナメント表（夏季大会〔竜王戦〕ベスト16より）



- ・ 個人戦B級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 福田 翔（水戸一）、2位 小菅 規央（竜崎一）、3位 須能 大輔（水城）
4位 直井 史貴（竜崎一）
- ・ 個人戦B級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 細谷 佳正（水戸一）、2位 小林 京平（緑岡）、3位 皆川 哲彦（水戸一）
4位 松田樹生也（水戸一）、5位 嶋田 宇宙（水葵陵）
- ・ 個人戦B級3組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 滑川 芳樹（日立商）、2位 山口 周（水戸一）、3位 勝呂 凱（竜崎一）
4位 木下 天暁（水戸一）、4位 沼田 賢一（竜崎一）、6位 山口 雄大（水戸一）
- ・ 個人戦C級1組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 川崎 勇真（茨高専）、2位 和田 朋也（太田一）、3位 大津 一颯（茨高専）
- ・ 個人戦C級2組（スイス式トーナメント方式5回戦、男女混合、入賞者=1敗者まで）
優勝 白鳥 友貴（鹿島）、2位 砂岡 修斗（竹園）、3位 浅野 友輔（太田一）
- ・ D1級（A級1回戦敗者戦）
優勝 佐倉 拓歩（竜崎一）、2位 長谷川博紀（水戸一）
- ・ D2級（A級2回戦敗者戦）
優勝 辻 聡智（竜崎一）、2位 寺園 結基（竹園）
- ・ D3級（A級3回戦敗者戦）
優勝 箕輪 悟史（土特支）、2位 大東 純（水戸一）

○高等学校文化活動推進事業

昨年度のいばらき総文2014を契機に、茨城県高校生文化部加入生徒加入率が高まり、文化部活動が活性化したことを背景に、茨城県教育庁からの指示で、高等学校文化活動推進事業が開始された。年度毎にいくつかの高等学校文化連盟各分会が指定され、外部指導者による生徒への複数回の指導を行い、その成果を県民に発表しようというものである。これによって文化部の裾野を広げ、レベルアップ・加入生徒のいっそうの増加をはかっている。平成27年度は将棋部会が指定された。平成27年度は下記の予定（7月現在）で女流棋士及び茨城県在住のアマチュア強豪を指導者として招き、生徒への指導を依頼した。

- 第1回 平成27年8月29日（土）石岡一高
- 第2回 平成27年11月13日（金・秋季大会）石岡市民会館
- 第3回 平成27年12月12日（土）水戸一高・知道会館

◎第 39 回全国高等学校総合文化祭将棋部門（第 51 回全国高等学校将棋選手権大会）

平成 27 年 7 月 28 日（火）～ 29 日（水）に滋賀県米原市の県立文化産業交流会館で行われた。本県代表選手は下記の成績を収めた。

男子団体	江戸川学園取手高校	予選敗退
女子団体	鹿島高校	予選敗退
男子個人	三村 廉（日立一二年）	本戦トーナメント進出
同	上村 友大（太田一二年）	本戦トーナメント進出
女子個人	佐々木春香（大洗二年）	予選敗退
同	小林 美咲（水葵陵三年）	予選敗退

◎第 28 回全国高等学校将棋竜王戦

平成 27 年 8 月 19 日（木）～ 20 日（金）に福岡県福岡市の電気ビル共創館で行われた。本県代表の上村友大（太田一二年）は全国 2 位という成績を収めた。

この10年間の栄光の選手

高校時代の将棋活動

古河第三高等学校 熊倉紫野
(高校在学 平成16～18年度)

早いもので高校を卒業してから9年が経とうとしています。高校を卒業したと同時に将棋の女流棋士となり、今はその道一本で活動しています。ここで高校時代の将棋活動について振り返ってみたいと思います。

幼いときから将棋を指し、女流棋士を目指していた私は古河三高に入学したとき、将棋部に入るのは自然なことでした。当時将棋部には部員がいなかったので、それを見て中学時代の友達やクラスメイトが何人も入部してくれました。部活動が始まった頃は駒の動かし方を教えるところからでしたが、動かせるようになってからは県大会にも参加しました。県大会の個人戦は女子の部には出られなかったため(女流棋士になるための養成機関である育成会に入っていたため)、男子と混合の高校竜王戦に出ました。子供の頃から強くて有名で、お互いに顔見知りだった方に負けて、肩を落とした記憶があります。一緒に大会に参加した部員に励ましてもらったり、懐かしい思い出です。将棋は一人で戦うゲームなので、仲間がいる感覚は高校時代での特別なものだったと思っています。また先生方にも「将棋の調子どう？」など気にかけていただきありがたかったです。

中学二年で育成会に入り、高卒と同時にプロ入りを決めました。早いと1年で女流棋士になれるところを、5年かかり、高校時代に重なる3年間は今振り返っても苦しい時期だったと思います。そこを乗り越えられたのも部員や先生方の励まし、応援のおかげです。

今はまだ女流棋士として思うような結果を残せていないので、その気持ちを励みに、また苦労したときの思いを糧に今後も精進していきます。

【主要な成績：全国高等学校将棋竜王戦茨城県大会2位】

高等学校将棋部活動の思い出

水城高等学校 田地規朗
(高校在学 平成16～18年度)

幼稚園生のときに将棋に初めて接し、一時はプロを目指し研修会に所属していた。学生の大会や日立支部の例会を中心に大会に出場し腕をみがいた。

高校生になり、初めて囲碁将棋部の門をたたいた。中学校までは学校の同級生と将棋を指す機会はほとんどなく、新鮮な気持ちでのぞんだ。高校将棋では個人戦の他、3人制の団体戦もある。個人の競技である将棋で団体戦は初めての経験で、囲碁の強い先輩から指導を受ける傍ら、将棋の団体戦で全国大会出場を目指す日々が始まった。水城高校の将棋部は有段者の先輩の引退後、級位者中心の部活であったが、意欲的な部員が多く切磋琢磨し上達に励んだ。私自身も囲碁で初心者から始めて有段者まで上達することができた。

県大会では現在女流棋士の熊倉さんや、泉對姉妹の妹の泉對貴子さんといった女流強豪たちとの勝負、勝又君他強豪たちと勝負を繰り返した。特に勝又君はリードを奪われてからも離されないように差を保つ指し方がうまく、最後まで勝ち切るのが大変だった（終盤での逆転負けも何度も経験した）。団体戦では江戸川取手や茨城高校といった層の厚い高校に阻まれ、残念ながら県大会を突破することはできなかった。

全国大会には個人で何度か参加することができ、徳島・青森・京都・福岡と各地を旅した。印象深かったことは水城高校の同級生が応援のため青森まで一緒に来てくれたことだ。新幹線車内から将棋を指し、一緒に十和田湖温泉に朝から1日5回入るといった具合に満喫した。将棋の結果の方は竜王戦で予選突破できた他は目立った成績は残せなかった。当時は居飛車党だが相居飛車の将棋の定跡形に疎く、対抗形にすべく慣れない振り飛車を指すこともあった。そのため序中盤でリードを奪われる展開が多かった。ミスを的確にとがめられてしまい、改めて全国大会の層の厚さを実感した。全国大会は将棋好きの高校生が一同に会する場でもあり、時間を忘れて他県のライバル達と将棋を指した。今思えば、夜遅くまでお酒も飲まずによくもあれだけ将棋を延々と指し続けてたものだ、と思う。

高校卒業後は棋譜並べを中心に将棋の勉強を続け、相居飛車に対する苦手意識もなくなった。日々の生活の合間に細々と将棋と触れ合っている。将棋および将棋を通じて出会った人たちは大切な宝物であり、今後も大切にしていきたい。最後に顧問の先生、茨城県高校将棋連盟の皆様感謝の想いを残し高校時代の想起を終える。

【主要な成績：全国高等学校将棋選手権大会出場・全国高等学校将棋竜王戦本戦出場】

高校将棋と私

茨城キリスト教学園高等学校 幡宮 慎太郎
(高校在学 平成19～21年度)

今回「この10年間の栄光の選手」として私を取り上げていただいたことに、光栄に思うとともに、少し恐縮な感じもする。それは当時の自分の棋力が周りと比べて決して抜きん出たものではなく、周りに自分と同等のレベルの選手は他にも多くいたからだ。そんな中で県予選突破という結果を何度か残せたことは運が良かったため、そのことを初めに述べておく。

自分の高校将棋生活を振り返ってみて他の人たちと異なることに、入学当初自分の通う高校に将棋部がなかったことがある。趣味の将棋を高校でもやりたかったこと、高文連主催の大会には個人ではなく部としての参加が必要であったことから、担任の先生や、高文連将棋部の藤崎さんと相談し、部をつくることにした。部員は自分一人だけ。対戦相手は学内にいない。将棋が指せる場所は学校の近くにある道場で、対戦相手の年齢は一回りも二回りも上。自分は周りと比べて浮いているのではないか。将棋は周りからあまりよく思われていないのではないか。このような考えが自分の中に引っかかり、当時の自分にとって将棋は一番の趣味であると同時にあまりさらけ出さたくないコンプレックスのようなものでもあった。そんな自分にとって高校の将棋大会はとても新鮮な場所だった。同い年の相手と将棋を指し、気になる局面をみんなで検討する。そこで指す将棋は普段指すもの以上に楽しく、そこはかたく幸せだった。それは普段は周りの目を気にしてさらけ出せない自分を自由に表現することできたからなのだと思う。自分が高校を卒業して5年以上経過した今でも何局か思い出せるものがあり、記憶に残る

ほどいい経験だったのだと今この文章を書いて感じさせられる。全国大会でもまた、多くの同世代の対戦相手と触れ合うことができ、県予選同様楽しかった。そこで知り合った人とは今でも連絡を取る人もいて、中には同じ大学に入りともに団体戦を戦っている者もいる。こうした経験を通し、いつしか自分が将棋に対して持っていたコンプレックスは解消されていった。

こうして改めて文章にまとめてみると、自分にとって高校将棋は間違いなくかけがいのないものであった。今こうして将棋が好きでいられること。そして将棋に前向きに取り組めることは、ひとえに高校将棋で経験した賜物なのだと思う。

最後に、当時は気に留めることができなかったが、これらの経験は舞台を整えて下さった茨城県高等学校文化将棋部に携わる多くの方のご協力あってのことである。これからもこの素晴らしい大会を続けていただけの事を望みつつ、感謝申し上げます。ありがとうございました。

【主要な成績：全国高校将棋選手権大会ベスト16・関東高等学校文化連盟将棋大会4位】

高校将棋から学んだこと

日立第一高等学校 三村 駿
(高校在学 平成23～25年度)

私が高校の将棋部で印象に残っていることは、全国大会での経験です。私が初めて高校の全国大会を経験したのは一年生の夏でした。大会前、私は非常に緊張していました。大会の会場に入ると周りの人すべてが自分より強く見えてしまいました。初戦、対局開始後も緊張が解けず、序盤で腰を落として考えることができず、致命的なミスをしてしまい、いいところなく敗れてしまいました。私は完全に浮き足立っていました。その後はなんとか予選を抜けることができましたが、決勝トーナメントの初戦、相手は全国でも有名な強豪でした。ここでも序盤で信じられないミスをしてしまい、以下戦意喪失で完敗を喫しました。実力の差を感じましたが、それ以上に普段通りの自分の力が出せなかったことが悔しかったです。しかし、この大会から大事なことを学ぶことができました。それは技術面も重要ですが、それと同じくらい精神面が重要だということです。この大会以降、私は緊張しすぎず、将棋を楽しむつもりで対局に臨むことを意識するようになりました。それと序盤でミスしても粘り強く指すことの大切さを学びました。大事なことであることは分かっていたが実践することは難しいことを痛感しました。

その後の大会ではこれらのことを意識して、たとえ負けたとしても納得できる将棋を指すことができるようになりました。そして、二年生の冬の関東大会では準優勝という結果を残すことができました。この大会は決勝までの四局全てで、序盤で形勢を損ねてしまいましたが、(それもどうかと思いますが・・・)中終盤で粘りに粘って逆転することができました。

勝負を楽しむこと。状況が悪くても粘り続けること。これらはきっと将棋以外のことでも役に立つと思います。高校将棋で私は重要なことを学ぶことができました。最後に、お世話になった将棋部の顧問の先生方には本当に感謝しています。

【主要な成績：全国高校将棋選手権大会ベスト16・関東高等学校文化連盟将棋大会2位】

転機

牛久栄進高等学校 中谷祥也

(高校在学 平成24～26年度)

高校生活の3年間を振り返ると、関東大会優勝、全国高校将棋新人大会準優勝、全国高校将棋選手権大会5位と自分が思った以上の成績を残せたように思う。しかし、この結果も、すんなりと残せたわけではなかった。転機が訪れたのは、高校1年生の時に出場した高校竜王戦茨城県大会だった。当時2年間、将棋に触れていなかったのだが、準決勝で小学校の頃からのライバルを倒すことができ、優勝をほぼ確信していた。だが、決勝で大差をつけられて負けてしまった。この時、周りの人たちから戦法が古いと指摘され、初めて自分が現代将棋界から取り残されていたことに気付いた。この悔しい経験からいったん初心に戻り、将棋に対する心構えを改めて、新しい将棋に取り組んだことが結果的に上記の成績につながった。新しく覚えた戦法は自分の棋風に非常に合っていて、勝った時に誰にも負けないと思える気持ちよさがあった。現代将棋界にここで追いつけたのだろうと思っている。

高校3年間で、将棋を通して新たに学ぶこと、学び続けることの大切さが少し分かったような気がする。

最後になりますが、3年間将棋関係の大変な手続きを引き受けてくださった担任の栗林先生、応援してくださった先生、皆さん、ありがとうございました。

【主要な成績：全国高等学校将棋新人大会全国2位・関東高等学校文化連盟将棋大会優勝】

栄光の選手

第一回・第二回高校将棋選手権大会、参加のこと

土浦第一高等学校 黒岩 康
(高校在学 昭和39～41年度)

五〇年前の話—原稿依頼の手紙を頂いて驚愕したわたし。況してその手紙に同封された「茨城県高校将棋連盟の発足まで」に自分の名前が載っているなど、狐に摘まれたよう。これは何かの間違いだろう。というのも高校を出て以降、将棋などついぞ関わることなくその後の人生を生きてしまったのだから。そう思いつつ、それでもその文面を読んでいくと合点のいく話がいくつも！第一回将棋選手権大会への参加。引率者：安東輝喬先生（倫理社会？）。そして第二回、ここでは天貝茂樹先生（数学）が。とりわけ天貝先生の情熱がわたしたちを遠く昭和薬科大学（世田谷区）まで連れて行ったことを思い出す（渋谷からはバス？否、都電だったか？唯々遠いという印象が）。当時は、それこそ将棋が高校のクラブ活動として行なわれるなど夢のまた夢！公に行なわれるなど考えられもしなかった。だから、そんなもの（失礼！）にウツツを抜かしている奴がどんな目で見られていたか。という訳で、隠れるように盤を囲んでいた。そして、その多くが宿直室で—天貝先生の斡旋だった。

そうして迎えた第一回。しかし、「発足まで」に書かれている事実には少々の誤認が。わたしを中心に三年生五人で出場したのは第二回。第一回は四人の三年生、それに一人足りないというので急場凌ぎにスカウトされたのがわたし。他の三年生とは、だからそれまで面識もなかった。これが第一回の田園調布高校戦。現在当時のトーナメント表を見ながら、その出場のほとんどを都内の都立&私立校が占めることを知る。完全に名前負け！戦う前から結果は明らかだった。一勝四敗。それでも印象に残る事柄が一つ。直ぐ隣にいた多分優勝した世田谷工業高校の面々。扇子片手に既に棋士風情。「町道場の四段だよ！」など嘯くのがあった。これには完全なカルチャー・ショック！なぜなら、こちらは段も級も知らないのである。その面々が余裕からか？チラチラとわたしたちの将棋を覗くのだ。イヤだな！と思うより萎縮して何をどう指したか？全く憶えていない。それでもこの試合に勝ったのだけは憶えている。第二回出場時に対戦相手から”あの時は！”と挨拶され、勝ちの記憶が蘇るからである。ということは、かれも又自分と同じ五人目の二年生？これがヒントに。五人が五人強い訳ではない。ここから強い順に五人を並べる必要はない！という作戦が生まれる。大坪・大久保・桜井・黒岩・青木—これが第二回出場メンバー。実力は桜井がトップ。後の四人はドングリのそれ。要は第三番目以降で勝てば良い、という作戦。そして一回戦—作戦は見事の中！桜井以下で三人が勝ち、二回戦に進んだ。しかし、これ以上は無理！そのような姑息な作戦で勝てるような相手ではなかったのである。教育大付属（現筑波大付属）戦：一勝四敗、大敗を喫して会場を去る。これがわたしたちの将棋全国大会出場記録—あっ！という間の出来事だった気がする。

最後に、この場をお借りして天貝先生のご冥福を祈ります。合掌！

【主要な成績：第1回・第2回全国高等学校将棋選手権大会・男子団体出場】

高等学校時代の将棋の思い出

結城第二高等学校

阿久津（飯村）さちよ

（高校在学 昭和 50 ～ 52 年度）

まずは、将棋部会が設立 40 周年を迎えられるということで、おめでとうございます。このような記念の年に、私のような初心者で終わった者に声を掛けて頂きまして恐縮しております。

記念誌担当の方から、将棋部会 20 周年記念誌に掲載されていた、恩師の斎藤壽先生の文章をいただきました。そこにありましたように、入部した頃は、皆初心者で駒の指し方、動かし方から始めた者ばかりでした。少し指し方が分かってきた頃から、先生 1 人に対して部員が一行に横並びして、二枚落ちの指導対局を受けました。先生は担当教科が数学でしたので、将棋も数学的に考えているのではないかと、思ったくらい、生真面目に一手ずつ指していきます。部員同士で対局するという練習よりは、先生との早指しに近い状態の練習をよく憶えています。

長野県の茅野市での全国大会。二年も続けて出場していたのか！と自分では不思議な感覚です。前泊で行っていたので、他校の方と仲良くお話をすることができました。昭和 52 年度、私が 3 年生の時でした。練習でというよりは、自販機でジュースを買っている時に他校の選手と話が出来た記憶があります。本番の団体戦では何度対戦したのか、はっきり憶えておりませんが、対局は通常の練習の雰囲気と同じ感じで皆さん真剣でした。しかし、やはり焦っていたのでしょう。自分の陣地の状態を楽観して攻め急ぎ、あっさり相手に負けてしまいました。それでも、後輩の皆さんが頑張ってくれたお蔭で、全国優勝することができました。私が最上級生ということで、表彰を受けてカップを受け取りました。大勢の前で恥かしかったですが、それ以上に嬉しさを感じました。学校へ戻ってから先生を囲んで記念の写真を撮った思い出があります。

最後に茨城県の将棋選手と母校の結城二高の生徒さんへのメッセージを送りたいと思います。私は素晴らしい恩師と優秀な後輩に恵まれて全国優勝することができました。近年、茨城県の高校将棋の選手は優秀で、全国大会で表彰された個人選手が何人かいるとうかがいました。団体・個人ともに今後ともがんばってください。結城二高では現在、将棋部がないとうかがいました。それは残念ですが、きっと他のことでがんばっているのでしょう。若いころは記憶力・思考力が柔軟でいろいろなことができます。在学中そして卒業後と自分ができるところに精一杯努力してください。

【主要な成績：全国高等学校将棋選手権大会・女子団体全国 3 位・同優勝】

編集者注：全国高等学校将棋選手権大会・女子団体全国優勝は茨城県勢唯一の団体優勝

高等学校時代の将棋の思い出

土浦第一高等学校 石川 一 茂
(高校在学 昭和 58～60 年度)

「ひどい棋譜を残してしまった。みんなすまない。」もう、まばらとなってしまった駒音、チェスクロックを押すカチリという音、対局を見つめる多くの仲間の息遣いしか聞こえない静かな決勝戦の舞台。17歳の私は最後に心を整えて投了を告げた。

昭和 60 年 8 月、甲子園では桑田・清原を擁する PL 学園が優勝に向けて快進撃を続け、将棋界では居飛車穴熊が登場し猛威を振るっていた。我々土浦第一高校の 3 人は県大会準優勝にもかかわらず、緑岡高校の諸君から全国の切符を譲り受け、そのためか大きなプレッシャーを背負うこと無く、伸び伸びと全国大会を勝ち進んでいた。1 日目が終わると、翌日の試合に向けて夜遅くまで個人代表の田口君が練習につきあってくれた。彼は 1 年生の時、県大会の個人決勝で出会った自分よりも強い初めての同級生。茨城新聞の将棋欄で彼の勝ち戦に華を添えたことも良い思い出である。

昭和 59 年、2 年生の時の初めての全国大会。東京に行って、2 日間も将棋を指せるなんて！小美玉で田畑に囲まれて育った私には、それだけで心躍った。帰ってから銅メダルを見せた時の、普段厳しい親父の笑顔。来年こそ必ずや、と胸に思いを秘めた。最後の大会までの 1 年間、家では将棋の本を読み漁り、放課後は仲間の久保君・勝田君と切磋琢磨し、道場では大人たちのタバコの煙にむせながら夢中になって将棋漬の毎日を過ごしていた。6 二玉を思いついたのは高校 3 年生になって間もなくの頃だったのだろうか。私は横歩取りの新手だと信じ発表の機会を窺っていたのだが、まさか全国大会決勝戦の舞台でその機会は突然訪れた。田中将大のスプリット、いや錦織圭のエアケイにも負けない決め球の筈であった。

はかなく散ったその手は、若さゆえの過ちだったのかもしれない。しかし、青春を代表する一手として、ほろ苦い思い出と、そして全国大会準優勝の誇りと共に私の心に残り続けている。周りのことやしがらみなど気にすることなく、夢中になって一つのことに打ち込めるのは若者の特権である。茨城の後輩諸君、一番良い色のメダルを故郷に持ちかえる日を心待ちにしている。

【主要な成績：全国高等学校将棋選手権大会・男子団体全国準優勝・同 3 位】

編集者注：「6 二玉」の棋譜は精選譜 121 ページに掲載しました。

全国高等学校将棋選手権大会・男子団体全国準優勝は茨城県勢男子団体最高成績

第 38 回全国高等学校総合文化祭

〔いばらき総文 2014〕

将棋部門

(第 50 回全国高等学校将棋選手権大会)

第 38 回全国高等学校総合文化祭〔いばらき総文 2014〕将棋部門諸準備の記録

下記の方々がいばらき総文 2014 将棋部門成功のため、役員として尽力した。

部門別実行委員会委員【将棋】

委員長 生田目正直 (高萩清松高校長)	副委員長 矢須 雅進 (石岡第一高校)
委員 藤崎 正輝 (大洗高校)	委員 幕内 研司 (土浦第一高校)
委員 荒井 豊水 (竜ヶ崎第一高校)	委員 鈴木 康司 (茨城工業高専)
委員 今井 健二 (水戸葵陵高校)	委員 前川 匡史 (鹿島高校)

旧委員

委員長 佐藤 昌弘 (佐竹高校長)	委員 高崎 弘道 (竜ヶ崎第一高校)
-------------------	--------------------

部門別生徒実行委員会委員【将棋】

委員長 佐藤 良賢 (水戸葵陵高校)	副委員長 羽成 豪 (並木中等教育学校)
委員 松尾 祐樹 (土浦第一高校)	委員 山崎 広大 (土浦第一高校)
委員 椎名 真吾 (土浦第一高校)	委員 皆川 哲彦 (水戸第一高校)
委員 野口 真司 (土浦日本大学高校)	委員 遠藤 貴大 (水戸葵陵高校)

旧委員

委員 鈴木 郁哉 (日立第一高校)	委員 根本 拓実 (日立第一高校)
委員 郡司 直弥 (石岡第一高校)	

運営・PR という観点では下記のような会議・準備・強化会等を行った。

- H257 7. 27 全国高等学校総合文化祭将棋強化会 (茨城県民文化センター)
- H26. 2. 22 水戸の梅まつり将棋フェスタ・いばらき総文 2014PR (偕楽園)
- H26. 6. 23 全国高等学校総合文化祭茨城県選手結団式 (茨城県民文化センター)
- H26. 6. 28 全国高等学校総合文化祭将棋強化会 (茨城県民文化センター)

会議・諸準備については次頁のように行った。会議の大半は県内大会運営の合間に顧問会議の一環として行った。

開催年月日	会議・諸準備	主な協議内容等
H25.4.18	いばらき総文 2014 第 1 回将棋部門部会	要員案提示、将棋部門生徒実行委員の選出方法の検討
H25.5.11	いばらき総文 2014 第 2 回将棋部門部会	プレ大会以降の一般戦で総文祭スイス式大会の運営練習をすることの確認、将棋部門生徒実行委員の選出
H25.10.5	いばらき総文 2014 第 3 回将棋部門部会	係分担・仕事分担・要員・補助員案提示、会場利用計画提示、総文祭使用棋具類保管場所報告
H25.11.13	いばらき総文 2014 第 4 回将棋部門部会	会場利用計画、長崎大会視察報告、いばらき総文 2014（茨城大会）プレ大会
H26.1.28	いばらき総文 2014 第 5 回将棋部門部会	プレ大会反省報告、第一次運営要領（マニュアル）提示、将棋部門プログラム担当者検討
H26.4.17	いばらき総文 2014 第 6 回将棋部門部会	プレ大会反省報告検討、修正運営要領提示、将棋部門プログラム担当者報告
H26.5.10	いばらき総文 2014 第 7 回将棋部門部会	準備状況、各学校からの要員補助員のタイムスケジュール提出指示、本番までのスケジュール概案提示
H26.6.3	いばらき総文 2014 第 8 回将棋部門部会	プログラム編成会議（選手の第 1 局対戦相手の抽選）
H26.6.14	いばらき総文 2014 第 9 回将棋部門部会	再修正運営要領内容確認、プログラム冊子（出場者名簿なし）の確認、運営要員のスケジュール確認
H26.7.1	いばらき総文 2014 第 10 回将棋部門部会	各係進捗状況報告会議
H26.7.15	係業務の説明会	水戸商業高校（大会協力校）教員及び生徒への業務の説明
H26.7.24	係業務の資料作成・印刷作業	水戸第一高等学校にて運営要領や名簿等の印刷作業、諸準備、準備当日のスケジュール確認
H26.7.25	係業務の資料作成・印刷作業	水戸第一高等学校にて印刷作業、諸準備、諸係打合会議、準備当日のスケジュール、プログラム冊子の確認
H26.7.26	係業務の説明・予行演習	大会会場にて将棋部会要員、大会協力校要員への業務の説明及び予行演習、諸係打合会議

高校全国将棋専門部会議について

平成 23 年度ふくしま総文祭で茨城大会についての口頭発表を行い（2011.8.4）、同年度の京都新人大会で実施要領を最初に提示した（2012.1.27）。これ以降、毎年 2 回の全国将棋専門部会議で修正を加えた実施要領（要項）を提示し、進捗状況を説明した。ふくしま総文祭での会議では会場案をホテルレイクビュー水戸と報告したが、その後に県の指示により茨城県武道館に会場案が変更されたため、このことを京都新人大会の会議で修正報告した。また、ふくしま総文祭での会議では、平成 24 年度から全国大会出場者を（男子 1 名・女子 3 名から）男子 2 名・女子 2 名と変更することが決定された。

第 38 回全国高等学校総合文化祭〔いばらき総文 2014〕将棋部門の記録

一 大会当日の分掌別業務について（茨城県内教員スタッフ中心）

茨城県実行委員会将棋部門委員長 生田目正直（高萩清松高校長）・・・全体の統括を行う。

1. 競技・審判係・・・競技運営に関する業務を行う。・・・主任 藤崎正輝（大洗高校）

①男子団体・・・主任：幕内研司（土浦第一高校）、青木陸人（日立第一高校）

②男子個人・・・主任：荒井豊水（竜ヶ崎第一高校）、吉田真弘（竜ヶ崎第一高校）

③女子団体・・・主任：前川匡史（鹿島高校）、大山雅道（水戸第一高校）

④女子個人・・・主任：今井健二（水戸葵陵高校）、
小沼恵（水戸葵陵高校）・堀江信人（太田第一高校）

⑤審判　　・・・主任：藤崎正輝（大洗高校）

日本将棋連盟茨城県支部連合会より、審判として下記の方々が派遣された。審判長は美馬和夫氏が務めた。

◎美馬和夫、川嶋長一郎、鴨志田稔、市野塚耕三、浜真之、加藤嘉三、田村健一

⑥会場作成・・・主任：藤崎正輝（大洗高校）、堀江信人（太田第一高校）、矢須雅進（石岡第一高校）

⑦機材設置・・・主任：矢須雅進（石岡第一高校）・男女団体個人の主任 4 名

2. 庶務・防犯防災係・・・受付、来賓対応、弁当配布、防犯防災に関する業務を行う。

・・・主任：矢須雅進（石岡第一高校）、

①受付・防災巡回・マスコットキャラクター管理・プリンター管理

：矢須雅進（石岡第一高校）、原健一（茨城高校）、

中村秀子（日立商業高校）、大津昌行（海洋高校）、佐々木一二（土浦日大中等教育）

②昼食等確認：安齋隆（土浦日大高校）、出口洋一（清真高校）、
八木清（清真高校）、中島穂高（東洋大牛久高校）

③記録：　　小賀柳一（水城高校）、斧田波枝（緑岡高校）

④接待：　　皆藤新一・水戸部幸雄（茨城高専）・鈴木康司（茨城高専・筆耕兼任）

⑤会議：　　坂入勝雄（竹園高校）

日本将棋連盟理事より下記の方々が全国高文連将棋専門部会へ派遣された。

片上大輔（日本将棋連盟理事）、磯辺丈敏（日本将棋連盟普及部）

3. 救護係・・・救護に関する業務を行う。

・・・主任 関根理恵子（日立工業高校・会計兼任）、菊池智子（大洗高校）

常恒由美子（水戸商業高校・支援校養護）、

小野敏子（水戸工業高校・支援校養護）

4. 式典係・・・開会式、大盤解説、閉会式に関する業務を行う。

・・・主任 佐藤康（並木中等教育学校）、

中郡久夫・原田正剛（太田第一高校）、亀田拓（鹿島高校）

選手宣誓 太田第一高校 上村友大 / 土浦第一高校 岩堀佳菜

5. 筆耕係・・・賞状の筆耕に関する業務を行う。

・・・主任 鈴木康司（茨城高専）

小川美華（太田第一高校・書道）、市橋郁恵（大成女子高校・書道）

6. 交流会・・・指導対局および交流・自由対局に関する業務を行う。
 ・・・・主任 増淵禎志（古河第三高校）、早川大祐（翔洋学園高校）、
 桑原昭之（江戸川学園取手高校）、鈴木純子（日立第一高校）
 日本将棋連盟から指導者・講評・表彰担当として下記の方々が派遣された。
 先崎学九段、戸辺誠六段、本田小百合女流三段、梶浦宏孝三段、荒田敏史二段

7. 支援校

水戸商業高校から3日間で延べ教員18名、生徒64名が派遣され補助業務を行った。

二 大会日程

◎7月26日（土）受付14:00～16:00

【主催者間会議】茨城県武道館会議室16:00～18:00

日本将棋連盟、全国高文連将棋部会長、全国専門委員長（岩手県）

開催年度3年以内専門委員長（茨城・滋賀・広島各県代表者）

◎7月27日（日）

7:50～8:40 受付（前日受付未了者）

参加者は8:40までに、開会式場に入場完了し、1回戦の座席に着席する。

9:00～9:30 開会式

【競技進行】（時間は目安／各部門ともベスト4まで行う）

男女団体（20分切れ30秒）

男女個人（15分切れ30秒）

9:40～10:40 予選1回戦

9:40～10:30 予選1回戦

10:50～11:50 予選2回戦

10:40～11:30 予選2回戦

12:00～12:40 昼食休憩（大道場2F）

11:30～12:10 昼食休憩（大道場2F）

12:40～13:40 予選3回戦

12:10～13:00 予選3回戦

13:50～14:50 予選4回戦

13:10～14:00 予選4回戦

15:00～16:00 決勝トーナメント1回戦

14:10～15:00 決勝トーナメント1回戦

16:10～17:10 決勝トーナメント2回戦

15:10～16:00 決勝トーナメント2回戦

16:10～17:00 決勝トーナメント3回戦

【交流会】指導対局・交流対局・自由対局を行う。加えて水戸市発祥のオセロを行う。

【会議】10:00～12:00 全国高文連将棋専門部会

◎7月28日（月）

【競技進行】（30分切れ30秒）

8:10～8:25 各部門表彰式〈5位まで〉（茨城県武道館・大道場）

8:30～10:00 準決勝（茨城県武道館・大道場）

10:10～11:40 決勝（茨城県武道館・会議室）

12:30～13:00 閉会式（茨城県武道館・大道場）

【交流会】指導対局・交流対局・自由対局・大盤解説・オセロを行う。

【大盤解説会】解説 先崎学九段、戸辺誠六段／聞き手 本田小百合女流三段

三 開会式次第

①開会のことば 司会 並木中等教育学校 羽成豪

②歓迎のことば 将棋部門生徒実行委員会委員長 水戸葵陵高等学校 佐藤良賢

③あいさつ

高文連全国将棋専門部会長 佐々木清人（岩手県立一関工業高等学校校長）

日本将棋連盟理事 片上大輔

水戸市長 高橋靖

茨城県実行委員会将棋部門委員長 生田目正直

④優勝杯返還 男子団体・岩手高等学校 / 女子団体・愛知工業大学名電高校

⑤対局上の注意 審判長 美馬和夫 日本将棋連盟茨城県支部連合会副幹事長・関東アマ名人

⑥来賓紹介 茨城県将棋部門部門代表委員 矢須雅進

⑦選手宣誓 太田第一高等学校 上村友大、土浦第一高等学校 岩堀佳菜

⑧閉会のことば 司会 並木中等教育学校 羽成豪

四 閉会式次第

①開式のことば 司会 並木中等教育学校 羽成豪

②あいさつ

高文連全国将棋専門部会長 佐々木清人 / 将棋部門茨城大会部会長 生田目正直

③成績発表 茨城県将棋部門部門代表委員 矢須雅進

④表彰 文化庁、高文連全国将棋専門部、日本将棋連盟

⑤免状授与 日本将棋連盟 戸辺誠六段

⑥講評 日本将棋連盟 先崎学九段

⑦あいさつ 次年度開催県・滋賀県高文連将棋専門部会長 寺井久信

⑧お礼のことば 将棋部門生徒実行委員会委員長 水戸葵陵高等学校 佐藤良賢

⑨閉式のことば 司会 並木中等教育学校 羽成豪

五 将棋部門参加者数（茨城県に報告した最終数値）

大会参加選手実数 430人

観覧者・引率者・スタッフ・選手等全ての延べ人数 2302人

救護所利用・受診者数・救急搬送 いずれも0人

六 いばらき総文 2014 将棋部門プログラム「ごあいさつ」「歓迎のことば」転載

佐々木清人（第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門委員長・

高等学校文化連盟全国将棋専門部会長・岩手県立一関工業高等学校校長）

第38回全国高等学校総合文化祭並びに第50回全国高等学校将棋選手権大会に参加される選手の皆様、各都道府県での厳しい予選を勝ち抜いての全国大会出場、誠におめでとうございます。これまでの日々の努力に対しまして心より敬意を表します。

この大会は、高等学校教育の一環として芸術文化活動に積極的に参加させることにより、創造性豊かな人間形成と、全国の高校生との交流・親睦を図ることを目的に行われるものです。全国の高等学校生徒の将棋大会として多くの名勝負が繰り広げられて来ましたが、皆さんにも、先人に学びまた新たな歴史のページを開く対局をしてくれることを願っています。

さて、将棋は究極の頭脳スポーツと言っても良いかと思えます。運動競技と同じに、普段の学校

生活における「身」と「心」のしっかりとした自己管理ができるということも大事です。併せて、平安の時代から続く「礼に始まり礼に終わる」礼節を重んじる日本の伝統文化としてもその確かな地位を確保して来ました。将棋の「悠久の歴史と伝統」を感じ取り、正々堂々と対局していただきたいと思います。将棋は勝負事であり、駒の持つ動きや戦況での働きを良く理解し、集中力を切らさず様々な道筋を思考・考察していく事が求められます。生徒諸君は全国大会に向け、正に、この集中力を切らさず精進して来たことと思います。最後まであきらめず、全国各地から選ばれた精鋭達との対局を楽しんでください。

「将棋盤上に巡らした想い」は、あなた方の忘れられない思い出となり、また各学校で培った試行錯誤の戦略・戦術は、将来、皆さんが社会人として生きていく上での確かな糧となることでしょう。これまでの練習の成果を十分に発揮し、悔いのない試合をしてくれることを期待します。

そして、この大会を通して、全国から集まった同じ高校生との親交を深め、友情を養っていただきたいと思います。

終わりに、本大会開催にあたりまして、文化庁をはじめ、茨城県、日本将棋連盟他、多くの関係者の多大なるご協力に感謝を申し上げ、挨拶いたします。

谷川 浩司（公益社団法人 日本将棋連盟会長）

関係各位のご尽力のもと第38回全国高等学校総合文化祭並びに第50回全国高等学校将棋選手権大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

さて、今大会は50回という大きな区切りの大会となりました。

半世紀もの永きにわたり、本大会が多くの選手と関係者の皆様によって支えられてきたということを感じると感慨も一入です。

半世紀と一口に申しまして、この間日本国内はもとより将棋界でも実に多くのことがありました。

パソコンや携帯電話で何時でも誰とでも将棋を楽しめるようになり、コンピューターがプロ棋士に匹敵する実力を持つということ、50年前の人たちは想像していたでしょうか。

そう考えますと、100回大会を迎える更に50年後は、どんな世の中になっているのか想像もつきません。

しかし、こと伝統文化というものに限って申し上げれば、それは決して時代に流されず、悠々と何千年の間流れ続ける「大河」のようなものではないかと考えます。

将棋はこれからも続く日本の伝統文化です。

「大河」のごとく流れ続け、日本人の心を豊かにし続けるものと考えています。

今高校生の皆様も、社会人になれば否応なく時間に追われ、時代を先読む力を要求されることになるでしょう。

そんな時、ちょっと高校時代を思い出し、将棋に触れてみると、意外と心に余裕が生まれるかもしれませぬ。

それこそが日本人の心に刻み込まれた伝統文化の持つ力によるものと考えからず。

参加選手の皆様が立派な社会人になると同時に、伝統文化の継承者として、心も豊かになる日本にしてくださることを願ってやみませぬ。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、全国高等学校文化連盟将棋専門部の皆様、茨城県関係各位の多大なるご尽力ご協力に深く感謝を申し上げまして、挨拶にかえさせていただきます。

佐藤 良賢（第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門生徒実行委員会委員長）

選手の皆さん、水戸市にお越しいただきありがとうございます。各都道府県予選会を勝ち抜いてきた選手の皆さんの対局が拝見できるとともに、その運営に携わることができることを大変誇らしく、そして嬉しく思っています。

昨年度の全国高等学校総合文化祭長崎大会では、緊張した雰囲気の中、数々の白熱した対局が展開され、全国総文祭とは、これほどまでに張り詰めた空気の中で将棋を指すものなのかと見ている私も緊張してしまうほどでした。2月には水戸市の梅まつりで、女流棋士と茨城県高校生代表者の対局を運営させていただくとともに、対局を間近で拝見させていただく機会がありました。その素晴らしい指し回しにただ素直に感動するとともに、将棋とは、どこまでも奥深く考えることができる盤上のゲームだと改めて実感いたしました。ときに数十手、多いときには数百手の中から勝利へと導く一手を指し、自分のペースに引き込むことができるかが将棋の醍醐味ではないかと思っています。いばらき総文2014のテーマ「創造の花を咲かせよ。聳える筑波嶺吹きぬける文化の風」にある「創造の花」とは、将棋では「勝利へと導く会心の一手」のことだと思っています。選手の皆さんがここ茨城の地で「創造の花」を咲かせられるよう、将棋部門全体でサポートさせていただきたいと思っています。

水戸市は、同じボードゲームとして有名なオセロの発祥の地でもあります。会場にオセロコーナーを設けておりますので、将棋とともににお楽しみください。また、水戸市には、日本三大庭園の一つである偕楽園があります。気分転換やリラックスに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

私たち将棋部門生徒実行委員会一同は、選手の方々が対局に集中できるよう、スムーズな運営をしていけるよう頑張っていく所存です。最後に、選手の方々の健闘をお祈りし、歓迎の言葉とさせていただきます。

生田目正直（第38回全国高等学校総合文化祭茨城県実行委員会将棋部門委員長）

第38回全国高等学校総合文化祭「いばらき総文2014」が、7月27日から31日の5日間、茨城県内の9つの市と村を会場として開催されます。その中で将棋部門は、7月27日（日）、28日（月）の2日間にわたり、県都水戸市にある県武道館において、全国より集い来る俊秀達によってその熱戦が展開されます。昨年夏、長崎県時津町を訪れて、第37回大会を参観させて頂きましたが、その会場に立ちこめる熱気と真剣さには圧倒されました。将棋に限らず物事を達成するのに必要なのはおそらく才能と継続的努力だと思われませんが、実際の局面で勝負を決するのは「集中力」と「閃き」でしょう。水を打ったように静かな会場の中に凝縮された若い力が漲り、そして進む真剣勝負の迫力はその場に立たなければ分からないということを強く感じた体験でした。

開催地である茨城県水戸市は徳川御三家の一つである水戸家の城下町として古い歴史を有し、偕楽園や弘道館という名所旧跡にも恵まれています。第二代藩主徳川光圀は「大日本史」編纂の事業を志し、この伝統が幕末動乱時の思想的背景となったことは歴史の示すとおりです。会場である県武道館も古くからの文教地区にあり、文字通り水戸の伝統的精神である「文武両道」の雰囲気にも包まれた場所です。この地で全国から選りすぐりの選手諸君を迎えられるということに、私たちは大きな喜びを覚えると同時に強い責任を感じないわけにはいきません。この2日間のために本県の沢山の教職員と生徒達が1年以上にわたり周到な準備をして参りました。それは選手の皆さんに日頃の研鑽と努力はもちろん、常以上の「閃き」を発揮してもらうために、最高の場を提供したいと考えているからです。そして、結果如何に関わらず、この2日間の熱闘の思い出が必ずや皆さんの心

に大きな煌めきとして残ることを願うからです。

選手の皆さんにはどうか悔いの無い試合をして欲しいと思います。一つ一つの対局が自己の実力を伸ばし、さらには自分そのものを成長させるような試合を期待します。そして、この水戸の地における夏の日が多く新しい出会いの場となることを願って歓迎の言葉といたします。

高橋 靖（水戸市長）

「創造の花を咲かせよ ^{そび} 聳える ^{つくばね} 筑波嶺 吹きぬける文化の風」をキャッチフレーズに、第38回全国高等学校総合文化祭が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、全国各地からお集まりいただきました皆様を心から歓迎申し上げます。

芸術・文化は、人々の心にゆとりや生きがいを与えるとともに、時代を担う若者たちの豊かな感性を育むなど、社会全体が守るべき貴重な財産であります。

本市では、「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する 魁のまち・水戸」を将来都市像とし、世界に向けて芸術・文化を創造・発信する水戸芸術館による質の高い事業の展開や、水戸室内管弦楽団の総監督も務める世界的な指揮者である小澤征爾館長はじめ、トップクラスの演奏家による児童生徒への吹奏楽指導など、水戸芸術館と連携した芸術教育を推進しています。

さらに、水戸市芸術祭をはじめとした市民の主体的な芸術文化活動の支援や、質の高い芸術を身近に感じる機会の提供に努め、市民が芸術文化に親しむことができる環境づくりを進めてきたところ です。

このような中、高校生の芸術文化活動の祭典である「いばらき総文2014」が、本市において7部門が開催されますことは、誠に意義深いことであると感じています。

参加される高校生の皆様には、芸術文化活動による交流の輪を更に広げられ、実り多き思い出深い大会になりますとともに、是非この機会に水戸芸術館や水戸徳川家ゆかりの史跡に加え、本市が誇る千波湖周辺の自然景観などをご訪問いただき、伝統を受け継ぎながら新しい文化の創造に取り組む本市の魅力を感じていただきたいと思います。

最後に、本大会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

七 いばらき総文2014「大会ガイドブック」「総合プログラム・開催内容」将棋部門転載

大会ガイドブック

各都道府県の代表生徒が盤上で智力の限りを尽くした攻防を繰り広げます。盤上没我の姿が生む、「一手入魂」のその一手に注目してください。

競技種目は男女個人戦と男女団体戦（1チーム3人）が行われます。プロ棋士による指導対局や解説もあります。

総合プログラム・開催内容

梅の香高い偕楽園や、水戸光圀公で名高い水戸市で、高校将棋の全国大会が行われます。各都道府県の予選を勝ち抜いた代表選手が、男女別の個人戦、団体戦（3名）に分かれて、盤上で「一手入魂」の力が入った攻防を繰り広げます。1日目はスイス式トーナメント4回戦と決勝トーナメント準々決勝までを行い、2日目に準決勝・決勝を行います。

先崎学九段をはじめ、日本将棋連盟のプロ棋士による指導対局や大盤解説なども行われます。緊張の中での読みの正確さ、勝負度胸など、限界に挑む選手たちの真剣な戦いは、感動をもたらすと思います。

特別寄稿

『将棋世界』2014年度10月号120～123頁に第50回全国高等学校将棋選手権大会（いばらき総文2014将棋部門）についての記事があり、その中に勝又清和六段特別寄稿がある。茨城県高等学校文化連盟将棋部会では、この40周年記念誌への転載をお願いしたところ、更に加筆修正した原稿をいただけることになった。誠にありがたいことで、加筆修正版を転載させていただくことにした。

日本将棋連盟棋士六段 勝又 清和

高校将棋がとても熱い。

学校単位で戦う文部科学大臣杯小中学校団体戦の高まりが広がっていること、奨励会を経験した学生がレベルを引き上げていること、そして各地の指導者が育てた芽が開いているためだ。

男女の団体・個人あわせて430人、高校将棋最大の大会高校選手権は、今年は水戸で行われた。

当日、参加する学生達に話をすると、皆緊張していた。

「食事がノドを通らないんです。」「昨日寝られませんでした。」

「脳のガソリンはブドウ糖と水分だから、スポーツドリンクだけでも飲んでおきなさい」、「1日くらい、寝てなかったってなんとかなるさ。」。こんな会話を何人としたらだろうか。皆の表情はとても真剣で、この大会に懸ける思いが伝わってくる。

さて注目校・選手をあげていくと、男子団体では現在3連覇の岩手高校、顧問の藤原隆史先生は「一点突破」という本を著し、その中で「ミーティングはしない、上下関係を作らない」など独自の指導法を記している。私も岩手高校の合宿におじゃましたことがあるが、とても楽しい雰囲気の中、皆が将棋を真剣に指していた。ただ主力の2人が卒業し、唯一残った川又祐斗君の負担が大きく、彼の表情も硬かった。藤原先生も「今年は厳しい」と苦戦を覚悟していた。川又君は茨城の中学校（水戸英宏中）出身である。

個人的に注目していたのが埼玉の浦和高校と静岡の日大三島高校だ。両校とも将棋部が熱心な活動をしていて良い選手を揃えているのだが、埼玉では聖望学園、静岡では藤枝明誠高校が強く、いままで代表になれなかったのだ。

後は兵庫の灘高校、千葉の幕張総合高校といった常連校かなと見ていた。

男子個人は選手権2連覇、高校竜王、全国新人と主要な高校タイトルを総ナメにしている兵庫の長森優作君を皆が注目していて、「長森君と対戦したい」と言った学生が何人もいた。

女子団体では2連覇中の愛工大名電の3連覇なるかが注目だ。一方女子個人は優勝候補が多すぎてとてもしぼりきれない。

これだけの大人数の大会ながらスムーズに進行した。大会初日は天候が荒れ、雷でパソコンがダウンする不可抗力のトラブルもあったが無事乗り切った。

スタッフの皆さんのおかげである。

特に茨城の高校生達の働きは素晴らしく、見ていてとても気持ちが良かった。

茨城男子代表の上村友大君、中谷祥也君は私の師匠の石田九段が経営する道場（千葉県柏市の柏将棋センター）で指したことがあり、応援していたのだが、今回は男子も女子も団体も個人レベルが高く、途中で敗退した。上村君は高校竜王戦全国3位、中谷君は全国新人大会で全国2位の強豪である。

さて結果はどうなったか。

女子団体決勝は、北海道代表・函館中部高校と、埼玉代表・西武学園文理高校が対戦し西武文理が2-1で優勝。2連覇中の愛工大名電は準々決勝で幕張総合に負け、3連覇を逃した。

函館は全員2年生で、副将に座る松谷香奈さんがプレーイングコーチとなって2人のメンバーを育てた。決勝では実力が発揮できなかったが、2年連続決勝進出はお見事だ。函館の松谷さんは冬の新人戦では女子個人戦で準優勝した。

西武文理は大將の橋本智佳子さんが昨年中学選抜名人女子の部で準優勝している。また3将の中村歩実さんは亮介五段・桃子女流初段の妹で、すぐ上の勇平君も昨年まで埼玉の聖望学園のメンバーとして全国大会に出ていた。全員1年生なので来年も楽しみで、橋本さんは「目標ができませんでした。3年間勝ち続けたいと思います」

女子個人決勝は大阪代表・大阪学芸高校の石本さくらさんと、京都代表・立命館宇治の藤井奈々さんの対戦。

石本さんは昨年の中学選抜名人女子の部優勝など、学生大会での活躍のみならず、女流王座戦では2年連続で予選突破し、甲斐女流二冠にも勝つという戦績を持つ。研修会ではC2在籍で、後1つ上がると女流棋士の資格を得る。

中盤は石本さんが優勢だったが、第1図から▲5五飛△同歩▲5二銀が急ぎすぎで、以下△7五角！▲5一銀成△同飛▲5二金打△6八飛（△3九銀からの詰めろ）で逆転。図では▲7七銀とするか、攻めるなら▲7三步成△同桂▲5五飛△同歩▲5三步だった。

藤井さんは8才の頃から伊藤博文六段の教室に通っていて、研修会ではD1に所属している。終盤の寄せは見事でしたねと声を掛けると、「同じ高校の北村先輩（桂香女流1級、平成23年優勝）の背中を追えました。もっと勉強して女流棋士を目指します。だけど担任の先生からは勉強もがんばってと言われてまして（笑）」藤井さんは冬の個人戦も優勝した。

男子団体、注目の岩手高校は3勝1敗で予選は通過したが、本戦で岩手は宮崎の宮崎大宮高校に敗れ、4連覇を逃した。

決勝は宮崎大宮と、神奈川の私立浅野高校というカードに。浅野は2年生1人・1年生2人のチームだが、中学の頃から一緒に団体戦で戦ったメンバーとあって、チームワークが良い。これも中学の団体戦の効果だ。

大將戦の宮崎大宮の松山和暉君対浅野の小川誠也君の将棋は、松山君の指し回しが鮮やかだった。第2図から▲7四歩（△同金は▲2四飛～▲4一角）△8五桂▲3七角△6四銀▲2四飛△同歩▲4一角△6二飛▲6三角成△同飛▲5三金！（△同飛は▲6四角で王手飛車）と進んで松山君が快勝。

さらに副将・三将戦も苦しめの将棋を頑張っ勝ち、3-0で宮崎大宮が優勝した。

宮崎大宮は全員1年生ながら、松山君はアマ名人・支部名人の宮崎代表で、副将の井戸崎慎君は今年の高校竜王戦宮崎代表（全国3位）、3将の黒木航太君も三段の実力がある。なぜこれだけのメンツが集まったのか聞いてみたら、松山君と黒木君が宮崎大宮に行くと知り、「俺も行くしかない」と井戸崎君も進路を変えたそう。将棋のために宮崎県公立トップの高校に入るのだからすごい。宮崎県代表としては男女団体個人を通じて初めての全国優勝だ。かくして団体は男女とも1年生チームが制した。

男子個人は本命の長森君が準決勝で敗れ、決勝は東京代表・麻布高校の日高啓道君と、石川代表・金沢泉ヶ丘高校の田中大貴君。田中君は「かまいたち」戦法で名高い石川県を代表する強豪である鈴木英春（元奨励会三段）さんの教室に通って強くなり、昨年のアマ名人戦ではその鈴木さんを破って代表になっている。準決勝では2連覇中の長森優作君を大熱戦の末に破った。

田中君が1手損角換わりからリードするが、日高君の猛攻に対応をあやまる。そして第3図では△

7二角と受ければ大変だったが、△5五角▲7七桂△7二桂としたため、▲8一飛成△4二玉▲7一竜と△5二玉▲7五桂と進んで日高君が寄せきった。

日高君は柏将棋センターで育った、いわば私の弟弟子だ。終わった後、おめでとうと握手したら彼の手は汗でびしょりだった。団体戦優勝11回を誇る名門麻布の看板を背負い、相当プレッシャーもあったのだろう。

「麻布史上初の個人戦優勝とのことですが、団体戦で栄光を築いてきたOBの方々や、優勝カップにも刻まれていた歴代優勝者の方々に少しでも近づけるようにこれからも頑張りたいと思います。」

この将棋が最後に終わり、高校将棋の甲子園も幕を下ろした。



第1図 後手4二角まで



第2図 3五歩まで



第3図 6八銀まで

後日談

夏の大会が終わり、3年生はクラブ活動を引退した。だが彼らの将棋とのつきあいは終わらない。

後日談をいくつか。

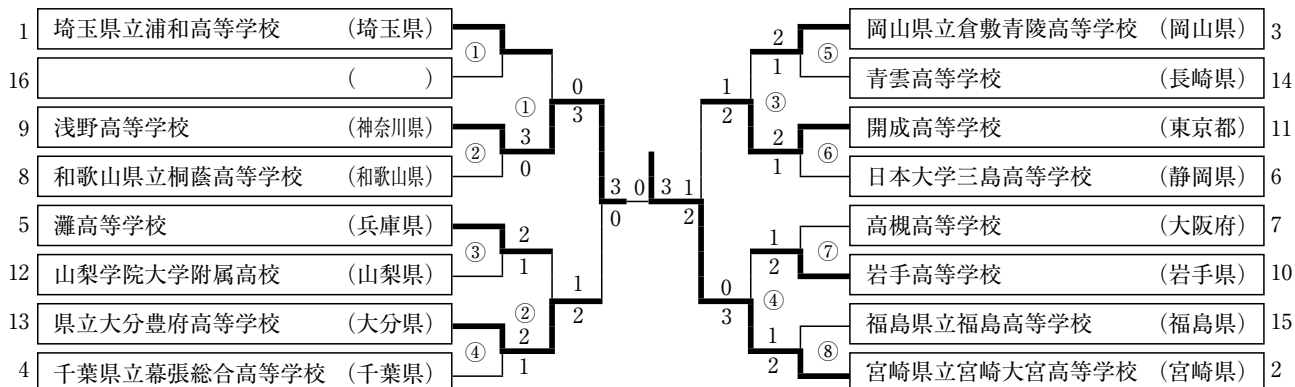
東京代表の塚田恵梨花さん、父親が塚田泰明九段、母親が高群佐知子女流三段という将棋一家で、この大会の前に女流棋士の資格を得ていた。そして9月に女流棋士としてプロの活動をスタートした。愛知代表の中澤沙耶さんも女流の公式戦で何度もプロを破っていて、女流棋士の資格を得ている。彼女も将棋の強豪大学である愛知県名城大学に進学すると同時に、女流棋士となった。

そして何人かの男女の生徒が将棋の強豪大学への進学を決めた。

彼ら彼女らの将棋とのつきあいは続く。これからもずっと。ずっと。

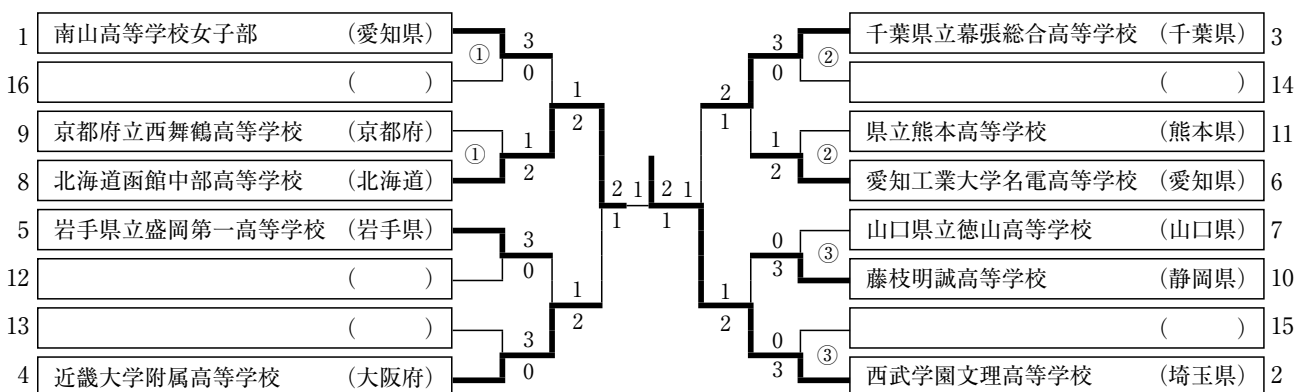
第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門
 (第 50 回全国高等学校将棋選手権大会)
 決勝トーナメント表

男子団体



第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門
 (第 50 回全国高等学校将棋選手権大会)
 決勝トーナメント表

女子団体



第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門
(第 50 回全国高等学校将棋選手権大会)
決勝トーナメント表

男子個人

1	銭本 幹生 (神奈川県・横浜創英 中学・高等学校)	1	鍋谷 太郎 (兵庫県・県立加古川東高等学校)	3
32	()	0	金井 孝之 (埼玉県・埼玉県立春日部高等学校)	30
17	河村優一郎 (山梨県・山梨県立都留高校)	1	本間 瑞生 (山形県・山形県立鶴岡南高等学校)	19
16	寺澤 凌 (長野県・長野県松本深志高等学校)	0	阿部 駿弥 (宮城県・宮城県仙台第一高等学校)	14
9	中久保太紳 (高知県・高知県立高知工業高等学校)	1	中谷 祥也 (茨城県・茨城県立牛久米進高等学校)	11
24	清水 航 (大阪府・大阪学芸高等学校)	0	長森 優作 (兵庫県・甲南高等学校)	22
25	山口 翔悟 (群馬県・群馬県立富岡高等学校)	1	三村 廉 (茨城県・茨城県立日立第一高等学校)	27
8	日高 啓道 (東京都・麻布高等学校)	0	山崎 英幸 (茨城県・翔洋学園高等学校)	6
5	西澤 佑亮 (福井県・北陸高等学校)	1	三輪 宏樹 (愛知県・南山高等学校男子部)	7
28	佐々木 康介 (愛媛県・愛媛県立松山中央高等学校)	0	富永祐之介 (福岡県・福岡県立福岡中央高等学校)	26
21	大野 弘喜 (東京都・武蔵高等学校)	1	藤井 規之 (広島県・広島県立福山誠之館高等学校)	23
12	石井 紀彦 (広島県・広島大学附属高等学校)	0	金川 和樹 (兵庫県・甲南高等学校)	10
13	本川 卓佐 (京都府・京都教育大学附属高等学校)	1	小山 真央 (岩手県・岩手県立釜石高等学校)	15
20	齋藤 裕史 (秋田県・秋田工業高等専門学校)	0	田中 勇貴 (石川県・石川県立金沢泉丘高等学校)	18
29	中里 亮周 (栃木県・栃木県立宇都宮北高等学校)	1	岩崎 凌大 (奈良県・智辯学園高等学校)	31
4	白井 竜太 (熊本県・県立熊本高等学校)	0	相坂 啓太 (青森県・青森県立青森高等学校)	2

第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門
(第 50 回全国高等学校将棋選手権大会)
決勝トーナメント表

女子個人

1	新藤 春実 (群馬県・群馬県立渋川女子高等学校)	1	藤井 奈々 (京都府・立命館宇治高等学校)	3
32	()	0	()	30
17	梅田 幸夏 (埼玉県・埼玉県立上尾鷹の台高等学校)	1	眞田 美月 (新潟県・新潟県立巻高等学校)	19
16	石川 珠妃 (三重県・三重県立松阪高等学校)	0	永田 美祐 (広島県・広島県立三次高等学校)	14
9	村上 祥代 (滋賀県・滋賀県立虎姫高等学校)	1	永井さくら (埼玉県・埼玉県立和光高等学校)	11
24	小野 理恵 (沖縄県・県立糸満高等学校)	0	岩堀 佳菜 (茨城県・茨城県立土浦第一高等学校)	22
25	牟田口環美 (愛媛県・済美平成中等教育学校)	1	()	27
8	小田切葉月 (東京都・実践学園高等学校)	0	頼本 奈菜 (東京都・実践学園高等学校)	6
5	塚田恵梨花 (東京都・日本女子体育大学附属 二階堂高等学校)	1	里見 咲紀 (鳥根県・つくば開成高等学校 出雲学習センター)	7
28	()	0	山田 桃 (広島県・広島なぎさ高等学校)	26
21	高橋 佳子 (福岡県・福岡県立東筑高等学校)	1	熊谷 奏 (宮城県・宮城県仙台第一高等学校)	23
12	松尾 千優 (兵庫県・市立尼崎双星高等学校)	0	難波 遥香 (岡山県・岡山県立岡山芳泉高等学校)	10
13	脇田菜々子 (愛知県・愛知県立一宮南高等学校)	1	小澤あざ美 (神奈川県・横浜創学館高等学校)	15
20	加藤寿美香 (千葉県・千葉県立千葉高等学校)	0	佐藤 希 (北海道・市立札幌大通高等学校)	18
29	()	1	()	31
4	石本さくら (大阪府・大阪学芸高等学校)	0	中澤 沙耶 (愛知県・愛知県立丹羽高等学校)	2

第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門
(第 50 回全国高等学校将棋選手権大会)
男子団体戦 順位表

順位	選手 No	学校名	県名	勝ち数	ブック ホルツ	バー ガー	メディ アン	団体選手 勝数	プログ レス
1	34	埼玉県立浦和高等学校	埼玉県	4	11	11	6	9	10
2	3	宮崎県立宮崎大宮高等学校	宮崎県	4	10	10	5	9	10
3	43	岡山県立倉敷青陵高等学校	岡山県	4	9	9	5	10	10
4	40	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県	3	12	8	6	7	9
5	31	灘高等学校	兵庫県	3	10	6	5	9	9
6	26	日本大学三島高等学校	静岡県	3	10	6	5	9	8
7	41	高槻高等学校	大阪府	3	10	6	4	8	8
8	1	和歌山県立桐蔭高等学校	和歌山県	3	9	6	5	8	8
9	23	浅野高等学校	神奈川県	3	9	6	4	9	7
10	30	岩手高等学校	岩手県	3	9	6	4	8	7
11	35	開成高等学校	東京都	3	9	5	4	8	7
12	21	山梨学院大学附属高校	山梨県	3	8	5	4	8	7
13	24	県立大分豊府高等学校	大分県	3	8	5	4	7	8
14	28	青雲高等学校	長崎県	3	8	4	3	8	9
15	8	福島県立福島高等学校	福島県	3	8	4	3	8	8
16	12	秋田県立秋田高等学校	秋田県	2	10	4	5	6	7
17	7	愛知県立瑞陵高等学校	愛知県	2	10	4	5	6	5
18	10	新田高等学校	愛媛県	2	10	3	5	6	5
19	11	文星芸術大学附属高等学校	栃木県	2	9	3	5	7	5
20	42	修道高等学校	広島県	2	9	3	4	6	5
21	9	興南高等学校	沖縄県	2	8	3	4	6	6
22	45	西大和学園高等学校	奈良県	2	8	3	4	6	4
23	16	富山県立富山中部高等学校	富山県	2	8	2	4	5	5
24	27	福井工業高等専門学校	福井県	2	8	2	3	7	3
25	19	鳥取県立米子東高等学校	鳥取県	2	8	1	4	5	5
26	29	群馬県立前橋高等学校	群馬県	2	7	3	3	6	4
27	17	宮城県白石高等学校	宮城県	2	7	2	3	7	4
28	18	新潟明訓高等学校	新潟県	2	7	2	3	5	4
29	47	山形県立山形東高等学校	山形県	2	7	1	4	6	5
30	20	久留米大学附設高等学校	福岡県	2	7	1	4	4	6
31	36	江戸川学園取手高等学校	茨城県	2	6	2	3	7	3
32	6	札幌光星高等学校	北海道	2	6	1	3	8	3
33	22	山口県立防府高等学校	山口県	2	6	1	3	7	5
34	5	長野県伊那北高等学校	長野県	1	9	2	4	4	4
35	13	光泉高等学校	滋賀県	1	9	1	5	3	4
36	39	香川県立丸亀高等学校	香川県	1	9	1	4	4	4
37	32	石川県立小松高等学校	石川県	1	8	1	4	4	2
38	48	岩手県立一関第一高等学校	岩手県	1	8	1	4	2	3
39	14	徳島市立高等学校	徳島県	1	8	0	5	3	4
40	25	鹿児島県立鶴丸高等学校	鹿児島県	1	7	0	4	5	2
41	2	島根県立松江北高等学校	島根県	1	7	0	4	4	1
42	4	高田高等学校	三重県	1	7	0	4	3	1
43	37	京都府立嵯峨野高等学校	京都府	1	5	0	3	5	3
44	33	県立玉名工業高等学校	熊本県	1	5	0	3	2	1
45	15	青森県立青森東高等学校	青森県	1	4	0	2	5	2
46	46	土佐塾高等学校	高知県	0	7	0	4	2	0
47	44	佐賀県立伊万里高等学校	佐賀県	0	6	0	3	4	0
48	38	岐阜県立可児高等学校	岐阜県	0	4	0	2	3	0

第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門 (第50回全国高等学校将棋選手権大会) 女子団体戦(予選勝敗表)

選手 No	学校名	県名	相手 No	相手 学校名	相手 県名	勝敗	相手 No	相手 学校名	相手 県名	勝敗	相手 No	相手 学校名	相手 県名	勝敗	相手 No	相手 学校名	相手 県名	勝敗
1	高田高等学校	三重県	19	福岡県立青豊高等学校	福岡県	●	23	香川県立香川中央高等学校	香川県	○	34	岩手県立盛岡第一高等学校	岩手県	●	4	富田高等学校	岐阜県	○
2	愛知工業大学電機高等学校	愛知県	20	東海大学付属相模高等学校	神奈川県	○	19	福岡県立青豊高等学校	福岡県	○	30	石川県立小松高等学校	石川県	○	16	西武学園文理高等学校	埼玉県	●
3	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県	21	高知大分上野丘高等学校	高知県	○	20	高知大分上野丘高等学校	高知県	○	11	宮城県仙台第一高等学校	宮城県	○	32	奈良学園高等学校	奈良県	○
4	富田高等学校	岐阜県	22	高知大分上野丘高等学校	高知県	●	20	高知大分上野丘高等学校	高知県	○	999	bye	bye	○	1	高田高等学校	三重県	○
5	北海道函館中部高等学校	北海道	23	香川県立香川中央高等学校	香川県	○	26	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県	○	24	愛知県立富岡東高等学校	愛知県	○	18	群馬県立富岡東高等学校	群馬県	○
6	藤枝明誠高等学校	静岡県	24	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県	○	17	学校法人地進学園 宮崎第一高等学校	宮崎県	○	25	山梨県立上野原高校	山梨県	○	21	県立大分上野丘高等学校	大分県	○
7	愛媛県立新居浜西高等学校	愛媛県	25	山梨県立上野原高校	山梨県	○	11	宮城県仙台第一高等学校	宮城県	○	33	長野県野沢北高等学校	長野県	○	10	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	新潟県	○
8	鹿児島県立鹿児島高等学校	鹿児島県	26	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県	○	25	山梨県立上野原高校	山梨県	○	23	香川県立香川中央高等学校	香川県	○	999	bye	bye	○
9	近畿大学附属鶴岡高等学校	大阪府	27	京都府立西舞鶴高等学校	京都府	○	24	南山高等学校女子部	山梨県	○	18	群馬県立富岡東高等学校	群馬県	○	7	愛媛県立新居浜西高等学校	愛媛県	○
10	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	新潟県	28	鳥取県立境港総合技術高等学校	鳥取県	○	16	西武学園文理高等学校	埼玉県	○	21	大分県	大分県	○	9	近畿大学附属鶴岡高等学校	大阪府	○
11	宮城県仙台第一高等学校	宮城県	29	広島県立神辺地高等学校	広島県	○	7	愛媛県立新居浜西高等学校	愛媛県	○	3	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県	○	24	南山高等学校女子部	山梨県	○
12	山口県立徳山高等学校	山口県	30	石川県立小松高等学校	石川県	○	35	青森県立青森東高等学校	青森県	○	14	茨城県立鹿島高等学校	茨城県	○	24	愛媛県立青豊高等学校	愛媛県	○
13	県立熊本高等学校	熊本県	31	県立御影高等学校	兵庫県	○	15	群馬県立富岡東高等学校	群馬県	○	12	西武学園文理高等学校	埼玉県	○	19	福岡県立青豊高等学校	福岡県	○
14	茨城県立鹿島高等学校	茨城県	32	奈良学園高等学校	奈良県	○	18	群馬県立富岡東高等学校	群馬県	○	16	山口県立徳山高等学校	山口県	○	34	岩手県立盛岡第一高等学校	岩手県	○
15	滋賀県立湖南農業高等学校	滋賀県	33	長野県野沢北高等学校	長野県	○	14	茨城県立鹿島高等学校	茨城県	○	19	福岡県立青豊高等学校	福岡県	○	17	学校法人地進学園 宮崎第一高等学校	宮崎県	○
16	西武学園文理高等学校	埼玉県	34	岩手県立盛岡第一高等学校	岩手県	○	10	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	新潟県	○	13	県立熊本高等学校	熊本県	○	2	愛知工業大学電機高等学校	愛知県	○
17	群馬県立富岡東高等学校	群馬県	35	青森県立青森東高等学校	青森県	○	6	藤枝明誠高等学校	静岡県	○	29	広島県立神辺地高等学校	広島県	○	15	滋賀県立湖南農業高等学校	滋賀県	○
18	群馬県立富岡東高等学校	群馬県	999	bye	bye	○	13	県立熊本高等学校	熊本県	○	9	近畿大学附属鶴岡高等学校	大阪府	○	5	北海道函館中部高等学校	北海道	○
19	福岡県立青豊高等学校	福岡県	1	高田高等学校	三重県	○	2	愛知工業大学電機高等学校	愛知県	○	15	滋賀県立湖南農業高等学校	滋賀県	○	13	県立熊本高等学校	熊本県	○
20	東海大学付属相模高等学校	神奈川県	2	愛知工業大学電機高等学校	愛知県	○	29	広島県立神辺地高等学校	広島県	○	26	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県	○	27	京都府立西舞鶴高等学校	京都府	○
21	県立大分上野丘高等学校	大分県	3	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県	○	31	県立御影高等学校	兵庫県	○	10	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	新潟県	○	6	藤枝明誠高等学校	静岡県	○
22	高知大分上野丘高等学校	高知県	4	富田高等学校	岐阜県	○	3	富田高等学校	岐阜県	○	32	奈良学園高等学校	奈良県	○	23	香川県立香川中央高等学校	香川県	○
23	香川県立香川中央高等学校	香川県	5	北海道函館中部高等学校	北海道	○	1	高田高等学校	三重県	○	8	鹿児島県立鹿児島高等学校	鹿児島県	○	22	高知大分上野丘高等学校	高知県	○
24	南山高等学校女子部	山梨県	6	藤枝明誠高等学校	静岡県	○	9	近畿大学附属鶴岡高等学校	大阪府	○	5	北海道函館中部高等学校	北海道	○	12	山口県立徳山高等学校	山口県	○
25	山梨県立上野原高校	山梨県	7	愛媛県立新居浜西高等学校	愛媛県	○	8	鹿児島県立鹿児島高等学校	鹿児島県	○	6	藤枝明誠高等学校	静岡県	○	26	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県	○
26	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県	8	鹿児島県立鹿児島高等学校	鹿児島県	○	5	北海道函館中部高等学校	北海道	○	20	東海大学付属相模高等学校	神奈川県	○	25	山梨県立上野原高校	山梨県	○
27	京都府立西舞鶴高等学校	京都府	9	近畿大学附属鶴岡高等学校	大阪府	○	33	長野県野沢北高等学校	長野県	○	35	青森県立青森東高等学校	青森県	○	20	東海大学付属相模高等学校	神奈川県	○
28	鳥取県立境港総合技術高等学校	鳥取県	10	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	新潟県	○	32	奈良学園高等学校	奈良県	○	31	県立御影高等学校	兵庫県	○	29	広島県立神辺地高等学校	広島県	○
29	広島県立神辺地高等学校	広島県	11	宮城県仙台第一高等学校	宮城県	○	20	東海大学付属相模高等学校	神奈川県	○	17	学校法人地進学園 宮崎第一高等学校	宮崎県	○	28	鳥取県立境港総合技術高等学校	鳥取県	○
30	石川県立小松高等学校	石川県	12	山口県立徳山高等学校	山口県	○	4	富田高等学校	岐阜県	○	2	愛知工業大学電機高等学校	愛知県	○	33	長野県野沢北高等学校	長野県	○
31	県立御影高等学校	兵庫県	13	熊本県立熊本高等学校	熊本県	○	28	鳥取県立境港総合技術高等学校	鳥取県	○	28	鳥取県立境港総合技術高等学校	鳥取県	○	35	青森県立青森東高等学校	青森県	○
32	奈良学園高等学校	奈良県	14	茨城県立鹿島高等学校	茨城県	○	21	県立大分上野丘高等学校	大分県	○	22	高知大分上野丘高等学校	高知県	○	3	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県	○
33	長野県野沢北高等学校	長野県	15	滋賀県立湖南農業高等学校	滋賀県	○	27	京都府立西舞鶴高等学校	京都府	○	7	愛媛県立新居浜西高等学校	愛媛県	○	30	石川県立小松高等学校	石川県	○
34	岩手県立盛岡第一高等学校	岩手県	16	西武学園文理高等学校	埼玉県	○	999	bye	bye	○	1	高田高等学校	三重県	○	14	茨城県立鹿島高等学校	茨城県	○
35	青森県立青森東高等学校	青森県	17	学校法人地進学園 宮崎第一高等学校	宮崎県	○	12	山口県立徳山高等学校	山口県	○	27	京都府立西舞鶴高等学校	京都府	○	31	県立御影高等学校	兵庫県	○

**第 38 回全国高等学校総合文化祭将棋部門
(第 50 回全国高等学校将棋選手権大会)
女子団体戦 順位表**

順位	選手 No	学校名	県名	勝ち数	ブックホルツ	パーガー	メデイアン	団体選手勝数	プログレス
1	24	南山高等学校女子部	愛知県	4	12	12	6	10	10
2	16	西武学園文理高等学校	埼玉県	4	11	11	6	8	10
3	3	千葉県立幕張総合高等学校	千葉県	4	7	7	4	10	10
4	9	近畿大学附属高等学校	大阪府	3	10	6	5	7	7
5	34	岩手県立盛岡第一高等学校	岩手県	3	10	6	4	8	6
6	2	愛知工業大学名電高等学校	愛知県	3	10	6	4	7	9
7	12	山口県立徳山高等学校	山口県	3	10	6	4	6	9
8	5	北海道函館中部高等学校	北海道	3	9	5	4	7	8
9	27	京都府立西舞鶴高等学校	京都府	3	8	5	4	7	6
10	6	藤枝明誠高等学校	静岡県	3	8	4	3	9	6
11	13	県立熊本高等学校	熊本県	3	8	4	3	8	8
12	19	福岡県立青豊高等学校	福岡県	2	10	4	5	7	6
13	14	茨城県立鹿島高等学校	茨城県	2	10	4	5	6	7
14	21	県立大分上野丘高等学校	大分県	2	10	3	5	7	5
15	1	高田高等学校	三重県	2	8	3	4	7	4
16	20	東海大学付属相模高等学校	神奈川県	2	8	2	5	7	5
17	35	青森県立青森東高等学校	青森県	2	8	2	4	7	5
18	30	石川県立小松高等学校	石川県	2	8	2	4	6	4
19	32	奈良学園高等学校	奈良県	2	8	2	3	7	5
20	10	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	新潟県	2	8	2	3	6	5
21	11	宮城県仙台第一高等学校	宮城県	2	8	1	4	5	7
22	26	岡山県立備前緑陽高等学校	岡山県	2	7	2	3	7	5
23	23	香川県立香川中央高等学校	香川県	2	7	2	3	6	3
24	15	滋賀県立湖南農業高等学校	滋賀県	2	6	2	3	5	5
25	18	群馬県立富岡東高等学校	群馬県	1	11	2	6	6	4
26	22	高知県立須崎高等学校	高知県	1	9	1	4	4	4
27	33	長野県野沢北高等学校	長野県	1	8	1	4	6	2
28	31	県立御影高等学校	兵庫県	1	8	1	4	3	2
29	4	富田高等学校	岐阜県	1	7	2	4	5	2
30	8	鹿児島県立 財部高等学校	鹿児島県	1	7	2	4	4	1
31	25	山梨県立上野原高校	山梨県	1	7	1	3	5	3
32	17	学校法人旭進学園 宮崎第一高等学校	宮崎県	1	7	0	4	3	2
33	7	愛媛県立新居浜西高等学校	愛媛県	1	6	1	3	3	4
34	28	鳥取県立境港総合技術高等学校	鳥取県	1	5	0	3	5	1
35	29	広島県立神辺旭高等学校	広島県	0	6	0	3	2	0

第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門 (第50回全国高等学校将棋選手権大会) 男子個人戦(予選勝敗表)

選手 No	選手名	県名	学校名	相手 No	相手 選手名	相手 県名	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 県名	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 県名	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 県名	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 県名	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 県名	相手 学校名	勝敗																																																																																																																																																																																														
1	神高 幸弘	香川県	香川県立高松西高等学校	49	渡邊 剛史	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	●	41	西澤 佑亮	福井県	北陸高等学校	○	59	吉迫 敦哉	徳島県	徳島県立能見島商業高等学校	○	14	中瀬 卓哉	山口県	山口県立法政高等学校	●	17	清水 航	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	○	5	小林 達哉	岡山県	岡山県立倉敷南高等学校	○	4	岩崎 凌大	奈良県	智辯学園高等学校	○	89	伊田 奎佑	佐賀県	東明高等学校	○	95	金川 和樹	兵庫県	兵庫県立東播磨高等学校	○	28	田中 勇貴	山口県	山口県立金田東高等学校	○	45	佐伯 春樹	新潟県	新潟県立都島東高等学校	○	19	河村優一郎	山梨県	山梨県立都留高等学校	○	86	中島 灯希	岐阜県	岐阜県立加茂高等学校	○	2	佐藤 徹介	千葉県	千葉県立八千代東高等学校	○	51	日高 啓道	東京都	香川県立高松西高等学校	○	56	出田 元大	東京都	東京都立八戸高等学校	○	34	田村 翔悟	群馬県	群馬県立新岡高等学校	○	91	斎宮 悟郎	新潟県	敬和学園高等学校	○	11	岩瀬 晃人	高知県	高知県立中村高等学校	○	21	田和 輝也	徳島県	徳島県立徳島南高等学校	○	20	田間 瑞生	山形県	山形県立鶴岡南高等学校	○	68	三輪 宏樹	愛知県	山形県立鶴岡南高等学校	○	50	小林 巧美	京都府	京都府立宇陀高等学校	○	73	奥田 裕広	熊本県	真和高等学校	○	28	相坂 啓太	青森県	青森県立青森高等学校	○	58	三村 廉	茨城県	茨城県立立正第一高等学校	○	3	佐々木康介	愛媛県	愛媛県立松山中央高等学校	○	25	阿部 麟介	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	○	8	上村 友大	茨城県	茨城県立太田第一高等学校	○	46	金井 孝之	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	○	81	安井 俊勝	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	○	43	谷口 慶至	三重県	三重県立古川東高等学校	○	17	谷口 慶至	三重県	三重県立古川東高等学校	○	72	齋藤 裕史	岐阜県	岐阜県立豊田高等学校	○	62	坂本 拓己	徳島県	徳島県立徳島南高等学校	○	47	竹川 和	愛知県	愛知県立明和高等学校	○	79	柳原 政人	福井県	福井県立大野高等学校	○	69	岩隈 啓太	大分県	大分県立長尾谷高等学校	○	97	中谷 祥也	茨城県	茨城県立千久米進高等学校	○	75	辻 健太郎	愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校	○	33	富永祐之介	福岡県	福岡県立福岡中央高等学校	○	96	山崎 英幸	茨城県	茨城県立福岡中央高等学校	○	10	橋本 卓万	鳥取県	米子松蔭高等学校	○	30	古城 直人	大分県	県立大分上野丘高等学校	○

第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門
(第50回全国高等学校将棋選手権大会)
男子個人戦 順位表

順位	選手No	選手名	県名	学校名	勝ち数	ブックホルツ	バーガー	メディアアン	団体選手勝数	プログレス
1	7	銭本 幹生	神奈川県	横浜創英 中学・高等学校	4	9	9	5	0	10
1	28	相坂 啓太	青森県	青森県立青森高等学校	4	9	9	5	0	10
3	78	鍋谷 太郎	兵庫県	県立加古川東高等学校	4	9	9	4	0	10
4	22	白井 竜太	熊本県	県立熊本高等学校	4	8	8	4	0	10
4	41	西澤 佑亮	福井県	北陸高等学校	4	8	8	4	0	10
4	96	山崎 英幸	茨城県	翔洋学園高等学校	4	8	8	4	0	10
7	68	三輪 宏樹	愛知県	南山高等学校男子部	3	13	9	6	0	9
8	51	日高 啓道	東京都	麻布高等学校	3	12	8	6	0	8
8	88	中久保太紳	高知県	高知県立高知工業高等学校	3	12	8	6	0	8
10	95	金川 和樹	兵庫県	甲南高等学校	3	11	7	5	0	9
10	97	中谷 祥也	茨城県	茨城県立牛久栄進高等学校	3	11	7	5	0	9
12	83	石井 紀彦	広島県	広島大学附属高等学校	3	11	7	5	0	8
13	32	本川 卓佐	京都府	京都教育大学附属高等学校	3	10	6	5	0	9
14	25	阿部 駿弥	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	3	10	6	4	0	9
14	44	小山 真央	岩手県	岩手県立釜石高等学校	3	10	6	4	0	9
16	15	寺澤 凌	長野県	長野県松本深志高等学校	3	9	6	5	0	9
17	19	河村優一郎	山梨県	山梨県立都留高校	3	9	6	4	0	7
17	29	田中 勇貴	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	3	9	6	4	0	7
19	20	本間 瑞生	山形県	山形県立鶴岡南高等学校	3	9	6	4	0	6
20	72	齋藤 裕史	秋田県	秋田工業高等専門学校	3	8	5	4	0	8
21	40	大野 弘喜	東京都	武蔵高等学校	3	8	5	4	0	6
22	12	長森 優作	兵庫県	甲南高等学校	3	8	4	4	0	8
23	38	藤井 規之	広島県	広島県立福山誠之館高等学校	3	7	5	4	0	6
24	13	清水 航	大阪府	大阪学芸高等学校	3	7	4	4	0	8
25	34	山口 翔悟	群馬県	群馬県立富岡高等学校	3	7	4	3	0	8
26	33	富永祐之介	福岡県	福岡県立福岡中央高等学校	3	7	4	3	0	7
26	58	三村 廉	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	3	7	4	3	0	7
28	3	佐々木康介	愛媛県	愛媛県立松山中央高等学校	3	7	4	3	0	6
29	36	中里 亮周	栃木県	栃木県立宇都宮北高等学校	3	6	3	3	0	7
30	46	金井 孝之	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	3	5	4	2	0	6
31	4	岩崎 凌大	奈良県	智辯学園高等学校	3	5	3	3	0	7
32	43	谷口 慶至	三重県	三重高等学校	2	12	5	6	0	7
33	86	中島 灯希	岐阜県	岐阜県立加茂高等学校	2	11	5	6	0	6
34	69	千種 玲央	大阪府	長尾谷高等学校	2	11	4	5	0	6
34	79	柳原 政人	福井県	福井県立大野高等学校	2	11	4	5	0	6
36	2	佐藤 僚介	千葉県	千葉県立八千代東高等学校	2	10	4	5	0	7
36	62	坂本 拓己	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	2	10	4	5	0	7
38	27	在原 駆	福島県	いわき秀英高等学校	2	10	3	5	0	6
39	30	古城 直人	大分県	県立大分上野丘高等学校	2	10	3	5	0	5
40	8	上村 友大	茨城県	茨城県立太田第一高等学校	2	9	3	5	0	7
41	5	小林 達哉	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	2	9	3	5	0	6
42	35	時任 太那	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	2	9	3	5	0	5
42	54	村上 郁斗	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	2	9	3	5	0	5
42	92	西川 洸佑	静岡県	藤枝明誠高等学校	2	9	3	5	0	5
45	17	井筒 章浩	岐阜県	岐阜聖徳学園高等学校	2	9	2	4	0	7
46	49	渡邊 剛史	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	2	8	3	4	0	6
47	21	田和 醇也	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	2	8	3	4	0	5

順位	選手 No	選手名	県名	学校名	勝ち数	ブック ホルツ	バー ガー	メディ アン	団体選 手勝数	プログ レス
47	57	能村 省吾	富山県	国立富山高等専門学校 (本郷キャンパス)	2	8	3	4	0	5
49	64	五十嵐 丈大	福島県	福島県立磐城高等学校	2	8	3	4	0	4
50	11	岩瀬 晃人	高知県	高知県立中村高等学校	2	8	2	4	0	6
51	71	池田大一勢	神奈川県	法政大学第二中・高等学校	2	8	2	4	0	5
52	73	奥田 将広	熊本県	真和高等学校	2	8	2	4	0	4
53	45	佐伯 駿介	新潟県	新潟県立新潟商業高等学校	2	8	2	3	0	5
54	16	山口 賢人	長崎県	長崎県立佐世保工業高等学校	2	7	3	4	0	5
55	39	武富 有平	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	2	7	2	3	0	5
56	26	湊 開誠	富山県	国立富山高等専門学校 (本郷キャンパス)	2	7	1	4	0	6
57	47	竹川 和	愛知県	愛知県立明和高等学校	2	7	1	4	0	4
58	67	木村 卓哉	徳島県	徳島県立小松島高等学校	2	7	1	4	0	3
59	50	小林 巧実	京都府	京都教育大学附属高等学校	2	6	3	3	0	3
60	42	湯浅 夏斗	滋賀県	立命館守山高等学校	2	6	2	3	0	5
61	31	阿部 拓海	北海道	北海高等学校	2	6	2	3	0	4
61	91	斎京 悟郎	新潟県	敬和学園高等学校	2	6	2	3	0	4
63	6	中村 元紀	徳島県	徳島県立城南高等学校	2	6	1	3	0	4
64	77	有田 光佑	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	2	6	1	3	0	3
65	9	喜久川 聖弥	沖縄県	県立浦添工業高等学校	2	5	1	3	0	4
66	14	中堀 卓哉	山口県	学校法人鴻城義塾 宇部鴻城高等学校	2	5	1	3	0	3
67	53	木内 滉希	群馬県	群馬県立沼田高等学校	2	4	1	2	0	3
68	94	久慈 透也	岩手県	岩手高等学校	1	11	3	6	0	4
69	90	岩尾 啓太	大分県	大分工業高等専門学校	1	9	2	4	0	3
70	10	橋寄 卓万	鳥取県	米子松蔭高等学校	1	9	1	5	0	3
71	81	安井 俊勝	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	1	9	1	5	0	2
72	1	神高 幸弘	香川県	香川県立高松西高等学校	1	9	1	4	0	2
72	76	弘内 奏楽	香川県	香川県立農業経営高等学校	1	9	1	4	0	2
74	48	市平 春樹	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	1	9	0	5	0	3
74	89	伊田 奎佑	佐賀県	東明館高等学校	1	9	0	5	0	3
76	87	山脇淳之介	奈良県	東大寺学園高等学校	1	8	2	4	0	3
76	93	布山 慎吾	長野県	長野県豊科高等学校	1	8	2	4	0	3
78	24	岡田 史彦	鹿児島県	ラ・サール高等学校	1	8	0	5	0	3
79	55	城間 永世	沖縄県	県立普天間高等学校	1	8	0	4	0	2
80	66	山尾ジキソン	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	1	7	1	4	0	4
81	65	中山 智喜	栃木県	國學院大學栃木高等学校	1	7	1	4	0	3
82	23	土切 勝滋	静岡県	静岡学園高等学校	1	7	1	4	0	2
82	56	出町 元大	青森県	青森県立八戸高等学校	1	7	1	4	0	2
84	80	武村 怜	北海道	北海道網走南ヶ丘高等学校	1	7	0	4	0	1
84	82	武田 竜治	千葉県	東京学館浦安高等学校	1	7	0	4	0	1
86	37	新斗米 創	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	1	7	0	3	0	4
87	70	岩下 裕弥	山梨県	山梨県立甲府西高校	1	7	0	3	0	1
88	75	辻 健太郎	愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校	1	6	0	4	0	2
89	59	吉迫 敦哉	鹿児島県	鹿児島市立 鹿児島商業高等学校	1	6	0	3	0	1
90	18	中原 怜	島根県	島根県立松江南高等学校	1	5	1	2	0	2
91	63	有吉 和範	福岡県	福岡県立東筑高等学校	1	5	0	2	0	1
92	52	古藤 雅史	島根県	松江工業高等専門学校	0	8	0	4	0	0
92	60	後藤 辰徳	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	0	8	0	4	0	0
92	61	藤原 聖士	三重県	三重県立上野高等学校	0	8	0	4	0	0
95	84	森田 一輝	山形県	山形県立山形東高等学校	0	7	0	3	0	0
96	74	久保中亮翔	山口県	山口県立下関西高等学校	0	5	0	2	0	0
96	85	清水 隆史	石川県	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	0	5	0	2	0	0

第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門 (第50回全国高等学校将棋選手権大会) 女子個人戦(予選勝敗表)

選手 No	選手名	県名	学校名	相手 No	相手 選手名	相手 原	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 原	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 原	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 原	相手 学校名	勝敗	相手 No	相手 選手名	相手 原	相手 学校名	勝敗
1	佐世奈緒子	山口県	山口県立松高高等学校	43	吉岡 珠実	青森県	青森県立青森高等学校	○	53	勝浦麻理香	兵庫県	県立星陵高等学校	○	64	月岡 美紀	徳島県	徳島県立上島高等学校	○										
2	岩瀬 佳菜	茨城県	茨城県立土浦第一高等学校	44	勝亦 梨帆	静岡県	静岡県立松田南高等学校	○	62	苞松 友梨	熊本県	尚紳高等学校	●	64	月岡 美紀	徳島県	徳島県立上島高等学校	○										
3	石本さくら	大阪府	大阪府立高田南高等学校	45	池田 詩織	新潟県	新潟県立高田南高等学校	○	32	石川 真由	群馬県	群馬県立松波高等学校	○	38	浦上 紗穂	富山県	富山県立高岡西高等学校	○										
4	中澤 沙耶	愛知県	愛知県立丹羽高等学校	46	梅田 幸夏	埼玉県	埼玉県立丹羽高等学校	○	30	岡岡 真由	三重県	三重県立松波高等学校	○	33	浦上 紗穂	富山県	富山県立高岡西高等学校	○										
5	宮ノ藤 杏	岐阜県	岐阜県立大井川高等学校	47	塚田 悠花	東京都	東京都立大井川高等学校	●	49	山崎 愛美	高知県	高知県立大井川高等学校	○	29	里見 咲紀	鳥取県	鳥取県立大井川高等学校	○										
6	新藤 春実	群馬県	群馬県立沼田女子高等学校	48	佐藤 希	北海道	北海道立沼田女子高等学校	○	2	岩瀬 佳菜	茨城県	茨城県立土浦第一高等学校	○	81	中野実歌子	愛媛県	愛媛県立大井川高等学校	○										
7	高倉 南実	徳島県	徳島県立小松島高等学校	49	山崎 愛美	高知県	高知県立小松島高等学校	○	28	榎本 奈菜	東京都	東京都立大井川高等学校	○	84	小田切葉月	東京都	東京都立大井川高等学校	○										
8	水田 唯奈	広島県	広島県立三次高等学校	50	中川 実紅	岡山県	岡山県立三次高等学校	○	34	谷野 西	鳥取県	鳥取県立大井川高等学校	○	46	梅田 幸夏	埼玉県	埼玉県立大井川高等学校	○										
9	三井 唯奈	広島県	広島県立三次高等学校	51	高村 麻衣	山口県	山口県立三次高等学校	○	63	松本 幸佳	鳥取県	鳥取県立大井川高等学校	○	67	小柳水花保	岩手県	岩手県立大井川高等学校	○										
10	玉田 唯奈	大分県	大分県立大井川高等学校	52	新道理紗子	大阪府	大阪府立大井川高等学校	○	83	佐々木春香	茨城県	茨城県立大井川高等学校	○	74	吉岡 珠実	青森県	青森県立大井川高等学校	○										
11	浅田 成美	福井県	福井県立金津高等学校	53	勝浦麻理香	兵庫県	兵庫県立金津高等学校	○	82	崔 恵仁	茨城県	茨城県立大井川高等学校	○	58	村上 円	鳥取県	鳥取県立大井川高等学校	○										
12	吉田 葵	青森県	青森県立青森南高等学校	54	足立 美桜	茨城県	茨城県立大井川高等学校	○	84	小田切葉月	東京都	東京都立大井川高等学校	○	16	小澤あざ美	神奈川県	横浜学園高等学校	○										
13	熊谷 奏	宮城県	宮城県立白根第一高等学校	55	小池 里奈	京都府	京都府立白根第一高等学校	○	52	新道理紗子	大阪府	大阪府立白根第一高等学校	○	53	勝浦麻理香	兵庫県	兵庫県立白根第一高等学校	○										
14	水井さくら	愛媛県	愛媛県立和光高等学校	56	前川 晴奈	福井県	福井県立和光高等学校	○	35	小林 真優	静岡県	静岡県立和光高等学校	○	●	土居佳南子	千葉県	千葉県立和光高等学校	○										
15	牟田口環美	愛媛県	愛媛県立和光高等学校	57	田中菜衣子	福井県	福井県立和光高等学校	○	21	村上 祥代	滋賀県	滋賀県立和光高等学校	○	●	足立 美桜	茨城県	茨城県立和光高等学校	○										
16	小澤あざ美	神奈川県	横浜学園高等学校	58	村上 円	鳥取県	鳥取県立和光高等学校	○	69	松田 里奈	京都府	京都府立和光高等学校	○	●	吉岡 珠実	青森県	青森県立和光高等学校	○										
17	小窪 祐那	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	59	秋山 美華	神奈川県	神奈川県立宮崎大宮高等学校	○	25	松尾 千優	兵庫県	兵庫県立宮崎大宮高等学校	○	●	吉田 桃	広島県	広島県立宮崎大宮高等学校	○										
18	藤井 奈々	京都府	京都府立命法寺高等学校	60	清原千雅子	富山県	富山県立命法寺高等学校	○	22	伊藤 鈴穂	秋田県	秋田県立大曲工業高等学校	○	○	高橋 佳子	福岡県	福岡県立大曲工業高等学校	○										
19	西尾 美都	奈良県	奈良県立大和南高等学校	61	前田はるひ	長野県	長野県立大和南高等学校	○	79	土居佳南子	千葉県	千葉県立大和南高等学校	○	○	山崎 愛美	高知県	高知県立大和南高等学校	○										
20	高橋 佳子	福岡県	福岡県立東筑高等学校	62	苞松 友梨	宮城県	宮城県立東筑高等学校	○	40	沼崎 悠華	岩手県	岩手県立東筑高等学校	○	○	藤井 奈々	京都府	京都府立東筑高等学校	○										
21	村上 祥代	滋賀県	滋賀県立益田高等学校	63	松本 幸佳	鳥取県	鳥取県立益田高等学校	○	15	牟田口環美	愛媛県	愛媛県立益田高等学校	○	○	小田切葉月	東京都	東京都立益田高等学校	○										
22	伊藤 鈴穂	高知県	高知県立大曲工業高等学校	64	月岡 美紀	徳島県	徳島県立大曲工業高等学校	○	18	藤井 奈々	京都府	京都府立大曲工業高等学校	○	○	後藤亜也子	熊本県	熊本県立大曲工業高等学校	○										
23	松岡 碧	高知県	高知県立大曲工業高等学校	65	表 幸花	石川県	石川県立大曲工業高等学校	○	38	藤井 奈々	京都府	京都府立大曲工業高等学校	○	○	苞松 友梨	宮城県	宮城県立大曲工業高等学校	○										
24	小野 理恵	沖縄県	県立糸満高等学校	66	白銀 里帆	群馬県	群馬県立糸満高等学校	○	41	難波 遥香	岡山県	岡山県立糸満高等学校	○	○	勝亦 梨帆	静岡県	静岡県立糸満高等学校	○										
25	松尾 千優	兵庫県	兵庫県立和光高等学校	67	小柳水花保	秋田県	秋田県立和光高等学校	○	17	小窪 祐那	宮崎県	宮崎県立和光高等学校	○	○	佐々木春香	茨城県	茨城県立和光高等学校	○										
26	松岡静莉香	石川県	石川県立和光高等学校	68	鬼頭あゆみ	三重県	三重県立和光高等学校	○	31	堀口 紗子	長野県	長野県立和光高等学校	○	○	塚田 悠花	東京都	東京都立和光高等学校	○										
27	頼本 奈菜	東京都	東京都立和光高等学校	69	松田 晴	山形県	山形県立和光高等学校	○	43	吉岡 珠実	青森県	青森県立和光高等学校	○	○	松本 幸佳	鳥取県	鳥取県立和光高等学校	○										
28	頼本 奈菜	東京都	東京都立和光高等学校	70	佐久間琴子	岐阜県	岐阜県立和光高等学校	○	7	高倉 南実	徳島県	徳島県立和光高等学校	○	○	土居佳南子	千葉県	千葉県立和光高等学校	○										
29	國岡真由希	北海道	市立札幌大通高等学校	71	山田 桃	広島県	広島県立大通高等学校	○	78	脇田 菜々子	愛知県	愛知県立大通高等学校	○	○	難波 遥香	岡山県	岡山県立大通高等学校	○										
30	國岡真由希	北海道	市立札幌大通高等学校	72	森 千沙都	宮崎県	宮崎県立大通高等学校	○	26	廣田 美月	新潟県	新潟県立大通高等学校	○	○	森 千沙都	宮崎県	宮崎県立大通高等学校	○										
31	堀口 紗子	長野県	長野県立和光高等学校	73	坂本 円	宮崎県	宮崎県立和光高等学校	○	46	梅田 幸夏	埼玉県	埼玉県立和光高等学校	○	○	梅田 幸夏	埼玉県	埼玉県立和光高等学校	○										
32	石川 玲穂	三重県	三重県立松波高等学校	74	坂本 円	宮崎県	宮崎県立松波高等学校	○	3	石本さくら	大阪府	大阪府立松波高等学校	○	○	小池 里奈	京都府	京都府立松波高等学校	○										
33	浦上 紗穂	富山県	富山県立高岡西高等学校	75	河野かなえ	鹿児島県	鹿児島県立高岡西高等学校	○	47	岩田恵梨花	大阪府	大阪府立高岡西高等学校	○	○	56	前川 晴奈	福井県	福井県立高岡西高等学校	○									
34	谷野 西	鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校	76	安井 麻純	奈良県	奈良県立倉吉東高等学校	○	8	永田 祐祐	広島県	広島県立倉吉東高等学校	○	○	67	小柳水花保	岩手県	岩手県立倉吉東高等学校	○									
35	小林 真優	静岡県	静岡県立和光高等学校	77	金子めぐみ	福岡県	福岡県立和光高等学校	○	14	永井さくら	埼玉県	埼玉県立和光高等学校	○	○	78	脇田 菜々子	愛知県	愛知県立和光高等学校	○									
36	後藤亜也子	熊本県	熊本県立大井川高等学校	78	脇田 菜々子	愛知県	愛知県立大井川高等学校	○	74	坂本 円	岩手県	岩手県立大井川高等学校	○	○	50	中川 実紅	岡山県	岡山県立大井川高等学校	○									
37	柳本 乃咲	和歌山県	和歌山県立大井川高等学校	79	土居佳南子	千葉県	千葉県立大井川高等学校	○	72	松岡 碧	高知県	高知県立大井川高等学校	○	○	68	鬼頭あゆみ	三重県	三重県立大井川高等学校	○									
38	相田 紗那	山形県	山形県立大井川高等学校	80	安西 里奈	大分県	大分県立大井川高等学校	○	39	加藤寿美香	千葉県	千葉県立大井川高等学校	○	○	3	石本さくら	大阪府	大阪府立大井川高等学校	○									
39	加藤 悠華	千葉県	千葉県立大井川高等学校	81	中野実歌子	愛媛県	愛媛県立大井川高等学校	○	51	高村 麻衣	山口県	山口県立大井川高等学校	○	○	28	榎本 奈菜	東京都	東京都立大井川高等学校	○									
40	沼崎 悠華	岩手県	岩手県立大井川高等学校	82	崔 恵仁	茨城県	茨城県立大井川高等学校	○	20	高橋 佳子	福岡県	福岡県立大井川高等学校	○	○	54	足立 美桜	茨城県	茨城県立大井川高等学校	○									
41	難波 遥香	岡山県	岡山県立大井川高等学校	83	里見 咲紀	茨城県	茨城県立大井川高等学校	○	24	小野 理恵	沖縄県	県立糸満高等学校	○	○	29	里見 咲紀	高知県	高知県立大井川高等学校	○									
42	城間 未来	沖縄県	県立糸満高等学校	84	小田切葉月	東京都	東京都立大井川高等学校	○	67	小柳水花保	岩手県	岩手県立大井川高等学校	○	○	9	三井 唯奈	鹿児島県	鹿児島県立大井川高等学校	○									
43	吉岡 珠実	青森県	青森県立青森南高等学校	1	佐世奈緒子	山口県	山口県立青森南高等学校	○	27	松岡静莉香	石川県	石川県立青森南高等学校	○	○	77	金子めぐみ	福岡県	福岡県立青森南高等学校	○									
44	勝亦 梨帆	静岡県	静岡県立和光高等学校	2	岩瀬 佳菜	茨城県	茨城県立和光高等学校	○	70	佐久間琴子	岐阜県	岐阜県立和光高等学校	○	○	12	吉田 美華	青森県	青森県立和光高等学校	○									
45	池田 詩織	新潟県	新潟県立高田南高等学校	3	石本さくら	大阪府	大阪府立高田南高等学校	○	56	前川 晴奈	福井県	福井県立高田南高等学校	○	○	59	秋山 美華	神奈川県	横浜学園高等学校	○									

46	梅田 幸夏	埼玉県 埼玉県立上尾高等学校	●	68	鬼頭あゆみ	三重県 高田高等学校	○	31	堀口 妙子	長野県 長野県伊那北高等学校	○	7	高倉 南美	徳島県 徳島県立小松高等学校	○
47	塚田恵梨花	東京都 日本体育大学附属二階高等学校	○	33	浦上 莉穂	富山県 富山県立高岡高等学校	○	8	永田 祐祐	広島県 広島県立三次高等学校	○	26	眞田 美月	新潟県 新潟県立巻高等学校	○
48	佐藤 希	北海道 市立札幌大通高等学校	●	58	村上 円	鳥取県 鳥取県立益田高等学校	○	23	松岡 碧	高知県 高知県立高知丸の内高等学校	○	27	松岡伸和香	石川県 星稜高等学校	○
49	山崎 愛美	高知県 高知県立高知通手前高等学校	●	5	宮ノ腰 杏	岐阜県 岐阜県立斐太高等学校	○	17	小窪 佑那	宮崎県 宮崎県立宮崎大宮高等学校	●	19	西尾 美都	奈良県 奈良女子大学附属中等教育学校	○
50	中川 実紀	岡山県 岡山県立高谷高等学校	●	60	清原千雅子	富山県 富山県立富山中郡高等学校	○	36	後藤亜也子	熊本県 熊本県立南高等学校	●	35	小林 真優	日本大学 日本大学三島高等学校	●
51	高村 麻衣	山口県 山口県立下松高等学校	○	39	加藤寿美香	千葉県 千葉県立千葉高等学校	●	7	高倉 南美	徳島県 徳島県立上松高等学校	●	60	清原千雅子	富山県 富山県立富山中郡高等学校	●
52	新道理紗子	大阪府 大阪府立河南高等学校	○	13	熊谷 奏	宮城県 宮城県仙台第一高等学校	○	20	高橋 春吏	群馬県 群馬県立浪川女子高等学校	●	15	熊谷 千優	兵庫県 市立尼崎双星高等学校	●
53	勝浦麻理香	兵庫県 県立星陵高等学校	○	1	佐世奈緒子	山口県 山口県立大分雄城台高等学校	○	6	高橋 春吏	群馬県 群馬県立東郷第一高等学校	○	23	松尾 美	宮城県 宮城県仙台第一高等学校	●
54	足立 美桜	茨城県 水戸工業大学附属高等学校	●	80	西里 奈	大分県 大分県立大分雄城台高等学校	○	40	沼崎 悠華	岩手県 岩手県立東郷第一高等学校	○	15	車田口環美	愛媛県 清美平成中等教育学校	○
55	小池 里奈	京都府 京都府立嵯峨野高等学校	●	64	月岡 美紀	徳島県 徳島県立川島高等学校	○	32	石川 珠紀	三重県 三重県立松阪高等学校	●	34	谷野 西	鳥取県 鳥取県立倉吉東高等学校	●
56	前川 晴奈	福井県 福井県立金津高等学校	○	45	池田 詩織	新潟県 新潟県立高田南高等学校	○	33	浦上 莉穂	富山県 富山県立西郷高等学校	○	40	沼崎 悠華	岩手県 岩手県立盛岡高等学校	○
57	田中菜衣子	和歌山県 和歌山県立御坊高等学校	○	73	森 千砂都	宮崎県 宮崎県立日田高等学校	○	76	安井 麻純	奈良県 奈良県立大分雄城台高等学校	○	80	安西 里奈	大分県 県立大分雄城台高等学校	○
58	村上 円	鳥取県 鳥取県立益田高等学校	○	48	佐藤 希	北海道 市立札幌大通高等学校	○	74	坂井 円	岩手県 岩手県立盛岡工業高等学校	○	11	浅田 成美	福井県 福井県立金津高等学校	○
59	秋山 美華	神奈川県 横浜国立大学附属高等学校	○	71	山田 桃	広島県 広島県立広島南高等学校	○	45	池田 詩織	新潟県 新潟県立伊勢崎高等学校	○	66	白銀 里帆	群馬県 群馬県立伊勢崎高等学校	○
60	清原千雅子	富山県 富山県立富山中郡高等学校	○	50	中山 実紀	岡山県 岡山県立高谷高等学校	○	66	白銀 里帆	群馬県 群馬県立伊勢崎高等学校	○	51	高村 麻衣	山口県 山口県立下松高等学校	○
61	前田はるひ	長野県 長野県伊那北高等学校	○	76	安井 麻純	奈良県 奈良県立高岡高等学校	○	83	佐々木春香	茨城県 茨城県立大洗高等学校	○	45	池田 詩織	新潟県 新潟県立高田南高等学校	○
62	邑松 友梨	福岡県 福岡県立東筑高等学校	○	77	金子めぐみ	福岡県 福岡県立東筑高等学校	○	2	岩瀬 佳菜	茨城県 茨城県立土浦第一高等学校	○	22	伊藤 鈴穂	秋田県 秋田県立大曲工業高等学校	○
63	月岡 美紀	徳島県 徳島県立高田南高等学校	○	55	小池 里奈	京都府 京都府立嵯峨野高等学校	○	27	松岡伸和香	石川県 星稜高等学校	○	68	鬼頭あゆみ	山口県 山口県立下松高等学校	○
64	表 幸花	石川県 石川県立高田南高等学校	○	75	河野かなえ	徳島県 徳島県立高田南高等学校	○	22	伊藤 鈴穂	秋田県 秋田県立大曲工業高等学校	○	32	石川 珠紀	三重県 三重県立松阪高等学校	○
65	白銀 里帆	群馬県 群馬県立伊勢崎高等学校	○	81	中野珠歌子	愛媛県 愛媛県立高情報高等学校	○	60	清原千雅子	富山県 富山県立富山中郡高等学校	○	59	神奈川 美華	神奈川県 横浜国立大学附属高等学校	○
66	小柳木花保	秋田県 秋田県立秋田南高等学校	○	42	城間 未来	沖縄県 県立首里高等学校	○	34	谷野 西	鳥取県 鳥取県立倉吉東高等学校	○	8	永田 美祐	広島県 広島県立三次高等学校	○
67	鬼頭あゆみ	山口県 山口県立高田南高等学校	○	46	梅田 幸夏	埼玉県 埼玉県立上尾高等学校	○	37	柳本 乃咲	和歌山県 和歌山県立御久高高等学校	○	63	松本 幸佳	鳥取県 鳥取県立米子工業高等学校	○
68	松田 幸佳	群馬県 群馬県立伊勢崎高等学校	○	16	小澤あさ美	神奈川県 横浜国立大学附属高等学校	○	13	熊谷 奏	宮城県 宮城県仙台第一高等学校	○	70	佐久間孝子	岐阜県 岐阜県立大垣東高等学校	○
69	佐久間孝子	岐阜県 岐阜県立大垣東高等学校	○	44	勝亦 梨純	静岡県 富士見高等学校	○	10	玉田 理咲	大分県 県立大分南高等学校	○	69	松田 梢	山形県 山形県立山形東高等学校	○
70	山田 桃	広島県 広島県立上尾高等学校	○	59	秋山 美華	福岡県 福岡県立高岡高等学校	○	11	浅田 成美	福井県 福井県立金津高等学校	○	17	小窪 佑那	宮崎県 宮崎県立宮崎大宮高等学校	○
71	上古岡有加	熊本県 高情報高等学校	○	37	柳本 乃咲	和歌山県 和歌山県立御久高高等学校	○	1	佐世奈緒子	山口県 山口県立下松高等学校	○	41	難波 遥香	岡山県 岡山県立岡山秀英高等学校	○
72	森 千砂都	宮崎県 宮崎県立伊那北高等学校	○	57	田中菜衣子	和歌山県 和歌山県立海城南高等学校	○	30	國岡真由希	北海道 市立札幌大通高等学校	○	82	崔 恵仁	茨城県 水戸葵陵高等学校	○
73	坂牛 円	富山県 富山県立高岡高等学校	○	36	後藤亜也子	熊本県 熊本県立高岡高等学校	○	58	村上 円	鳥取県 鳥取県立益田高等学校	○	9	三井 唯奈	鹿児島県 鹿児島県立大宮高等学校	○
74	河野かなえ	鹿児島県 鹿児島県立大宮高等学校	○	65	表 幸花	石川県 日本航空高等学校石川	○	64	月岡 美紀	徳島県 徳島県立川島高等学校	○	37	柳本 乃咲	和歌山県 和歌山県立御久高高等学校	○
75	安井 麻純	奈良県 奈良県立高岡高等学校	○	61	前田はるひ	長野県 長野県伊那北高等学校	○	57	田中菜衣子	和歌山県 和歌山県立海城南高等学校	○	31	堀口 妙子	長野県 長野県伊那北高等学校	○
76	金子めぐみ	福岡県 福岡県立東筑高等学校	○	62	邑松 友梨	宮城県 宮城県仙台第一高等学校	○	43	吉岡 珠実	青森県 青森県立青森高等学校	○	42	城間 未来	県立百里高等学校	○
77	脇田美々子	愛知県 愛知県立三島高等学校	○	29	里見 咲紀	高知県 高知県立高知通手前高等学校	○	35	小林 真優	静岡県 日本大学三島高等学校	○	30	國岡真由希	北海道 市立札幌大通高等学校	○
78	土居佳南子	千葉県 浪存教育学園藤張高等学校	○	19	西尾 美都	奈良県 奈良県立大分雄城台高等学校	○	28	頼本 奈菜	東京都 実践学園高等学校	○	14	永井さくら	埼玉県 埼玉県立和光高等学校	○
79	安西 里奈	大分県 県立大分雄城台高等学校	○	54	足立 美桜	茨城県 水戸葵陵高等学校	○	5	宮ノ腰 杏	岐阜県 岐阜県立斐太高等学校	○	57	田中菜衣子	和歌山県 和歌山県立海城南高等学校	○
80	中野珠歌子	山形県 山形県立大宮高等学校	○	66	白銀 里帆	群馬県 群馬県立伊勢崎高等学校	○	24	小野 理恵	沖縄県 沖縄県立斐太高等学校	○	5	宮ノ腰 杏	岐阜県 岐阜県立斐太高等学校	○
81	崔 恵仁	茨城県 水戸葵陵高等学校	○	11	浅田 成美	福井県 福井県立金津高等学校	○	15	車田口環美	愛媛県 清美平成中等教育学校	○	73	森 千砂都	宮崎県 宮崎県立日南振徳高等学校	○
82	佐々木春香	茨城県 茨城県立大洗高等学校	○	10	玉田 理咲	大分県 県立大分南高等学校	○	61	前田はるひ	長野県 長野県伊那北高等学校	○	24	小野 理恵	沖縄県 県立糸満高等学校	○
83	小田切美月	東京都 実践学園高等学校	○	12	吉田 葵	青森県 青森県立青森南高等学校	○	21	村上 祥代	長野県 長野県伊那北高等学校	○	6	新藤 春美	群馬県 群馬県立波川女子高等学校	○

第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門
(第50回全国高等学校将棋選手権大会)
女子個人戦 順位表

順位	選手No	選手名	県名	学校名	勝ち数	ブックホルツ	バーガー	メディアアン	団体選手勝数	プログレス
1	4	中澤 沙耶	愛知県	愛知県立丹羽高等学校	4	11	11	6	0	10
1	6	新藤 春実	群馬県	群馬県立渋川女子高等学校	4	11	11	6	0	10
3	3	石本さくら	大阪府	大阪学芸高等学校	4	10	10	5	0	10
3	18	藤井 奈々	京都府	立命館宇治高等学校	4	10	10	5	0	10
3	47	塚田恵梨花	東京都	日本女子体育大学附属 二階堂高等学校	4	10	10	5	0	10
6	28	頼本 奈菜	東京都	実践学園高等学校	4	8	8	4	0	10
7	29	里見 咲紀	鳥根県	つくば開成高等学校 出雲学習センター	3	13	9	6	0	9
8	84	小田切葉月	東京都	実践学園高等学校	3	11	7	5	0	9
9	21	村上 祥代	滋賀県	滋賀県立虎姫高等学校	3	10	7	5	0	8
9	41	難波 遥香	岡山県	岡山県立岡山芳泉高等学校	3	10	7	5	0	8
11	14	永井さくら	埼玉県	埼玉県立和光高等学校	3	10	6	4	0	8
11	25	松尾 千優	兵庫県	市立尼崎双星高等学校	3	10	6	4	0	8
13	78	脇田菜々子	愛知県	愛知県立一宮南高等学校	3	9	6	4	0	7
14	8	永田 美祐	広島県	広島県立三次高等学校	3	9	5	4	0	8
14	16	小澤あざ美	神奈川県	横浜創学館高等学校	3	9	5	4	0	8
16	32	石川 珠妃	三重県	三重県立松阪高等学校	3	9	5	4	0	7
17	46	梅田 幸夏	埼玉県	埼玉県立上尾鷹の台高等学校	3	9	5	4	0	6
17	48	佐藤 希	北海道	市立札幌大通高等学校	3	9	5	4	0	6
19	20	高橋 佳子	福岡県	福岡県立東筑高等学校	3	8	4	3	0	9
19	26	眞田 美月	新潟県	新潟県立巻高等学校	3	8	4	3	0	9
19	39	加藤寿美香	千葉県	千葉県立千葉高等学校	3	8	4	3	0	9
22	2	岩堀 佳菜	茨城県	茨城県立土浦第一高等学校	3	8	4	3	0	7
23	13	熊谷 奏	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	3	7	5	4	0	7
24	24	小野 理恵	沖縄県	県立糸満高等学校	3	7	4	3	0	7
25	15	牟田口環美	愛媛県	済美平成中等教育学校	3	6	3	3	0	7
26	71	山田 桃	広島県	広島なぎさ高等学校	3	5	2	2	0	6
27	52	新道理紗子	大阪府	大阪府立河南高等学校	2	11	4	6	0	7
28	30	國岡真由希	北海道	市立札幌大通高等学校	2	11	4	5	0	6
29	67	小棚木花保	秋田県	秋田県立秋田高等学校	2	10	4	5	0	5
30	38	相田 紗那	山形県	山形県立楯岡高等学校	2	10	3	5	0	7
31	7	高倉 南実	徳島県	徳島県立小松島高等学校	2	10	3	5	0	6
32	12	吉田 葵	青森県	青森県立青森南高等学校	2	9	3	5	0	6
33	31	堀口 妙子	長野県	長野県伊那北高等学校	2	9	3	5	0	5
33	36	後藤亜也子	熊本県	尚綱高等学校	2	9	3	5	0	5
33	69	松田 梢	山形県	山形県立山形東高等学校	2	9	3	5	0	5
36	33	浦上 莉穂	富山県	富山県立高岡西高等学校	2	9	2	5	0	6
37	79	土居佳南子	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	2	9	2	4	0	7
38	23	松岡 碧	高知県	高知県立高知丸の内高等学校	2	8	3	4	0	5
38	72	上古閑有加	熊本県	尚綱高等学校	2	8	3	4	0	5
40	56	前川 晴奈	福井県	福井県立金津高等学校	2	8	3	4	0	4
41	53	勝浦麻理香	兵庫県	県立星陵高等学校	2	8	2	5	0	7
42	17	小窪 佑那	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	2	8	2	5	0	6
43	35	小林 真優	静岡県	日本大学三島高等学校	2	8	2	4	0	5
43	83	佐々木春香	茨城県	茨城県立大洗高等学校	2	8	2	4	0	5
45	22	伊藤 鈴穂	秋田県	秋田県立大曲工業高等学校	2	8	2	3	0	5
46	5	宮ノ腰 杏	岐阜県	岐阜県立斐太高等学校	2	8	2	3	0	3
47	49	山崎 愛美	高知県	高知県立高知追手前高等学校	2	7	3	4	0	4

順位	選手 No	選手名	県名	学校名	勝ち数	ブック ホルツ	バー ガー	メディ アン	団体選 手勝数	プログ レス
48	27	松岡静莉香	石川県	星稜高等学校	2	7	2	4	0	5
48	65	表 幸花	石川県	日本航空高等学校石川	2	7	2	4	0	5
50	34	谷野 茜	鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校	2	7	2	3	0	5
50	54	足立 美桜	茨城県	水戸葵陵高等学校	2	7	2	3	0	5
52	60	清原 千雅子	富山県	富山県立富山中部高等学校	2	7	2	2	0	3
53	45	池田 詩織	新潟県	新潟県立高田南城高等学校	2	7	1	3	0	3
54	63	松本 幸佳	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	2	6	1	3	0	4
55	42	城間 未来	沖縄県	県立首里高等学校	2	6	1	3	0	3
55	74	坂牛 円	岩手県	岩手県立盛岡工業高等学校	2	6	1	3	0	3
57	1	佐世奈緒子	山口県	山口県立下松高等学校	2	5	1	3	0	5
58	73	森 千沙都	宮崎県	宮崎県立日南振徳高等学校	2	5	1	3	0	4
59	50	中川 実紅	岡山県	岡山龍谷高等学校	1	9	2	4	0	3
60	55	小池 里奈	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	1	9	1	5	0	3
60	62	邑松 友梨	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	1	9	1	5	0	3
60	81	中野実歌子	愛媛県	済美高等学校	1	9	1	5	0	3
63	68	鬼頭あゆみ	三重県	高田高等学校	1	9	1	5	0	2
64	19	西尾 美都	奈良県	奈良女子大学附属中等教育学校	1	8	1	4	0	4
64	40	沼崎 悠華	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	1	8	1	4	0	4
66	44	勝亦 梨帆	静岡県	富士見高等学校	1	8	1	4	0	3
67	70	佐久間琴子	岐阜県	岐阜県立大垣東高等学校	1	8	1	3	0	2
68	58	村上 円	島根県	島根県立益田高等学校	1	8	0	5	0	1
69	51	高村 麻衣	山口県	山口県立下松高等学校	1	7	0	4	0	4
70	61	前田はるひ	長野県	長野県伊那北高等学校	1	6	1	3	0	3
71	80	安西 里奈	大分県	県立大分雄城台高等学校	1	6	0	4	0	1
72	82	崔 恵仁	茨城県	水戸葵陵高等学校	1	6	0	3	0	3
73	66	白銀 里帆	群馬県	群馬県立伊勢崎高等学校	1	6	0	3	0	1
74	64	月岡 美紀	徳島県	徳島県立川島高等学校	1	5	0	3	0	2
74	76	安井 麻純	奈良県	奈良学園高等学校	1	5	0	3	0	2
74	77	金子めぐみ	福岡県	福岡県立東筑高等学校	1	5	0	3	0	2
77	10	玉田 理咲	大分県	県立大分南高等学校	1	5	0	3	0	1
77	37	柳本 乃咲	和歌山県	和歌山県立耐久高等学校	1	5	0	3	0	1
79	59	秋山 美華	神奈川県	横浜創英 中学・高等学校	0	8	0	4	0	0
80	9	三井 唯奈	鹿児島県	鹿児島情報高等学校	0	7	0	4	0	0
81	11	浅田 成美	福井県	福井県立金津高等学校	0	7	0	3	0	0
81	57	田中茉衣子	和歌山県	和歌山県立海南高等学校	0	7	0	3	0	0
83	43	吉岡 珠実	青森県	青森県立青森高等学校	0	6	0	3	0	0
83	75	河野かなえ	鹿児島県	鹿児島情報高等学校	0	6	0	3	0	0

精 選 棋 譜

10年間の精選譜15と、創刊以来の将棋年鑑に掲載された茨城県高校選手の全ての棋譜です。

この印刷は Kifu for Windows の「棋譜用紙印刷」で行ったものに若干のデータを加えました。

平成17年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先勝又優 ▲	後田地規朗 △	棋戦名	茨城県高校春季大会 男子個人A級決勝戦	対局場	水戸一高知道会館	開始	2005/05/09(月)	終了	2005/05/09(月)	昼休	時分～時分	夕休	時分～時分					
手合割	平手	備考	勝又は茨城高、 田地は水城高		100手で後手の勝ち		戦型	相六熊											
持時間	20分切れ30秒	消費時間	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△					
			昼休前	分・夕休前	分	記録係													
▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△					
▲7六歩	△3四歩	▲8六銀	△7二飛	▲2六歩	△4四歩	▲2一歩成	△6四金	▲4八銀	△4二飛	▲1一と	△6六歩	▲5六歩	△6二玉	▲同歩	△6五歩	▲6八玉	△7二玉	▲5五歩	△同角
▲7八玉	△3二銀	▲6五歩	△同銀	▲5七銀	△4三銀	▲2四飛	△6七歩	▲2五歩	△3三角	▲5七角	△6六銀	▲5八金右	△8二玉	▲7三步	△同飛	▲7七角	△5二金左	▲8五桂	△7四飛
▲8八玉	△9二香	▲7五歩	△同金	▲9八香	△9一玉	▲同銀	△同飛	▲9九玉	△8二銀	▲6六角	△同角	▲8八銀	△7一金	▲2一飛成	△6八銀	▲7九金	△5四銀	▲7三香	△7九銀不成
▲6六銀	△6四歩	▲同金	△5五角打	▲6八金寄	△7四歩	▲7八金打	△7七金	▲7八金寄	△6三金	▲8六銀	△8八金	▲6八角	△6五歩	▲同金上	△同角成	▲7七銀引	△4五歩	▲同金	△同角成
▲2六飛	△7二飛	▲同玉	△7七金	▲1六歩	△7五歩	▲同桂	△同歩成	▲同歩	△同飛	▲同銀	△7九銀	▲2四歩	△同歩	▲7八玉	△6八歩成	▲2二歩	△7六歩	▲8九玉	△8八金

対局者	先 池島 純 ▲	棋戦名	茨城県高校竜王戦 A級準決勝戦	開始	2006/06/06 (火)	終了	2006/06/06 (火)	昼休	時 分～ 時 分	夕休	時 分～ 時 分
対局者	後 熊倉 紫野 △	対局場	茨城県民文化センター 分館	手合割	平手	備考	池島は水戸一高、 熊倉は古河三高	消費時間	20分切れ30秒	消費時間	168手で後手の勝ち
戦型 相振り飛車											
記録係											
▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計
▲7六歩	△3四歩	▲1六歩	△4四角	▲2五歩	△同 桂	▲6六歩	△3五歩	▲5六銀	△3三桂	▲2六金上	△2七歩
▲7八銀	△3二飛	▲7六飛	△2六歩	▲同 銀	△3六銀	▲6七銀	△1四歩	▲同 歩	△同 飛	▲同 銀	△同 歩
▲7八飛	△4二銀	▲2七歩	△2四飛	▲2五金直	△2一飛	▲7五歩	△3六歩	▲9七角	△9三銀	▲4六飛	△5五角
▲同 歩	△同 飛	▲6四歩	△同 歩	▲3六飛	△1九角成	▲3七歩	△3四飛	▲同 角	△6三歩	▲2二歩	△4一飛
▲2八銀	△8二銀	▲8六角	△8四銀	▲6五桂	△2七歩	▲4八玉	△6二玉	▲6七銀	△3五角	▲3七銀	△2八銀
▲3八玉	△2四歩	▲9八香	△1五歩	▲3二飛成	△3七銀成	▲6五歩	△4四歩	▲同 桂	△4二飛	▲同 龍	△2八歩成
▲7四歩	△同 歩	▲同 歩	△4六歩	▲同 龍	△4七歩	▲7四歩	△同 歩	▲3一龍	△4七歩	▲4五桂打	△3六歩
▲同 飛	△4三銀	▲3六歩	△4七歩成	▲同 龍	△2八歩成	▲7六飛	△4三銀	▲4五桂打	△3六歩	▲同 龍	△2八歩成
▲7六飛	△7三歩	▲2六歩	△同 角	▲同 龍	△2八歩成	▲8六歩	△2五歩	▲4七玉	△2九馬	▲同 龍	△2八歩成
▲8六歩	△2五歩	▲3七金上	△4四角	▲4七玉	△2九馬	▲8五歩	△5四銀	▲5八玉	△6五馬	▲同 龍	△2八歩成
▲8五歩	△5四銀	▲2六歩	△2五歩	▲5八玉	△6五馬	▲7七桂	△4五歩	▲7六銀打	△5五馬	▲同 龍	△2八歩成
▲7七桂	△4五歩	▲3五歩	△2六歩	▲7六銀打	△5五馬	▲8六飛	△2四飛	▲6六銀	△3一香	▲同 龍	△2八歩成
▲8六飛	△2四飛	▲同 金	△4六歩	▲6六銀	△3一香	▲8四歩	△同 歩	▲3二歩	△5四馬	▲同 龍	△2八歩成
▲8四歩	△同 歩	▲3六金上	△2五歩	▲3二歩	△5四馬	▲同 飛	△8三歩	▲6五銀左	△3二馬	▲同 龍	△2八歩成
▲同 飛	△8三歩	▲2七金	△4五銀	▲6五銀左	△3二馬	▲8六飛	△7二玉	▲3四金	△3八と	▲同 龍	△2八歩成
▲8六飛	△7二玉	▲3七金引	△3五角	▲3四金	△3八と	▲4八金	△5二金左	▲7四歩	△3七と	▲同 龍	△2八歩成
▲4八金	△5二金左	▲3六歩	△2六歩	▲7四歩	△3七と	▲5八金上	△9四歩	▲同 龍	△4五飛	▲同 龍	△2八歩成
▲5八金上	△9四歩	▲1六金	△4四角	▲同 龍	△4五飛	▲9六歩	△6二金上	▲7三歩成	△同 桂	▲同 龍	△2八歩成
▲9六歩	△6二金上	▲4八歩	△3五歩	▲7三歩成	△同 桂						

対局者	先 池島 純 ▲	棋戦名	茨城県高校竜王戦 A級準決勝戦	開始	2006/06/06 (火)	終了	2006/06/06 (火)	昼休	時 分～	時 分	夕休	時 分～	時 分
対局者	後 熊倉 紫野 △	対局場	茨城県民文化センター 分館	手合割	平手	備考	168手で後手の勝ち	消費時間	20分切れ30秒	備考	戦型	相振り飛車	
消費時間		▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△
消費通計		▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△
▲5六銀	△8五飛	▲7七銀	△3六歩	▲同 龍	△5四馬	▲4七龍	△3四香	▲4一龍	△3七香成	▲7四歩	△8六飛	▲7三步成	△同 銀
▲8六銀	△7六馬	▲6七歩	△6六桂										

平成18年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 田地 規朗 ▲	棋戦名	全国総文祭将棋部門 スイス式2回戦	開始	2006/08/02 (水)	終了	2006/08/02 (水)	昼休	時 分～ 時 分	夕休	時 分～ 時 分
手合割	平手	備考	田地は茨城代表(水城高)、 新垣は沖縄・浦添商業高	75手で先手の勝ち							
持時間	20分+30秒	消費時間	▲ ○	戦型	ゴキゲン中飛車超急戦回避						
			昼休前○	分・夕休前○	分	記録係					
▲	消費通計	○	消費通計	▲	消費通計	○	消費通計	▲	消費通計	○	消費通計
▲2六歩	○3四歩	▲6四歩	○5三銀	▲7六歩	○5四歩	▲7七桂	○6四銀	▲2五歩	○5二飛	▲6五歩	○5三銀
▲5八金右	○5五歩	▲7八金	○5五歩	▲2四歩	○同歩	▲6六金	○3九角	▲同飛	○3二金	▲5八飛	○6九角
▲2八飛	○2三歩	▲2一飛	○5八角成	▲4八銀	○6二玉	▲同銀右	○4八角成	▲6八玉	○7二玉	▲1一飛成	○2八飛
▲7八玉	○9四歩	▲6四香	○同銀	▲9六歩	○6二銀	▲同歩	○4一香	▲6六歩	○3五歩	▲1八角	○同飛成
▲4六歩	○5四飛	▲同香		▲4七銀	○3四飛			▲6七金	○1四歩		
▲6五歩	○1三桂			▲6六金	○2四飛			▲2六歩	○4二銀		
▲6八銀	○5三銀左			▲5五金	○7四飛			▲6七銀	○5四銀		
▲5六金	○8八角成			▲同玉	○6四歩			▲4一角	○4二金		
▲7四角成	○同歩										

平成19年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 幡宮 慎太郎 ▲	棋戦名	全国高等学校将棋竜王戦 茨城県代表決定戦準決勝	開始	2007/06/05 (火)	終了	2007/06/05 (火)	昼休	時 分～ 時 分	夕休	時 分～ 時 分
手合割	平手	備考	幡宮は茨城キリスト教学園高、 黒澤は佐和高	82手で後手の勝ち							
持時間	20分+30秒	消費時間	▲ ○	戦型	先手居飛車対四間飛車持久戦						
			昼休前○	分・夕休前○	分	記録係					
▲	消費通計	○	消費通計	▲	消費通計	○	消費通計	▲	消費通計	○	消費通計
▲7六歩	○3四歩	▲1一角成	○4六歩	▲2六歩	○4四歩	▲3八銀	○5六銀	▲4八銀	○4二飛	▲4一飛	○4七歩成
▲5六歩	○9四歩	▲同 銀	○同銀成	▲6八玉	○7二銀	▲同飛成	○5五桂	▲7八玉	○3二銀	▲4二龍	○3六歩
▲5八金右	○4三銀	▲3八歩	○4七歩	▲2五歩	○3三角	▲4九歩	○5六銀	▲9六歩	○5二金左	▲2一馬	○6五桂
▲3六歩	○6二玉	▲4三馬	○7一金	▲6八銀	○7一玉	▲4四馬	○6二銀	▲5七銀左	○8二玉	▲8六桂	○4六角
▲6八金上	○5四歩	▲6二馬	○5七桂成	▲4六歩	○6四歩	▲6三馬	○6八成桂	▲4五歩	○7四歩	▲8八玉	○7八成桂
▲3七桂	○7三桂	▲9七玉	○7九角成	▲4七銀	○6三金			▲2四歩	○同 歩		
▲3五歩	○同 歩			▲4四歩	○3四銀			▲4六銀左	○1四歩		
▲4五桂	○4四角			▲同 角	○同 飛			▲2二角	○4五飛		
▲同 銀	○同 銀										

平成20年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 豊嶋 春樹 ▲	棋戦名	全国高等学校将棋竜王戦	開始	2008/06/03 (火)
				終了	2008/06/03 (火)
	後 櫻村 暢通 △	対局場	茨城県民文化センター 分館	昼休	時 分～ 時 分
				夕休	時 分～ 時 分
手合割	平手	備考	豊嶋は水戸葵陵高、 櫻村は茨城高		111手で先手の勝ち
持時間	20分切れ30秒				戦型 先手居飛車後手中飛車急戦
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分	記録係
▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計
▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計
▲7六歩	△3四歩	▲6八金寄	△5七歩	▲7二金	△7五金
▲2六歩	△4四歩	▲5六香	△2五桂	▲同歩	△9三角
▲4八銀	△3二銀	▲6六歩	△7四角	▲6二金	△7五角
▲5六歩	△3三角	▲5二香成	△同飛	▲7六銀打	△9三角
▲5七銀	△4三銀	▲6五銀	△同角	▲7五歩	△2八飛
▲5八金右	△5四歩	▲同歩	△3三金	▲7二龍	
▲6八玉	△5二飛	▲6六角	△4四角		
▲7八玉	△3二金	▲同角	△同金		
▲1六歩	△6二玉	▲3三角	△5五角		
▲2五歩	△7二玉	▲7七銀	△4三金		
▲9六歩	△9四歩	▲5五角成	△同飛		
▲7七角	△4五歩	▲2二角	△5一飛		
▲6六銀	△6二銀	▲5二歩	△同飛		
▲8八玉	△4四銀	▲3一角成	△5一銀打		
▲9八香	△5五歩	▲6四歩	△同歩		
▲同歩	△同銀	▲同馬	△6三香		
▲同銀	△同角	▲7五馬	△5八歩成		
▲同角	△同飛	▲同飛	△同飛成		
▲6六角	△5一飛	▲同金上	△6八香成		
▲5二歩	△同金	▲同金	△6三歩		
▲2四歩	△同歩	▲8六香	△7四金		
▲1一角成	△3三桂	▲4一飛	△5四金		
▲1二馬	△2三銀	▲5二歩	△同銀		
▲1三馬	△1二歩	▲8三香成	△同玉		
▲2三馬	△同金	▲8一飛成	△8二歩		

平成20年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 幡宮 慎太郎 ▲	棋戦名	茨城県高等学校 将棋秋季大会男子決勝戦	開始	2008/11/13(木)
	後 樫村 暢通 △	対局場	石岡市民会館	終了	2008/11/13(木)
手合割	平手	備考	幡宮は茨城キリスト教学園高、 樫村は茨城高	昼休	時 分～ 時 分
持時間	20分切れ30秒			夕休	時 分～ 時 分
消費時間	▲ △				
		昼休前△	分・夕休前△	分	記録係
	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計
▲7六歩	△3四歩	▲2三歩	△3一角	▲同歩	△8二歩
▲4八銀	△4四歩	▲3六歩	△同歩	▲8三歩成	△同歩
▲6八玉	△3二飛	▲同銀	△8四歩	▲8七香	△7五桂
▲4六歩	△3五歩	▲2二歩成	△5三角	▲9四銀	△同香
▲4七銀	△5二金左	▲1一と	△8五歩	▲9二飛	△8二銀
▲7八玉	△6二玉	▲7七角	△8六歩	▲9一角	△7一金
▲9六歩	△9四歩	▲同銀	△6五銀	▲9四飛成	△8七桂成
▲5八金右	△7二玉	▲8四歩	△7六銀	▲同玉	△9三歩
▲8六歩	△8二玉	▲8五香	△4五歩	▲8二角成	△同玉
▲8七玉	△4二銀	▲3五歩	△7四飛	▲5四龍	△2七飛
▲7八銀	△7二銀	▲8三歩成	△同銀	▲5七歩	△8四香
▲2六歩	△4三銀	▲同香成	△同玉		
▲2五歩	△3四飛	▲8五銀打	△8六角		
▲1六歩	△5四歩	▲7六銀	△同飛		
▲9八玉	△3一角	▲8五銀	△4六飛		
▲8七銀	△3三桂	▲2七銀	△2六飛		
▲6八金寄	△6四角	▲同銀	△7五角		
▲3八飛	△2五桂	▲6六角	△同角		
▲2八飛	△2四歩	▲同歩	△7二玉		
▲2六飛	△1四歩	▲2五銀	△8三歩		
▲7八金上	△5五歩	▲7五桂	△8二香		
▲1八香	△5四銀	▲4三角	△5二銀		
▲5六歩	△同歩	▲6五角成	△5六角		
▲同銀	△5五歩	▲8三桂成	△同香		
▲4七銀	△6二金寄	▲8四歩	△6五角		

平成21年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 幡宮 慎太郎 ▲	棋戦名	全国高等学校将棋竜王戦 茨城県代表決定戦決勝戦	開始	2009/06/09 (火)
	後 豊嶋 春樹 △	対局場	茨城県民文化センター分館	終了	2009/06/09 (火)
				昼休	時 分～ 時 分
				夕休	時 分～ 時 分

手合割	平手	備考	幡宮は茨城キリスト教学園高、 豊嶋は水戸葵陵高	120手で後手の勝ち
持時間	20分+30秒			戦型 先手居飛車後手向飛車穴熊
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分

消費通計		消費通計		消費通計		消費通計		消費通計	
▲	△	▲	△	▲	△	▲	△	▲	△
▲2六歩	△3四歩	▲同金	△同飛	▲4九香	△5七馬				
▲2五歩	△3三角	▲7七歩	△5六飛	▲6九桂	△5六馬				
▲7六歩	△2二飛	▲6七銀打	△3六飛	▲5七歩	△3八馬				
▲4八銀	△4二銀	▲3七歩	△3五飛	▲2二龍	△4九馬				
▲6八玉	△6二玉	▲1一龍	△2五飛	▲同馬	△同龍				
▲7八玉	△7二玉	▲4一龍	△5一金打	▲7四桂	△7三銀打				
▲5六歩	△5四歩	▲3一龍	△2九飛成	▲8二桂成	△同銀				
▲5八金右	△8二玉	▲4六香	△3五角	▲8五角	△5九龍				
▲6六歩	△5三銀	▲3三龍	△1九龍	▲7四銀	△7八金				
▲6七金	△9二香	▲3六歩	△4六角	▲同香	△6九龍				
▲7七角	△6四銀	▲同歩	△6四香						
▲5七銀	△9一玉	▲1二角	△6七香成						
▲8八玉	△8二銀	▲同銀	△6四香						
▲7八金	△7四歩	▲3四角成	△6七香成						
▲6八銀引	△7一金	▲同馬	△5五桂						
▲3六歩	△7二飛	▲1二角	△6七桂成						
▲2四歩	△同歩	▲同角成	△6九角						
▲6五歩	△同銀	▲8八金	△7八歩						
▲3三角成	△同桂	▲同銀	△7九銀						
▲2四飛	△7五歩	▲8六歩	△8八銀成						
▲2一飛成	△4四角	▲同玉	△4七角成						
▲9八玉	△5二金	▲7九香	△6九銀						
▲7五歩	△同飛	▲8七銀打	△7八銀成						
▲7七歩	△7六歩	▲同銀	△5七金						
▲同歩	△同銀	▲8五馬	△6八金						

平成22年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 坂田 俊樹 ▲	棋戦名	全国高等学校将棋竜王戦 茨城県代表決定戦決勝戦	開始	2010/06/08 (火)	終了	2010/06/08 (火)	昼休	時 分～	時 分	夕休	時 分～	時 分		
	後 豊嶋 春樹 △	対局場	茨城県民文化センター 分館												
手合割	平手	備考	坂田・豊嶋ともに水戸葵陵高										118手で後手の勝ち		
持時間	20分+30秒												戦型 相筋違い角		
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分									記録係		
	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計									消費通計		
▲7六歩	△3四歩	▲同 金	△6二歩	▲同 玉	△2五桂	▲2二角成	△同 銀	▲4一銀	△4二金右	▲同 金	△同 角	▲4五角	△5二金右	▲1四桂	△同 香
▲3四角	△6五角	▲6三歩成	△同 歩	▲同 歩	△1六金	▲4八飛	△7六角	▲同角成	△6五桂	▲1八玉	△1七歩				
▲8八飛	△4四歩	▲6七金	△6六歩	▲同 金	△同 金	▲4八玉	△5四角	▲7八飛	△6七歩成	▲同 玉	△1六金	▲3八玉	△3二金	▲1八玉	△3一銀
▲5六角	△4二玉	▲7一飛成	△9二飛	▲1八玉	△3一銀	▲6八銀	△8四歩	▲5三馬	△4二銀打	▲5四馬	△3八と				
▲6八銀	△8四歩	▲6四馬	△5七桂不成												
▲4六歩	△8五歩	▲3九金	△1五歩												
▲7七銀	△6四歩	▲同 歩	△1七歩												
▲5八金左	△6二銀	▲2六金	△1八銀												
▲2八玉	△3三銀	▲同 香	△同歩成												
▲6六歩	△6三銀	▲同 玉	△1二香打												
▲3八銀	△3一玉	▲1四銀	△2四金												
▲6七金	△2二玉	▲2八金	△1四金												
▲7六銀	△7四歩	▲同 歩	△同 香												
▲6五歩	△7三桂	▲1七歩	△5八と												
▲7七桂	△1四歩	▲2五金打	△2四銀打												
▲1六歩	△4三角	▲同 金	△同 歩												
▲6四歩	△同 銀	▲5四歩	△4八と												
▲7四角	△7五歩	▲5三歩成	△1七香不成												
▲6五歩	△7六歩	▲同 桂	△1六歩												
▲6四歩	△7七歩成	▲1五歩	△1七歩成												

平成23年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 三村 駿 ▲	棋戦名	全国高等学校将棋竜王戦 茨城県代表決定戦男子決勝戦	開始	2011/06/08 (水)
	後 山崎 英幸 △	対局場	水戸一高知道会館	終了	2011/06/08 (水)
				昼休	時 分～ 時 分
				夕休	時 分～ 時 分

手合割	平手	備考	三村は日立一高、 山崎は明秀日立高	79手で先手の勝ち
持時間	20分+30秒			戦型 相居飛車後手右玉
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分
				記録係

▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計
▲7六歩	▲	△3四歩	△	▲5六歩	▲	△4六銀	△				
▲2六歩	▲	△8八角成	△	▲3三歩	▲	△同 桂	△				
▲同 銀	▲	△4二銀	△	▲4四角	▲	△4五桂	△				
▲4八銀	▲	△6二銀	△	▲2二角成	▲	△同 金	△				
▲7八金	▲	△3二金	△	▲4五銀	▲	△8五桂	△				
▲6八玉	▲	△6四歩	△	▲6五歩	▲	△7七桂成	△				
▲4六歩	▲	△8四歩	△	▲同 桂	▲	△6五歩	△				
▲4七銀	▲	△6三銀	△	▲6四歩	▲	△同 銀	△				
▲5八金	▲	△7四歩	△	▲5四銀	▲	△3六角	△				
▲9六歩	▲	△9四歩	△	▲6三歩	▲	△5二金	△				
▲5六銀	▲	△7三桂	△	▲6五銀	▲	△同 銀	△				
▲6六歩	▲	△6二玉	△	▲6四桂	▲	△7三玉	△				
▲7七銀	▲	△8一飛	△	▲6五桂	▲	△6四玉	△				
▲7九玉	▲	△7二玉	△	▲7三角	▲	△6五玉	△				
▲8八玉	▲	△6二金	△	▲4六角成	▲		△				
▲2五歩	▲	△3三銀	△								
▲3六歩	▲	△1四歩	△								
▲1六歩	▲	△5四歩	△								
▲6八金右	▲	△4四銀	△								
▲3七桂	▲	△3五歩	△								
▲4七銀	▲	△3六歩	△								
▲同 銀	▲	△5五銀	△								
▲2六角	▲	△2二角	△								
▲4五桂	▲	△4四歩	△								
▲2四歩	▲	△同 歩	△								

平成24年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 中谷 祥也 ▲ 後 三村 駿 △	棋戦名	茨城県高等学校 将棋秋季大会男子決勝戦	開始	2012/11/13(火)	終了	2012/11/13(火)	昼休	時 分～	時 分	夕休	時 分～	時 分		
手合割	平手	備考	中谷は牛久栄進高、 三村駿は日立一高	戦型	相矢倉	140手で後手の勝ち									
持時間	20分+30秒														
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分	記録係										
▲	消費通計	▲	消費通計	▲	消費通計	▲	消費通計	▲	消費通計	▲	消費通計	▲	消費通計		
▲2六歩	△3四歩	▲5七歩	△同歩成	▲同 飛	△同 金	▲4八銀	△4二銀	▲同 玉	△6八飛	▲2五歩	△3三銀	▲5六歩	△4四銀引	▲4七玉	△6七金
▲7六歩	△3二金	▲4六歩	△9五歩	▲4八金	△5八銀	▲6八銀	△6二銀	▲4五歩	△同 銀	▲3八玉	△5九銀不成	▲7八金	△5四歩	▲2五歩	△5七金
▲5六歩	△4一玉	▲8八玉	△9二飛	▲2四歩	△同 銀	▲7七銀	△5二金	▲1七角	△4四歩	▲5八歩	△同 金	▲7九角	△3一角	▲同 金	△同飛成
▲7九角	△3一角	▲5五歩	△同 銀	▲同 金	△同飛成	▲5八金	△4四歩	▲5六金	△同 銀	▲2七玉	△2六歩	▲3六歩	△7四歩	▲同 角	△2五歩
▲3六歩	△7四歩	▲同 銀	△8五桂	▲同 角	△2五歩	▲6六歩	△4三金右	▲8六銀	△9六歩	▲1七角	△2六金	▲6七金右	△4二角	▲同 銀	△同 歩
▲6九玉	△3一玉	▲同 歩	△9八歩	▲同 角	△2五歩	▲6七銀	△5三銀	▲同 香	△9七歩	▲同 角	△2六銀	▲3七銀	△5三銀	▲同 桂	△8六角
▲6八角	△6四銀	▲同 歩	△6九銀	▲同 角	△同 歩	▲7九玉	△7三桂	▲2八飛	△7八銀成	▲1七玉	△3九角	▲2六銀	△5五歩	▲同 玉	△7七金
▲同 歩	△5二飛	▲6九玉	△5七金	▲2六玉	△2八龍	▲5八飛	△5五銀	▲8五桂	△5六金	▲2七歩	△2五銀	▲4六角	△6四角	▲8五桂	△5六金
▲2七歩	△2五銀	▲4六角	△6四角	▲同 玉	△2七龍	▲2八角	△5六歩	▲5九玉	△4七金	▲2四歩	△同 歩	▲3七銀	△4五歩	▲2四歩	△同 歩
▲6八銀	△2二玉	▲2三歩	△同 玉	▲4一角	△5七歩	▲1六歩	△1四歩	▲4九玉	△5八歩成	▲2三歩	△同 玉	▲6八銀	△2二玉	▲4一角	△5七歩
▲1六歩	△1四歩	▲4九玉	△5八歩成												

平成25年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 大野 弘喜 ▲	棋戦名	第24回関東地区高等学校文化連盟将棋大会決勝戦	開始	2013/12/22(土)
	後 中谷 祥也 △	対局場	茨城県民文化センター分館	終了	2013/12/22(土)
				昼休	時 分～ 時 分
				夕休	時 分～ 時 分

手合割	平手	備考	中谷は茨城代表(牛久栄進高)、大野は東京・武蔵高	136手で後手の勝ち
持時間	20分+30秒			戦型 先手四間飛車対飯島流引き角
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分 記録係

消費通計		消費通計		消費通計		消費通計	
▲	△	▲	△	▲	△	▲	△
▲7六歩	△8四歩	▲同歩	△7五歩	▲同金	△同角成		
▲6六歩	△6二銀	▲5五銀	△8四飛	▲6九飛	△4三金		
▲6八飛	△5四歩	▲5四銀	△同銀	▲同金	△同銀		
▲4八玉	△3二銀	▲6四歩	△5五歩	▲4二歩	△同銀		
▲3八玉	△3一角	▲6三歩成	△同銀	▲4一金	△3一金		
▲2八玉	△5三角	▲5五角	△6四銀打	▲4二金	△同金		
▲1六歩	△1四歩	▲同角	△同銀	▲6四角	△3二金打		
▲3八銀	△4二玉	▲5二銀	△5五歩	▲5八歩	△同馬		
▲7八銀	△3一玉	▲4一銀成	△同銀	▲同金	△同龍		
▲6七銀	△8五歩	▲6三金	△8六飛	▲3六角	△6九龍		
▲7七角	△2二玉	▲8八歩	△5四銀	▲同角	△6八飛		
▲5八金左	△5二金右	▲6二金	△8二飛	▲5八銀	△5七桂成		
▲6五歩	△9四歩	▲5一金	△3二銀	▲4二角成	△同金		
▲4六歩	△7四歩	▲7五歩	△6六歩	▲8二飛	△3二金打		
▲5六歩	△7三桂	▲6八飛	△6五桂	▲5九金	△4八金		
▲5五歩	△同歩	▲5三歩	△同角	▲同金	△同成桂		
▲8八飛	△6四歩	▲5二金打	△4四角	▲4九金	△6六角		
▲5五角	△6五歩	▲6六飛	△8八飛成	▲5七銀打	△4九成桂		
▲5四歩	△3一角	▲4五歩	△3五角				
▲5六銀	△6三金	▲4二金	△5三銀				
▲6五銀	△6四歩	▲5二金引	△4二銀				
▲5六銀	△5四金	▲同金	△4一金				
▲7七角	△6三銀	▲同金	△同銀				
▲4七金	△6五歩	▲4四歩	△同歩				
▲5八飛	△8六歩	▲5三金	△5七角打				

平成25年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 里見 咲紀 ▲	棋戦名	全国高等学校文化連盟 将棋新人大会本戦2回戦	開始	2014/01/31(金)	終了	2014/01/31(金)	昼休	時 分～	時 分	夕休	時 分～	時 分																
	後 岩堀 佳奈 △	対局場	北海道函館市 花びしホテル																										
手合割	平手	備考	里見は島根・出雲北陵高、 岩堀は茨城代表(土浦一高)										121手で先手の勝ち																
持時間	20分+30秒												戦型 相振飛車																
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分									記録係																
▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計																
▲7六歩	△3四歩	▲2三角成	△3五歩	▲2七玉	△4八歩成	▲7六歩	△4四歩	▲2六角	△9三玉	▲7八飛	△4二飛	▲3三馬	△2六歩	▲2六歩	△同歩	▲6八銀	△6二玉	▲4四馬	△2七歩成	▲同龍	△2五歩	▲4八玉	△8二銀	▲同銀	△4七歩	▲1六龍	△1五桂		
▲3八銀	△5二金左	▲2一飛	△7九飛	▲同龍	△同歩	▲3九玉	△3二銀	▲3八銀	△8九飛成	▲5八金左	△3三角	▲2二飛成	△5五角	▲1八桂	△4六飛	▲7四歩	△同歩	▲同馬	△同銀	▲6二と	△4九と	▲同飛	△7三歩	▲6四歩	△4六桂	▲8三金	△同銀	▲同角成	△同玉
▲7六飛	△4三銀	▲6三歩成	△同金左	▲7二銀		▲8六歩	△9四歩	▲6四歩	△同銀	▲8五歩	△7二玉	▲7六桂	△5八桂成			▲6六歩	△4五歩	▲6四桂	△同金			▲6七銀	△4四銀	▲5八銀	△4八金				
▲6五歩	△1四歩	▲2八玉	△2七歩			▲8六飛	△6二金上	▲同玉	△4九金	▲8四歩	△同歩	▲5六桂	△5四角			▲同飛	△8三歩	▲2六玉	△6五金			▲8六飛	△5五銀	▲6四歩	△8四歩				
▲3六飛	△4六歩	▲4一角	△6一歩			▲同歩	△同銀	▲6三銀	△8三玉	▲3三角成	△同桂	▲5四銀不成	△同歩			▲4三歩	△同飛	▲6三歩成	△3四銀			▲3二角	△4四飛	▲4九銀右	△2五歩				

平成26年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 三村 廉 ▲	棋戦名	茨城県高等学校 春季大会 男子個人戦A級決勝戦	開始	2014/5/10(土)	終了	2014/5/10(土)
	後 上村 友大 △	対局場	水戸一高知道会館	昼休	時 分～	時 分	
				夕休	時 分～	時 分	

手合割	平手	備考	三村廉は日立一高、 上村は太田一高	100手で後手の勝ち
持時間	20分+30秒			戦型 相振飛車
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分 記録係

▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計
▲7六歩		△3四歩		▲7四歩		△3六歩					
▲7五歩		△5四歩		▲同 飛		△同 飛					
▲6六歩		△3二飛		▲同 歩		△8九飛					
▲7八飛		△4二銀		▲2三飛		△3三角					
▲6八銀		△5三銀		▲9七角		△9九飛成					
▲4八玉		△3五歩		▲3一角成		△4六香					
▲2八銀		△3六歩		▲5八銀		△5六歩					
▲同 歩		△同 飛		▲2一馬		△7七角成					
▲3七歩		△3四飛		▲5四馬		△4七香成					
▲3八玉		△5五歩		▲同 銀		△5七歩成					
▲7六飛		△6二玉		▲同 金		△3七歩					
▲4八金		△7二銀		▲同 玉		△2九龍					
▲9六歩		△9四歩		▲3九銀打		△2五桂					
▲6七銀		△7一玉		▲2六玉		△3三金					
▲5八金上		△5二金左		▲同飛成		△同 馬					
▲6五歩		△5四銀		▲4四金		△5三歩					
▲7七桂		△4五銀		▲3三金		△5四歩					
▲4六歩		△5四銀		▲3五玉		△3七桂成					
▲4七金左		△1四歩		▲2四玉		△1三角					
▲1六歩		△4四歩		▲2三玉		△5七角成					
▲7四歩		△同 歩		▲2六角		△5三桂					
▲同 飛		△4五歩		▲3二玉		△1三馬					
▲7六飛		△4六歩		▲2二香		△2八成桂					
▲同 飛		△4五歩		▲4二歩		△5一飛					
▲2六飛		△2四歩		▲4三桂		△4二金					

平成26年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 岩堀 佳菜 ▲	棋戦名	全国高等学校文化連盟 将棋新人大会本戦1回戦	開始	2015/01/31(土)	終了	2015/01/31(土)	昼休	時 分～	時 分	夕休	時 分～	時 分				
	後 永井 さくら △	対局場	新潟県新潟市 ホテルオークラ新潟														
手合割	平手	備考	岩堀は茨城代表(土浦一高)、 永井は埼玉・和光高										113手で先手の勝ち				
持時間	20分+30秒												戦型 相振飛車				
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分									記録係				
▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計				
▲7六歩	△3四歩	▲同歩	△同角	▲5二成香	△7二金	▲6六歩	△4四歩	▲4七歩	△1三角	▲6一銀	△7六馬	▲6八飛	△3二銀	▲9五歩	△6四歩	▲7二銀成	△同玉
▲4八玉	△4三銀	▲3三角成	△同飛	▲6二金	△同金	▲7八銀	△3二飛	▲2五桂	△4三飛	▲同成香	△同玉	▲5八金左	△3五歩	▲1三桂成	△同香	▲6三金	△7一玉
▲3八銀	△3六歩	▲3二角	△3三飛	▲8三飛成		▲同歩	△同飛	▲2一角成	△1五歩			▲3七歩	△3四飛	▲2二馬	△4三飛		
▲3九玉	△7二銀	▲1三馬	△1六歩			▲6五歩	△6二玉	▲同香	△1七歩			▲7七角	△1四歩	▲1九歩	△1八歩成		
						▲1六歩	△5二金左	▲同歩	△4四角			▲6四歩	△同歩	▲4六香	△4五歩		
						▲同飛	△6三歩	▲4六香	△4五歩			▲6八飛	△7一玉	▲同銀	△9九角成		
								▲5四銀	△3三飛			▲6七銀	△5四銀	▲6二歩	△同金上		
								▲6三歩	△同銀			▲5六銀	△1二香	▲同銀成	△同金左		
								▲同銀成	△同金左			▲9六歩	△3三桂	▲4二銀	△3二飛		
								▲4二銀	△3二飛			▲8六歩	△4五歩				
												▲8五歩	△1三角	▲4三香成	△3四飛		
												▲8八飛	△8二玉	▲2三馬	△5四飛		
												▲8四歩	△同歩	▲4一馬	△1九銀		
												▲同飛	△8三歩	▲2八銀	△同銀成		
												▲8五飛	△4六歩	▲同玉	△6六馬		

平成26年度茨城県高等学校将棋精選譜

対局者	先 山崎 英幸 ▲ 後 相坂 啓太 △	棋戦名	全国高等学校文化連盟 将棋新人大会本戦2回戦	開始	2015/01/31(土)	終了	2015/01/31(土)	昼休	時 分～ 時 分	夕休	時 分～ 時 分
対局場			新潟県新潟市 ホテルオークラ新潟								
手合割	平手	備考	山崎は茨城代表(翔洋学園高)、 相坂は青森・青森高								93手で先手の勝ち
持時間	20分+30秒										戦型 先手ゴキゲン中飛車後手超速
消費時間	▲ △		昼休前△ 分・夕休前△ 分								記録係
	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計
▲5六歩	△8四歩	▲5五馬	△6七歩	▲5八金寄	△5七歩						
▲7六歩	△3四歩	▲同 金	△6八歩成	▲5三歩	△同 金						
▲5五歩	△8五歩	▲6二飛	△5二金上								
▲7七角	△4二玉	▲6八飛成	△4四金								
▲5八飛	△7四歩	▲9一馬	△8七歩成								
▲4八玉	△6二銀	▲同 歩	△5六銀								
▲3八玉	△7三銀	▲同 金	△同 馬								
▲6八銀	△6四銀	▲5九香	△5八歩								
▲5四歩	△同 歩	▲同 香	△6七歩								
▲同 飛	△7七角成	▲5六香	△6八歩成								
▲同 銀	△7五歩	▲5二香成	△同 玉								
▲同 歩	△6五角	▲6四馬	△5三歩								
▲5九飛	△8七角成	▲5四歩	△同 金								
▲8八歩	△6五馬	▲6三銀	△4一玉								
▲7四角	△7五馬	▲5四銀成	△同 歩								
▲6三角成	△5二金右	▲5二金	△3二玉								
▲4五馬	△8六歩	▲3一馬	△3三玉								
▲6六銀	△7四馬	▲2二角	△2四玉								
▲5五銀	△8五飛	▲1五銀	△同 玉								
▲7七柱	△7五飛	▲1六銀									
▲7六歩	△5五飛										
▲同 飛	△同 銀										
▲同 馬	△5七飛										
▲4六馬	△6七飛成										
▲6八金	△7六龍										

将棋年鑑掲載 茨城県高等学校選手棋譜

対局者	先 小牧 昌彦 ▲	棋戦名	第21回全国高等学校将棋選手権大会決勝戦	開始	1985/8/10(土)
	後 石川 一茂 △	対局場	兵庫県神戸市・須磨荘	終了	1985/8/10(土)
				昼休	時 分～ 時 分
				夕休	時 分～ 時 分

手合割	平手	備考	石川は茨城代表(土浦一高)、 小牧は岐阜・岐阜高	59手で先手の勝ち
持時間	30分+30秒			戦型 横歩取り
消費時間	▲ △		昼休前△ 分・夕休前△ 分	記録係

▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計
▲7六歩		△3四歩		▲5七歩		△6六飛					
▲2六歩		△8四歩		▲同歩		△5七角成					
▲2五歩		△8五歩		▲3一角		△5三銀打					
▲7八金		△3二金		▲5四飛		△同玉					
▲2四歩		△同歩		▲5五歩							
▲同飛		△2三歩									
▲3四飛		△8八角成									
▲同銀		△2五角									
▲3二飛成		△同銀									
▲3八銀		△3三銀									
▲6八玉		△4四銀									
▲1八角		△5四歩									
▲同角		△6二玉									
▲2二歩		△5三玉									
▲2一步成		△5四玉									
▲1一と		△5三玉									
▲7七銀		△7四歩									
▲5六香		△6四玉									
▲6六銀		△8六歩									
▲6五桂		△5二飛打									
▲7七桂		△5六飛									
▲同歩		△2四角									
▲5九玉		△5一香									
▲4五飛		△5二飛									
▲2五飛		△5六飛									

将棋年鑑掲載 茨城県高等学校選手棋譜

対局者	先 棚田 真由美 ▲ 後 竹下 めぐみ △	棋戦名	第24回全国高等学校 将棋選手権大会決勝戦	開始	1988/08/05 (金)	終了	1988/08/05 (金)	昼休	時 分～ 時 分	夕休	時 分～ 時 分
対局場			岡山県倉敷市 アイビースクエア								

手合割	平手	備考	竹下は茨城代表(土浦日大高)、 棚田は兵庫・三原高	102手で後手の勝ち
持時間	30分+30秒			戦型 先手中飛車、後手居飛車
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分 記録係

▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計	▲	消費通計	△	消費通計
▲7六歩		△3四歩		▲5七飛		△8九と		▲1七玉		△2七角成	
▲6六歩		△8四歩		▲7七角		△4五桂					
▲6八銀		△6二銀		▲2二角成		△同 銀					
▲5八飛		△8五歩		▲6六銀		△5七桂成					
▲7七角		△5四歩		▲6五銀		△6七成桂					
▲6七銀		△4二玉		▲7一飛		△5一金打					
▲5六歩		△3二玉		▲8一飛成		△6八飛					
▲4八玉		△5二金右		▲4八桂		△5七成桂					
▲3八玉		△7四歩		▲5一龍		△4八成桂					
▲7八金		△1四歩		▲同 銀		△5一金寄					
▲1六歩		△5三銀		▲5九金打		△6五飛成					
▲6五歩		△7七角成		▲2二馬		△同 玉					
▲同 金		△2二角		▲5七銀打		△9九と					
▲6六銀		△8六歩		▲8二香成		△2四香					
▲同 歩		△6六角		▲3九桂		△3五桂					
▲同 金		△8六飛		▲9一成香		△2七桂成					
▲8八歩		△8七歩		▲同 桂		△同香成					
▲7七角		△8三飛		▲同 玉		△3五桂					
▲5九角打		△8八歩成		▲2八玉		△2七銀					
▲同 角		△8六歩		▲1七玉		△2八角					
▲6七金		△8七歩成		▲2六玉		△2五飛					
▲1一角成		△2二銀打		▲同 玉		△4七桂成					
▲1二馬		△7八と		▲2六玉		△1九角成					
▲8五歩		△同 飛		▲2七玉		△1八角					
▲8六香		△6五飛		▲2六玉		△2五香					

将棋年鑑掲載 茨城県高等学校選手棋譜

対局者	先 山田 洋次 ▲	棋戦名	第5回全国高校将棋竜王戦 決勝戦	開始	1992/08/29(土)
	後 徳永 佳宏 △	対局場	福岡県福岡市 第一薬科大学	終了	1992/08/29(土)
				昼休	時 分～ 時 分
				夕休	時 分～ 時 分

手合割	平手	備考	徳永は茨城代表(水戸一高)、 山田は静岡・浜松西高	83手で先手の勝ち
持時間	30分+30秒			戦型 後手青野流手抜き棒銀
消費時間	▲ △	昼休前△	分・夕休前△	分
				記録係

消費通計		消費通計		消費通計		消費通計	
▲	△	▲	△	▲	△	▲	△
▲7六歩	△8四歩	▲同 玉	△7五銀				
▲6八銀	△3四歩	▲5四桂	△同 歩				
▲7七銀	△8五歩	▲5三銀	△6六銀				
▲7八金	△7二銀	▲7六玉	△7五金				
▲6六歩	△8三銀	▲8七玉	△7七銀成				
▲5八金	△8四銀	▲9六玉	△5二金左				
▲6七金右	△9五銀	▲同銀成	△同 玉				
▲7五歩	△8六歩	▲5三金打	△4一玉				
▲同 歩	△同 銀	▲6一龍	△3二玉				
▲7六銀	△8七歩	▲5二龍	△3三玉				
▲7九角	△6四歩	▲4三龍	△2四玉				
▲5六金	△7四歩	▲1六桂	△1四玉				
▲同 歩	△8四飛	▲4七龍	△2四歩				
▲6八角	△7四飛	▲4三龍	△3三銀				
▲8六角	△7六飛	▲4一角	△2三桂				
▲6四角	△8八歩成	▲4五龍	△2五歩				
▲7七金	△7四飛	▲2六歩					
▲6五金	△8四飛						
▲7五金	△6四飛						
▲同 金	△8九と						
▲8三飛	△9二角						
▲8九飛成	△4七角成						
▲6八玉	△6七歩						
▲同 金	△7五桂						
▲8一龍	△6七桂成						

将棋年鑑掲載 茨城県高等学校選手棋譜

対局者	先 泉對 直子 ▲ 後 村田 智穂 △	棋戦名	第9回全国高等学校 将棋新人大会決勝戦	開始	2001/02/10(土)	終了	2001/02/10(土)	昼休	時 分～ 時 分	夕休	時 分～ 時 分
対局場	大分県別府市 鶴見園グランドホテル	備考	泉對は茨城代表(土浦一高)、 村田は兵庫・高砂高	104手で後手の勝ち							
手合割	平手	消費時間	30分+30秒	消費時間							
消費時間	▲ △	記録係	昼休前△ 分・夕休前△ 分								
消費通計	▲ 消費通計 △ 消費通計	消費通計	▲ 消費通計 △ 消費通計	消費通計	▲ 消費通計 △ 消費通計	消費通計	▲ 消費通計 △ 消費通計	消費通計	▲ 消費通計 △ 消費通計	消費通計	▲ 消費通計 △ 消費通計
▲7六歩	△3四歩	▲9八香	△8五歩	▲同 玉	△5八銀						
▲2六歩	△4四歩	▲9九飛	△4五歩	▲3九玉	△3七成銀						
▲2五歩	△3三角	▲同 歩	△6四角								
▲4八銀	△3二銀	▲3八銀	△4五桂								
▲3六歩	△4三銀	▲同 桂	△4四歩								
▲5六歩	△6二銀	▲9五歩	△4五歩								
▲5八金右	△6四歩	▲4七歩	△2八角成								
▲6八銀	△6三銀	▲2九銀	△1九馬								
▲9六歩	△9四歩	▲9四歩	△6四桂								
▲7八金	△7四歩	▲9三歩成	△7六桂								
▲7七銀	△7三桂	▲5七玉	△5五歩								
▲7九角	△3二金	▲2八歩	△5六歩								
▲2四歩	△同 歩	▲4八玉	△8八桂成								
▲同 角	△同 角	▲同 金	△5三香								
▲同 飛	△2三歩	▲9二と	△4一飛								
▲2八飛	△5二金	▲9一と	△5七銀								
▲6八玉	△5四歩	▲同 金	△同歩成								
▲3七桂	△8一飛	▲3八玉	△4七と								
▲8八銀	△6二玉	▲同 玉	△2九馬								
▲7七桂	△1四歩	▲同 飛	△4六銀								
▲4六歩	△3三桂	▲3八玉	△3七金								
▲4七銀	△3九角	▲3九玉	△4七銀成								
▲2九飛	△8四角成	▲4九銀	△5八香成								
▲6六角	△6五歩	▲2六角	△3五歩								
▲8四角	△同 歩	▲3七角	△4九成香								

将棋年鑑掲載 茨城県高等学校選手棋譜

対局者	先 横山 聡美 後 泉對 貴子	棋戦名	第8回全国高校将棋 女子選抜大会決勝戦	開始	2004/03/21(日)	終了	2004/03/21(日)	昼休	時 分～ 時 分	夕休	時 分～ 時 分
手合割	平手	備考	泉對は江戸川学園取手高、 横山は静岡・藤枝明誠高	77手で先手の勝ち							
持時間	30分+30秒	戦型	先手右四間飛車後手矢倉								
消費時間		記録係									
	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計
▲2六歩	△3四歩	▲3二金	△6四角	/							
▲2五歩	△3三角	▲4三步成	△6一玉								
▲7六歩	△4四歩	▲2六角	△7二玉								
▲4八銀	△2二銀	▲5三と	△3六桂								
▲4六歩	△5二金右	▲4七飛	△8三五								
▲7八金	△8四歩	▲5四と	△3二飛								
▲6九玉	△4三金	▲4五飛	△4八桂成								
▲7七角	△8五歩	▲同 角	△3八飛成								
▲8八銀	△4二角	▲4一飛成	△2九龍								
▲5九角	△5四歩	▲3九歩	△8二角								
▲7七銀	△3二金	▲9五桂	△8四玉								
▲4七銀	△6二銀	▲5六歩	△7五歩								
▲3六歩	△5三銀	▲同 角	△7三五								
▲2六角	△3三銀	▲8四金									
▲3七桂	△5五歩										
▲5八金	△7四歩										
▲4八飛	△5四銀										
▲3五歩	△2四歩										
▲3六銀	△1四歩										
▲4五歩	△3五歩										
▲同 銀	△3六歩										
▲4四歩	△3七歩成										
▲同 角	△3四金										
▲同 銀	△同 銀										
▲4三金	△4五銀左										

将棋年鑑掲載 茨城県高等学校選手棋譜

対局者	先 大野 弘喜 ●	棋戦名	第22回全国高等学校将棋新人大会男子決勝戦	開始	2014/02/01(七)
	後 中谷 祥也 □	対局場	北海道函館市花びしホテル	終了	2014/02/01(上)
				昼休	時 分～ 時 分
				夕休	時 分～ 時 分
手合割	平手	備考	中谷は茨城代表(牛久栄進高)、大野は東京・武蔵高		79手で先手の勝ち
持時間	20分+30秒				戦型 先手四間飛車対飯島流引き角
消費時間		昼休前□	分・夕休前□	分	記録係
消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計	消費通計
●7六歩	□8四歩	●7五銀	□同歩		
●6六歩	□6二銀	●5五歩	□6六銀		
●6八飛	□5四歩	●4六角	□7七銀不成		
●4八玉	□3二銀	●8三步成	□8六銀成		
●5八金左	□3一角	●8二と	□6六飛		
●7七角	□5三角	●4七金	□7七成銀		
●1六歩	□1四歩	●8一と	□6九飛成		
●3八銀	□4二玉	●1五歩	□7六歩		
●7八銀	□3一玉	●1四歩	□1二歩		
●6七銀	□8五歩	●9一と	□9九龍		
●3九玉	□2二玉	●1八香打	□2四香		
●6五歩	□5二金右	●5四歩	□9七角成		
●4六歩	□7四歩	●6四歩	□4四歩		
●4五歩	□7三銀	●8二飛	□4五歩		
●2八玉	□8六歩	●5五角			
●同歩	□同角				
●8八飛	□8五歩				
●6六角	□3一角				
●7七桂	□8六歩				
●8五歩	□6四歩				
●5六歩	□6五歩				
●5七角	□6四銀				
●8六飛	□6六歩				
●同銀	□6五歩				
●8四歩	□5五銀				

40年の歩み

茨城県高等学校将棋連盟
茨城県高等学校文化連盟将棋部会

茨城県高等学校将棋連盟・茨城県高等学校文化連盟将棋部会

40年の歩み

※選手の実績は全国ベスト8、関東ベスト4以上を記載した。
開催地は県外のものに都道府県をつけた。

年度	西暦	月 日	大会・活動	開催地
昭50	1975	11月23日	茨城県高等学校将棋連盟発足	茨城県校長会館
昭51	1976	7月下旬	第12回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		8月18～19日	第12回全国高等学校将棋選手権大会、女子団体戦で結城二高全国3位、女子個人戦で黒川美智子全国5位	長野県茅野市（昭和薬科大学諏訪校舎）
昭52	1977	7月26日	第13回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸信用金庫駅前支店ホール
		8月19～20日	第13回全国高等学校将棋選手権大会、女子団体戦で結城二高全国制覇、女子個人戦で北嶋綾子全国3位・石島由子同5位・須藤美津枝同5位	長野県茅野市（昭和薬科大学諏訪校舎）
昭53	1978	7月26日	第14回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸信用金庫駅前支店ホール
		8月19～20日	第14回全国高等学校将棋選手権大会	東京都新宿区百人町（東京海洋会館）
昭54	1979	7月24日	第15回全国高校将棋選手権県代表決定戦	土浦市（社会教育センター）
		8月16～17日	第15回全国高等学校将棋選手権大会、高橋可奈子が全国4位	東京都新宿区百人町（東京海洋会館）
昭55	1980	7月25日	第16回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		8月15～16日	第16回全国高等学校将棋選手権大会	東京都新宿区百人町（東京海洋会館）
昭56	1981	7月24日	第17回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月14～15日	第17回全国高等学校将棋選手権大会	東京都中央区晴海（東京ホテル浦島）
昭57	1982	7月29日	第18回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月13～14日	第18回全国高等学校将棋選手権大会	東京都中央区晴海（東京ホテル浦島）
昭58	1983	7月23日	第19回全国高校将棋選手権県代表決定戦	土浦市（亀城プラザ）
		8月19～20日	第19回全国高等学校将棋選手権大会	東京都中央区晴海（東京ホテル浦島）
昭59	1984	7月23日	第20回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月17～18日	第20回全国高等学校将棋選手権大会、男子団体戦で土浦第一高等学校全国第3位	東京都中央区晴海（東京ホテル浦島）
昭60	1985	7月23日	第21回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月9～10日	第21回全国高等学校将棋選手権大会、男子団体戦土浦第一高等学校全国2位	兵庫県神戸市（兵庫県立文化体育館・国民宿舎須磨荘）
昭61	1986	7月24日	第22回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月15～16日	第22回全国高等学校将棋選手権大会、女子個人戦で竹下めぐみが全国3位	東京都中央区晴海（東京ホテル浦島）
昭62	1987	6月19日	茨城県高等学校文化連盟発足、将棋部会として加盟	
		7月23日	第23回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月7～8日	第23回全国高等学校将棋選手権大会、女子団体戦で下妻第一高等学校が全国3位	東京都中央区晴海（東京ホテル浦島）
昭63	1988	7月8日	第24回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月4日～5日	第24回全国高等学校将棋選手権大会、女子個人戦で竹下めぐみが全国優勝	岡山県倉敷市（アイピースクエア・倉敷市民会館）
		9月20日	秋季大会兼第1回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	水戸市（茨城教育会館）
		10月9日	第1回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
平1	1989		第25回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水城高等学校
		8月1日	夏季大会兼第2回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	石岡市民会館
		8月9日～10日	第25回全国高等学校将棋選手権大会	神奈川県横浜市（新横浜国際ホテル南館）
		9月16日	第2回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
平2	1990	6月12日	春季大会・第26回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
			夏季大会兼第3回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	石岡市民会館
		8月10日～11日	第26回全国高等学校将棋選手権大会	山形県天童市（天童ホテル）
		9月23日	第3回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		12月25日	第1回関東高校将棋選手権大会県代表決定戦、桜田進介が関東4位	埼玉県浦和市（県立浦和高等学校）
平3	1991	6月12日	春季大会・第27回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		7月23日	夏季大会兼第4回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	石岡市民会館
		7月29～31日	第27回全国高等学校将棋選手権大会	静岡県浜松市（グランドホテル浜松）
		8月24日	第4回全国高校将棋竜王戦、徳永吉宏全国5位	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		11月25日	第2回関東高校将棋選手権大会県代表決定戦	水城高等学校
		12月25日	第2回関東高校将棋選手権大会、菊池貴光が関東3位	埼玉県浦和市（県立浦和高等学校）
平4	1992	6月10日	春季大会・第28回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校

年度	西暦	月 日	大会・活動	開催地
平4	1992	7月23日	夏季大会兼第5回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	石岡市民会館
		8月9～11日	第28回全国高等学校将棋選手権大会	広島県広島市（広島国際会議場）
		8月29日	第5回全国高校将棋竜王戦、徳永吉宏が全国2位	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		11月26日	秋季大会・第3回関東高校将棋選手権大会兼第1回全国高等学校文化連盟将棋選手権大会県代表決定戦	牛久市（エスカード・ホール）
		12月25日	第3回関東高校将棋選手権大会、佐藤文晴が関東2位	石岡第一高等学校
		2月20～22日	第1回全国高等学校文化連盟将棋大会、清水俊宏4位	滋賀県近江八幡市（休暇村近江八幡）
平5	1993	6月7日	春季大会・第29回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		7月22日	夏季大会兼第6回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	県民文化センター分館
		8月7～8日	第29回全国高等学校将棋選手権大会	東京都中央区晴海（東京ホテル浦島）
		8月28日	第6回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
			秋季大会・第4回関東高校将棋選手権大会兼第2回全国高等学校文化連盟将棋選手権大会県代表決定戦	石岡市民会館
		12月25日	第4回関東高校将棋選手権大会	栃木県宇都宮市（栃木県教育会館）
	1月30～31日	第2回全国高等学校文化連盟将棋大会、五反田洋が3位	埼玉県北足立郡伊奈町（県民活動総合センター）	
平6	1994	5月11日	第1回理事会	水城高等学校
		5月25日	大会役員会	水城高等学校
		6月10日	春季大会・第30回全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		7月28日	夏季大会兼第7回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	県民文化センター分館
		8月2～4日	第30回全国高等学校将棋選手権大会、五反田洋が5位	徳島県徳島市（徳島グランドホテル借楽園）
		8月10日	第2回理事会（茨高将連20年の歩み編集決定）	水城高等学校
		8月26～27日	第7回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		10月7日	第3回理事会	太田第一高等学校
		11月4日	「茨高将連20年の歩み」拡大編集委員会（以後、11月28日、12月12日、12月21日開催）	水城高等学校
		11月17日	第5回関東・第3回全国新人大会県代表決定戦	石岡市民会館
		12月25日	第5回関東高校将棋選手権大会	神奈川県横浜市（横浜市立港高校）
		1月29～30日	第3回全国高等学校文化連盟将棋大会	神奈川県川崎市（よみうりランド会館）
		3月10日	第4回理事会（「茨高将連20年のあゆみ」報告）、「茨高将連20年のあゆみ」発刊	太田第一高等学校
		平7	1995	5月2日
5月17日	第31回全国高校将棋選手権県代表決定戦			水戸第一高等学校
6月16日	第8回全国高校将棋竜王戦県大会			県民文化センター分館
8月5～6日	第19回全国総文祭（第31回全国高校将棋選手権大会）			新潟県西蒲原郡分水町（分水町文化センター）
8月18～19日	第8回全国高校将棋竜王戦			福岡県福岡市（第一薬科大学）
9月26日	平成7年度茨高将連理事会、「茨高将連20年のあゆみ」送付作業			水戸南高等学校
11月15日	第6回秋季大会			石岡市民会館
12月23日	第6回関東高文連将棋大会			千葉県船橋市（船橋市勤労市民センター）
1月24～26日	第4回全国高校将棋新人大会			高知県高知市（高知県教育会館高知城ホール）
平8	1996			5月1日
		5月14日	全国高校将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		6月7日	第9回全国高校将棋竜王戦県大会	県民文化センター分館
		8月7～8日	第20回全国総文祭（第32回全国高校将棋選手権大会）	北海道江別市（江別市民会館）
		8月22～23日	第9回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		10月16日	平成8年度茨城県高等学校将棋連盟役員会	下館第一高等学校
		11月19日	第7回茨城県高等学校秋季将棋大会	石岡市民会館
		12月22日	第7回関東高文連将棋大会	東京都新宿区（都立戸山高等学校）
		1月23～25日	第5回全国高校将棋新人大会	長野県伊那市（長野県伊那文化会館）
		2月5日	第2回理事会	下館第一高等学校
平9	1997	5月1日	平成9年度茨高将連総会・第1回理事会、「茨城県高等学校将棋連盟」の名称を変更して、「茨城県高等学校文化連盟将棋部会」となる（規約改正）。昨年まで筑波高校教諭で、退職した天貝茂樹氏（全国支部将棋対抗戦茨城県代表）は今年度から平成17年4月まで将棋部顧問となる。	茨城高等学校
		5月16日	第21回全国総文祭将棋選手権大会県大会	水戸第一高等学校
		6月10日	第10回全国高校将棋竜王戦県大会	県民文化センター分館
		8月9～10日	第21回全国総文祭（第33回全国高校将棋選手権大会）	奈良県香芝市（香芝中央公民館）
		8月23～24日	第10回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		10月17日	大会役員会	緑岡高等学校

年度	西暦	月 日	大 会 ・ 活 動	開催地
平 9	1997	11 月 12 日	第 8 回関東大会・第 6 回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12 月 21 日	第 8 回関東高文連将棋大会	埼玉県浦和市（浦和市民会館）
		1 月 22 ～ 23 日	第 6 回全国高校将棋新人大会	岩手県花巻市（ホテル千秋閣）
		2 月 3 日	第 2 回理事会	下館第一高等学校
平 10	1998	4 月 23 日	平成 10 年度茨高文連将棋部会総会・第 1 回理事会	緑岡高等学校
		5 月 12 日	第 22 回全国総文祭将棋選手権大会県大会	水戸第一高等学校
		6 月 9 日	第 11 回全国高校将棋竜王戦県大会	県民文化センター分館
		6 月 19 日	第 9 回関東将棋大会準備委員会	緑岡高等学校
		7 月 7 日	平成 10 年度関東高文連将棋専門部第 1 回理事会	水戸第一高等学校
		8 月 9 ～ 10 日	第 22 回全国総文祭（第 34 回全国高校将棋選手権大会）	鳥取県立倉吉市（鳥取県立倉吉文化会館）
		8 月 22 ～ 23 日	第 11 回全国高校将棋竜王戦、佐々木浩が全国 5 位	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		10 月 14 日	大会役員会	水戸農業高等学校
		11 月 9 日	第 9 回関東大会・第 7 回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12 月 3 日	第 9 回関東将棋大会準備委員会	緑岡高等学校
		12 月 20 日	第 9 回関東高文連将棋大会	水戸市民会館
		1 月 27 ～ 29 日	第 7 回全国高校将棋新人大会	愛媛県松山市（道後プリンスホテル）
		2 月 3 日	第 2 回理事会	太田第一高等学校
		平 11	1999	4 月 23 日
5 月 12 日	第 23 回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦			水戸第一高等学校
6 月 9 日	第 12 回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦			県民文化センター分館
7 月 31 ～ 8 月 1 日	第 23 回全国総文祭（第 35 回全国高校将棋選手権大会）			山形県天童市（天童市民プラザ）
8 月 21 ～ 22 日	第 12 回全国高校将棋竜王戦			福岡県福岡市（第一薬科大学）
10 月 7 日	秋季大会役員会			水戸農業高等学校
11 月 12 日	第 10 回関東大会・第 8 回全国新人大会県大会			石岡市民会館
12 月 19 日	第 10 回関東高文連将棋大会			群馬県高崎市（中央公民館）
1 月 14 ～ 16 日	第 8 回全国高文連新人大会			愛知県名古屋市長（名古屋国際会議場）
2 月 2 日	第 2 回理事会			緑岡高等学校
平 12	2000	4 月 20 日	平成 12 年度茨高文連将棋部会総会・第 1 回理事会	太田第一高等学校
		5 月 10 日	第 24 回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		6 月 6 日	第 13 回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	県民文化センター分館
		7 月 30 日	関東高文連将棋専門部理事会	栃木県宇都宮市（栃木県教育会館）
		8 月 7 ～ 8 日	第 24 回全国総文祭（第 36 回全国高校将棋選手権大会）	静岡県静岡市（静岡商工会議所）
		8 月 18 ～ 19 日	第 13 回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（第一薬科大学）
		10 月 12 日	秋季大会役員会	水戸農業高等学校
		11 月 6 日	第 11 回関東大会・第 9 回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12 月 17 日	第 11 回関東高文連将棋大会、泉對直子が関東 2 位	栃木県宇都宮市（栃木県教育会館）
		2 月 8 ～ 10 日	第 9 回全国高文連新人大会、泉對直子が全国 2 位	大分県別府市（鶴見園グランドホテル）
		1 月 30 日	第 2 回理事会	緑岡高等学校
平 13	2001	秋山会長：全国高文連将棋専門部会長に就任。全国事務局を本県で担当・事務局長 青木睦人・事務局次長 藤崎正輝		
		4 月 19 日	平成 13 年度茨高文連将棋部会総会・第 1 回理事会	緑岡高等学校
		5 月 9 日	第 25 回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		6 月 8 日	第 14 回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	県民文化センター分館
		8 月 4 ～ 5 日	第 25 回全国総文祭（第 37 回全国高校将棋選手権大会）、泉對直子が全国 2 位	福岡県北九州市（西日本総合展示場新館）
		8 月 23 ～ 24 日	第 14 回全国高校将棋竜王戦	福岡県太宰府市（第一経済大学）
		10 月 11 日	秋季大会役員会	水戸農業高等学校
		11 月 9 日	第 12 回関東大会・第 10 回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12 月 23 ～ 24 日	第 12 回関東高文連将棋大会	神奈川県足柄下郡湯河原町（杉の宿）
		1 月 25 ～ 27 日	第 10 回全国高文連新人大会、泉對直子が全国 3 位・小野瀬走が全国 5 位	大阪府大阪市（大阪キャッスルホテル）
		1 月 29 日	第 2 回理事会	緑岡高等学校
平 14	2002	森山会長：全国高文連将棋専門部会長に就任。全国事務局を本県で担当・事務局長 青木睦人・事務局次長 藤崎正輝		
		4 月 19 日	平成 14 年度茨高文連将棋部会総会・第 1 回理事会	太田第一高等学校
		5 月 11 日	第 26 回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
		6 月 5 日	第 15 回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	県民文化センター分館
		8 月 8 日～ 9 日	第 26 回全国総文祭（第 38 回全国高校将棋選手権大会）	神奈川県横浜市中区（かながわ労働プラザ）
		8 月 22 ～ 23 日	第 15 回全国高校将棋竜王戦	福岡県太宰府市（第一経済大学）
		10 月 9 日	秋季大会役員会	水戸農業高等学校
		11 月 11 日	第 13 回関東大会・第 11 回全国新人大会県大会	石岡市民会館

年度	西暦	月 日	大会・活動	開催地		
平14	2002	12月15日	第13回関東高文連将棋大会	山梨県甲府市(県立甲府第一高等学校)		
		2月6日～8日	第11回全国高文連新人大会	千葉県千葉市(東横イン千葉ポートスクエア)		
		1月29日	第2回理事会	太田第一高等学校		
平15	2003	4月18日	平成15年度茨高文連将棋部会総会・第1回理事会	日立第一高等学校		
		5月11日	第27回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校		
		6月7日	第16回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	県民文化センター分館		
		8月4日	「30年のあゆみ」第1回編集委員会	水戸第一高等学校		
		8月9～10日	第27回全国総文祭(第39回全国高校将棋選手権大会)、泉對貴子が全国5位	福井県大野市(大野有終会館)		
		8月21～22日	第16回全国高校将棋竜王戦	福岡県太宰府市(第一経済大学)		
		10月8日	秋季大会役員会	水戸農業高等学校		
		11月10日	第14回関東大会・第12回全国新人大会県大会	石岡市民会館		
		12月21日	第14回関東高文連将棋大会、泉對貴子が関東優勝	千葉県柏市(さわやかちば県民プラザ)		
		2月13～15日	第12回全国高文連新人大会、泉對貴子が全国5位	広島県広島市(広島プリンスホテル)		
		1月28日	第2回理事会	日立第一高等学校		
		3月17日	「30年のあゆみ」第2回編集委員会	水戸第一高等学校		
		平16	2004	4月22日	平成16年度茨高文連将棋部会総会・第1回理事会	水戸農業高等学校
				5月9日	第28回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校
				6月7日	第17回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	県民文化センター分館
7月17日	関東高文連将棋専門部理事会			東京都千代田区(都立日比谷高等学校)		
7月30～31日	第28回全国総文祭(第40回全国高校将棋選手権大会)、泉對貴子が全国5位			徳島県阿南市(阿南市文化会館)		
8月9日	「30年のあゆみ」第3回編集委員会			水戸第一高等学校		
8月18～20日	第17回全国高校将棋竜王戦			福岡県太宰府市(第一経済大学)		
10月7日	秋季大会役員会			水戸第一高等学校		
11月9日	第15回関東大会・第13回全国新人大会県大会			石岡市民会館		
12月19日	第15回関東高文連将棋大会、泉對貴子が関東優勝			東京都千代田区(都立日比谷高等学校)		
1月27～29日	第13回全国高文連新人大会			宮城県仙台市(ホテルニュー水戸屋)		
平17	2005			4月22日	平成17年度茨高文連将棋部会総会・第1回理事会	水戸農業高等学校
				5月8～9日	第29回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校知道会館
		6月7日	第18回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	茨城県民文化センター分館		
			関東高文連将棋専門部理事会	埼玉県さいたま市大宮区(ソニックビル市民ホール)		
		7月28～29日	第29回全国総文祭(第41回全国高校将棋選手権大会)、泉對貴子が全国5位	青森県三沢市(古牧温泉)		
		8月18～19日	第18回全国高校将棋竜王戦	福岡県太宰府市(第一経済大学)		
		10月5日	秋季大会役員会	水戸第一高等学校		
		11月15日	第16回関東大会・第14回全国新人大会県大会	石岡市民会館		
		12月18日	第16回関東高文連将棋大会	埼玉県さいたま市大宮区(ソニックビル市民ホール)		
		1月26日	第2回理事会	水戸農業高等学校		
		1月26～28日	第14回全国高文連新人大会	富山県富山市(名鉄富山ホテル)		
		平18	2006	4月21日	平成18年度茨高文連将棋部会総会・第1回理事会	水戸第一高等学校
				5月7～8日	第30回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校知道会館
6月6日	第19回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦			茨城県民文化センター分館		
7月8日	関東高文連将棋専門部理事会			水戸市民会館		
8月2～3日	第30回全国総文祭(第42回全国高校将棋選手権大会)			京都府京都市(パルスプラザ[京都府総合見本市会館])		
8月22～23日	第19回全国高校将棋竜王戦			福岡県太宰府市(第一経済大学)		
10月6日	第1回茨城県高校総合文化祭将棋大会(まなびピア いばらき)			茨城県民文化センター分館		
11月14日	第17回関東大会・第15回全国新人大会県大会			石岡市民会館		
12月17日	第17回関東高文連将棋大会			水戸市民会館		
1月25日	第2回理事会			水戸農業高等学校		
2月1～3日	第15回全国高文連新人大会			香川県仲多度郡琴平町(琴参閣)		
平19	2007			4月20日	平成19年度茨高文連将棋部会総会・第1回理事会	水戸第一高等学校
				5月11～12日	第31回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校知道会館
		6月5日	第20回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	茨城県民文化センター分館		
			関東高文連将棋専門部理事会	群馬県前橋市(群馬県生涯学習センター)		
		7月29～30日	第31回全国総文祭(第43回全国高校将棋選手権大会)	島根県出雲市(島根厚生記念会館)		
		8月21～22日	第20回全国高校将棋竜王戦	福岡県太宰府市(第一経済大学)		
		9月19日	第2回茨城県高校総合文化祭将棋大会	茨城県民文化センター分館		
		11月13日	第18回関東大会・第16回全国新人大会県大会	石岡市民会館		
		12月23日	第18回関東高文連将棋大会、幡宮慎太郎が関東4位	群馬県前橋市(群馬県生涯学習センター)		
		1月24～26日	第16回全国高文連新人大会	秋田県仙北市(プラザホテル山麓荘)		
		1月28日	第2回理事会	水戸農業高等学校		

年度	西暦	月 日	大会・活動	開催地
平 20	2008	4月22日	平成20年度茨高文連将棋部会総会・第1回理事会	水戸農業高等学校
		5月9～10日	第32回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校知道会館
		6月3日	第21回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	茨城県民文化センター分館
			関東高文連将棋専門部理事会	神奈川県横浜市（横浜市開港記念会館）
		8月6～7日	第32回全国総文祭(第44回全国高校将棋選手権大会)	群馬県前橋市（群馬県生涯学習センター）
		8月26～27日	第21回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（よみうりプラザ）
		10月21日	第3回茨城県高校総合文化祭将棋大会	茨城県民文化センター分館
		11月13日	第19回関東大会・第17回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12月21日	第19回関東高文連将棋大会	神奈川県横浜市（横浜市開港記念会館）
		1月27日	第2回理事会	水戸農業高等学校
		1月29～31日	第17回全国高文連新人大会	岐阜県岐阜市（岐阜都ホテル）
		平 21	2009	4月21日
5月8～9日	第33回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦			水戸第一高等学校知道会館
6月9日	第22回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦			茨城県民文化センター分館
	関東高文連将棋専門部理事会			栃木県宇都宮市（栃木教育会館）
7月30～31日	第33回全国総文祭(第45回全国高校将棋選手権大会)			三重県志摩市（賢鳥島生苑）
8月25～26日	第22回全国高校将棋竜王戦			福岡県福岡市（よみうりプラザ）
10月23日	第4回茨城県高校総合文化祭将棋大会			茨城県民文化センター分館
11月13日	第20回関東大会・第18回全国新人大会県大会			石岡市民会館
12月20日	第20回関東高文連将棋大会			栃木県宇都宮市（栃木教育会館）
1月22日	第2回理事会			水戸第一高等学校
1月28～30日	第18回全国高文連新人大会			山口県山口市湯田温泉（ホテルニュー田中）
平 22	2010			4月20日
		5月7～8日	第34回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校知道会館
		6月8日	第23回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	茨城県民文化センター分館
			関東高文連将棋専門部理事会	山梨県甲府市（駿台甲府高校）
		8月2～3日	第34回全国総文祭(第46回全国高校将棋選手権大会)	宮崎県日南市（ホテルシーズン日南）
		8月24～25日	第23回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（福岡大学ヘリオスプラザ）
		10月20日	第5回茨城県高校総合文化祭将棋大会	茨城県民文化センター分館
		11月12日	第21回関東大会・第19回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12月19日	第21回関東高文連将棋大会	山梨県甲府市（駿台甲府高校）
		1月21日	第2回理事会	水戸第一高等学校
		1月27～29日	第19回全国高文連新人大会	栃木県日光市（鬼怒川温泉あさやホテル）
		平 23	2011	4月19日
5月6～7日	第35回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦			水戸第一高等学校知道会館
6月7日	第24回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦			水戸第一高等学校知道会館
	関東高文連将棋専門部理事会			千葉県千葉市（千葉県教育委員会本館）
8月4～5日	第35回全国総文祭(第47回全国高校将棋選手権大会)			福島県郡山市（南東北総合卸センター）
8月23～24日	第24回全国高校将棋竜王戦			福岡県福岡市（福岡大学ヘリオスプラザ）
10月14日	第6回茨城県高校総合文化祭将棋大会			東海村中央公民館
11月11日	第22回関東大会・第20回全国新人大会県大会			石岡第一高等学校山王会館
12月23日	第22回関東高文連将棋大会			千葉県千葉市（千葉県教育委員会本館）
1月20日	第2回理事会			水戸第一高等学校
1月27～29日	第20回全国高文連新人大会			京都府京都市（ホテル平安の森京都）
平 24	2012			4月19日
		5月11～12日	第36回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦	石岡第一高等学校山王会館
		6月7日	第25回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	茨城県民文化センター分館
			関東高文連将棋専門部理事会	東京都新宿区（都立戸山高校）
		8月8～9日	第36回全国総文祭(第48回全国高校将棋選手権大会)	富山県小矢部市（クロスランドおやべ）
		8月21～22日	第25回全国高校将棋竜王戦	福岡県福岡市（福岡大学ヘリオスプラザ）
		10月23日	第7回茨城県高校総合文化祭将棋大会	茨城県民文化センター分館
		11月13日	第23回関東大会・第21回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12月16日	第23回関東高文連将棋大会、三村駿が関東2位	東京都新宿区（都立戸山高校）
		1月10日	第2回理事会	水戸第一高等学校
		1月31～2月2日	第21回全国高文連新人大会	福岡県北九州市（北九州八幡ロイヤルホテル）
		平 25	2013	4月18日
5月10～11日	第37回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦			石岡第一高等学校山王会館
6月5日	第26回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦			茨城県民文化センター分館
7月27日	いばらき総文2014将棋強化会			茨城県民文化センター分館
7月31～8月1日	第37回全国総文祭(第49回全国高校将棋選手権大会)、中谷祥也が全国5位、H25～全国理事会後に関東理事会実施、単独の関東理事会がH25以降無くなった。			長崎県西彼杵郡時津町（時津町コスモス館）
8月22～23日	第26回全国高校将棋竜王戦			福岡県福岡市（電気ビル共創館）

年度	西暦	月 日	大会・活動	開催地
平25	2013	10月5日	第4回段級位大会(第8回茨城県高校総合文化祭将棋大会)	水戸第一高等学校知道会館
		11月13日	第24回関東大会・第22回全国新人大会県大会(いばらき総文2014プレ大会)	茨城県武道館大道場
		12月22日	第24回関東高文連将棋大会、中谷祥也が関東優勝	茨城県民文化センター分館
		1月28日	第2回理事会	水戸第一高等学校
		1月30～2月1日	第22回全国高文連新人大会、中谷祥也が全国2位	北海道函館市(花びしホテル)
		2月22日	梅まつり将棋フェスタ席上対局	借楽園
平26	2014	4月17日	平成26年度茨高文連将棋部会総会・第1回理事会	水戸第一高等学校
		5月9～10日	第38回全国高校総文祭(いばらき総文2014)将棋選手権県代表決定戦	水戸第一高等学校知道会館
		6月14日	第27回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦	茨城県民文化センター分館
		6月23日	いばらき総文2014結団式	茨城県民文化センター小ホール
		6月28日	いばらき総文2014将棋強化会	茨城県民文化センター分館
		7月27～28日	第38回全国総文祭(第50回全国高校将棋選手権大会)	茨城県武道館【本県での総文祭開催】
		8月24～25日	第27回全国高校将棋竜王戦、上村友大が全国3位	福岡県福岡市(電気ビル共創館)
		10月4日	第9回茨城県高校総合文化祭将棋大会	石岡市民会館
		11月13日	第25回関東大会・第23回全国新人大会県大会	石岡市民会館
		12月20～21日	第25回関東高文連将棋大会	埼玉県さいたま市(With You さいたま [埼玉県男女共同参画推進センター])
		1月27日	第2回理事会・「40年のあゆみ」第1回編集会議	水戸第一高等学校
		1月29～31日	第23回全国高文連新人大会、山崎幸が全国3位・岩堀佳菜が全国5位	新潟県新潟市(ホテルオークラ新潟)
		平27	2015	4月16日
5月8～9日	第39回全国高校総文祭将棋選手権県代表決定戦			水戸第一高等学校知道会館
5月9日	「40年のあゆみ」第3回編集会議			水戸第一高等学校知道会館
6月13日	第27回全国高校将棋竜王戦県代表決定戦 「40年のあゆみ」第4回編集会議			水戸第一高等学校知道会館
7月12日	第69回全日本アマチュア名人戦茨城県予選において前川匡史氏(昨年度まで茨城県高等学校文化連盟将棋部会鹿島高等学校将棋部顧問)が優勝し、茨城県代表となる。			国民宿舎水郷「霞浦の湯」2階展望ホール
7月28～29日	第39回全国総文祭(第51回全国高校将棋選手権大会)			滋賀県米原市(県立文化産業交流会館)
8月19～20日	第28回全国高校将棋竜王戦、上村友大が全国2位			福岡県福岡市(電気ビル共創館)
9月5～6日	第69回全日本アマチュア名人戦において前川匡史氏は予選を2勝通過し、本戦に出場した。			東京都品川区西五反田(ゆうぼうと)
10月3日	第10回茨城県高校総合文化祭将棋大会 『茨城県高等学校将棋40年のあゆみ』発刊・配付作業			水戸第一高等学校知道会館

歴代会長

歴代	在任期間	氏名
1	昭和50～52年	須田 政明
2	昭和53～55年	岩下 金司
3	昭和56～57年	海老沢 昭
4	昭和58年	小林 健一
5	昭和59～60年	雨宮 和孝
6	昭和61年	園部 公一
7	昭和62～63年	海老澤 甲子
8	平成1～2年	鈴木 健
9	平成3～4年	栗山 作次郎
10	平成5～6年	高梨 保彦
11	平成7～11年	矢須 恵由
12	平成12～13年	秋山 和衛
13	平成14年	森山 勝一
14	平成15年～16年	松崎 武久
15	平成17年	船橋 正隆
16	平成18年～19年	宇野 穰
17	平成20年	桐原 幸一
18	平成21年～22年	宮田 公人
19	平成23年～24年	佐藤 昌弘
20	平成25年～26年	生田目 正直
21	平成27年～	福島 克郎

規約・会則

茨城県高等学校文化連盟将棋部会規約

茨城県高等学校文化連盟将棋部会大会規定

関東地区高等学校文化連盟将棋専門部会会則

関東地区高等学校文化連盟将棋専門部会对局規定

公益社団法人 全国高等学校文化連盟全国将棋専門部会則

公益社団法人 全国高等学校文化連盟全国将棋専門部 内規(抄)

全国高等学校総合文化祭将棋部門(全国高等学校将棋選手権大会)規約

高等学校文化連盟全国将棋専門部对局規定

付記事項：切れ負け将棋における千日手と持将棋の扱いについて

日本将棋連盟奨励会・女流育成会関係者の出場規定

茨城県高等学校文化連盟将棋部会規約

- 第1条 本部会は茨城県高等学校文化連盟将棋部会と称する。
- 第2条 本部会は事務局を理事会で指定した学校に置く。
- 第3条 本部会は茨城県高等学校文化連盟に所属し、教育の一環として、知能・人格の育成を目指し、将棋の普及と健全な発達を図り、あわせて指導者の育成、技術の向上に寄与することを目的とする。
- 第4条 本部会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。
- 1 茨城県高等学校生徒将棋大会の開催、関東大会および全国大会への代表選手の派遣
 - 2 指導者研修会ならびに教職員将棋大会の開催
 - 3 その他本部会の目的達成のための必要な事業
- 第5条 本部会は、茨城県内の高等学校将棋部員、将棋部担当教師およびこれに準じる者をもって組織する。
- 第6条 本部会に次の役員をおく。
- 会長1名 副会長2名 顧問若干名 幹事若干名
監査2名 審判員若干名 サイト管理制作若干名 理事各校1, 2名
- 第7条 会長、副会長、幹事、監査は理事会で選出し、顧問は理事会で推薦する。理事は各校で1～2名選出する。事務局をおき、事務局長、事務局次長、書記、会計は、幹事の中から会長が委嘱する。
- 第8条 役員の仕事は下記のとおりとする。
- 1 会長は本部会を総括し、会務の推進にあたる。
 - 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
 - 3 幹事は本部会の企画、運営にあたる。
 - 4 監査は会計監査をする。
 - 5 理事は各学校を代表する。
 - 6 事務局長、事務局次長は、事務を執行する。書記は理事会の議事、その他の記録をし、会合の連絡にあたる。
 - 7 会計は会計事務を担当する。
 - 8 審判員は将棋大会において、日本将棋連盟の定める規定に則りルール上の最終判断を行う。
 - 9 サイト管理制作は本部会サイトの、制作・管理を行う。
- 第9条 役員の仕事は1年とし、再任を妨げない。
- 第10条 本部会の運営費は必要に応じて徴収する。
- 第11条 理事会は必要に応じて開くことができる。
- 第12条 本部会の規約の改正は理事会の決議による。
- 第13条 本部会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 本規約は昭和50年11月23日より施行する。

規約改正 平成27年4月16日(一部改正)

茨城県高等学校将棋連盟主催大会規定

〔試合参加資格〕

- 1 茨城県高等学校文化連盟主催の各種大会に参加できるのは、同連盟に加盟している高等（中等教育）学校等の生徒とし、引率者は生徒の言動を指導する責任を負う。ただし、将棋部がない学校の生徒で出場希望生徒がいる場合は以下の全ての条件を満たせば出場を認める。
 - a 在籍する学校の学校長が出場を認め、事故があった場合、学校保険の対象とすることを認める。
 - b 在籍する学校の教員または保護者等が、引率者として試合時間中に会場にいて、生徒の言動を監督し責任を負う。
 - c 将棋部会の定める分担金を支払う。

〔試合方式〕

- 2 試合はノックアウトトーナメント方式（以下「トーナメント」）またはスイス式トーナメント方式（以下「スイス式」）または総当たり方式（以下「総当たり」）とする。トーナメントの1回戦で敗退した者は敗者戦を行い、大会参加者は一人最低2回以上試合をする。県代表を選出する試合はトーナメントで行うことを原則とするが、出場者数が少ないか、過去の事例を見て上位大会への上場辞退者が多い部門については総当たりやスイス式も導入する。スイス式では勝敗数が同じでも、対戦相手により獲得ポイントが変わり、上位大会出場権獲得に関わってくるので、組み合わせについては特に留意し、その際は勝敗数が同じ者で抽選を行うことも検討する。

〔試合運営〕

- 3 大会の運営の関係上、県代表の級（ブロック）は32名以内を原則とし、男子の県代表決定戦への出場申し込み者は1校3名以内とする。級種については大会毎に次のように設定し、各級への上場者数が多くなった場合は複数の組に分けて試合を行う。

春季大会（全国総文祭団体予選） A級（男子・女子） B級（男女混合）

春季大会（全国総文祭個人予選） A級（男子・女子）

B級（男子と上位大会出場権を獲得した女子）

夏季大会（高校竜王戦予選） A級 B級 C級（初心者）〔いずれも男女混合〕

県総文祭大会 A級 B級 C級 D級〔いずれも男女混合〕

秋季大会（関東・全国新人予選） A級（男子・女子）

B級（男子と、女子で上位大会出場権を獲得し試合が無くなった者）

スイス式と総当たり以外の試合については敗者戦を行う。

団体戦の県代表を競う試合は登録及び出場を選手3名とし、全国大会の定める人数と同じであることを要する。団体戦の県代表を競わない試合は、男女混合2名の上場も認める。2名上場の場合は中堅と大将に固定し、2名のチーム同士で戦い、勝敗数が同じ場合は大将が勝ったチームを勝ちとする。

県総文祭大会以外のA級は県代表決定戦とする。県総文祭大会は日本将棋連盟の定める基準に基づき、段級位を認定する。認定段級位は、A級は二段・初段、B級は1級～3級、C級は4級～6級、D級は7級～9級とする。また、県総文祭大会は運営に障りが出ない程度に教員の上場を認め、上場生徒の棋力向上を計る。

- 4 実績を勘案して、シード制とすることもある。
- 5 千日手などのルールは日本将棋連盟の規定に従う。
- 6 大会開催通知は大会1ヶ月前に関係方面に通知する。
- 7 大会に遅刻した者は失格もあり得る。ただし、県代表決定戦以外では、交通機関の遅れなどやむを得ない遅刻理由であると顧問会議で認められた場合、スイス式等の後から試合が継続できる試

合方式で行っている時に限り、将棋普及のため出場を認める。顧問会議は試合を始める前に行うものとし、引率者は顧問会議前に遅刻する生徒と連絡を取り、遅刻の理由を明確にして顧問会議の場に提出するものとする。引率者が顧問会議に合理的な遅刻の理由を提出できない時は該当の試合を不戦敗とし、スイス式2回戦以降についても参加を認めない。

- 8 対局の組み合わせは大会会場で番号を抽選して決める。(シード選手を除く)
- 9 同一校の選手が一回戦から対戦しないように留意する。すなわち、同一校の選手と同一ブロックなどに組み入れられるような番号を引いたときは、大きい番号の選手は次のブロックなどの最小番号の他校選手と入れ替える。ただし、総当たりの場合は同一校同士の試合を初戦から行い、最終戦で不都合な調整が行われるのを防ぐ。
- 10 選手は自分の全対局が終了するまで試合場を離れてはいけない。
- 11 助言、声援などの大会の進行上、差し障りがあると判断された場合、役員は注意し、甚だしい場合には退場を命じる。
- 12 引率教員は、会場、進行、審判、記録、会計などの係を分担し、大会の円滑な運営を図る。
- 13 その他、大会運営上の諸問題については、役員会で決める。

[持ち時間]

- 14 試合時間は対局時計数が十分にある場合、県代表決定戦では対局者にそれぞれ20分の持ち時間を与え、使いきったあとは1手30秒の秒読みとする。県代表決定戦以外は25分切れ負けとする。使用できる対局時計数が不足する場合は、準決勝までは、1時間以内とする。試合は40分を経過したのち、対局者にそれぞれ10分の持ち時間を与え、切れ負けとすることを原則とする。準決勝以上はそれぞれ20分の持ち時間を与え、使いきったあとは1手30秒の秒読みとすることを原則とする。持将棋差し直しは、初手より30秒以内の秒読みとする。入玉宣言法を採用し、先手の場合28点以上の持ち点、後手の場合は27点以上の持ち点を勝ちとする。

[分担金]

- 15 加盟校分担金は5千円とする。

入玉の宣言法

〈宣言方法〉

宣言しようとする側の手番では指さずに、「宣言します」と言い、時計を止めて対局を停止させ、(秒読み中は、時間切れ前に宣言し対局を停止する。)その時の局面が、次の条件を満たしていれば宣言した側が勝ちとなる。

〈条件1〉宣言側の玉が、敵陣三段目以内に入っている。

〈条件2〉宣言側が(大駒5点、小駒1点の計算で)

- ・先手の場合28点以上の持ち点がある。
- ・後手の場合27点以上の持ち点がある。

ただし、点数の対象となるのは玉を除く宣言側の持ち駒と敵陣三段目以内に存在する宣言側の駒のみである。

〈条件3〉宣言側の敵陣三段目以内の駒は、玉を除いて10以上存在する。

〈条件4〉宣言側の玉に王手がかかっていない。(詰めろや必死であるということとは関係ない)

〈条件5〉宣言側の持ち時間が残っている。(切れ負けの場合)

以上一つでも条件がそろっていなかった場合、宣言した方が負けとなる。もちろん、宣言する前にどちらか片方が投了することは可能である。この規定は、どんな持ち時間制度でも適用する。

関東地区高等学校文化連盟将棋専門部会会則

第一章 総 則

(名称)

第1条 本部会は関東地区高等学校文化連盟将棋専門部会と称する。

(事務局)

第2条 本部会の事務局は部会長の指定する高等学校内に置く。

(目的)

第3条 本部会は関東地区内の高等学校における将棋部・将棋同好会の活動の健全な発展をはかることを目的とする。

(事業)

第4条 本部会は前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 関東地区高等学校文化連盟将棋大会の開催
- (2) その他、本部会に於いて必要と認める事業

(組織)

第5条 本部会は関東地区内の高等学校の将棋部・将棋同好会をもって組織する。

第二章 役 員

(役員)

第6条1 本部会は次の役員を置く

- (1) 部会長 1名
 - (2) 副部会長 1名
 - (3) 委員長 1名
 - (4) 副委員長 若干名
 - (5) 委員 若干名
 - (6) 会計 1名
 - (7) 書記 1名
- 2 顧問を置くことができる。

(役員を選出)

第7条 役員を選出は、次の通りとする。

- (1) 関東地区高等学校文化連盟将棋大会の開催都県の部会長、副部会長が兼務する。
- (2) その他の役員については、部会長が推薦し、関東地区高等学校文化連盟将棋専門部理事会で承認を得る。

(役員職務)

第8条 役員職務は、次の通りとする。

- (1) 部会長は本部会を代表し、部会の会務を統括する。
- (2) 副部会長は部会長を補佐し、部会長不在の時はその職務を代行する。
- (3) 委員長以下の役員は役員会を構成し、本部会の運営に当たる。

(役員任期)

第9条1 役員任期は1年とする。

2 任期中途の役員交代は、前任者の残任期間を引き継ぐものとする。

第三章 会 議

(会議)

第10条1 本部会に次の会議を置き、必要に応じて部会長がこれを招集する。

(1) 役員会

(2) 理事会

2 議決は出席者の過半数をもって決する。

(役員会及び理事会)

第11条 役員会及び理事会は、次の事項を審議決定する。

(1) 役員会は、理事会に提出する原案の作成及びその他の重要事項

(2) 理事会は、本部会の運営、執行に関する事項

第四章 会 計

(経費)

第12条 本部会の経費は、関東地区の高等学校文化連盟からの分担金及び大会参加費その他の収入をもってあてる。

(予算・決算)

第13条 本部会の収支予算は、理事会の議決により定め、収支決算は、会計年度終了後監査を経て、次の理事会で承認を得なければならない。

(会計年度)

第14条 本部会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第五章 雑 則

第15条 この会則は、理事会の議決によらなければ変更することができない。

申し合わせ事項

理事は、各都県委員長をもって構成する。

付則

第16条 この会則は平成16年4月1日より施行する。

関東地区高等学校文化連盟将棋専門部 対局規定

1 【手合い】

全対局平手戦にて行う。

2 【先手・後手の決定】

振り駒とする。

3 【対局時計】

対局には対局時計を用い、その位置は後手が決めることが出来る。時計は指した方の手で押さなければならない。指さない方の手で押した場合、審判長の判断で失格になる場合がある。

4 【持ち時間】

主催都県の実施要項に則る。

5 【競技方法】

主催都県の実施要項に則る。

6 【反則】

対戦相手に以下の行為があった場合、反則勝ちとなる。該当者は時計を止め、速やかに審判長に申し出ること。

(1) 対局開始後、遅刻者の持ち時間が切れる

(2) 対局中、助言や批評を受ける

(3) 禁じ手（二歩、打ち歩詰め、行き所のない駒、成れない駒の成り、王手放置等）

(4) 二手連続の着手

(5) 待った（駒から手を離したら、着手は変更出来ない）

・反則の指摘は対局者のみが行うことが出来る（観戦者はしてはいけない）。

・反則の指摘は、指した直後でなくても、盤面に残っている場合（二歩、行き所のない駒等）は行うことが出来る。指摘した後直ちに審判長に申し出ること。

・投了後の反則の指摘は認めない（投了の優先）。

但し公式棋譜採譜が行われたときは、次の対局が始まる前までに限り申告を認める。ここで公式棋譜とは、大会実行委員が採譜したものを言う。

7 【千日手】

同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めて、速やかに審判長に申し出ること。

同一対局で1回目の場合と2回目の場合で対応を以下の様に変える。

1回目：残り時間はそのまま、先後を交代して即座に指し直す。

2回目：抽選により、勝者を決める。抽選方法は審判長に一任する。

8 【持将棋】

双方入玉模様となった場合、審判長の判断で持将棋が成立する。判定は27点法（大駒5点、小駒1点）で、ポイントの多い方を勝ちとする。但し、同点の場合は後手の勝ちとする。

9 【宣言法】

アマチュア競技会の入玉将棋の矛盾（入玉していて駒は多いが、時間切れ負けになる可能性があるなど）を少しでも解消するための方法として以下のとおり採用する。

ただし、この規定は切れ負け将棋のみに採用され、秒読み将棋には採用されない。

宣言しようとする側の手番で手を指さず、「宣言します」と言って、時計を止めて対局を停止させる。その時の局面が、以下のすべての項目を満たしていた場合に限り、宣言側の勝ちとする。

- (1) 自玉が敵陣の3段目以内に入っている。
- (2) 玉を除く10枚以上の駒が敵陣の3段目に入っている。
- (3) 27点法で自分の得点が、先手28点、後手27点以上であること。

* ただし、点数の対象となるのは、宣言側の玉を除く敵陣3段目以内に存在する駒と持ち駒のみである。

- (4) 王手がかかっていない（詰めろや必至がかかっても構わない）

10 【審判長による勝負の判定】

双方入玉模様となっていなくても、対局時間が著しく経過した場合、審判長は勝負の判定をすることが出来る。

11 【マナー】

以下の行為は慎むこと。

- (1) 対戦相手の迷惑となる様な行為（対局中の写真撮影は対局開始5分以内で行う）
- (2) 対局場内での飲食
- (3) 対局場内で騒がしくすること
- (4) 対局者の迷惑となる様な行為（至近で観戦を続けること、対局者に聞こえる様な声で話すこと等）

12 【その他】

問題が生じた場合は、時計を止めて対局を中断し、速やかに審判長に申し出て、判定を一任すること。審判長はトラブルが生じた場合の裁定の全権限を持つ。審判長の他に審判及び記録係等を置く場合は、その任務と権限を予め明示しておくこと。

公益社団法人全国高等学校文化連盟 高等学校文化連盟全国将棋専門部 会則

平成 26 年度版規約

第 1 章 総 則

〈名称〉

第 1 条 本部会は、社団法人高等学校文化連盟全国将棋専門部と称する。

第 2 条 本部会の事務局を部会長所在の都道府県に置く。

〈目的〉

第 3 条 本部会は、公益社団法人全国高等学校文化連盟定款第 3 条に則り、高等学校において将棋を通じて生徒の人格形成をはかり、併せて技術の向上と将棋の発展と振興に資することを目的とする。

〈事業〉

第 4 条 本部会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 全国高等学校総合文化祭将棋部門（全国高等学校将棋選手権大会を兼ねる）と全国高等学校将棋新人大会およびその予選にあたる各都道府県大会
 - (2) その他、本部会において必要と認める事業
- 2 事業のうち、大会等に関しては、高等学校文化連盟全国将棋専門部会（以下専門部会と略す）の議を経て、規約あるいは要項を定める。

〈組織〉

第 5 条 本部会は、各都道府県高等学校文化連盟（高芸連等）将棋部会および各都道府県高等学校将棋連盟等の将棋団体に加盟する各高等学校の将棋部（研究会、同好会等）をもって組織する。

- 2 各都道府県の将棋団体（部、研究会、同好会）は、それぞれの地域ごとに連合体を組織することができる。

第 2 章 役 員

〈役員〉

第 6 条 本部会に次の役員を置く。

- | | |
|-------------|------|
| (1) 部会長 | 1 名 |
| (2) 副部会長 | 2 名 |
| (3) 理事 | 47 名 |
| (4) 事務局長 | 1 名 |
| (5) 事務局次長 | 若干名 |
| (6) 事務局役員 | 若干名 |
| (7) 会計 | 1 名 |
| (8) 都道府県代表者 | 47 名 |
| (9) 会計監査 | 1 名 |

〈役員を選出〉

第 7 条 役員を選出は次の通りとする。

- (1) 部会長は、将棋専門部会の推薦に基づき、全国高等学校文化連盟会長が委嘱する。
- (2) 副会長は、将棋専門部会の推薦に基づき、全国高等学校文化連盟会長が委嘱する。

- (3) 理事は、第5条に掲げる各都道府県高等学校文化連盟(高芸連等)将棋専門部会長とする。
 - (4) 事務局長、事務局次長と事務局役員は、部会長が委嘱する。
 - (5) 都道府県代表者は、第5条に掲げる各都道府県高等学校組織の事務担当者の中から1名をもってあてる。
 - (6) 会計監査は、高文連全国将棋専門部の推薦に基づき、部会長が委嘱する。原則として、前会計に委嘱する。
- 2 役員の実任は妨げない。

〈役員の実務〉

第8条 役員の実務は次の通りとする。

- (1) 部会長は本部会を代表し、部会の会務を統括する。
- (2) 副部会長は部会長を補佐し、部会長不在の時はその職務を代行する。
- (3) 理事と都道府県代表者は、専門部会に出席し、本部会の会務を審議する。
- (4) 事務局長、事務局次長は本部会の会務にあたる。
- (5) 会計は本部会の会計にあたる。
- (6) 会計監査は本部会の会計を監査する。

〈役員の実任〉

第9条 役員の実任は、部会長、事務局長、事務局次長、会計、会計監査は2年、副部会長、理事、事務局役員、都道府県代表者は1年とする。但し、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じたときは、必要により補充する。但し、実任は前任者の残任期間とする。
- 3 その他の詳細については別途高等学校文化連盟全国将棋専門部役員規定に定める。

第3章 会 議

〈会議〉

第10条 本部会に次の会議を置き、部会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 高等学校文化連盟全国将棋専門部会(専門部会)
 - (2) その他必要と認められる会議
- 2 会議の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長がこれを決定する。
 - 3 会議は構成員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。やむを得ない理由のため、会議に出席できない構成員は、他の構成員を代理人として評決を委任することができる。

〈専門部会〉

第11条 最高議決機関である高等学校文化連盟全国将棋専門部会は、原則として、全国高等学校総合文化祭将棋部門開催時と全国高等学校将棋新人大会開催時の年2回開催し、次の事項を審議決定する。

- (1) 部会長から委任された事項
 - (2) 本部会の運営・執行に関する事項
 - (3) その他、重要な事項
- 2 専門部会の出席者は、原則として、第6条に掲げた役員全員とする。
 - 3 専門部会の議長は部会長とする。

第4章 会 計

〈経費〉

第12条 本学会の経費は、全国高等学校文化連盟の予算、部会費、寄付金及び協賛金、その他の収入をもってあてる。

〈予算・決算〉

第13条 本学会の収支予算は、専門部会により定め、会計年度終了後、監査を経て次の専門部会で承認を得なければならない。

〈会計年度〉

第14条 本学会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

〈会計処理〉

第15条 本学会の会計経理は、専門部会を経て会計が行う。

第5章 事 務 局

〈事務局〉

第16条 本学会の事務を処理するため、事務局を置く。

〈緊急を要する案件の処理〉

第17条 緊急を要する案件においては、部会長、事務局長、事務局次長及び事務局役員で、合議し、処理することができる。ただし、この場合においては、専門部会の事後承認を得なければならない。

第6章 雑 則

〈会則の変更〉

第18条 この会則の変更には、専門部会の承認を経なければならない。

〈会則の施行〉

第19条 本学会の会則の施行についての必要な事項は、専門部会を経て別に定める。

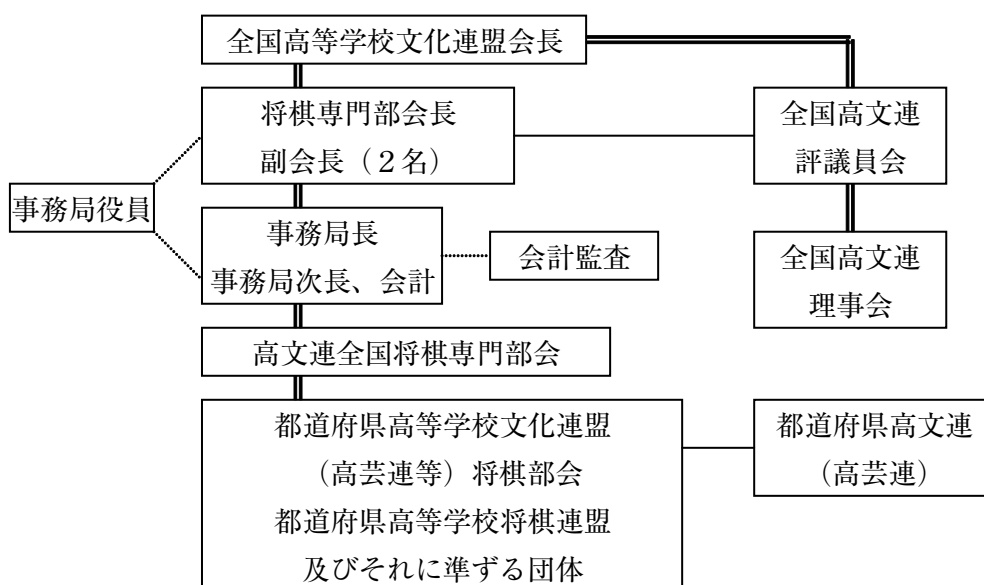
付則

- 1 この会則は昭和63年6月1日から施行する。
- 2 この会則は平成3年12月9日から施行する。
- 3 この会則は平成6年8月5日から施行する。
- 4 この会則は平成15年8月9日から施行する。

〈都道府県の地域区分〉（全国高等学校文化連盟規約に準ずる）

地域	地区	都道府県名	備考
東	北海道	北海道	15県
	東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	
	関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨	
中	北信越	長野・新潟・富山・石川・福井	15県
	東海	岐阜・静岡・愛知・三重	
	近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	
西	中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	17県
	四国	徳島・香川・愛媛・高知	
	九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	

高等学校文化連盟全国将棋専門部 組織図



高等学校文化連盟全国将棋専門部 内規（抄）

1 将棋専門部会長と副会長について

(1) 将棋専門部会長について

高文連全国将棋専門部事務局担当都道府県の高文連将棋専門部会長が全国の部会長を兼ねるものとする。担当都道府県については原則として輪番制で、別途定める東、中、西ブロックの3地域から交互に選出する。

(2) 将棋専門部副会長について

当該年度全国高等学校総合文化祭担当並びに全国高等学校将棋新人大会開催都道府県の将棋専門部会長を副会長に充てる。

2 将棋専門部各都道府県分担金について

各都道府県将棋専門部は、毎年、高文連全国将棋専門部運営費（1万円）と全国高校将棋新人大会運営費（2万円）の計3万円を負担する。

全国高等学校総合文化祭将棋部門（全国高等学校将棋選手権大会）

平成 26 年度版規約

第 1 条 標 記

公益社団法人全国高等学校文化連盟と公益社団法人日本将棋連盟が主催する「全国高等学校総合文化祭将棋部門 全国高等学校将棋選手権大会」とする。但、部門内の資料、開催県推進室に提出する資料、実施要領、運営要領では「高校選手権」は省略してもよい（開催県高等学校総合文化祭推進室の意向に従う）。

第 2 条 開催期間

開催期間は 2 日間とする。

第 3 条 会 場

全国高等学校総合文化祭（以下全国高総文祭と略す）開催県が決定する。

第 4 条 要 項

全国高総文祭開催県が作成し、前年度の高等学校文化連盟全国将棋専門部会で承認を得る。

第 5 条 運 営

全国高総文祭開催県が行う。但、大会中に開催される高等学校文化連盟全国将棋専門部会の運営は、高等学校文化連盟全国将棋専門部会長と同事務局長が運営する。

第 6 条 出場者資格

全国高等学校総合文化祭開催基準規定第 10 条に基づき、以下のように定める。

「参加者は都道府県高等学校文化連盟に加盟し、各都道府県高等学校文化連盟会長から推薦された高等学校・盲学校・聾学校・特別支援学校の高等部、高等専門学校第 3 年次までの生徒並びに専修学校及び各種学校の修業年限が高等学校と一致している生徒で、当該部門参加要項により全国大会参加の資格を得た者とする。ただし、上記によらない生徒の参加については、全国高等学校文化連盟会長と開催県実行委員会会長が協議し決定する参加資格を有する者とする」。なお、日本将棋連盟奨励会退会者については、日本将棋連盟奨励会退会規定による。

第 7 条 競技種目と選手人数規定

- (1) 男女団体戦と男女個人戦を行う。
- (2) 男女団体戦は、各都道府県代表 1 校（1 校 3 名）とする。さらに前年度優勝校の所属する都道府県は出場枠を 1 校増やす。（同一校から 2 チーム出ても良い。）
- (3) 男女個人戦は、各都道府県男子 2 名（開催県のみ 4 名）、女子 2 名（開催県の 4 名）以内とする。さらに前年度優勝者の所属する都道府県は出場枠を 1 名増やす。
- (4) 団体戦と個人戦の出場を兼ねることはできない。

第 8 条 申し込み

各都道府県の代表は、全国高総文祭開催県の規定に従って申し込む。

第 9 条 運営費

全国高総文祭開催県が負担する。但、別に定める「主催者間合意規定」により、賞状・賞品の一部と指導棋士派遣費の一部については公益社団法人日本将棋連盟（以下将棋連盟と略す）の負担とする。

第 10 条 競技運営と競技規則

- (1) 男女団体戦、男女個人戦とも予選リーグと決勝トーナメント方式による総平手戦とする。
- (2) 組み合わせは、開催県で別に定める内規に従って行う。
- (3) 対局規定は別に「高等学校文化連盟全国将棋専門部対局規定」を定める。
- (4) 審判長と審判は、高文連側から選出する。
- (5) 持ち時間は男女団体戦は初日は各20分、2日目は各30分、使い切って一手30秒以内の秒読みとする。男女個人戦は初日は各15分、2日目は各30分、使い切って一手30秒以内の秒読みとする。
- (6) 運営方法は、原則として開催県に一任するが、従来大会と比して大幅な変更があるときは、高文連全国将棋専門部会の承認を得なくてはならない。

第11条 交流会

大会開催期間中に交流会を行う。交流会の方法は開催県に一任する。

第12条 表彰

競技の結果により、表彰を行う。表彰は別に定める表彰規定による。

第13条 会計及び監査

開催県に一任する。

第14条 大会役員

- (1) 高文連側の役員については、開催県に一任する。
- (2) 大会副委員長に将棋連盟理事(普及担当)1名を入れる。
- (3) 大会委員に将棋連盟関係者2名(普及担当)を入れる。

第15条 著作権

本大会の棋譜・写真等の記録に関する著作権は、主催者側に属する。

第16条 高等学校文化連盟全国将棋専門部会の開催

本大会開催期間中に高文連全国将棋専門部会を開催する。また、本大会開催期間中に高文連全国将棋専門部と公益社団法人日本将棋連盟による主催者間打合会を開催する。

第17条 規約改正

この規約の改正は、高文連全国将棋専門部会の承認を経た上で、主催者間で協議・決定する。

高等学校文化連盟全国将棋専門部 対局規定 (平成 26 年度版)

*本規定は、日本将棋連盟の対局規定に準じて、以下のように定める。

(1) 〈手合い〉

全対局、平手戦にて行う。

(2) 〈先手・後手の決定〉

振り駒とする。団体戦は主将が振り、交互に先後となる。また団体戦は申し込み時の同将同士の対戦とする(オーダーは変更できない)。

(3) 〈対局時計〉

対局には対局時計を用い、その位置は後手番が決めることができる。時計は指した方の手で押さなければならない。

(4) 〈持ち時間〉

持ち時間は 30 分とし、使い切ると 1 手 30 秒の秒読みとする。

(5) 〈反則〉

対戦相手に以下の行為があった場合、反則勝ちとなる。該当者は時計を止め、すみやかに審判長に申し出ること。

ア 対局開始後、遅刻者の時間が切れる遅刻

イ 対局中、対戦相手以外の助言、批評を受けること。

ウ 禁じ手（二歩、打歩詰め、行き所のない駒、成れない駒の成りなど）

エ 二手連続の着手

オ 待った（駒から手を離したら、着手を変更できない）

・反則の指摘は対局者のみが行うことができる（観戦者はしてはいけない）。

・反則の指摘は、指した直後でなくても、盤面に残っている場合（二歩、行き所のない駒など）は行うことができる。指摘した後、直ちに審判長に申し出ること。

・投了後の反則の指摘は認めない（投了の優先）。

(6) 〈千日手〉

同一局面が 4 回発生した場合、千日手となる。時計を止めてすみやかに審判長に申し出ること。

同じ対局で 2 回以上千日手となった場合は、以下のように対処する。

1 回目：残り時間はそのまま、先後を交代して指し直す。

2 回目：抽選により、勝者を定める。抽選方法は審判長に一任する。

(7) 〈持将棋〉

双方入玉模様となった場合、審判長の判断で持将棋が成立する。27 点法（大駒 5 点、小駒 1 点）で、ポイントの多い方を勝ちとする。ただし、同点の場合は後手番の勝ちとする。

(8) 〈審判長による勝負の判定〉

双方入玉模様となっていなくても、対戦時間が著しく経過した場合、審判長は勝負の判定をすることができる。

(9) 〈マナー〉

以下の行為は慎むこと。

ア 対戦相手の迷惑となるような行為

イ 対局場内での飲食

ウ 対局場内で騒がしくすること

エ 対局者の迷惑となるような行為

オ 対局時計を指した手と逆の手で押すこと

(10) 〈その他〉

問題が生じた場合は、時計を止めて対局を中断し、すみやかに審判長に申し出て、審判長に一任すること。審判長はトラブルが生じた場合の裁定の全権限を持つ。審判長の他に審判及び記録係などを置く場合は、その任務と権限をあらかじめ明示しておくこと。

* 審判の権限

・対局者から反則の指摘があったとき、それを判定すること。

・マナーが悪い生徒がいた場合、注意し、直らないときは負けを宣告すること。

・持将棋や千日手の判定を行うこと。

この規定は、平成13年 4 月 1 日から実効とする。

〈付記事項：切れ負け将棋における千日手と持将棋の扱いについて〉

(1) 〈千日手〉

同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めて速やかに審判長に申し出ること。残り時間はそのまま、先後交代して差し直す。同じ対局で2回以上千日手となった場合も同様に差し直しを繰り返す。

(2) 〈持将棋〉

「入玉将棋の宣言法」を採用する。

●入玉将棋の宣言法

現在のアマチュア大会における入玉将棋の矛盾（駒数判定の時期の難しさ、特に切れ負け将棋との関連）を少しでも解消するための方法として採用する。

〈宣言方法〉

宣言しようとする側の手番で手を指さずに「宣言します」といい、時計を止めて対局を停止させ（秒読み中は、時間切れ前に宣言し、対局を停止する）、その時の局面が、次の条件を全て満たしていれば、宣言した側が勝ちとなる。

〈条件1〉宣言側の玉が、敵陣三段目以内に入っている。

〈条件2〉宣言側が（大駒5点、小駒1点の計算で）

- ・先手の場合、28点以上の持ち点がある。
- ・後手の場合、27点以上の持ち点がある。

ただし、点数の対象となるのは、玉を除く宣言側の持ち駒と敵陣三段目以内に存在する宣言側の駒のみである。

〈条件3〉宣言側の敵陣三段目以外の駒は、玉を除いて10枚以上存在する。

〈条件4〉宣言側の玉に、王手がかかっていない（詰めろや必死であるということとは関係ない）。

〈条件5〉宣言側の持ち時間が残っている（切れ負けの場合）。

以上の内一つでも条件がそろっていなかった場合、宣言した方が負けとなる（したがって、宣言をもって対局が終わる）。もちろん宣言する前にどちらか片方が投了することは可能である。この規定はどんな持ち時間制度でも適用可能である。

(公社) 日本将棋連盟奨励会・女流育成会関係者の出場規定

1 奨励会・指導棋士退会者のアマチュア復帰規定(平成18年4月1日より実施)

級位で退会した者は退会后直ちに日本将棋連盟の主催、共催等のアマチュア大会に出場することができる。

段位で退会した者は退会した日から1年間、日本将棋連盟の主催、共催等のアマチュア大会に出場することができない。

この規定は平成18年4月1日以前の退会者にも適用され、4月1日付退会者と同じ扱いとなる。

2 女流育成会退会者のアマチュア大会出場規程

(1) 女流育成会退会者は、退会直後からアマチュア大会に出場できる。

3 女流育成会在籍者のアマチュア大会出場規程

(1) 女性を対象としたアマ棋戦(女流アマ名人戦や高校将棋女子の部)には出場できないが、アマ名人・アマ竜王といった無差別大会には出場できる。

以上の規定は、平成18年1月に(社)日本将棋連盟の確認を得ている。

※ 2 女流育成会退会者のアマチュア大会出場規定 及び 3 女流育成会在籍者のアマチュア大会出場規程は公益社団法人日本将棋連盟の女流育成会が廃止になったため実効性のない規定となっている。

4 女流3級から研修会に戻った場合の規定(平成24年1月に確認済み)

(1) 女流3級になって2年を経過しても女流2級になれずに研修会に戻った場合には、その時点で全てのアマチュア大会に参加することができる。

参考記録

栄光の記録

—めざせこの頂 全国と関東—

※このページは基本的に以下の冊子・サイトのデータを転載しました。

いばらき総文 2014 将棋部門（第 50 回全国高等学校将棋選手権大会）プログラム

第 23 回全国高等学校将棋新人大会プログラム

第 25 回関東地区高等学校文化連盟将棋大会 大会結果報告集

日本将棋連盟サイト アマチュア将棋大会・棋戦一覧ページ

栄光の記録

全国高等学校将棋選手権大会

1. 個人戦優勝者

2. 団体戦優勝校

回数	年度	男 子		女 子		男 子		女 子	
1	昭和40	沼 春雄	千歳高校	菊元チヅル	日出学園高校	世田谷工高校	東京	日出女子学園高校	東京
2	昭和41	倉 吉金	東亜商高校	前田真理子	日出学園高校	千歳高校	東京	日出女子学園高校	東京
3	昭和42	井上 雅裕	市川工高校	菊元みどり	日出学園高校	羽田工業高校	東京	日出女子学園高校	東京
4	昭和43	野口 鎮生	八幡中央高校	尾関 洋子	小樽昭和高校	八幡中央高校	福岡	小樽昭和高校	北海道
5	昭和44	横山 公望	自由ヶ丘高校	倉西和佳子	小樽昭和高校	桐朋高校	東京	小樽昭和高校	北海道
6	昭和45	岡村 正文	沼津東高校	船橋 和枝	小樽昭和高校	桐朋高校	東京	小樽昭和高校	北海道
7	昭和46	加藤 慎二	横浜東高校	赤崎 益美	横浜戸塚高校	横浜翠嵐高校	神奈川	横浜戸塚高校	神奈川
8	昭和47	藤田 博将	松山工高校	松枝 淑恵	横浜平沼高校	修道高校	広島	横浜戸塚高校	神奈川
9	昭和48	五十嵐広彰	新潟南高校	兼田 睦美	夕張南高校	安積高校	福島	横浜戸塚高校	神奈川
10	昭和49	甘竹 潤二	大船渡高校	兼田 睦美	夕張南高校	東海高校	愛知	横浜戸塚高校	神奈川
11	昭和50	成田 英二	札幌星園高校	兼田 睦美	夕張南高校	福山誠之館高校	広島	横浜戸塚高校	神奈川
12	昭和51	新井田基信	札幌光星高校	越前 睦美	竹早高校	慶応義塾高校	神奈川	横浜戸塚高校	神奈川
13	昭和52	広田 輝幸	倉敷南高校	中瀬奈津子	筑波大付坂戸高校	銚子市立高校	千葉	結城第二高校	茨城
14	昭和53	新井田基信	札幌光星高校	越前 睦美	竹早高校	秋田工業専門高校	秋田	筑波大付坂戸高校	埼玉
15	昭和54	古作 登	筑波大付高校	高橋さゆり	光ヶ丘高校	旭川東高校	北海道	高崎市立女子高校	群馬
16	昭和55	金山 健二	御影高校	成瀬しのぶ	緑ヶ丘高校	千葉高校	千葉	高崎市立女子高校	群馬
17	昭和56	広瀬 尚良	岐阜商業高校	中瀬 尚美	筑波大付坂戸高校	麻布高校	東京	高崎市立女子高校	群馬
18	昭和57	若林 猛	目黒高校	金子 美和	横須賀高校	麻布高校	東京	横須賀高校	神奈川
19	昭和58	風晴 清吾	青森工業高校	為谷夕起子	高崎市女高校	盛岡第三高校	岩手	高崎市立女子高校	群馬
20	昭和59	深海 智純	広島皆実高校	斎田 晴子	湘南高校	麻布高校	東京	高崎市立女子高校	群馬
21	昭和60	武山 俊夫	専修大松戸高校	植村 真理	明善高校	岐阜高校	岐阜	甲府西高校	山梨
22	昭和61	渡辺 健弥	戸塚高校	植村 真理	明善高校	麻布高校	東京	伊那北高校	長野
23	昭和62	菊田 裕司	札幌南高校	杉谷 牧子	藤枝明誠高校	横浜戸塚高校	神奈川	藤枝明誠高校	静岡
24	昭和63	丸山 玄則	上田高校	竹下めぐみ	土浦日大高校	麻布高校	東京	高崎市立女子高校	群馬
25	平成1	山田 康平	京教大附属高校	久津 知子	札幌星園高校	東海高校	愛知	藤枝明誠高校	静岡
26	平成2	緒方 等	八王子工業高校	竹内 幸代	和洋女子大附属九段高校	麻布高校	東京	伊那北高校	長野
27	平成3	尾沢 透	柏陽高校	竹松 映子	伊那北高校	青森高校	青森	伊那北高校	長野
28	平成4	三和 秀樹	洛南高校	小牧 久美	伊那北高校	熊本高校	熊本	伊那北高校	長野
29	平成5	鰐淵 啓史	小樽桜陽高校	北原 優子	伊那北高校	麻布高校	東京	伊那北高校	長野
30	平成6	林 隆弘	常葉学園高校	坂井 仁美	岐阜北高校	麻布高校	東京	伊那北高校	長野
31	平成7	細川大市郎	城ノ内高校	坂井 仁美	岐阜北高校	麻布高校	東京	伊那北高校	長野
32	平成8	天野 啓吾	明星高校	吉田 優美	北陵高校	麻布高校	東京	伊那北高校	長野
33	平成9	天野 啓吾	明星高校	吉田 優美	北陵高校	東海高校	愛知	伊那北高校	長野
34	平成10	加藤 幸男	多治見北高校	吉田 優美	北陵高校	麻布高校	東京	藤枝明誠高校	静岡
35	平成11	小木曾正訓	小金高校	講神 元美	愛知工業高校	安古市高校	広島	藤枝明誠高校	静岡
36	平成12	水野 札崇	東海高校	講神 元美	愛知工業高校	大阪星光学院高校	大阪	伊那北高校	長野
37	平成13	禰保 拓也	泊通信高校	中垣 望	仁愛女子高校	藤枝明誠高校	静岡	幕張総合高校	千葉
38	平成14	今城 洋亮	高槻高校	中垣 望	仁愛女子高校	嵯峨野高校	京都	日大三島高校	静岡
39	平成15	森本 泰介	慶応義塾湘南藤沢高校	笠井 友貴	青雲高校	灘高校	兵庫	藤枝明誠高校	静岡
40	平成16	和井田佑司	杉戸高校	笠井 友貴	青雲高校	灘高校	兵庫	倉敷青陵高校	岡山
41	平成17	相良 剛史	千葉日大第一高校	篠崎 梢	両国高校	上宮高校	大阪	幕張総合高校	千葉
42	平成18	増本 敬	佐世保工業高校	室谷 早紀	生野高校	鳥取西高校	鳥取	南山高校女子部	愛知
43	平成19	山田 雄介	山田高校	室谷 早紀	生野高校	城北高校	東京	幕張総合高校	千葉
44	平成20	山田 祥五	白陵高校	鈴木絵里奈	明豊高校	岩手高校	岩手	南山高校女子部	愛知
45	平成21	青木 翔	大宮高校	室谷 由紀	同志社香里高校	青森高校	青森	幕張総合高校	千葉
46	平成22	中川 慧悟	岩手高校	小山田友希	盛岡第一高校	灘高校	兵庫	岩村田高校	長野
47	平成23	原 司	早稲田高校	北村 桂香	立命館宇治高校	岩手高校	岩手	岡山朝日高校	岡山
48	平成24	長森 優作	甲南高校	成田 弥穂	仙台第二高校	岩手高校A	岩手	愛知工業大学名電高校	愛知
49	平成25	長森 優作	甲南高校	和田 あき	國學院高校	岩手高校A	岩手	愛知工業大学名電高校	愛知
50	平成26	日高 啓道	麻布高校	藤井 奈々	立命館宇治高校	宮崎大宮高校	宮崎	西武学園文理高校	埼玉
51	平成27	岡部 寛大	鶴岡南高校	藤井 奈々	立命館宇治高校	麻布高校	東京	幕張総合高校	千葉

栄光の記録

全国高等学校将棋竜王戦（主催：読売新聞社、日本将棋連盟）

回数	開催日	開催場所	優勝		準優勝	
1	昭和 63 年 10 月 9 日	第一薬科大学	中田 喜文	岡山・倉敷南高校	傳田 芳裕	長野・長野高校
2	平成 1 年 9 月 16 日	第一薬科大学	松廣 隆二	和歌山・和歌山北高校	田頭亮太郎	岡山理科大附属高校
3	平成 2 年 9 月 23 日	第一薬科大学	坂井 康記	千葉・千葉高校	蛭川 敦	愛知・東海高校
4	平成 3 年 8 月 24 日	第一薬科大学	河原 慶	福岡・西南学院高校	早咲 誠和	大分・情報科学高校
5	平成 4 年 8 月 29 日	第一薬科大学	山田 洋次	静岡・浜松西高校	徳永 吉宏	茨城・水戸第一高校
6	平成 5 年 8 月 28 日	第一薬科大学	佐藤雄一郎	大阪・市岡高校	鈴木 勝裕	秋田・秋田高専
7	平成 6 年 8 月 27 日	第一薬科大学	鰐淵 啓史	北海道・小樽桜陽高校	岡安 怜士	神奈川・川和高校
8	平成 7 年 8 月 19 日	第一薬科大学	天野 啓吾	大阪・明星高校	野中 卓	栃木・栃木高校
9	平成 8 年 8 月 24 日	第一薬科大学	清水上 徹	北海道・新川高校	金築 克祐	山口・厚狭高校
10	平成 9 年 8 月 24 日	第一薬科大学	葛山 拓生	三重・四日市南高校	柴垣 宏至	愛知・滝高校
11	平成 10 年 8 月 21 日～	第一薬科大学	金堂 晃久	福岡・西南学院高校	伊藤 享史	東京・明治大学付属明治高校
12	平成 11 年 8 月 20 日～	第一薬科大学	加藤 幸男	岐阜・多治見北高校	上田 哲士	大阪・大阪星光学院高校
13	平成 12 年 8 月 18 日～	第一薬科大学	藤井 政範	石川・金沢大付高校	高梨 考司	埼玉・浦和高校
14	平成 13 年 8 月 23 日～	第一経済大学	山内 一馬	東京・麻布高校	襦保 拓也	沖縄・泊通信高校
15	平成 14 年 8 月 22 日～	第一経済大学	佐野 尚史	岩手・釜石南高校	森本 泰介	神奈川・慶應藤沢高校
16	平成 15 年 8 月 21 日～	第一経済大学	伊藤 大悟	静岡・磐田南高校	稲葉 聡	兵庫・東幡工業高校
17	平成 16 年 8 月 19 日～	第一経済大学	古屋 皓介	山梨・甲府東高校	伊藤 大悟	静岡・磐田南高校
18	平成 17 年 8 月 18 日～	第一経済大学	土橋 惇郎	岩手・釜石南高校	古屋 皓介	山梨・甲府東高校
19	平成 18 年 8 月 22 日～	第一経済大学	増本 敬	長崎・佐世保工高校	福岡 健太	大阪・上宮高校
20	平成 19 年 8 月 21 日～	第一経済大学	横山 大樹	北海道・札幌光星高校	畠中 弘哉	福井・若狭高校
21	平成 20 年 8 月 26 日～	よみうりプラザ（福岡市）	横山 大樹	北海道・前高校竜王	西 淳平	兵庫・有馬高校
22	平成 21 年 8 月 25 日～	よみうりプラザ（福岡市）	中川 慧梧	岩手・岩手高校	北村 直之	東京・筑波大学附属駒場高校
23	平成 22 年 8 月 24 日～	福岡大学ヘリオスプラザ	中川 慧梧	岩手・岩手高校	太田 啓介	長野・さくら国際高校
24	平成 23 年 8 月 23 日～	福岡大学ヘリオスプラザ	高橋 海渡	新潟・新潟高校	小野内一八	岩手・岩手高校
25	平成 24 年 8 月 20 日～	福岡大学ヘリオスプラザ	高橋 海渡	新潟・新潟高校	金谷 拓	兵庫・灘高校
26	平成 25 年 8 月 22 日～	電気ビル共創館	長森 優作	兵庫・甲南高校	黒川 和樹	愛知・瑞陵高校
27	平成 26 年 8 月 24 日～	電気ビル共創館	荒木優太郎	富山・富山中部高校	岡部 寛大	山形・鶴岡南高校
28	平成 27 年 8 月 19 日～	電気ビル共創館	下西 哲伸	大阪・大阪教育大学附属高校平野校舎	上村 友大	茨城・太田第一高校

栄光の記録

全国高等学校将棋新人大会（旧称：全国高等学校文化連盟将棋大会）

男子

回	年度	開催地	優勝	準優勝
1	平成 04	滋賀県近江八幡市	竹内 俊弘（北海道）	岡安 玲士（神奈川）
2	平成 05	埼玉県伊奈町	岡安 玲士（神奈川）	永峰 登（大阪）
3	平成 06	神奈川県川崎市	鰐淵 啓史（北海道）	任田 有孝（石川）
4	平成 07	高知県高知市	湯上 真司（北海道）	清水上 徹（北海道）
5	平成 08	長野県伊那市	清水上 徹（北海道）	湯上 真司（北海道）
6	平成 09	岩手県花巻市	佐伯 紘一（愛媛）	神川 一星（広島）
7	平成 10	愛媛県松山市	植木 力（富山）	長尾 崇弘（東京）
8	平成 11	愛知県名古屋	木村 篤典（広島）	高梨 考司（埼玉）
9	平成 12	大分県別府市	上田 哲史（大阪）	古田 暁人（神奈川）
10	平成 13	大阪府大阪市	山中 恵介（青森）	九十九悠太（広島）
11	平成 14	千葉県千葉市	稲葉 聡（兵庫）	高橋 淳（奈良）
12	平成 15	広島県広島市	小堤 一星（京都）	和井田祐司（埼玉）
13	平成 16	宮城県仙台市	水谷 創（三重）	増本 敬（長崎）
14	平成 17	富山県富山市	増本 敬（長崎）	小川 陽平（広島）
15	平成 18	香川県琴平町	相良 剛史（千葉）	山田 祥五（兵庫）
16	平成 19	秋田県仙北市	横山 大樹（北海道）	勝俣 卓也（山梨）
17	平成 20	岐阜県岐阜市	太田 啓介（長野）	田中 景季（愛知）
18	平成 21	山口県山口市	中川 慧梧（岩手）	奥村 雄太（兵庫）
19	平成 22	栃木県日光市	青木 翔（埼玉）	小野 浩史（沖縄）
20	平成 23	京都府京都市	友田 敦也（静岡）	高橋 海渡（新潟）
21	平成 24	福岡県北九州市	長森 優作（兵庫）	友田 敦也（静岡）
22	平成 25	北海道函館市	大野 弘喜（東京）	中谷 祥也（茨城）
23	平成 26	新潟県新潟市	中島 灯希（岐阜）	坂本 拓己（和歌山）

女子

回	年度	開催地	優勝	準優勝
1	平成 04	滋賀県近江八幡市	赤羽 玲子（長野）	宮川 朋恵（福井）
2	平成 05	埼玉県伊奈町	坂井 仁美（岐阜）	宮川 朋恵（福井）
3	平成 06	神奈川県川崎市	坂井 仁美（岐阜）	平澤 理沙（長野）
4	平成 07	高知県高知市	富田 恵（愛媛）	唐澤利恵子（長野）
5	平成 08	長野県伊那市	篠田 淳子（石川）	吉良 尚子（大分）
6	平成 09	岩手県花巻市	吉田 亜季（長野）	藤原 崇子（静岡）
7	平成 10	愛媛県松山市	講神 元美（愛知）	佐藤 美保（東京）
8	平成 11	愛知県名古屋	講神 元美（愛知）	中垣 尚子（福井）
9	平成 12	大分県別府市	村田 智穂（兵庫）	阿部真希子（福岡）
10	平成 13	大阪府大阪市	鈴木 浩子（北海道）	中垣 望（福井）
11	平成 14	千葉県千葉市	小林 真理（埼玉）	有田 智美（福岡）
12	平成 15	広島県広島市	笠井 友貴（長崎）	中野 綾子（徳島）
13	平成 16	宮城県仙台市	笠井 友貴（長崎）	相馬 美咲（青森）
14	平成 17	富山県富山市	相馬 美咲（青森）	菅野 早紀（岐阜）
15	平成 18	香川県琴平町	鈴木 悠子（静岡）	室谷 早紀（大阪）
16	平成 19	秋田県仙北市	室谷 早紀（大阪）	鈴木 悠子（静岡）
17	平成 20	岐阜県岐阜市	小野ゆかり（東京）	小川 詩織（新潟）
18	平成 21	山口県山口市	小野ゆかり（東京）	茅原 有希（岡山）
19	平成 22	栃木県日光市	成田 弥穂（宮城）	山口絵美菜（宮崎）
20	平成 23	京都府京都市	小山田友希（岩手）	成田 弥穂（宮城）
21	平成 24	福岡県北九州市	脇田菜々子（愛知）	中澤 沙耶（愛知）
22	平成 25	北海道函館市	加藤寿美香（千葉）	和田 あき（東京）
23	平成 26	新潟県新潟市	藤井 奈々（京都）	松谷 香奈（北海道）

栄光の記録

関東地区高等学校文化連盟将棋大会

回	年度	順位	個人戦	都県・学校	都県別対抗戦	会場・開催日	
1	平成2	1	藤井 峰明	埼玉・県立鷲宮 神奈川・慶応義塾 埼玉・埼玉第一 茨城・県立水戸第一	実施せず	埼玉 県立浦和高校 12月25日	
		2	金子 尚貴				
		3	田田 寛之介				
		4	桜田 進之介				
2	平成3	1	尾沢 透	神奈川・県立柏陽 神奈川・県立生田 茨城・県立太田第一 埼玉・県立浦和	神奈川・茨城 (同点1位) 埼玉 栃木	埼玉 県立浦和高校 12月25日	
		2	佐藤 裕一				
		3	菊地 貴光				
		4	川合 仁				
3	平成4	1	菊地 孝之	神奈川・県立海老名 茨城・霞ヶ浦 神奈川・県立川和 埼玉・県立春日部	茨城 神奈川 栃木 埼玉	茨城 県立石岡第一高校 12月25日	
		2	佐藤 丈靖				
		3	岡安 玲大				
		4	宮川 輔				
4	平成5	1	森川 裕介	千葉・県立柏中央 神奈川・県立市ヶ尾 神奈川・県立川和 埼玉・県立桶川	神奈川 千葉 埼玉 栃木	栃木 栃木県教育会館 12月25日	
		2	石田 玲士				
		3	岡安 玲士				
		4	赤星 洋介				
5	平成6	1	野中 卓二	栃木・県立栃木 東京・麻布 埼玉・県立川越 栃木・県立栃木	栃木 埼玉 東京 神奈川	神奈川 横浜市立港高校 12月25日	
		2	若林 健一				
		3	澤村 智博				
		4	半貫 紀				
6	平成7	1	鈴木 貴幸	神奈川・日本大学 千葉・県立柏中央 東京・武蔵 栃木・県立宇都宮	神奈川 東京 千葉 栃木	千葉 船橋市 勤労市民センター 12月23日	
		2	森部 龍太郎				
		3	高橋 直人				
		4	高橋 直人				
7	平成8	1	岩本 健生	神奈川・慶応義塾 埼玉・慶応義塾志木 埼玉・所沢西 東京・麻布	埼玉 茨城 一	東京 都立戸山高校 12月22日	
		2	古田 龍				
		3	竹澤 総司				
		4	鈴木 琢光				
8	平成9	1	山崎 陽介	埼玉・県立浦和西 東京・明治大学付属明治 東京・麻布 神奈川・法政大学第二	東京 神奈川 埼玉 千葉	埼玉 浦和市民会館 12月21日	
		2	伊藤 享史				
		3	市川 敏剛				
		4	市川 敏剛				
			1	北尾 まどか	東京・和光 群馬・市立高崎経済大学附属 群馬・県立中央 埼玉・県立三郷北	/	
			2	岡田 光代			
			3	橋本 美峰			
			4	小原 由美			
9	平成10	1	伊藤 享史	東京・明治大学付属明治 神奈川・桐蔭学園 栃木・作新学院 神奈川・県立多摩	東京 神奈川 栃木 茨城	茨城 水戸市民会館 12月20日	
		2	小林 卓				
		3	島田 俊介				
		4	渡辺 諒				
			1	佐藤 美保	東京・都立青山 群馬・市立高崎経済大学附属 千葉・県立千葉 群馬・県立中央	/	
			2	清水 明日香			
			3	多田 美佐			
			4	橋本 美峰			
10	平成11	1	高梨 考司	埼玉・県立浦和 栃木・作新学院 神奈川・公文国際学園 山梨・県立公布昭和	埼玉 栃木 神奈川 東京・千葉	群馬 高崎市中央公民館 12月19日	
		2	君島 俊介				
		3	奈良 良一大				
		4	入倉 雄大				
			1	原田 花暢	神奈川・県立厚木 神奈川・県立伊勢原 千葉・県立幕張総合 群馬・市立前橋	/	
			2	露木 梨江			
			3	芝本 あゆみ			
			4	高村 麗子			
11	平成12	1	山内 一人	東京・麻布 神奈川・慶応義塾 神奈川・公文国際学園 東京・麻布	東京 神奈川 埼玉 群馬	栃木 栃木県教育会館 12月17日	
		2	古田 一				
		3	奈良 俊直				
		4	小林 知直				
			1	鈴木 真里	神奈川・桐光学園 茨城・県立土浦第一 千葉・県立幕張総合 栃木・県立鹿沼	/	
			2	泉 直子			
			3	石崎 唯子			
			4	湯沢 直子			
12	平成13	1	森本 泰介	神奈川・慶応義塾湘南藤沢 神奈川・慶応義塾 千葉・八千代松陰 群馬・東京農業大学第二	神奈川 群馬 千葉 山梨	神奈川 湯河原町民宿 ホテル「杉の宿」 12/23～24	
		2	高木 隼仁				
		3	野田 隼仁				
		4	宮原 洋介				

回	年度	順位	個人戦	都県・学校	都県別対抗戦	会場・開催日
		1 2 3 4	小林真理 鈴木真里 三澤多恵子 稲葉佳代子	埼玉・熊谷市立女子 神奈川・桐光学園 山梨・県立山梨 神奈川・県立柏陽		
13	平成14	1 2 3 4	森本泰介 寺師上真樹 井高木一晋	神奈川・慶応義塾湘南藤沢 埼玉・県立川越 山梨・県立甲府南 神奈川・慶応義塾	神奈川 埼玉 群馬 山梨	山梨 県立甲府第一高校 12月15日
		1 2 3 4	三澤多恵子 江里川ゆき 河原木智子 橋本裕子	山梨・県立山梨 千葉・県立幕張総合 埼玉・県立羽生第一 埼玉・県立大宮		
14	平成15	1 2 3 4	森本泰介 和井田祐司 瑞山徹也 内藤誓力良	神奈川・慶応義塾湘南藤沢 埼玉・県立杉戸 神奈川・鎌倉学園 東京・麻布	神奈川 埼玉 東京 千葉	千葉 さわやか千葉 県民プラザ 12月21日
		1 2 3 4	泉対貴子 橋本裕子 林恵里香 福岡志保	茨城・江戸川学園取手 埼玉・県立大宮 群馬・群馬工業高専 埼玉・県立浦和第一女子		
15	平成16	1 2 3 4	漢那憲祐 柿内直哉 丸山謙助 古屋皓介	東京・攻玉社 神奈川・桐蔭学園 神奈川・県立綾瀬 山梨・県立甲府東	神奈川 東京 千葉 山梨	東京 都立日比谷高校 12月19日
		1 2 3 4	泉野貴子 吉野明日美 高崎真子 林恵里香	茨城・江戸川学園取手 千葉・県立幕張総合 神奈川・慶応義塾湘南藤沢 群馬・群馬工業高専		
16	平成17	1 2 3 4	相良剛史 神林宏明 早川晃司 三瓶義之	千葉・千葉日本大学第一 神奈川・公文国際学園 埼玉・聖望学園 東京・開成	千葉 神奈川 東京 埼玉	埼玉 大宮ソニック 市民ホール 12月18日
		1 2 3 4	和田麻菜美 林恵里香 伊藤明日香 龍智夏	千葉・県立幕張総合 群馬・群馬工業高専 千葉・県立幕張総合 神奈川・県立横浜翠嵐		
17	平成18	1 2 3 4	河合邦彦 入江明史 相良剛史 荒井祥太	神奈川・横浜 東京・駒場東邦 千葉・千葉日本大学第一 神奈川・横浜	神奈川 東京 千葉 埼玉	茨城 水戸市民会館 12月17日
		1 2 3 4	菅原里沙 小塩満理 松浦ほなみ 三澤満利子	東京・十文字 千葉・県立幕張総合 千葉・県立幕張総合 山梨・県立山梨		
18	平成19	1 2 3 4	早川健治 寺田豊也 勝俣卓也 幡宮慎太郎	埼玉・自由の森学園 群馬・県立太田 山梨・県立吉田 茨城・茨城キリスト教学園	埼玉 茨城 群馬 山梨	群馬 群馬県 生涯学習センター 12月23日
		1 2 3 4	小澤望 鎌村ちひろ 関根枝利 宮本奈果帆	東京・三輪田学園 東京・桜蔭 埼玉・県立杉戸 千葉・県立幕張総合		
19	平成20	1 2 3 4	北大脇誠也 大石悠貴 勝俣卓也 山中達也	埼玉・県立浦和 神奈川・山手学院 山梨・県立吉田 神奈川・横浜	神奈川 埼玉 東京 茨城	神奈川 横浜市 開港記念会館 12月21日
		1 2 3 4	小野ゆかり 飯田梨絵 小林美智子 小嶋優未	東京・実践学園 埼玉・県立桶川 千葉・県立幕張総合 千葉・県立幕張総合		
20	平成21	1 2 3 4	青木翔 竹内好 多々納守 浅倉孝幸	埼玉・県立大宮 神奈川・桐光学園 東京・麻布 神奈川・森村学園	神奈川 東京 埼玉 千葉	栃木 栃木県教育会館 12月20日

回	年度	順位	個人戦	都県・学校	都県別対抗戦	会場・開催日
		1 2 3 4	飯田梨絵 小野ゆかり 横田汐理 梶尾千都	埼玉・県立桶川 東京・実践学園 千葉・県立幕張総合 山梨・県立吉田		
21	平成 22	1 2 3 4	浅倉孝幸 青木翔 上田裕典 三重野雄貴	神奈川・森村学園 埼玉・県立大宮 山梨・山梨学院大学付属 千葉・市川	神奈川 埼玉 山梨 千葉	山梨 駿台甲府高校 12月19日
		1 2 3 4	多々納光 山水優花 水師田佳 松田由京子	東京・青山学院高等部 千葉・県立幕張総合 神奈川・県立神奈川総合 千葉・県立柏の葉		
22	平成 23	1 2 3 4	丸川友幸 高橋正太郎 桂川晃一 大島裕哉	神奈川・慶応義塾 千葉・東邦大学付属東邦 山梨・日本大学明誠 東京・筑波大学付属駒場	神奈川 千葉 東京 山梨	千葉 千葉県教育会館 12月23日
		1 2 3 4	東大塚美希 多々納玲奈 櫻井美由紀	東京・都立芦花 栃木・宇都宮短期大学付属 東京・青山学院高等部 千葉・県立生浜		
23	平成 24	1 2 3 4	柏原真 三村駿 津留大樹 奥村匠	東京・大智学園 茨城・県立日立第一 埼玉・城北埼玉 千葉・県立幕張総合	千葉 東京 埼玉 茨城	東京 都立戸山高校 12月16日
		1 2 3 4	頼本奈菜 池田晴南 小澤あざ美 遠坂智代	東京・実践学園 山梨・谷村工業 神奈川・横浜創学館 群馬・四ッ葉学園中等学校		
24	平成 25	1 2 3 4	中大谷祥也 樋野弘喜 田園中雄真	茨城・牛久栄進 東京・武蔵 神奈川・浅野 東京・武蔵	東京 茨城 埼玉 神奈川	茨城 県民文化センター 12月22日
		1 2 3 4	頼本奈菜 和田あざ美 小澤寿美香 加藤美香	東京・実践学園 東京・國學院 神奈川・横浜創学館 千葉・県立千葉		
25	平成 26	1 2 3 4	佐藤僚介 日高啓道人 嶋村寧人 千野人人	千葉・八千代東 東京・麻布 埼玉・県立浦和 神奈川・横浜	千葉 東京 茨城 神奈川	埼玉 WithYou さいたま 12月20日 ～ 12月21日
		1 2 3 4	小澤あざ美 橋本智佳子 中村歩実 永井さくら	神奈川・横浜創学館 埼玉・西武学園文理 埼玉・西武学園文理 埼玉・県立和光		

編集後記

この記念誌が完成するまでに思っていた以上に時間がかかってしまった。小生の編集の不手際と仕事の遅さが根本原因である。お詫び申し上げたい。本来は平成 26 年度末に発刊したかったのだが、平成 26 年度はいばらき総文 2014 があり、これに忙殺され、本業でもここ 3 年間で一番忙しい年であったことも要因である。これに加え、当初考えていたものより、いろいろと思いつくままに追加原稿を入れて、修正また修正を重ねてしまったことにより体裁が整わず、問題が多発してしまった。どうみても編集の不手際としか言えない。繰り返しになるが、全ては小生の責任である。申し訳ありません。編集作業でも思うようにいかなかったところがある。「栄光の記録」は「将棋年鑑」「将棋世界」「週刊将棋」を参照して洗い直し、さらに卒業生の出身校に調査協力を依頼して、可能な限りデータの補充・修正を心がけた。しかし、第 6 回全国高等学校将棋選手権大会のように関東予選を行い、将棋年鑑等に全国大会の結果しか掲載されていないものについては調査・記載できなかった。このように年度によっては漏れがある可能性は否定できない。これについてはお詫び願いたい。

謝罪とは別に、とにもかくにも完成したのは様々な方のお力添えによる。これを記録しておきたい。まずは日本将棋連盟会長の谷川浩司氏と普及免状部の方々には、いばらき総文 2014 将棋部門のご協力、各種助言・原稿寄稿・色紙手配・過年度「栄光の記録」調査でお世話になった。勝又清和六段には転載許可、原稿の加筆など感謝しきれない。また、市野塚耕三氏や美馬和夫氏をはじめとする日本将棋連盟茨城県支部連合会にはいばらき総文 2014 将棋部門では審判としてご助力いただき、原稿もいただいた。茨城新聞将棋欄に高校生の棋譜を取り上げていただいたことも再三である。新潟県高文連将棋専門部の星達也氏には全国新人大会のデータ類を、埼玉県高文連将棋専門部の北田豊氏には関東大会のデータ類を頂戴した。昨年まで茨城県高文連将棋部に在籍していた前川匡史氏（平成 27 年度茨城県アマ名人）には高段者の目でここ 10 年間の精選譜を選んでいただいた。書家の大山九八氏には題字を揮毫いただいた。大山氏は映画 HAZAN（板谷波山）の題字を書かれた方である。本県教育庁文化課にはいばらき総文 2014 記録集の将棋部門ページの転載を許可いただき、マイナビ、読売新聞社、朝日新聞社、茨城新聞社には、いばらき総文 2014 将棋部門関係記事の転載を許可いただいた。各寄稿者には忙しい合間をぬって執筆いただいた。校正・内容チェックは全ての加入校顧問にお願いした。最後に日立一高付属中学校の青木陸人氏（現明野高校教頭）、大洗高校の藤崎正輝氏には、いばらき総文 2014 将棋部門を成功に導くための助言、現場での指揮、記念誌作成のためのご助力など全面的なバックアップをいただいた。このように様々な方のご支援のもとに小誌は完成した。誠にありがとうございました。

さて、編集後記となっているので、編集に当たって気をつけた点、目指したことを記しておきたい。『茨城県高等学校将棋 30 年のあゆみ』を承けて書いているので、基本的に形式面を踏襲した。『茨城県高等学校将棋 30 年のあゆみ』編集後記において閑居人氏は、「売家と唐様で書く三代目」「井戸を掘った人を忘れるな」を挙げ、創立の素志を忘れるべきではないことを述べられた。大切なことだと思う。当将棋部会の素志とは、将棋を愛好する高校生の心を大切に、対局のための望ましい環境を作り、将棋を通した人間教育をしていくことだろう。私自身、高校時代に将棋大会県予選に出場したが、それは先達が努力を続けなくてはできないことであった。この創立の素志は現在の将棋部顧問に引き継がれている。顧問は将棋と、それに打ち込む高校生の真剣な姿勢、若々しい思い切りのいい将棋を好ましく思っていると思う。少なくとも私はそうである。

賀茨城県高等学校将棋専業部創設四十年 茨城県高等学校将棋専業部 創設四十年を賀す
宕山散人

紅顔棋士意何如	紅顔の棋士 意 何如
四十年来千有餘	四十年来 千有余
棋眼宜須看大局	棋眼 宜しく須らく大局を見るべし
当機決断莫躊躇	機に当たりて決断し躊躇する莫かれ

【大意】 今、年若い高校生棋士は盤を前にして何を考えているのだろう。

茨城県高校将棋部会創設以来 40 年の間に千人以上の高校生棋士がいた。

君たち高校生の目で是非とも（大局観を持ち）将棋盤面全体を広く見るのがよい。

そして盤上、好機とみたら決断せよ。ためらってはいけない。

茨城県高等学校将棋 40年の歩み

2015年10月3日発行

発行者 茨城県高等学校文化連盟将棋部会
事務局 茨城県立古河第三高等学校内
〒306-0054 茨城県古河市中田新田12-1
TEL 0280(48)2755

編集担当 茨城県立石岡第一高等学校内
〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-9
TEL 0299(22)4135

印刷所 朝日印刷株式会社
〒305-0046 茨城県つくば市東2-11-15